

2017年度以降入学生用

フロンティアサイエンス学部 履修要項

目 次

ポートアイランドキャンパス学年暦	2
岡本キャンパス学年暦	3
I. 甲南大学学則	5
II. ～フロンティアサイエンス学部～基本編	17
・ 学生生活を送る上で知っておいてほしいことー各種手続・窓口案内	19
・ 学生生活を送る上で知っておいてほしいことー施設・設備等について ...	23
・ 学生生活を送る上で知っておいてほしいことー情報編	27
・ 学籍について	34
・ 学費について	35
III. ～フロンティアサイエンス学部～学修編	37
・ フロンティアサイエンス学部生命化学科カリキュラムマップ・授業科目表 ...	39
・ 卒業するために	83
・ カリキュラムについて	86
・ 授業について	92
・ 履修登録について	99
・ 試験について	121
・ 成績について	123
・ 試験・成績・判定のよくある質問 (FAQ)	127
IV. 重要なメッセージ～ポートアイランドキャンパスでの学びについて～ ...	131
V. 時間割	143
VI. ポートアイランドキャンパスF-1号館フロアマップ・岡本キャンパスマップ ...	151
VII. 関連諸規程	157
VIII. 諸願、届、証明書の事務取扱一覧	195

〔ポートアイランドキャンパス〕令和2年度（2020年度）学年暦

前								期								後								期								
	日	月	火	水	木	金	土	2020年									日	月	火	水	木	金	土									
4				1	2	3	4	1 日（水）入学宣誓式								9					17	18	19	18 日（金）前期末学位記授与式								
月	5	6	7	8	9	10	11	6 日（月）授業開始								月	20	21	22	23	24	25	26	25 日（金）後期授業開始								
	12	13	14	15	16	17	18										27	28	29	30												
	19	20	21	22	23	24	25	【21 日（火） 学園創立記念日は授業実施】								10					1	2	3									
	26	27	28	29	30			〔29 日（水）昭和の日は授業実施〕								月	4	5	6	7	8	9	10									
5						1	2										11	12	13	14	15	16	17	〔17 日（土）は木曜日の授業実施〕								
月	3	4	5	6	7	8	9	〔16 日（土）は月曜日の授業実施〕									18	19	20	21	22	23	24									
	10	11	12	13	14	15	16	（23 日（土）教育懇談会）									25	26	27	28	29	30	31	30 日（金）～1 日（日）大学祭（予定）								
	17	18	19	20	21	22	23	30 日（土）授業予備日								11	1	2	3	4	5	6	7	〔 7 日（土）は火曜日の授業実施〕								
	24	25	26	27	28	29	30									月	8	9	10	11	12	13	14	17 日（火）授業予備日								
	31																15	16	17	18	19	20	21	【18 日（水）・19 日（木）C 期試験】								
6		1	2	3	4	5	6	【1 日（月）・2 日（火） A 期試験】									22	23	24	25	26	27	28	〔21 日（土）は月曜日の授業実施〕								
月	7	8	9	10	11	12	13	〔13 日（土）は火曜日の授業実施〕									29	30														
	14	15	16	17	18	19	20	20 日（土）授業予備日								12			1	2	3	4	5	〔12 日（土）は水曜日の授業実施〕								
	21	22	23	24	25	26	27									月	6	7	8	9	10	11	12									
	28	29	30														13	14	15	16	17	18	19									
7				1	2	3	4										20	21	22	23	24	25	26	25 日（金）年内授業一旦終了								
月	5	6	7	8	9	10	11	11 日（土）授業予備日									27	28	29	30	31			冬期休業（12月26日～1月3日）								
	12	13	14	15	16	17	18	18 日（土）授業予備日								1						1	2	2021年								
	19	20	21	22	23	24	25	27 日（月）～8 月 1 日（土）前期定期試験日								月	3	4	5	6	7	8	9	4 日（月）授業再開 / 9 日（土）授業予備日								
	26	27	28	29	30	31											10	11	12	13	14	15	16	20 日（水）・21 日（木）授業予備日								
8							1										17	18	19	20	21	22	23	22 日（金）～28 日（木）後期定期試験日								
月	2	3	4	5	6	7	8	3 日（月）前期定期試験予備日									24	25	26	27	28	29	30	29 日（金）後期定期試験予備日								
	9	10	11	12	13	14	15										31															
	16	17	18	19	20	21	22									2		1	2	3	4	5	6									
	23	24	25	26	27	28	29									月	7	8	9	10	11	12	13									
	30	31						夏期休業（8月4日～9月24日）									14	15	16	17	18	19	20									
9			1	2	3	4	5										21	22	23	24	25	26	27									
月	6	7	8	9	10	11	12										28															
	13	14	15	16												3		1	2	3	4	5	6									
																月	7	8	9	10	11	12	13									
																	14	15	16	17	18	19	20									
																	21	22	23	24	25	26	27	25 日（木）学位記授与式								
																	28	29	30	31												

※注意

※注意

2020年4月21日（火）は、授業を実施いたします。
 2020年4月29日（水）は、授業を実施いたします。
 2020年5月16日（土）は、月曜日の授業を実施いたします。
 2020年6月13日（土）は、火曜日の授業を実施いたします。
 2020年10月17日（土）は、木曜日の授業を実施いたします。
 2020年11月7日（土）は、火曜日の授業を実施いたします。
 2020年11月21日（土）は、月曜日の授業を実施いたします。
 2020年12月12日（土）は、水曜日の授業を実施いたします。

※祝日は授業を実施いたしません。（4月29日を除く）

〔岡本キャンパス〕令和2年度（2020年度）学年暦

前								後									
	日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土		
4				1	2	3	4	2020年	9				17	18	19	18日（金）前期末学位記授与式	
月	5	6	7	8	9	10	11	6日（月）授業開始	月	20	21	22	23	24	25	26	25日（金）後期授業開始
	12	13	14	15	16	17	18	【21日（火） 学園創立記念日は授業実施】 〔29日（水）昭和の日は授業実施〕		27	28	29	30				
	19	20	21	22	23	24	25		10					1	2	3	
	26	27	28	29	30				月	4	5	6	7	8	9	10	
										11	12	13	14	15	16	17	
5						1	2	（23日（土）教育懇談会）		18	19	20	21	22	23	24	
月	3	4	5	6	7	8	9			25	26	27	28	29	30	31	30日（金）～1日（日）大学祭（予定）
	10	11	12	13	14	15	16		11	1	2	3	4	5	6	7	
	17	18	19	20	21	22	23		月	8	9	10	11	12	13	14	〔21日（土）は月曜日の授業実施〕
	24	25	26	27	28	29	30			15	16	17	18	19	20	21	
	31								22	23	24	25	26	27	28		
6		1	2	3	4	5	6	20日（土）授業予備日		29	30						
月	7	8	9	10	11	12	13		12			1	2	3	4	5	
	14	15	16	17	18	19	20		月	6	7	8	9	10	11	12	
	21	22	23	24	25	26	27			13	14	15	16	17	18	19	
	28	29	30						20	21	22	23	24	25	26	25日（金）年内授業一旦終了 冬期休業（12月26日～1月3日）	
7				1	2	3	4	11日（土）授業予備日 18日（土）授業予備日 27日（月）～8月1日（土）前期定期試験日		27	28	29	30	31			
月	5	6	7	8	9	10	11		1					1	2		2021年
	12	13	14	15	16	17	18		月	3	4	5	6	7	8	9	4日（月）授業再開 / 9日（土）授業予備日
	19	20	21	22	23	24	25			10	11	12	13	14	15	16	16日（土）・17日（日）大学入学共通テスト
	26	27	28	29	30	31			17	18	19	20	21	22	23	20日（水）・21日（木）授業予備日	
8							1	3日（月）前期定期試験予備日 夏期休業（8月4日～9月24日）		24	25	26	27	28	29	30	22日（金）～28日（木）後期定期試験日
月	2	3	4	5	6	7	8			31							29日（金）後期定期試験予備日
	9	10	11	12	13	14	15		2								
	16	17	18	19	20	21	22		月	7	8	9	10	11	12	13	
	23	24	25	26	27	28	29			14	15	16	17	18	19	20	
	30	31							21	22	23	24	25	26	27		
9			1	2	3	4	5			28							
月	6	7	8	9	10	11	12		3		1	2	3	4	5	6	
	13	14	15	16					月	7	8	9	10	11	12	13	
										14	15	16	17	18	19	20	
									21	22	23	24	25	26	27	25日（木）学位記授与式	
									28	29	30	31					

※注意

※注意

2020年4月21日（火）は、授業を実施いたします。
 2020年4月29日（水）は、授業を実施いたします。
 2020年11月21日（土）は、月曜日の授業を実施いたします。

※祝日は授業を実施いたしません。（4月29日を除く）

I . 甲南大学学則

甲南大学学則（抄）

※学則は、改正施行のあった最新版を掲載しています。各入学年度の学則は、ポートアイランドキャンパス事務室で閲覧できます。

第1章 総 則

第1条 本大学は、教育基本法（平成18年法律第120号）及び学校教育法（昭和22年法律第26号）に則り、学術の府として広くかつ深く学芸を教授研究するとともに、学生一人ひとりの天賦の特性を啓発し、人物教育率先の甲南学園建学の理念を実現することを目的とする。

第2章 組 織

第2条 本大学は、学部及び大学院よりなる。

第3条 本大学に次の学部・学科を置く。

学 部	学 科
文 学 部	日 本 語 日 本 文 学 科
	英 語 英 米 文 学 科
	社 会 学 科
	人 間 科 学 科
	歴 史 文 化 学 科
理 工 学 部	物 理 学 科
	生 物 学 科
	機 能 分 子 化 学 科
経 済 学 部	経 済 学 科
法 学 部	法 学 科
経 営 学 部	経 営 学 科
知 能 情 報 学 部	知 能 情 報 学 科
マ ネ ジ メ ン ト 創 造 学 部	マ ネ ジ メ ン ト 創 造 学 科
フ ロ ン テ ィ ア サ イ エ ン ス 学 部	生 命 化 学 科

第3条の2 各学部・学科における人材養成上の目的と学生に修得させるべき能力等の教育目標は、次のとおりとする。

学 部	学 科	人材養成上の目的と学生に修得させるべき能力等の教育目標
文 学 部		幅広く深い教養を基盤に、人文科学の専門分野における調査、研究技量を磨く経験を通して、問題を見出し、考え、成果を言葉で表現する力を形成する。それによって、仕事を含む人生の様々な活動に発生する問題を主体的に解決できる人材を社会に送り出す。
	日 本 語 日本文学科	古典・近現代文学・日本語学・日本語教育学等のバランスの取れた教育・研究を通して、社会での活動の基盤である日本語の理解力・表現力を鍛えることを目標とする。
	英 語 英 米 文 学 科	実践的語学教育と並行して英語学及び英米の文化・文学の教育を行い、英語圏文化の深い理解に裏打ちされた英語運用能力を持つ人材を養成し、国際化する社会の要請に応える。
	社 会 学 科	情報化、国際化の進展によって急速に変化し、多様性や不確実性が高まっている社会の中で必要とされる「自ら調査・分析・表現・発信する実証的・実践的な態度と能力」を涵養する。
	人間科学科	イメージ、言語、身体のコセプトを柱として、人間表現領域（環境・芸術・思想など）及び心理臨床領域の理論と実践を学び、社会の諸問題を多角的に捉え、柔軟に問題解決できる人材育成を目指す。
	歴 史 文 化 学 科	人類がこれまで蓄積してきた有形・無形の文化遺産及び歴史の中における生活の場としての環境と人類との交流について歴史学、地理学・民俗学の分野から探求し、これら各分野を横断する総合的立場から教育を行う。
理工学部		自然科学の強固な学問的土台を身につけて、純粋理学と応用科学を融合させることのできる能力を養い、時代の変化や科学・技術の新たな展開に対応して創造性を発揮できる人材の育成を目指す。
	物 理 学 科	時代の変化や科学・技術の新たな展開に対応して、問題の解決に果敢に挑み、創造性を発揮し、国際社会に貢献できる人材の養成を目的とし、物理学の基本的な知識及び論理的思考法・手法を講義と実験・実習科目による相補的な積み上げ方式によって修得させ、卒業研究を通して総合的な問題解決能力を養う。
	生 物 学 科	今日の社会が直面する生命や環境等に関わる諸問題を正しく理解し、それらの解決に貢献できる国際的視野を持った人材の養成を目的とし、そのために必要な現代生物学の専門知識と技術及びそれらを十分に活用するための思考力を修得させる。
	機 能 分 子 化 学 科	科学技術に携わる者に求められる責任感と倫理観を有し、化学の専門知識並びに自然科学に対する柔軟な思考力を身につけた人材の養成を目的とし、化学の基礎的な知識・豊富な経験に基づく課題設定能力・解決能力を得て、現代社会の要請に応えることのできる能力を獲得させる。
経済学部	経 済 学 科	経済学の学習を通じて、変化の激しい経済社会で充実した活動ができる知性と創造力を備えた人材を養成する。これらの人材養成上、学生が修得すべき能力として、経済・社会問題を的確に捉える能力、筋道を立てて問題を考える能力、自らの力で解決策を示す能力を求める。
法 学 部	法 学 科	法曹・行政・経済をはじめ社会の様々な分野で指導的な役割を担うことができる人材を養成するため、学生の個性尊重を旨として、法及び政治に関する専門知識の修得と思考力の涵養を通じて、個々の学生の論理的な思考力と柔軟な応用力を培うことを教育目標とする。
経営学部	経 営 学 科	ヒト・モノ・カネ・情報等からなる組織（企業）の存続・発展のあり方について、自律的な洞察力を有し、社会に資するビジネスパーソンの養成を目的とする。このために学生が修得すべき能力として、次の各能力を求める。 (1) 幅広い教養に裏付けられた経営学の知識・理解力 (2) 各種スキルと論理的思考力に支えられた経営問題の発見・説明・解決力 (3) ビジネスパーソンに必要な社会的協調力と自発的遂行力及び倫理的責任力 (4) トータルな人間性と豊かな個性に基づいた社会的貢献力

知能情報 学 部	知 能 情 報 学 科	人間力をベースに、感性・知性で高度国際情報社会におけるリーダーシップがとれる人材の育成を目指す。そのため、数学的基礎学力、知能情報学における専門知識、効果的な発表能力並びにコミュニケーション能力の修得を目標とする。
マネジメント 創造学部	マネジメント 創 造 学 科	自ら学ぶ力を涵養し、営利、非営利、パブリックなどいずれの分野にあっても、社会的責任を創造的に果たしていくマネジメント能力を開発し、世界に貢献しうる人物育成を目指す。
フロンティア サイエンス 学 部	生命化学科	教育・研究対象の中心に「生命化学」を据え、バイオテクノロジー、ナノテクノロジー及びそれらの融合領域であるナノバイオに関する知識と技能を修得させることにより、社会の発展、福祉の増進のため、とくに生命化学分野におけるフロンティア開発に資する人材を養成する。

第4条 省略

第5条 大学院に関する規程は、別に定める。

第3章 授業科目及び履修方法

第6条 本学の授業科目を基礎共通科目、国際言語文化科目、外国語科目、保健体育科目、キャリア創生共通科目、単位互換科目、西宮市大学共通単位講座、日本語特設科目、国際交流科目リカレント教育科目及び専門教育科目に分ける。

2 文学部、理工学部、経済学部、法学部、経営学部及び知能情報学部における基礎共通科目、国際言語文化科目、外国語科目、保健体育科目及びキャリア創生共通科目の授業科目及び単位数は、別表第1のとおりとする。ただし、基礎共通科目と国際言語文化科目は、そのいずれかを履修するものとする。

3 フロンティアサイエンス学部における基礎共通科目、国際言語文化科目、外国語科目、保健体育科目及びキャリア創生共通科目の授業科目及び単位数は、別表第1のとおりとする。

4 単位互換科目及び西宮市大学共通単位講座の授業科目及び単位数は、別表第1のとおりとする。

5 日本語特設科目及び国際交流科目の授業科目及び単位数は、別表第1のとおりとする。

6 リカレント教育科目の授業科目及び単位数は、別表第1のとおりとする。

7 文学部、理工学部、経済学部、法学部、経営学部及び知能情報学部における専門教育科目の授業科目、単位数、必修・選択必修等の区別は、別表第2の（1）のとおりとする。

8 マネジメント創造学部の授業科目及び単位数は、別表第2の（3）のとおりとする。

9 フロンティアサイエンス学部における専門教育科目の授業科目、単位数、必修・選択必修等の区別は、別表第2の（4）のとおりとする。

10 卒業に必要な単位数は、別表第2の（1）、別表第2の（3）及び別表第2の（4）のとおりとする。

第7条 本大学の修業年限は、4年とする。

第8条 中学校及び高等学校の教育職員免許状を得るために必要な教科及び教職に関する科目（教科に関する専門的事項の科目を除く。）の授業科目及び単位数は、別表第3のとおりとする。

第9条 教育職員免許状を得るための資格を得ようとする者は、別に定める教育職員養成課程に関する規程に従い、必要な単位を修得しなければならない。

2 本大学において、取得できる免許状の種類及び免許教科は、次のとおりとする。

学 部	学 科	免 許 教 科	免 許 状 の 種 類
文 学 部	日 本 語 日 本 文 学 科	国 語	中 学 校 教 諭 一 種 免 許 状 高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状
	英 語 英 米 文 学 科	英 語	中 学 校 教 諭 一 種 免 許 状 高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状
	社 会 学 科	社 会	中 学 校 教 諭 一 種 免 許 状
		公 民	高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状
	人 間 科 学 科	社 会	中 学 校 教 諭 一 種 免 許 状
		地 理 歴 史 公 民	高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状
	歴 史 文 化 学 科	社 会	中 学 校 教 諭 一 種 免 許 状
		地 理 歴 史	高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状
理 工 学 部	物 理 学 科 生 物 学 科 機 能 分 子 化 学 科	理 科	中 学 校 教 諭 一 種 免 許 状 高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状
経 済 学 部	経 済 学 科	社 会	中 学 校 教 諭 一 種 免 許 状
		地 理 歴 史 公 民	高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状
法 学 部	法 学 科	社 会	中 学 校 教 諭 一 種 免 許 状
		地 理 歴 史 公 民	高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状
経 営 学 部	経 営 学 科	社 会	中 学 校 教 諭 一 種 免 許 状
		公 民 商 業	高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状
知 能 情 報 学 部	知 能 情 報 学 科	数 学	中 学 校 教 諭 一 種 免 許 状 高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状
		情 報	高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状

第 10 条 図書館司書又は学校図書館司書教諭の資格を得ようとする者は、別表第4の（1）に定めるところに従い、必要な専門教育科目の単位を修得しなければならない。

第 10 条の2 博物館学芸員の資格を得ようとする者は、別表第4の（2）に定めるところに従い、必要な専門教育科目の単位を修得しなければならない。

第 10 条の3 公認心理師の受験資格を得るために大学において必要な科目を修めようとする者は、別表第4の（3）に定めるところに従い、必要な専門教育科目の単位を修得しなければならない。

第 11 条 各授業科目の単位数は、1 単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもつて構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算する。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲の授業をもつて1 単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲の授業をもつて1 単位とする。
- (3) 一つの授業科目のなかで、講義、演習、実験、実習又は実技のうち2 以上の方法の併用により行う場合の授業科目については、その組み合わせに応じ、前2 号に規定する基準を考慮して定める時間の授業をもつて1 単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究及び卒業実験等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して単位数を定めることができる。

第 11 条の 2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 本大学は、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3 本大学は、第 1 項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

4 本大学は、第 1 項の授業の一部を、校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。

第 11 条の 3 学生に対して、授業の方法及び内容並びに 1 年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

2 学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

第 4 章 試験及び学士の学位

第 12 条 学生は、学期の初めに履修を希望する授業科目を届け出て承認を得なければならない。

第 12 条の 2 教育上有益と認めるときは、他の大学（外国の大学を含む。）との協議に基づき、学生に当該大学の授業科目を履修させることがある。

2 前項により修得した単位は、60単位を限度として、本大学において修得した単位とみなすことができる。

3 第 1 項の規定に基づく外国留学（以下「留学」という。）に関しては、この学則に定めるもののほか別に定める。

第 13 条 単位の認定は、試験その他適当な方法による。ただし、実験、実習、演習、体育の実技等は、平常の成績によることができる。

2 授業科目の成績の評価は、秀（A A）・優（A）・良（B）・可（C）・不可（D）の 5 種とし、その評点は、100点を満点として次のとおり定める。

秀	（A A）	90点以上	}	合 格
優	（A）	80点以上90点未満		
良	（B）	70点以上80点未満		
可	（C）	60点以上70点未満		
不可	（D）	60点未満		不合格

第 14 条 試験は、原則として学期末又は学年末に行う。

第 15 条 削除

第 16 条 4 年以上在学して第 6 条に掲げられた所定の授業科目及び履修方法により卒業に必要な単位数を修得した者には、学部教授会及び合同教授会の審議を経て、学長が卒業を認定し、卒業証書・学位記を授与する。

2 本大学に 3 年以上在学した学生が、別に定める規程に従い卒業に必要な単位を優秀な成績で修得したと認められる場合には、第 7 条に規定する修業年限の特例扱いとして学部教授会及び合同教授

会の審議を経て、学長が卒業を認定し、卒業証書・学位記を授与することができる。

第 16 条の 2 前条第 1 項の定めにかかわらず、卒業に必要な要件を満たした者が目標とする進路、資格等を獲得するために卒業を保留し、引き続き在学を希望した場合、学部教授会及び合同教授会の審議を経て、学長は卒業の延期を許可することができる。

文	学	部	日 本 語 日 本 文 学 科	学 士 (文 学)			
			英 語 英 米 文 学 科	学 士 (文 学)			
			社 会 学 科	学 士 (社会学)			
			人 間 科 学 科	学 士 (文 学)			
			歴 史 文 化 学 科	学 士 (文 学)			
理	工	学	部	物 理 学 科	学 士 (理 学) 又は学 士 (理工学)		
				生 物 学 科	学 士 (理 学)		
				機 能 分 子 化 学 科	学 士 (理工学)		
経	済	学	部	経 済 学 科	学 士 (経済学)		
法		学	部	法 学 科	学 士 (法 学)		
経	営	学	部	経 営 学 科	学 士 (経営学)		
知	能	情	報	学	部	知 能 情 報 学 科	学 士 (工 学)、学 士 (理 学)
						又は学 士 (情報学)	
マ ネ ジ メ ン ト 創 造 学 部				マ ネ ジ メ ン ト 創 造 学 科	学 士 (マ ネ ジ メ ン ト)		
フ ロ ン テ ィ ア サ イ エ ン ス 学 部				生 命 化 学 科	学 士 (理工学)		

2 卒業の延期に関する事項については、別に定める。

第 17 条 本大学を卒業した者には、学部及び学科に応じて、次のとおり学士の学位を授与する。

第 5 章 学年、学期及び休業日

第 18 条 学年は、4 月 1 日に始まり翌年 3 月 31 日に終わる。

第 19 条 学年は、前期・後期の 2 学期に分ける。

前期 4 月 1 日～9 月 16 日

後期 9 月 17 日～3 月 31 日

第 20 条 休業日を次のとおり定める。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日
- (3) 本学園創立記念日（4 月 21 日）
- (4) 夏期休業日、冬期休業日は学年暦によるものとする。

2 学長は、学年暦編成上必要ある場合は、前項の休業日を授業日に変更することができる。

3 学長は、必要に応じ臨時に授業を休止又は変更することができる。

第6章 入学、転学部、留学、休学、除籍及び退学

第21条 入学の時期は、学年初めとする。

第22条 本大学の第1年次に入学する資格のある者は、次の各号のいずれかに該当するものとする。

- (1) 高等学校又は中等教育学校の卒業者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (7) その他相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると学長が認めた者

第23条 入学は、選考によつて学長が決定する。

第24条 選考によつて入学を決定された者は、所定の期日までに入学に必要な手続をしなければならない。

第25条 本大学への編入学を願い出る者があるときは、選考の上、学長は、これを許可することができる。

2 編入学についての細則は、別に定める。

第26条 本大学を卒業し、さらに本大学の他の学部及び学科に学士入学を願い出る者があるときは、選考の上、学長は、これを許可することができる。

2 学士入学についての細則は、別に定める。

第27条 他の学部へ転学部を願い出る者があるときは、選考の上、学長は、これを許可することができる。

2 転学部についての細則は、別に定める。

第27条の2 第12条の2の規定に基づく留学を希望する者は、願い出て学長の許可を受けなければならない。

2 前項により留学をした期間は、第16条及び第29条に規定する在学期間に算入する。

第28条 疾病その他やむを得ない理由により休学を願い出る者があるときは、学長は、これを許可することができる。

2 疾病のため修学に適さないと認められる者については、学長が休学を命ずることがある。

3 海外渡航の期間が6箇月以上にわたるときは、休学しなければならない。

4 休学の期間は、継続して2年を、通算して4年を超えることができない。

5 休学期間中に復学を願い出る者があるときは、学長は、これを許可することができる。

6 休学の期間は、第16条及び次条に規定する在学期間に算入しない。

第 29 条 本大学に在学する期間は、8 年を超えることができない。

2 在学期間が8 年を超える場合は、除籍する。

第 30 条 学費を納付しない者は、除籍する。ただし、1 年以内に復籍を願い出たとき、又は1 年経過後再入学を願い出たときは、審議の上、学長は、これを許可することができる。

第 30 条の2 死亡又は行方不明となつた者は、除籍する。

第 31 条 疾病その他やむを得ない理由によつて退学しようとするときは、学長の許可を受けなければならない。

第 32 条 前条により退学した者が再入学を願い出たときは、選考の上、学長は、これを許可することができる。

第 33 条 他の大学へ入学又は転学を願い出ようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

第7章 科目等履修生、研究生、聴講生、特別聴講生及び高大連携 聴講生

第 34 条 特定の授業科目について履修を願い出る者があるときは、選考の上、学長は、科目等履修生として許可することができる。

2 科目等履修生規程については、別に定める。

第 34 条の2 本大学専任教員の指導を受け、特定の事項について研究をしようとする者があるときは、選考の上、学長は、研究生として許可することができる。

2 研究生規程については、別に定める。

第 34 条の3 特定の授業科目について聴講を願い出る者があるときは、選考の上、学長は、聴講生として許可することができる。

2 聴講生規程については、別に定める。

第 34 条の4 他の大学との協議に基づき、本大学の授業科目を履修させる場合には、選考の上、学長は、特別聴講生として許可することができる。

第 34 条の5 甲南高等学校との協議及び教育委員会又は高等学校との協定に基づき、当該高校生が本大学が指定する授業科目の聴講を願い出る場合は、選考の上、学長は、高大連携聴講生として許可することができる。

2 高大連携聴講生については、別に定める。

第7章の2 外国人留学生

第 34 条の6 出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）に定める留学という在留資格の取得を必要とする者が、本大学に入学しようとする場合は、選考の上、学長は、外国人留学生として、入学を許可することができる。

2 外国人留学生の受入れについては、別に定める。

第8章 賞 罰

第 35 条 学業、人物、文化芸術、運動等の分野において優秀な者は表彰する。

第 36 条 学生に本大学の規則に違反し、又は学生の本分にもとる行為があると認めたときは、合同教授会の審議を経て、学長が懲戒を決定する。

2 学生の懲戒に関する規程は、別に定める。

第 37 条 懲戒処分は、訓告、停学及び退学とする。退学は、次の各号のいずれかに該当する者について行う。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当な理由がなくて出席が常でない者
- (4) 本大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第9章 入学受験料、科目等履修生検定料、研究生申請料、聴講生検定料、入学金、授業料、施設設備費、設備充実費、教育充実費、研究資料費、実験費、実習費、復籍料、在籍料、学修在籍料、科目等履修料、研究生登録料及び聴講料

第 38 条 本大学に入学を願い出る者は、別表第 5 に定める入学受験料を納付しなければならない。

2 本大学に科目等履修生を願い出る者は、別表第 5 に定める科目等履修生検定料を納付しなければならない。

3 研究生を願い出る者は、別表第 5 に定める研究生申請料を納付しなければならない。

4 聴講生を願い出る者は、別表第 5 に定める聴講生検定料を納付しなければならない。

第 39 条 本大学に入学を許可された者は、別表第 6 に定める入学金を納付しなければならない。

第 40 条 学生は、別表第 7 の(1)に定める授業料及び施設設備費を納付しなければならない。実験又は実習を要する授業科目を履修する者は、別表第 7 の(2)に定める実験費又は別表第 7 の(3)に定める実習費を納付しなければならない。

2 理工学部及び知能情報学部学生は、別表第 7 の(1)に定める設備充実費を納付しなければならない。

3 マネジメント創造学部学生は、別表第 7 の(1)に定める教育充実費を納付しなければならない。

4 フロンティアサイエンス学部学生は、別表第 7 の(1)に定める設備充実費及び教育充実費を納付しなければならない。

5 文学部人間科学科 1 年次学生は、別表第 7 の(1)に定める研究資料費を納付しなければならない。

6 休学中の者は、別表第 7 の(4)に定める在籍料を納付しなければならない。

7 第30条により復籍を許可された者は、復籍料を納付しなければならない。

8 第16条の 2 により卒業の延期を許可された者は、別表第 7 の(6)に定める学修在籍料を納付しなければならない。

第 41 条 科目等履修生は、別表第 7 の(5)に定める科目等履修料を納付しなければならない。

第 41 条の 2 研究生は、別表第 7 の(5)に定める研究生登録料を納付しなければならない。

第 41 条の 3 聴講生は、別表第 7 の(5)に定める聴講料を納付しなければならない。

第 42 条 入学金、授業料、施設設備費、設備充実費、教育充実費、研究資料費、実験費、実習費、復籍料、在籍料、学修在籍料、科目等履修料、研究生登録料、聴講料等の学費及び入学受験料、科目等履修生検定料、研究生申請料、聴講生検定料の徴収については、別に定める。

第 43 条 既納の学費、入学受験料、科目等履修生検定料、研究生申請料及び聴講生検定料は、返還しない。

2 入学許可を得た者で、指定の期日までに入学手続きの取消しを願い出たものについては、前項にかかわらず、入学金又はこれに相当する金額を除く学費を返還することがある。

(第10章～第19章、別表第 1～第 7 及び附則は省略)

※ P. 9 の別表第 2 の(4)の内容については、39ページ以下のフロンティアサイエンス学部生命化学科授業科目表がこれにあたる。

Ⅱ． ～フロンティアサイエンス学部～ 基 本 編

学生生活を送る上で知っておいてほしいことー各種手続・窓口案内

□ ポートアイランドキャンパス事務室について

みなさんの学生生活をサポートするための様々なサービスを提供しています。書類の提出や各種手続きなど、分からないことがあれば、気軽に相談に来てください。開室時間は以下のとおりです。

平日 8 時 45 分から 18 時まで（土曜日は 8 時 45 分から 13 時まで）

※日曜日・祝日・年末年始・お盆期間・夏期一斉休務日（夏期休暇期間）は閉室。

※夏期休暇期間中の開室時間は平日 10 時から 16 時まで。土曜日は閉室。

※春期休暇期間中の開室時間は平日 8 時 45 分から 17 時まで。土曜日は 8 時 45 分から 13 時まで。

□ 証明書の発行について

ポートアイランドキャンパスの学生は、各種証明書（在学証明書・成績証明書・学修簿・学割証等）の発行をポートアイランドキャンパス事務室で申請することが可能です。必要な場合は申し出てください。

※なお、岡本キャンパスでも 1 号館 1 階エレベータ前に設置している証明書自動発行機で発行可能です。岡本キャンパスでの発行方法は以下のとおりです。

1 号館 1 階エレベータ前にある証明書自動発行機では、各種証明書の発行をすることができます。

《証明書自動発行機で発行できる証明書》

- ・健康診断証明書
- ・学修簿
- ・在学証明書（和文）
- ・成績証明書（和文）
- ・卒業（修了）見込証明書（和文）等

※上記以外の証明書は、教務部（3 号館 1 階）にて対応しますので、お問い合わせください。

☆発行には、パスワードが必要です。

パスワードは、ガイダンスでお知らせします。



□ 〈My KONAN〉と掲示板を毎日確認しよう！

大学からの連絡はポータルサイト〈My KONAN〉または掲示板（ポートアイランドキャンパス 1 階の事務室内掲示板、岡本キャンパス 1・3 号館掲示板）を通じて行われます。大学から皆さんに個別に連絡をすることはありません。全て自ら行動し、情報を集めることが求められます。

〈My KONAN〉は、みなさんが大学生活をおくるうえで必要な情報にアクセスする窓口として、掲示情報、履修登録、シラバス、時間割照会、課題提出などから構成される学生ポータルサイトです。授業に関することはもちろん、大学からの伝達事項や講演会のお知らせなど甲南大学の諸活動を知ることができます。また、掲示板には、試験時間割、レポート、小テストや呼び出しなどの重要な情報が掲示されています。

これらの告示、通知、呼び出し等を見なかったために自分自身に不都合が生じても、自己責任となります。常に最新の情報を確認する習慣を身につけ、責任をもって行動するようにしてください。

□ 〈My KONAN〉について



各機能の詳しい操作方法は、
こちらを確認してください。

履修登録をした授業の時間割が表示されます。

また、休講や補講、教室変更の情報も表示されます。

- ・休講（授業が休みになること）
- ・補講（休講分の授業を別日程で行うこと）
- ・教室変更（授業実施場所を変更すること）

メールアドレスを登録することで、これらの情報をメールで受け取ることもできます。

✧ 左は、〈My KONAN〉へログインした後のポータルトップ画面です。ポータルトップ画面では、掲示情報を確認することができます。

✧ メインメニューから各機能を利用することができます。

✧ インフォメーションエリアのアイコンをクリックすると各機能を利用することができます。また、各アイコンの右上に表示されている数字は掲示や連絡の未読件数を表します。掲示等は頻繁に確認してください。

① ログイン方法

【パソコン版】

- 学内の実習室や自由利用教室のパソコンでインターネットブラウザを起動すると、〈 My KONAN 〉のログイン画面が表示されます。
- 学外から利用するには、甲南大学のホームページ [https:// www.konan-u.ac.jp /](https://www.konan-u.ac.jp/)にある〈 My KONAN 〉をクリックしてください。

【スマートフォン版】

- 以下の QR コードをスマートフォンで読み取ってアクセスしてください。



キャンパス内で、歩きながらスマートフォン等を操作することは禁止されています。

キャンパス内外に関わらず、歩きスマホはやめましょう。

主な機能	PC版	スマートフォン版	主な機能	PC版	スマートフォン版
学籍・クラス・判定情報	●	●	マイステップ登録	●	●
成績照会	●	●	指導主任への連絡	●	●
授業出欠状況確認	●	●	教員スケジュール	●	●
授業改善アンケート結果	●	●	セミナー申込	●	●
履修関係書類	●	●	iCommons施設予約	●	●
学生時間割表	●	●	白川台キャンパス予約	●	●
試験時間割表	●	●	【クラスプロフィール】		
集中講義日程（岡本）	●	●	コース学習	●	●
変則講義日程（岡本）	●	●	学習状況	●	●
授業時間割表（PDF）	●	●	授業資料	●	●
掲示板	●	●	課題	●	●
アンケート回答	●	●	テスト	●	●
シラバス検索	●	●	クリッカー	●	●
履修登録	●	●	プロジェクト	●	●
授業科目抽選希望登録	●	●	WebNote	●	●
コース等各種希望申請	●	●	授業に関する問い合わせ	●	●
学修ポートフォリオ	●	—			

※各メニューは、時期によって表示されない場合があります。

〈My KONAN〉 利用上の注意事項

- ① 深夜3：00～5：30はメンテナンスのため利用できません。
- ② 推奨環境以外の環境を使用すると、予期せぬエラーが発生することがあります。推奨環境以外の環境で履修登録や課題提出などを行った結果、登録ができていなかったなどのクレームには一切応じませんので注意してください。
- ③ ブラウザのツールバーの「戻る」ボタンは使用しないこと
「ページ有効期限切れ」と表示され、予期せぬ障害が発生する可能性があります。

推奨環境（PC版）

OS	Windows 8/8.1 Windows 10 Mac OS X 10.9以上
ブラウザ	Internet Explorer 11 Microsoft Edge（最新版） Mozilla Firefox（最新版） Safari（最新版）

推奨環境（スマートフォン版）

OS	iOS 10.0以上 Android 5.0以降
ブラウザ	Safari（最新版を推奨） Chrome（最新版を推奨）

② メール配信設定方法

メールアドレスを登録することで、＜ My KONAN ＞の掲示情報をメールで受信することができます。

(ア) ＜ My KONAN ＞にログインし、トップメニュー右上にある、「setting」アイコンをクリックします。

(イ) メールアドレスを入力し、「保存」ボタンをクリックします。

▼ メールアドレス設定

システムで利用するメールアドレスを設定します。

連絡用メールアドレス

任意メールアドレス

追加

※追加ボタンをクリックすると、設定したメールアドレスに確認メールが送信されます。

☐	メールアドレス	種類
☐	対象データがありません。	

※連絡用メールアドレス： 全てのお知らせが届きます。
任意メールアドレス： お知らせの内容によって、配信停止の設定ができます。

保存

(ウ) 「任意メールアドレス」に登録したアドレスに配信を希望しないカテゴリがある場合は、「配信拒否設定」の“配信停止”タブを「はい」に切り替え、下部の「保存」ボタンをクリックします。

配信停止設定を行います。

用途	カテゴリ	配信停止
		任意メールアドレス
アンケート対象者掲示…	アンケート依頼	☐ いいえ
掲示配信	緊急連絡	☐ いいえ

※添付ファイルは、メールで参照することはできません。＜ My KONAN ＞にログインして確認してください。

学生生活を送る上で知っておいてほしいことー施設・設備等について

□ 甲南大学ポートアイランドキャンパスについて

フロンティアサイエンス学部（FIRST）での教育・研究は、主に、甲南大学ポートアイランドキャンパスにある F-1号館で実施されます。

F-1号館は、本学部の他に、甲南大学先端生命工学研究所（FIBER）も使用するため、その通称には学部名などを入れず、『甲南 FAME ポートアイランド』という名称になっています。しかし、本書では便宜上、F-1号館内のフロンティアサイエンス学部の学生が主に使用する部屋や施設、さらに共用スペースを総じて、フロンティアサイエンス学部棟（FIRST 棟）と称することとします。なお、同様に先端生命工学研究所が主に使用するスペースと共用スペースを先端生命工学研究所棟（FIBER 棟）と称します。なお、FIRST は、「Frontiers of Innovative Research in Science and Technology」、FIBER は、「Frontier Institute for Biomolecular Engineering Research」、FAME は、「Future Atlas from Molecules to the Earth」（分子から地球への未来地図）をそれぞれ略記したものです。

□ フロンティアサイエンス学部棟（FIRST 棟）

授業では主に FIRST 棟（F-1号館）の 2 階にある講義室と高大連携実験室を使用します。棟内には、下記のように教室等を配置しています。詳細については、「ポートアイランドキャンパス F-1号館フロアマップ」を参照してください。

階	講義室等
7 階	カフェテリア、売店、レクチャーホール、レクチャールーム
6 階	研究室、講義室、実験室、大学院生室、ミーティングルーム、マイラボ
5 階	研究室、実験室、大学院生室、ミーティングルーム、マイラボ
4 階	研究室、実験室、大学院生室、ミーティングルーム、マイラボ
3 階	研究室、実験室、大学院生室、ミーティングルーム、マイラボ
2 階	講義室、高大連携実験室、自動販売機コーナー、カフェテラス
1 階	事務室、図書室、共通測定室

※ F-1号館 3 階から 6 階の北のウィングは先端生命工学研究所のスペース（FIBER 棟）です。皆さんは許可無く立ち入らないようにしてください。

また、ポートアイランドキャンパスでは分煙ブース（ポートアイランドキャンパス西側サービスエントランス前）以外は、禁煙となっています。喫煙する者は、必ず分煙ブースで喫煙することとし、他の場所での喫煙は絶対に行わないでください。なお、未成年者の喫煙・飲酒は禁止されています。見つけた場合は厳しく処分します。

□ F-1号館の入館方法とセキュリティについて

F-1号館では高度なセキュリティを維持するため、一部のゾーンに立ち入るためには、そのゾーンへの立ち入り許可を受けた学生証が必要になります。講義室やカフェテリア等には自由に出入りできま

すが、皆さんが頻繁に使用するマイラボや図書室に入室するためには、学生証が必要となります。登校時には学生証を必ず携帯してください。学生証を忘れた場合はポートアイランドキャンパス管理室で仮カードを貸出しています。貸出を希望する場合はポートアイランドキャンパス事務室まで申し出てください。

※学生証の貸与や、立入り許可のない人の入室を手助けする等の行為は処罰の対象になることがあります。万一、学生証を紛失・破損した場合には、速やかにポートアイランドキャンパス事務室に届け出てください。学生証の再発行には手数料として1,000円が必要になりますので、大切に扱ってください。

※学生証は I C チップカードになっていますので、他の非接触 I C カードを財布に入れた状態で I C カードを同時にかざすと、誤作動が起こります。使用時には、必ず学生証だけ取り出して使用してください。

□ 入館及び退館について

正面玄関の自動扉は月曜日から土曜日の 8 時から 18 時まで開放しています。

F-1 号館及びマイラボへは平日・休日とも 7 時から 21 時 30 分まで立ち入り可能です。自動扉が開放されていない場合は正面玄関の入口左に設置しているカードリーダーに学生証をかざして自動扉横の通用口から入館してください。

□ 各学年のキャンパス退館時間について

1 年次から 3 年次前期までは、21 時 30 分までにポートアイランドキャンパスから退館してください。

※研究室配属後に研究上の理由で 22 時以降も研究室・実験室を使用する場合は、必ず指導教員の許可を得た上で「夜間実験室利用届」をポートアイランドキャンパス管理室まで提出してください。

□ 長期休業期間中（夏期・冬期）の入館・退館について

長期休業期間中、ポートアイランドキャンパス事務室が閉室している場合、正面入口から入館することができません。ポートアイランドキャンパスの西側にあるポートアイランドキャンパス管理室側入口から入館し、入館時及び退館時に管理簿に必要事項を記入してください。長期休業期間中でも退館時間を守るよう、注意してください。

□ マイラボ

FIRST 棟（F-1 号館）の 3 階から 6 階には、「マイラボ」と呼ばれる研究・学習用スペースが設けられており、皆さんが使用できる机、イス、ロッカーが、各自に 1 セットずつ用意されています。課題の克服、自主的な発展学習、レポートの作成等、自らの能力向上のために有効に活用してください。また無線 LAN も備えていますので、インターネットを通じた情報収集で学習に役立ててください。

なお、「マイラボ」は研究・学習スペースであるため教員や研究員等の研究エリア内に設置されています。使用に際しては、IV. 重要なメッセージ～ポートアイランドでの学びについて～をよく読み、FIRST での学びの主旨をよく理解した上で使用してください。インターネットの設定及び使用上の注意については、別途説明会を実施します。皆さんが使用するフロア（3 階から 6 階）及び机、イス、

ロッカーの割り振りについては、別途指示します。使用するフロアや場所は定期的に変更されますので、机、イス、ロッカー等は大切に扱ってください。

□ 図書室の利用

F-1号館にある図書室は入口のセキュリティゲートに学生証をかざすことによって入室することができます。図書の貸出・返却については、図書自動貸出返却装置で手続きをしてください。図書室内に設置しているコピー機で複写できるのは、図書室に所蔵している資料のみです。

また、岡本キャンパスにある図書館、雑誌館及びサイバーライブラリを利用することができます。利用方法については履修指導後に行われる図書館オリエンテーションで説明します。

□ 講義室の貸出について

自主学习や発表練習などを行う際に、講義室を使用することが可能です。使用する場合はポートアイランドキャンパス事務室に申し出てください。（講義・会議・イベント等での使用を優先します。）

また、試験期間前に自主学习で使用を希望する際には、指定された講義室を利用してください。

□ 「202講義室」の開放について

キャンパス内の学生の憩いの場・フリースペースとして、2階の202講義室を自由利用教室として開放します。利用可能日時は、次の通りです。

・平日・土曜・授業実施日 8時30分～21時30分

〔日曜・祝日(授業実施日を除く)・ポートアイランドキャンパス事務室の閉室日は利用不可とします。〕

※ただし、講義・会議・イベント等での使用を優先します。講義室内のA V機器や電話は利用できません。

□ 遊具の貸出について

ポートアイランドキャンパスでは遊具の貸出を行っています。希望する場合はポートアイランドキャンパス管理室に申し出てください。（貸出時間に制限があります。）

□ マイラボ複合機（コピー・プリンタ・スキャナ）の利用について

マイラボの3階と5階に設置している複合機では、I C学生証で個人認証することによって、コピー・プリンタ・スキャナ機能を自由に利用できます。なお、認証した個人別にプリントカウンタを集計しており、岡本キャンパスとは別に、モノクロ1000枚、カラー100枚まで印刷することができますが、学修目的以外の不正プリントを行わないようにしてください。また、プリンタ機能を使うためには個人利用のP Cに専用のプリンタドライバをインストールし、プリンタ設定を行う必要がありますので、P C設定ガイダンス（日程等詳細は〈My KONAN〉でお知らせします。）には必ず参加してください。

□ 遺失物について

キャンパス内での忘れ物は一旦ポートアイランドキャンパス事務室に保管されます。それらの遺失物は一定期間後、引き取り手がない場合は処分します。

□ キャリア支援について

ポートアイランドキャンパスでのキャリアに関する相談はキャリアカウンセラーやキャリア担当の職員が対応します。また、求人情報やキャリア関連書籍・雑誌も十分取りそろえてあります。

なお、ポートアイランドキャンパスの他、岡本キャンパスのキャリアセンターでも、各種キャリアイベントやセミナー、リードオフセミナーなどを実施しています。早い段階で将来のキャリアデザインについて意識をもち、積極的な活用を図りましょう。

□ 指導主任

入学すると、主担当（1名）及び副担当（2名）の指導主任が割り当てられます。主担当教員は研究室配属まで同じ教員で、副担当教員は定期的に変更されます。学修上や大学生活上の問題については、これら担当教員が相談に乗ります。科目選択をはじめ、気軽に相談してください。なお、副担当の1名は、皆さんに割り当てられたマイラボと同一フロアにいる教員が担当となります。

□ 各種奨学金の申請について

日本学生支援機構・甲南大学独自の奨学金等、様々な奨学金制度を準備しています。新規で申請したい場合や申請について質問があれば、ポートアイランドキャンパス事務室まで申し出てください。

□ 医務室・学生サロン室の利用について

学内でけがをした場合や体調が悪い場合は1階の医務室を利用することが可能です。開室時間は平日10時から18時（原則、土曜日は閉室）となっています。学生サロン室（医務室の開室時間中は開放しています）はちょっと疲れたとき、静かに休憩したいとき、友達とゆっくり話したいときなどに、自由に利用してください。湯茶のセルフサービス、図書や雑誌の閲覧と貸し出し、CD・DVDの視聴などができます。

学生生活を送る上で知っておいてほしいことー情報編

□ パーソナルコンピュータとインターネット

皆さんの効果的な学習のため、各自がパーソナルコンピュータ（PC）1台をマイラボに用意しておくことになっています。インターネットでの情報収集や実験のレポート作成に欠かせないもので、必ず用意してください。必要なハードウェアスペックやソフトウェア及び具体的な機種選定については、入学式後に行われる新入生オリエンテーションにて相談会を実施、もしくは担当教員がお知らせします。またPCは、演習系科目「科学英語コミュニケーション」「プレゼンテーション演習」においても使用しますので、必ずノート型PCを用意してください。

また、PCの設定に関して、「科学英語コミュニケーション」「プレゼンテーション演習」等の授業で皆さんのPC上の資料をスクリーンに映す際に、PC名が必要となります。教員がPC名を把握できるように、PC名は【学籍番号_名字（ローマ字）】と設定してください（例：12091099_Hirao）。

インターネットに関する設定や注意事項等は、4月に実施するPC講習会で説明を行います。

□ 自由利用パソコンについて

マイラボの各階に、自由利用パソコンを1台設置しています。パソコンを忘れてしまった場合はこちらを使用してください。ただし、移動・持ち出しは禁止されています。

※パソコンを忘れてしまっても、事務室で貸出は行っておりません。

□ ユーザID、パスワード及び電子メールアドレス

入学と同時に学内の情報システム（パソコン、〈My KONAN〉、Office365、無線ネットワーク接続など）を利用するために必要となる、ユーザIDとメールアドレスが付与されます。なお、初期パスワードはガイダンス等で通知します。

学籍情報	ユーザ ID（8ケタ）	
	1 ケタ 目	下 7 ケタ
学部生	s	学籍番号の 下 7 ケタ (例) 学籍番号 <u>1</u> 2 0 9 1 9 9 7 ↓ ユーザ ID <u>s</u> 2 0 9 1 9 9 7
大学院生（修士課程）	m	
大学院生（博士課程）	d	
聴講生	a	
科目等履修生	c	
研究生	r	
電子メールアドレス：ユーザID@s.konan-u.ac.jp		

□ パスワードの変更

自身の情報を守るため、初期パスワード通知後すぐに、必ずパスワードを変更してください。また、必ず定期的に変更を行ってください。

(1) パスワード変更方法

「情報システム室」のホームページ (<http://www.konan-u.ac.jp/system/>) の「サービス案内」→「パスワード変更（学内のみ）」をクリックすると変更画面が開きます。

(2) パスワードポリシー

- ・ 6文字以上～20文字以内、半角英数混在
- ・ 使用できる文字種（大小英文字、数字、記号）全てを組み合わせる。
- ・ 辞書に載っているような単語や人名は使用を避ける。
- ・ 自分に覚えやすく、他人に推測されにくい文字列。
※学籍番号、氏名、電話番号、生年月日等も他人に推測されやすい文字列です。
- ※パスワードを忘れた場合には、「情報システム室」で再設定が必要です。

□ Microsoft Office365

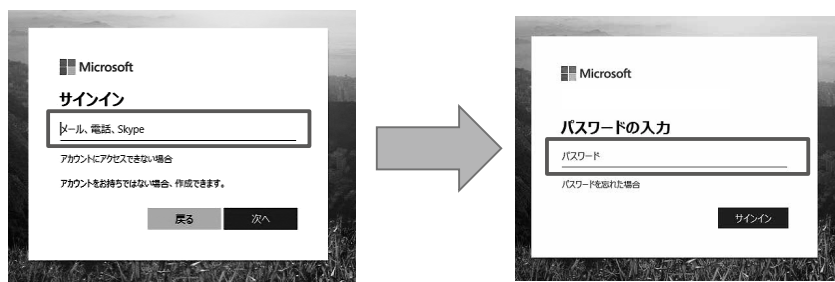
Office365 とは、Microsoft 社が提供するクラウドサービスであり、大学のメールのほか、Excel、Word、PowerPoint などを含む最新の Microsoft Office 等が利用できるサービスです。

本学は、Microsoft 包括ライセンスを導入していますので、全学生が利用可能です。Office365 は、オンラインでの利用のほか、無償で自分のパソコンに最新版の Office をインストールすることも可能です。

(1) 利用方法

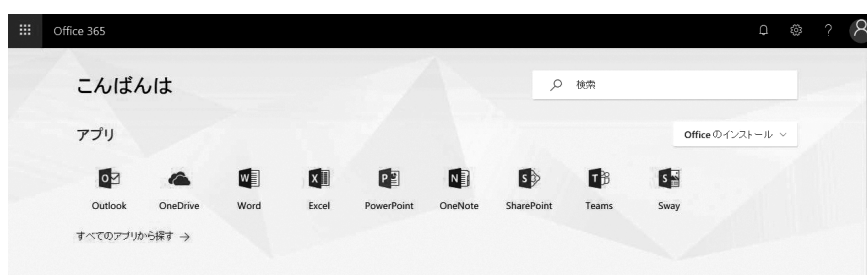
パソコンやスマートフォンから Microsoft Office365 を使うことができます。

- ① ブラウザから Office365 のポータル (<https://portal.office.com/>) を開き、Office365 メールアドレス、パスワードを入力します。



※ Office365 のポータルは情報システム室のホームページや〈My KONAN〉から開く事ができます。

- ② Office365 メニューが表示されます。



□ 電子メール

自宅やモバイル環境から、大学の電子メールアドレスで送受信が可能です。Office365 のメニューから「Outlook」を選択します。

大学の電子メールアドレスは、教育研究のためのものです。安易な情報発信が招く大きな代償について理解し、全世界に情報発信する自覚と責任を持ってください。

受信したメールをスマートフォン等に転送したり、Outlook アプリをインストールしてスマートフォンで直接利用することができます。設定方法については、「情報システム室」のホームページの利用マニュアルを参照ください。

□ データの保存

授業課題等を Office365 の「One Drive」に保存することで、インターネット接続環境があれば、どのパソコンからでも保存したファイルを開覧・編集することが可能です。ファイルを保存する場合は、保存先に Microsoft Office365 の「One Drive」（学内パソコンを使用する場合は、保存先に「OneDrive (O:)」）を指定してください。

□ 個人のパソコンに Office をインストールする

インターネット経由で、最新版の Word や Excel 等の Microsoft Office ソフトを無償で自分のパソコンにインストールできます。Office365 のメニューから「Office のインストール」を選択します。

- ・学生 1 人につき、5 台の PC までインストール可能（Windows または Mac）
- ・インストールされた Office は在学中のみ利用可能です。卒業や退学後（アカウント停止後）は利用できませんので、引き続き Office を使用する場合は、市販のライセンスを購入してください。
- ・現行の最新版と同等ですが、今後 Office の最新バージョンがリリースされると、インストールできる Office も最新版となります。
- ・インストール完了後、1 ヶ月に 1 度、インターネット経由で自動的に Microsoft とライセンス認証が行われます。そのため 1 ヶ月に 1 度は、インターネットに接続して Office を利用するようにしてください。認証がない場合は、一定期間後に機能制限モードとなり、新規作成・編集はできません。

□ 無線ネットワーク接続

キャンパス内には無線 LAN 対応エリアがあります。個人のノートパソコンやスマートフォン等を専用システムに登録することで、無線 LAN 接続が可能となります。ただし、セキュリティ上、不審な動作をする端末は接続を遮断することがあります。また、教育研究目的以外（私的利用等）での無線 LAN 接続は行わないよう、適切な利用を心掛けてください。

※接続にあたっては、ウイルス対策ソフトのインストールや Windows Update が必要です。

※無線 LAN 対応エリアは情報システム室のホームページで確認してください。

初回接続方法

- ・「konan-net」に初めて接続する端末は端末情報登録が必要となります。登録後は自動接続が可能です。
- ・一定期間、「konan-net」に接続を行わなかった場合、端末情報が削除されますのでその際は再度登録を行ってください。

①無線 LAN 対応エリア内で、端末の Wi-Fi 一覧から「SSID：konan-net」を選択

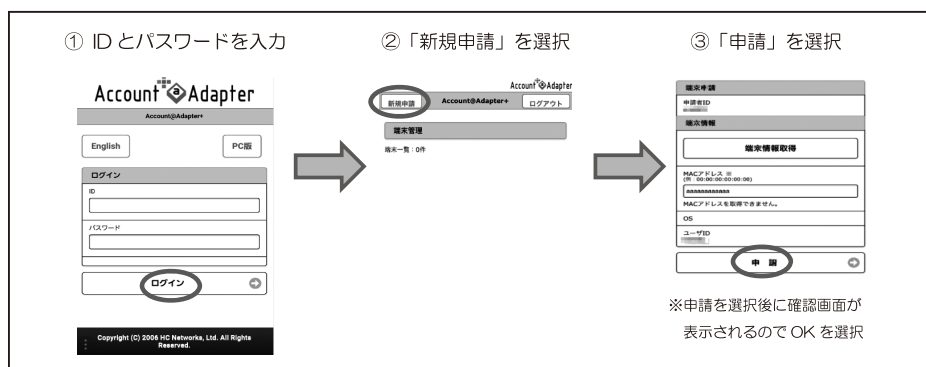
※ SSID の暗号化キーは、セキュリティ上、学内 PC 教室等に設置されたパソコンから「情報システム室」のホームページに接続することでのみ確認可能です。携帯電話回線からの接続では確認できません。

<https://www.konan-u.ac.jp/system/service/wireless/ssid>

(情報システム室ホームページ ⇒ 無線 LAN を利用するには ⇒ 利用可能な場所・SSID 一覧)

②ブラウザを起動し、端末登録システム (Account Adapter) に情報教育アカウント ID とパスワードを入力してログインしてください。ログイン後は以下の手順に沿って端末登録を行ってください。

Account Adapter ログインページ URL：<https://devauth-1.konan-u.ac.jp/user/>



③申請完了後は一旦ブラウザを終了してください。初回のみ端末登録処理に約 5 分程度かかりますので、5 分経過後にインターネットに接続可能となります。

□ VPN 接続 (SSL-VPN)

自宅から学内に限定された外部データベース検索(図書館のホームページ)やブラウザ上のサービスが以下の URL より利用できます。

(<https://www.konan-u.ac.jp/system/service/vpn>)

□ ウイルス対策ソフト包括ライセンス

キャンパス内への持ち込みパソコンには必ずウイルス対策ソフトをインストールしましょう！

甲南大学ではトレンドマイクロ社が販売する学校法人向けウイルス対策ソフトウェア包括ライセンス「TrendMicro Campus Agreement for Endpoint」(以下 TMCA ライセンス)を契約しており、在籍中に限り無償でウイルス対策ソフトウェアをインストールすることが可能となります。

① TMCA ライセンスの利用条件

- ・ 本学の学生および院生本人が所有し、教育・研究に利用する端末 (1人あたり3台まで)
※ただし、上記条件を満たす場合であっても、学内で使用しない端末は対象外とする。
(例：自宅の常設パソコン等)

② 提供ソフトウェア

- Windows 版：ウイルスバスター・コーポレートエディション XG
- Mac 版：Trend Micro Security for Mac

③ 申請・インストール方法

- (ア) 甲南大学情報システム室ホームページにアクセスし、「サービス案内」の「ウイルス対策ソフト包括ライセンス (TMCA ライセンス)」ページを開きます。

<https://www.konan-u.ac.jp/system/service/buster0617>

- (イ) ①のページ内に記載の「申請受付フォーム（一般）」をクリックします。
- (ウ) Office365ログイン画面が表示されますので、ご自身のアカウントでログインしてください。
- (エ) 「申請受付フォーム（一般）」に必要事項を入力して申請してください。
- (オ) Office365メールアドレス宛に送信される専用 URL にアクセスして、ウイルス対策ソフトをインストールしてください。インストールは「konan-net」などの学内ネットワーク接続時のみ実施可能です。学外からは実施できませんのでご注意ください。

□ 情報システム利用ガイドライン

本学のネットワークや情報サービス利用にあたっては、情報セキュリティポリシー及び情報システム利用内規に基づき、次の事項を遵守しなければなりません。

このガイドラインや関連規程等を遵守せず、他者に被害または損害を与えた場合に発生した民事及び刑事上の責任・損害は自己責任となります。また本学の学則等に基づく処分を受ける場合があります。

なお、利用者の利用履歴や Web 閲覧履歴が、本人に無断で公開されることはありません。ただし、利用者が第三者に不利益をもたらし、その者から請求があった場合や、裁判所、警察等の公的機関より情報の開示を求められた場合には、これに応じて情報を開示することがあります。

1. 教育、研究目的並びにそれらに関する業務目的以外の利用を行わない。

違反例) 本学園のネットワークに接続された端末で、オンラインのゲームをする。

2. 名誉毀損、誹謗中傷、人権侵害、またはハラスメントにあたる行為を行わない。

違反例) インターネットの電子掲示板に、他人を脅すような文言を書き込む。

3. 公序良俗に反する情報の取得及び情報の発信を行わない。

違反例) わいせつな画像や動画をダウンロード・アップロードする。

4. 個人のプライバシー及び肖像権を侵害しない。

違反例) 撮影した写真を当事者の了承を得ないでブログや電子掲示板で公開する。

5. 著作権、特許権等の知的所有権を侵害しない。

違反例) P2P ソフトウェア等を使って、著作権が保護された映画を不正にダウンロードする。

6. 虚偽の情報を提供する行為、詐欺行為、他人を詐称する行為を行わない。

違反例) 他人の名前や住所等を利用して掲示板等へ書き込みを行う。

7. 利用識別番号 (ID) を第三者に譲渡又は貸与しない。

違反例) パソコンにログインできない友人に、自分の ID とパスワードを教えて利用させた。

8. 情報システムの円滑な利用及び運用の支障となる行為を行わない。

違反例) コンピュータウイルスに感染した端末を本学園のネットワークに接続した。

違反例) 電子ジャーナルから、利用契約で禁止されているにもかかわらず大量の資料をダウンロードした。

9. その他法令及び社会的通念に反する行為を行わない。

違反例) 故意にコンピュータウイルスを含んだメールを送付して感染を拡大させる。

●岡本キャンパスにおける情報システムの利用について

□ パソコン教室

(1) 設置場所

① パソコン実習室

授業実施を優先しています。授業のない時間は自由利用が可能です。

- ・ 2号館 2-31、2-41、2-51、2-52、2-62、2-64実習室
- ・ 13号館 13-101、13-102実習室

② 自由利用パソコン室

開室時間中は自由に利用することができます。

- ・ 2号館 2-42教室、5号館 5-26教室、図書室地下PCルーム
- ・ 図書館、サイバーライブラリ、1号館3階ラウンジ

(2) 開室時間

授業実施期間中（春・夏・冬期休業期間以外）の開室時間は以下のとおりです。休業期間中の開室日程及び開室時間は「情報システム室」のホームページで確認してください。

① 自由利用パソコン室（日曜・祝日は閉室）

2-42教室	授業実施日…9時～18時	土…9時～13時
5-26教室（7月・1月）	授業実施日…9時～21時	土…9時～21時
5-26教室（その他の期間）	授業実施日…9時～21時	土…9時～13時

② パソコン実習室（授業時間以外で利用可能）（日曜・祝日は閉室）

2-31実習室（7月・1月のみ）	授業実施日…9時～20時	土…9時～13時
2-31実習室（その他の期間）	授業実施日…9時～18時	土…9時～13時
13-101実習室	授業実施日…9時～19時	土…9時～13時
その他の実習室	授業実施日…9時～18時	土…9時～13時

※図書館、サイバーライブラリの開室日程及び開室時間は、それぞれの施設で確認してください。

※メンテナンスにより閉室する場合があります。

※教室ごとのソフトウェア一覧については「情報システム室」のホームページを参照してください。

(3) 施設利用にあたっての注意（重要）

校内のパソコンは共有物です。モラルやマナーに注意し、みんなが快適に利用できるように心がけてください。

- ① 学習や研究以外の目的でパソコンを利用することはできません。
- ② ユーザID・パスワードは、他人に貸さない、教えない。
- ③ 学習や研究以外の目的で印刷はできません。複数印刷はコピー機を利用してください。
- ④ パソコンにログインしたままの離席や荷物で席取りをしないでください。
- ⑤ 飲食・喫煙・携帯電話による通話などの迷惑行為は禁止。

※パソコン教室の開室時間、ソフトウェアなどの情報や、ネットワーク停止などのメンテナンスに関するお知らせは「情報システム室」のホームページで確認してください。

(<http://www.konan-u.ac.jp/system/>)

□ 印刷（プリンタの利用）

(1) 利用上の注意

- ・学習や研究以外の目的での印刷は禁止しています。
- ・印刷枚数に制限を設けています。年間1000ポイントを超えると、それ以降は印刷できません。
- ・プリンタは、複写機（コピー機）ではありません。複数部の印刷はできません。複数部印刷する場合はコピー機を利用してください。

印刷上限枚数（ポイント）	1000ポイント/年間（4月1日～3月31日） （モノクロ1枚＝1ポイント・カラー1枚＝5ポイント）	
設置場所	モノクロプリンタ	各パソコン実習室、図書館等
	カラープリンタ	2-31、2-42、2-62、5-26、13-101実習室
印刷可能サイズ	A4のみ	

- ・A4以外の印刷はできません。コピー機（有料）で拡大/縮小してください。
- ・両面印刷や1枚に複数ページを印刷する機能を活用し、プリンタ用紙及びポイントを無駄にしないようにしてください。
- ・パソコン教室のパソコンのデスクトップ上のアイコンで残ポイントを確認できます。
詳細ボタンをクリックして、ユーザIDとパスワードを入力すると、印刷履歴等を確認できます。

(2) 印刷の手順

① パソコンから印刷指示を出す。

- ・印刷の初期設定は、モノクロプリンタになっています。
- ・カラーで印刷する必要がある場合は、プリンタ名に「color」が入っているものを選択してください。

② 認証する

- ・プリンタに設置されている端末で個人認証を行います。どのプリンタからでも印刷できます。
- ・学生証をカードリーダーに通すことにより、認証を行うことができます。
- ・学生証を忘れた場合は、キーボードを使用しユーザID、パスワードを直接入力します。

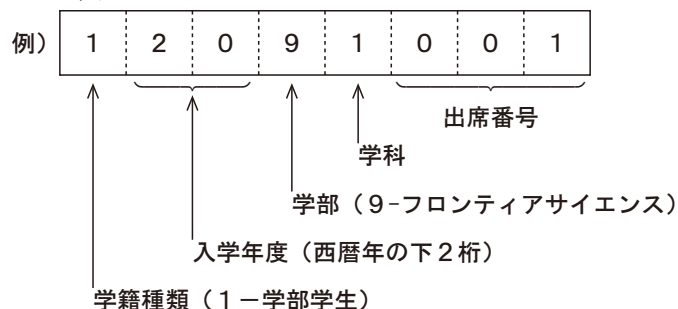
③ 印刷

認証に成功すると、印刷ジョブが一覧で表示されます。印刷したいジョブの印刷ボタンを選択することにより、プリンタから印刷物が出力されます。

学籍について

□ 学籍番号

学校の在学者としての身分を意味します。入学と同時に発生し、卒業や退学、除籍によって消滅します。また、学生証に記載されている学籍番号は原則として卒業まで変わりません。学籍番号は、次のような意味を持っています。



□ 学生証

学生証とは、あなたが甲南大学の学生であることを証明する唯一の身分証明書です。公的に通用する証明書ですので、大学に登校する時はもちろんのこと、学外でも常時携帯するようにしてください。

(注) 学生証は、FIRST 棟 (F-1号館) の図書室やマイラボに入室するために必要となりますので、登校時は、学生証を必ず携帯してください。また、岡本キャンパスの施設 (図書館、サイバーライブラリ等) を使用する際に必要ですので、必ず携帯してください。

□ 学籍異動について

学籍の異動は以下のとおりです。学籍の異動を希望する場合は、ポートアイランドキャンパス事務室で相談してください。

①	休学	疾病その他やむを得ない理由で6箇月以上就学できない者は、休学願 (保証人連署) を提出し、許可を得て休学することができます。休学の期間は、継続して2年以内、通算して4年以内とし、在学期間に含みません。	休学期間は、在籍料として半期75,000円を納付しなければなりません。 ※提出にあたっては、指導主任とよく相談してください。また、半期休学の場合は、通年科目 (集中科目も含む) の履修はできません。卒業に必要な単位が修得できるかどうかよく検討したうえで願出を提出してください。
②	復学	休学の理由が消滅し、休学期間中に復学を希望する者は、復学願を提出し、許可を得て復学することができます。	一度許可された休学期間を短縮する場合に提出が必要ですが、提出時期によっては、希望の時期に復学できない場合がありますので、注意してください。
③	退学	疾病その他やむを得ない理由で退学しようとする者は、退学願 (保証人連署) を提出し、その許可を得なければなりません。	提出にあたっては、指導主任とよく相談してください。
④	再入学	退学者又は学費未納による除籍後1年以上経過した者が再入学を願い出た場合は、選考の上許可することがあります。ただし、再入学の時期は学年又は学期の初めに限ります。	当該年度の入学金および該当年次の学生と同額の学費を納入しなければなりません。
⑤	除籍	1. 授業料その他の学費を定められた期間中に納入しないときは除籍します。 2. 在学期間が8年を越える場合は除籍します。	—
⑥	復籍	授業料その他の学費の納付を怠り、除籍された者が1年以内に復籍を願い出たときは、審議の上許可します。	当該年度の入学金相当額を復籍料として納付しなければならない場合があります。
⑦	留学	外国留学規程により外国の大学に留学した時、留学期間は在学期間に算入します。	—

※上記①～④および⑥の手続きには「所定の用紙」が必要です。用紙の交付および受付はポートアイランドキャンパス事務室で行っています。

なお、提出時期により異動日付が決まります。詳細はポートアイランドキャンパス事務室で確認してください。

学費について

□ 2020年度納付書発送及び納付期限

	前期学費	後期学費
学費納付書発送時期	2020年5月8日	2020年10月5日
学費納付期限 ※銀行営業日にご注意ください	2020年5月31日	2020年10月31日

□ 2020年度学費一覧

(1) 学費について

(単位：円)

学年	1 年次	2 年次～4 年次
学部 項目	フロンティアサイエンス学部	フロンティアサイエンス学部
入 学 金	300,000	——
授 業 料	812,000	1,112,000
施 設 設 備 費	219,000	219,000
設 備 充 実 費	50,000	50,000
教 育 充 実 費	365,000	365,000
合 計	1,746,000	1,746,000

注1) 上表の金額を前期と後期の2期に分けて半額ずつ徴収します。但し、1年次の前期学費は入学
手続時に徴収済みです。

注2) 実験費・実習費は授業料に含まれています。

注3) 在学中の学費は、物価水準の急激な変動により改定する場合があります。

(2) 休学時の学費について

(単位：円)

休学期間 項目	半 期	通 年 ※
在 籍 料	75,000	150,000

※休学期間が通年の場合は、前期と後期の2期に分けて半額ずつ徴収します。

納付期限は、前期7月31日、後期1月20日です。

(3) 卒業延期時の学費について

卒業延期制度を利用して卒業時期を一年間延長する場合、学修在籍料を納める必要があります。
卒業時期の繰り上げ（前期末卒業）をする場合は、半額を返金します。申請には要件がありますの
で、詳細は179ページの「甲南大学卒業延期に関す
る規程」および〈My KONAN〉での公示を確認し
てください。

(単位：円)

学修在籍料	300,000
-------	---------

□ 諸費について

下記の諸費は、前期学費納入時に年額一括納入をお願いしています。

諸費名称	納入額	納入時期
学生自治会会費	4,500円（年額）	前期学費納付時
父母の会会費	6,000円（年額）	
大学同窓会費	* 10,000円（年額）	

* 大学同窓会終身会費35,000円は、4年間の分割納入になります。

（1年次10,000円、2年次10,000円、3年次10,000円、4年次5,000円）

* フロンティアサイエンス学部（FIRST）同窓会終身会費5,000円は、別途に徴収いたします。

Ⅲ. ～フロンティアサイエンス学部～ 学 修 編

フロンティアサイエンス学部 生命化学科
カリキュラムマップ・授業科目表

2020年度入学生用

フロンティアサイエンス学部

教育基本方針
甲南大学フロンティアサイエンス学部の教育方針は、甲南学園創立者平生飢三郎の教育理念を基本としています。教育・研究対象の中心に「生命化学」を据え、徹底した少人数教育によりバイオテクノロジー、ナノテクノロジー、およびそれらの融合領域であるナノバイオに関する知識と技能を修得させることにより、先端科学技術を社会の発展・福祉の増進に生かすことのできる、専門性をもった職業人の養成をめざします。
卒業認定・学位授与の方針
甲南大学では、学生一人ひとりの天賦の特性を啓発し、人物教育率先の甲南学園建学の理念を実現することを目的としています。フロンティアサイエンス学部生命化学科では、「教育・研究対象の中心に「生命化学」を据え、徹底した少人数教育によりバイオテクノロジー、ナノテクノロジー、及びそれらの融合領域であるナノバイオに関する知識と技能を教授研究することにより、先端科学技術を社会の発展・福祉の増進に生かすことのできる、専門性をもった職業人の養成をめざす」という教育基本方針のもと、卒業必要単位数128単位以上（基礎共通科目8単位、国際言語文化科目2単位、外国語科目4単位、保健体育科目2単位、専門教育科目112単位以上）を修得し、次の能力・資質を身につけた学生に学士（理工学）の学位を授与します。
(1) 強い知的探求心を持ち、幅広い教養についての基礎的な知識と常識をもとに、理科系の最先端知識を修得し応用できる、【基盤力】を有しています。 (2) 責任感や倫理観を意識することができ、自らを律し他者と協調・協働することができる、【協働力】を有しています。 (3) 生命化学分野に関して基本的な知識を修得し、専門分野の変化に対応し、フロンティア的発想・企画をするための、【専門力】を有しています。 (4) 自分の意見等を的確に分かりやすく説明する意志とプレゼンテーション技能である、【発表力】を有しています。 (5) 国際社会で活躍するために必須となる、科学英語を駆使したコミュニケーションができる、【国際力】を有しています。 (6) 天賦の特性を自ら伸ばして活用する意志と能力、【自己実現力】を有しています。
教育課程編成・実施の方針
フロンティアサイエンス学部では、卒業認定・学位授与の方針に掲げる能力・資質などを修得させるために、教養科目、基礎科目、基礎専門科目、専門科目、応用専門科目、全学共通科目を体系的に編成し、講義、演習、実験、実習のいずれか又はこれらを適切に組み合わせた授業を開講します。また、卒業認定・学位授与の方針と各科目の関係性及び到達目標を示すカリキュラムマップ、カリキュラムの体系性・系統性を示すカリキュラムツリーを提示し、カリキュラムの構造をわかりやすく明示します。 カリキュラムは、各科目において学生が修得したGPA及び、到達目標に定める学生の知識・能力の修得状況を集計し、その集計値を検証することにより見直し・改善を行います。 教育内容、教育方法、学修成果の評価については以下のように定めます。
1) 教育内容 [教養科目・全学共通科目] (1) 理科系の最先端知識を習得し応用するためには、幅広いバックグラウンドが必要となります。そのため、幅広い教養知識の涵養を目的とした教養科目を2年次以降の配当科目として配置するとともに、全学共通科目の履修を通して、人文科学・自然科学・社会科学等に関する知識欲の向上をめざします。 (2) 最先端のサイエンスや経済の動きに直に触れ、広い視野を養うことを重視し、社会で活躍する方々を講師に招き、豊富な体験談・甲南スピリットなどを学生に伝えていただく、「フロントランナー講座」を1年次配当科目として配置します。 [基礎科目] (1) 初年次に数学及び演習を配置します。 (2) 1～3年次に科学英語を中心としてコミュニケーション能力を養成する、「科学英語コミュニケーション」の演習を配置します。また、基礎となる日本語表現力の習得のため、初年次に「日本語表現及び演習」の科目を配置します。 (3) 少人数教育のシステムを生かして、実験データの整理、プレゼンテーション資料の作成方法や効果的な表現方法等を事例を用いて習得するための科目として、1～3年次にプレゼンテーション演習を4年次に科学英語プレゼンテーション演習を配置します。 [基礎専門科目] 本学部の教育・研究の中核である専門教育内容の概要を把握するとともに、基礎的事項に関する学力不足事項を認識できるよう、初年度教育として、ナノサイエンス、バイオサイエンス、ナノバイオサイエンス、ケミカルサイエンスの序論を配置します。 [専門科目] (1) 専門科目については、ナノサイエンス、バイオサイエンス、ナノバイオサイエンス、ケミカルサイエンスに関連する科目群をバックとすることで、一人ひとりの興味や志向の多様性に対応した履修が効率よくかつ系統立てて行えるカリキュラムを編成します。 (2) 在学中の学修成果を集大成しそれを評価する卒業研究や卒業論文作成を実践し、問題提起能力及び問題解決能力を開花させるような教育を行います。 [応用専門科目] (1) 応用専門科目は、専門科目で身につけた知識や技能を、社会に活かすという視点から捉える科目群と、「科学英語コミュニケーション」や「プレゼンテーション演習」で身につけた能力を実際に海外で応用する「エアスタディーズV」から構成された選択必修科目群であり、一人ひとりの多様性に対応した学修が効率よくかつ系統立てて行えるカリキュラムを編成します。 (2) 「医療産業都市構想」の中核地、ポートアイランドの立地の特性を生かし、企業や研究機関等との連携を進め、講義だけではなく、学生が社会に触れる機会を積極的に提供します。 [キャリア科目] 各自の天賦の特性と専攻分野に関する知識を社会でどのように生かしていくのかを考えるとともに、社会で活用できる力を身につけるため、キャリア教育並びにキャリア形成支援を1年次から4年次まで継続的に実施します。
2) 教育方法 (1) 1) に掲げた教育内容を身につけるために、講義、演習、実験、実習のいずれかにより又はこれらの併用により授業を実施します。 (2) 論理的思考力、伝えたい内容を適切に表現し伝達する能力、問題解決力を養成するとともに、他者と協調・協働し、社会貢献への主体性を持ち、安全や倫理を重視した、社会人に求められる責任感や倫理観を身につけるために、学生一人ひとりの顔が見える少人数で学生参加型の実験・実習・演習等を重視したクラス編成を行います。 (3) 実験系科目において、少人数教育の効果が最大限に発揮できるよう、一人の学生に対して複数の教員が指導に参加するポリバレンタシステムをとります。 (4) 考える力や洞察力を涵養するために、発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習、グループ・ディスカッション、などを中心としたアクティブ・ラーニングを活用した授業を実施します。 (5) 苦手克服、理解度向上のためのキャッチアップセミナー（時間外講義）を実施します。 (6) 成績評価をGPAで表示するとともに、学位プログラムごとの到達目標と各科目の関係を明確にし、知識・能力の習得状況を学修ポートフォリオを通じて学生にフィードバックします。
3) 学修成果の評価 学生の学修成果についての評価方法を各項目のシラバスで示し、その方法に従って評価します。

カリキュラムマップ		
到達目標		対応する卒業認定・学位授与の方針の番号
A	生命現象の理解と応用に必要な知識を習得する。	(3)
B	化学現象の理解と応用に必要な知識を習得する。	(3)
C	種々のテクノロジーを社会に活かすために必要な知識を習得する。	(1) (6)
D	ナノやバイオの知識を「新素材・ファインケミカル・食品」に活かすために必要な知識を習得する。	(1) (3)
E	ナノやバイオの知識を「医療・創薬・診断」に活かすために必要な知識を習得する。	(1) (3)
F	ナノやバイオの知識を「エレクトロニクス、エネルギー、環境」に活かすために必要な知識を習得する。	(1) (3)
G	必要に応じて英語を使用しながら、資料作成、ポスター発表、口頭発表を行える技術を習得する。	(3) (4) (5) (6)
H	理科系の最先端知識を修得し応用するために必要な、情報収集、課題発見、課題解決の能力を習得する。	(1) (4) (5) (6)
I	幅広い教養についての基礎的な知識と常識を習得する。	(1) (4)
J	責任感や倫理観を意識することができ、自らを律し他者と協調・協同する能力を習得する。	(2) (6)
K	生命現象や化学現象の理解、種々のテクノロジーの創出及びそれらの社会への活用に必要な、実験技術を習得する。	(2) (4) (6)
L	ポートアイランドキャンパス外で開講される科目を受講することで、より広い視野を持つために必要な知識と教養を習得する。	(1) (2)

専門教育科目表（生命化学科）

〔2020年度(令和2年)の入学生に適用〕

授 業 科 目 名			単位 数	配 当 年 次	到 達 目 標													
					A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L		
必修 科目	教養科目	フロントランナー講座	2	1			○							○	○		○	
	基礎 科 目	科学英語コミュニケーション1	1	1								○	○	○	○			
		科学英語コミュニケーション2	1	2								○	○	○				
		科学英語コミュニケーション3	1	3								○	○		○			
		プレゼンテーション演習1	1	1								○	○	○				
		プレゼンテーション演習2	1	2								○	○	○				
		プレゼンテーション演習3	1	3			○					○	○		○			
		科学英語プレゼンテーション演習	1	4				○	○	○	○							
		数学及び演習	3	1	○	○	○						○					
		日本語表現及び演習	3	1									○	○	○	○		
		安全倫理工学	2	3											○	○		
	基礎 専 門 科 目	バイオサイエンス序論	2	1	○				○				○					
		ナノサイエンス序論	2	1		○				○			○					
		ナノバイオサイエンス序論	2	1	○				○				○					
		ケミカルサイエンス序論	2	1		○		○					○					
	専 門 科 目	ナノバイオラボベーシックA	2	1	○	○	○										○	
		ナノバイオラボベーシックB	2	1	○	○	○										○	
		ナノバイオラボ1A	4	2				○	○	○							○	
		ナノバイオラボ1B	4	2				○	○	○							○	
		ナノバイオラボ2A	6	3	○	○	○	○	○	○	○	○				○		
		ナノバイオラボ2B	6	3	○	○	○	○	○	○	○	○				○		
		ナノバイオ卒業研究	15	4			○	○	○	○	○	○			○	○		
以上64単位必修																		

授 業 科 目 名				単 位 数	配 当 年 次	到 達 目 標													
						A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L		
選 択 必 修 科 目 A 群	専 門 科 目	A1 バイオサイエンスパック	ベーシック科目	分子生物学	2	1	○		○		○								
			遺伝子工学・バイオテクノロジー	2	1	○		○		○									
			生命機能科学	2	2	○				○				○					
			細胞工学	2	2	○		○		○									
			薬理学	2	2	○		○		○					○				
			発生学	2	3	○				○									
		A2 ナノサイエンスパック	ベーシック科目	無機化学	2	1		○		○		○							
			量子物理化学	2	1		○		○		○								
			固体光化学	2	2		○	○			○								
			電気化学	2	3		○	○			○								
			アドバンスト科目	ナノテクノロジー	2	2		○	○	○		○							
			生物無機化学	2	2	○	○				○								
		A3 ナノバイオサイエンスパック	ベーシック科目	生化学	2	1	○	○		○						○			
			生命分析化学	2	1	○	○							○					
			生命物理化学	2	2	○	○									○			
			バイオ計測工学	2	2	○	○				○								
			アドバンスト科目	高分子化学	2	2		○	○	○									
			生体分子工学	2	3	○	○				○								
		A4 ケミカルサイエンスパック	ベーシック科目	構造有機化学	2	1		○		○						○			
			有機電子論	2	1		○		○							○			
			有機反応各論	2	2		○		○	○									
			有機化学と分光法	2	2		○	○		○				○					
			アドバンスト科目	生物有機化学	2	2	○	○		○									
			有機合成化学	2	3		○		○	○				○					
以上選択必修科目A群のうち、24単位以上選択必修ただし、いずれか1パックについてはすべて修得すること																			
キ ャ リ ア 科 目		ベーシック・キャリアデザイン	2	1							○		○	○					
		理系キャリアデザイン	2	2			○					○	○	○			○		
		インターンシップ	2	2								○		○	○			○	
キャリア科目は選択必修科目の単位数に充てることができない																			

授 業 科 目 名			単 位 数	配 当 年 次	到 達 目 標											
					A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
選 択 必 修 科 目 B 群	応 用 専 門 科 目	メディカルサイエンス概論	2	2			○		○			○				
		メディカルバイオテクノロジー	2	2	○	○			○			○				
		バイオ・食品関連研究開発論	2	2			○	○				○				
		知財マネジメント	2	2			○						○	○		
		バイオセンシングと環境	2	2			○		○	○		○				
		アドバンスドマテリアル	2	2			○	○		○						
		国際産学コーディネーター	2	3			○						○	○		
		創薬テクノロジー	2	3			○		○			○				
		ケミカルバイオロジー	2	3	○	○			○							
		医療テクノロジー	2	3			○		○			○				
		医療関連研究開発論	2	3			○		○			○				
		エアスタディーズV	2	1							○	○		○		○
	教 養 科 目	科学と健康	2	2	○								○			
		科学と産業政策	2	3			○						○	○		○

以上選択必修科目B群のうち、14単位以上選択必修

【卒業必要単位数】

1. フロンティアサイエンス学部の学生は、次に定めるところに従って合計128単位以上を修得しなければならない。

基礎共通科目	8単位
国際言語文化科目	2単位
外国語科目	4単位
保健体育科目	2単位
専門教育科目	102単位以上
必修科目	
教養科目	2単位
基礎科目	15単位
基礎専門科目	8単位
専門科目	39単位
選択必修科目	
A群（専門科目）	24単位以上
B群（応用専門科目・教養科目）	14単位以上
自由選択科目	
合 計	128単位以上

2. 次の科目については、専門教育科目として卒業単位に充てることができる。ただし、必修または選択必修科目の単位数に充てることができない。

- (1) 基礎共通科目（岡本開講科目）のうち自然科学系の授業科目及びキャリア創生共通科目（「ベーシック・キャリアデザイン」、「インターンシップ」、「エアスタディーズV」は除く。）
- (2) 基礎ドイツ語、基礎フランス語、基礎中国語、基礎韓国語、大学日本語入門については、いずれか1外国語4単位以内。
- (3) 「エアスタディーズⅠ～Ⅳ」及び「エアスタディーズⅥ～Ⅹ」については、2単位以内。

フロンティアサイエンス学部履修登録科目の単位制限に関する内規（抜粋）

〔改正 平成31年2月13日〕

【平成31年度以降入学生に適用】

- 1 フロンティアサイエンス学部の学生が履修登録できる授業科目の単位数は次のとおりとする。
なお、前期履修登録及び後期履修登録を合わせた単位数に対して登録単位制限を受けるものとする。

1年次	2年次	3年次	4年次
通年で合計45単位以内	通年で合計45単位以内	通年で合計40単位以内	通年で合計40単位以内

（中略・平成30年度以前入学生に適用表 略）

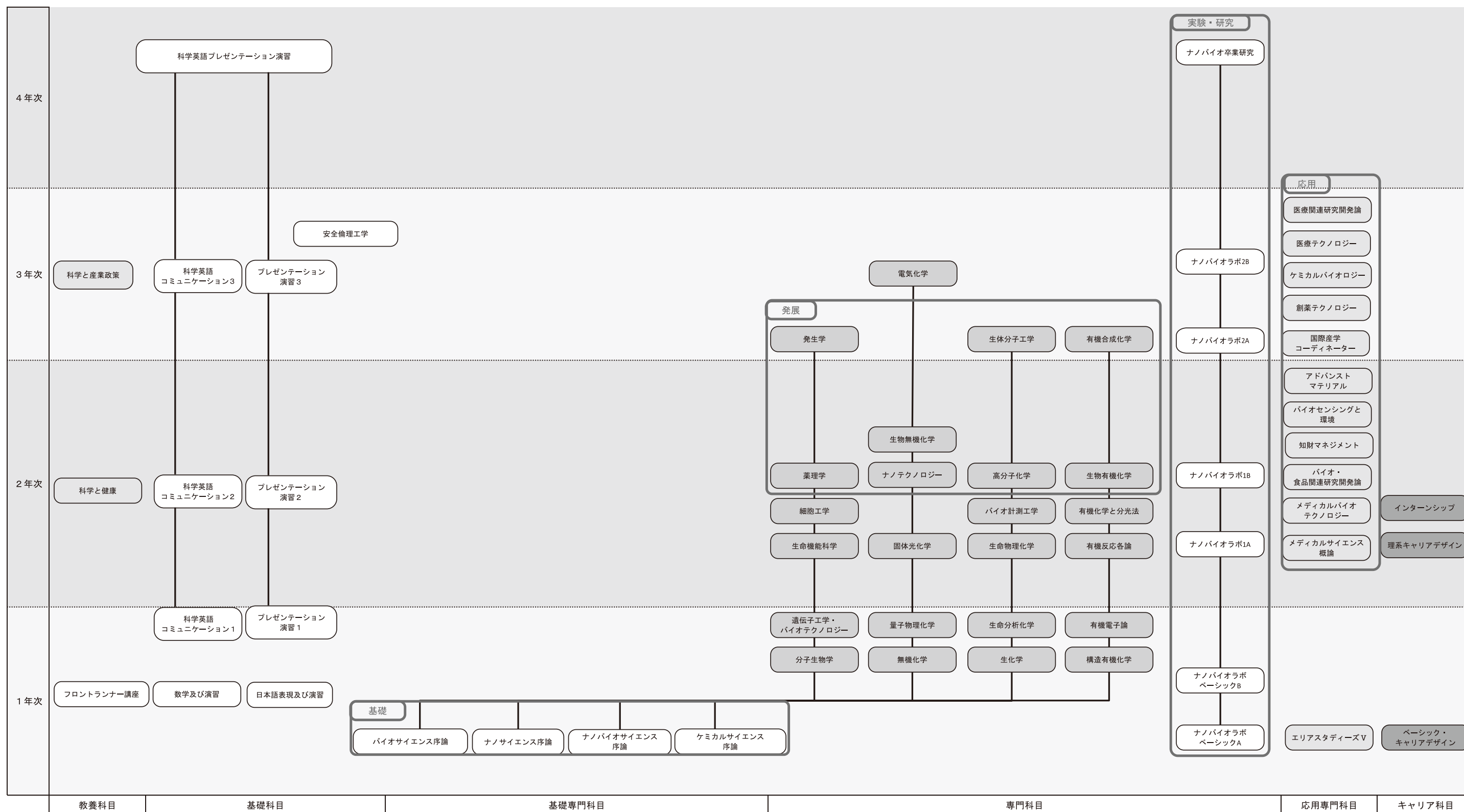
- 2 次に掲げる科目の単位については、前項の単位制限を受けない。

- (1) 専門教育科目のうち、「ベーシック・キャリアデザイン」、「理系キャリアデザイン」、「インターンシップ」、「エアスタディーズV」
- (2) キャリア創生共通科目のうち、「海外ボランティアⅠ」等、学生の単位認定申請又は履修登録申請に基づき、履修登録期間外に別途履修登録を行う科目

附 則

この内規は、平成31年4月1日から施行する。

卒業



タグの色分け

必修科目

選択必修科目A群

選択必修科目B群

キャリア科目

全学共通科目

卒業認定・学位授与の方針		
甲南大学（以下「本学」という）では、学則第1条に定める、学術の府として広くかつ深く学芸を教授研究するとともに、学生一人ひとりの天賦の特性を啓発し、人物教育率先の甲南学園建学の理念を実現することを目的としています。 その実現のために、4年以上在学し本学の学位プログラムの課程を修め、各学部所定の必要単位数を修得することを通して、下記の能力・資質を身に付け、それらを社会生活において総合的に活用できる人材を養成することを教育目標としています。		
(1) 自ら率先して社会に貢献し、社会人に求められる責任感と倫理観を意識することができ、自らを律し、他者と協調・協働することができます。 (2) 天賦の特性を自ら伸ばして活用する意志と能力を有しています。 (3) 人文科学・自然科学・社会科学に関する基礎的教養、自己の能力・資質を社会生活で活用し得る基本的な技能及び自己の健康増進に関する技能を有しています。 (4) 専攻分野に関して基本的な知識を修得しています。 (5) 自己の意見を分かりやすく主体的に説明する能力を有しています。 (6) 事象の中から問題を発見して論理的に考察し、収集した情報を整理・分析し、それらを総合して問題解決を図る意志と能力を有しています。		
カリキュラムマップ		
到達目標		対応する卒業認定・学位授与の方針(大学)の番号
A	論理的思考力、伝えたい内容を適切に表現し伝える能力、問題解決力を身につける。	(5) (6)
B	他者と協調・協働し、自ら率先して社会に貢献し、社会人に求められる責任感と倫理観を身につける。	(1)
C	大学における学びの基盤となる基礎的読解力や文章表現力などを習得する。	(3)
D	外国語によるコミュニケーション能力や国際・異文化を理解する能力を身につける。	(3)
E	心身両面の健康に配慮する姿勢を身につける。	(1) (3)
F	情報を読み解き活用する力を身につける。	(3)
G	知への興味や関心を引き出し、物事を深く考えるための知的基盤形成を促す教養を身につける。	(3)
H	天賦の特性と身につけた知識を社会でどのように生かしていくのかを考える力を身につける。	(2) (6)

授業科目表（全学共通科目） [2020年度（令和2年度）の入学生に適用]

授 業 科 目 名				単 位 数	配 当 年 次	到達目標							
						A	B	C	D	E	F	G	H
基 礎 共 通 科 目	人 文 科 学 系	A 群 リ ベ ラ ル ア ー ツ	哲学	2	1							○	
			倫理学	2	1							○	
			心理学	2	1							○	
			歴史学	2	1							○	
			文学	2	1							○	
			哲学プラクティス	2	1							○	
			女性学	2	1							○	
			現代の芸術	2	1							○	
			宗教学	2	1							○	
		B 群 人 間 を 学 ぶ	生態人類学	2	1							○	
			環境と文学	2	1							○	
			芸術と社会	2	1							○	
			生命と倫理	2	1							○	
			人権（同和）の問題	2	1							○	
			感情・人格心理学	2	1							○	
			スポーツと身体知	2	1							○	
		C 群 文 化 を 学 ぶ	ことばと社会	2	1							○	
			コミュニケーション論	2	1							○	
			イメージと文化	2	1							○	
			日本語の諸相	2	1							○	
			比較文化	2	1							○	
			芸術学基礎論	2	1							○	
			現代思想	2	1							○	
			近現代の文学	2	1							○	
			日本研究	2	1							○	
			越境する文化と文学	2	1							○	
		D 群 歴 史 を 学 ぶ	社会思想史	2	1							○	
			歴史と文化	2	1							○	
			文学と歴史	2	1							○	
			地域と文化	2	1							○	
			芸術史	2	1							○	
			歴史とメディア	2	1							○	
			国際化の歴史	2	1							○	
			生活の歴史	2	1							○	

授 業 科 目 名			単 位 数	配 当 年 次	到 達 目 標							
					A	B	C	D	E	F	G	H
基 礎 共 通 科 目	社 会 科 学 系	A 群 リ ベ ラ ル ア ー ツ	社会学	2	1						○	
			法学	2	1						○	
			経済学	2	1						○	
			経営学	2	1						○	
			政治学	2	1						○	
			地理学	2	1						○	
			国際関係論	2	1						○	
		B 群 経 済 を 学 ぶ	産業と経済	2	1						○	
			企業と情報	2	1						○	
			歴史と経済	2	1						○	
			現代社会と企業	2	1						○	
			世界と経済	2	1						○	
			暮らしと経済	2	1						○	
			福祉と経済	2	1						○	
			社会とファイナンス	2	1						○	
			スポーツと経済	2	1						○	
		C 群 社 会 を 学 ぶ	現代社会論	2	1						○	
			現代都市論	2	1						○	
			公共哲学	2	1						○	
			環境人間学	2	1						○	
			社会福祉論	2	1						○	
			家族関係論	2	1						○	
			歴史と社会	2	1						○	
			ボランティア論	2	1						○	
			グローバリゼーションと文化	2	1						○	
			地域連携入門	2	1						○	
			地域とメディア	2	1						○	
		D 群 法 と 政 治 を 学 ぶ	日本国憲法	2	1						○	
			社会生活と法	2	1						○	
			現代政治論	2	1						○	
			法と情報	2	1						○	
			環境法学	2	1						○	
			家族関係と法	2	1						○	
			少子高齢社会と法	2	1						○	
			財産と法	2	1						○	
			消費者問題	2	1						○	
			市場と法	2	1						○	
			組織と法	2	1						○	
			まちづくりと行政	2	1						○	
			地域創生	2	1						○	
	自 然 科 学 系	A 群 リ ベ ラ ル ア ー ツ	数学	2	1						○	
			物理学	2	1						○	
			化学	2	1						○	
			生物学	2	1						○	
			地学	2	1						○	
			生命化学	2	1						○	
		B 群 自 然 の 歴 史 を 学 ぶ	地球の歴史	2	1						○	
			生物の歴史	2	1						○	
			自然と人間	2	1						○	
			自然科学史	2	1						○	
			技術の歴史	2	1						○	
			環境と地理	2	1						○	
		C 群 現 代 科 学 を 学 ぶ	現代生活と物理学	2	1						○	
			現代生活と生物学	2	1						○	
			現代生活と数理科学	2	1						○	
			現代生活と最先端科学	2	1						○	
			核と環境	2	1						○	
			環境の化学	2	1						○	
			大気と海洋	2	1						○	
			国際化と情報ネットワーク	2	1						○	
			国際社会における最先端科学	2	1						○	
			現代生活と生命化学	2	1						○	
			健康と生命科学	2	1						○	

授 業 科 目 名			単 位 数	配 当 年 次	到 達 目 標							
					A	B	C	D	E	F	G	H
基 礎 共 通 科 目	自然科学系	D 群 情 報 を 学 ぶ	知能情報	2	1						○	
			生体情報	2	1						○	
			感性情報	2	1						○	
			生命情報	2	1						○	
			認知科学	2	1						○	
	学 際 融 合 系		情報社会のセキュリティ	2	1						○	
			食品科学	2	1						○	
			身体健康科学	2	1				○		○	
			トレーニング論	2	1		○				○	○
			スポーツにおける健康管理	2	1				○		○	
			保健衛生	2	1						○	
			基礎スポーツ健康科学	2	1				○		○	
			癒しの諸相	2	1						○	
			自己の探求	2	1						○	
			スポーツ文化論	2	1						○	
			心の健康科学	2	1						○	
			生涯スポーツ論	2	1				○		○	
			環境教育の実践	2	1						○	
			ケアの倫理	2	1						○	
			人体の構造と機能及び疾病	2	1						○	
			フロントランナー講座	2	1						○	
			ライフプラン教育	2	1						○	
			社会を読み解く（クリティカルシンキング）	2	1	○		○		○	○	
			文章表現論	2	1	○		○		○	○	
	導入共通科目		甲南大学と平生飢三郎	2	1		○				○	
			共通基礎演習	2	1	○	○	○			○	
			IT基礎	2	1		○	○		○		
国 際 言 語 文 化 科 目			言語と文化Ⅰ ドイツ	2	1	○	○	○	○		○	
			言語と文化Ⅱ ドイツ	2	1	○	○	○	○		○	
			言語と文化Ⅰ フランス	2	1	○	○	○	○		○	
			言語と文化Ⅱ フランス	2	1	○	○	○	○		○	
			言語と文化Ⅰ 中国	2	1	○	○	○	○		○	
			言語と文化Ⅱ 中国	2	1	○	○	○	○		○	
			言語と文化Ⅰ 韓国	2	1	○	○	○	○		○	
			言語と文化Ⅱ 韓国	2	1	○	○	○	○		○	
			国際理解A	2	1	○	○		○		○	○
			国際理解B	2	1	○	○		○		○	○
			国際理解C	2	1	○	○		○		○	○
			国際理解D	2	1	○	○		○		○	○
			国際理解English	2	1	○	○		○		○	○
			外国語総論（ヨーロッパ編）	2	1	○	○		○		○	○
			外国語総論（アジア編）	2	1	○	○		○		○	○
			ドイツ語圏でのコミュニケーション入門	2	1	○	○		○		○	
			フランス語圏でのコミュニケーション入門	2	1	○	○		○		○	
			中国語圏でのコミュニケーション入門	2	1	○	○		○		○	
			韓国語圏でのコミュニケーション入門	2	1	○	○		○		○	
			English for Science	2	1	○		○		○	○	
			Science Presentation	2	1	○		○			○	
			Science Writing	2	1	○		○		○		
			Science News I	2	1	○		○		○	○	
			Science News II	2	1	○		○		○	○	
			世界のサイエンス事情Ⅰ	2	1	○		○		○	○	○
			世界のサイエンス事情Ⅱ	2	1	○	○	○		○	○	○
			日本の文化事情Ⅰ	2	2			○			○	
			日本の文化事情Ⅱ	2	1			○			○	
			日本理解Ⅰ	2	2			○			○	
			日本理解Ⅱ	2	1			○			○	
外国語科目	英語・第2外国語		College English Reading and Writing	2	1			○	○			
			College English Listening	1	1			○				
			College English Speaking	1	1			○			○	
			基礎ドイツ語Ⅰ	2	1			○				
			基礎ドイツ語Ⅱ	2	1			○				
			基礎フランス語Ⅰ	2	1			○				

授 業 科 目 名			単 位 数	配 当 年 次	到 達 目 標							
					A	B	C	D	E	F	G	H
外 国 語 科 目	英 語 ・ 第 2 外 国 語	基礎フランス語Ⅱ	2	1				○				
		基礎中国語Ⅰ	2	1				○				
		基礎中国語Ⅱ	2	1				○				
		基礎韓国語Ⅰ	2	1				○				
		基礎韓国語Ⅱ	2	1				○				
		大学日本語入門Ⅰ	2	1			○	○				
		大学日本語入門Ⅱ	2	1			○	○				
		中級英語Speaking	4	2				○			○	
		中級英語Presentation	4	2				○			○	
		中級英語Listening	4	2				○				
		中級英語Reading	4	2			○	○		○		
		中級英語Writing	4	2			○	○				
		中級英語Pronunciation	2	2				○				
		中級英語TOEIC	4	2				○				
		中級英語TOEFL	4	2	○			○				
		中級英語Global TopicsⅠ	2	2	○	○		○		○		
		中級英語Global TopicsⅡ	2	2	○	○		○		○		
		中級英語Life TopicsⅠ	2	2		○		○	○		○	
		中級英語Life TopicsⅡ	2	2		○		○	○		○	
		中級英語Career EnglishⅠ	2	2		○		○				○
		中級英語Career EnglishⅡ	2	2		○		○				○
		中級ドイツ語Ⅰ	4	2			○	○		○		
		中級ドイツ語Ⅱ	4	2				○				
		中級ドイツ語Ⅲ	4	2				○				
		中級ドイツ語Ⅳ	4	2				○			○	
		中級フランス語Ⅰ	4	2			○	○		○		
		中級フランス語Ⅱ	4	2				○				
		中級フランス語Ⅲ	4	2				○				
		中級フランス語Ⅳ	4	2				○			○	
		中級中国語Ⅰ	4	2			○	○		○		
		中級中国語Ⅱ	4	2				○				
		中級中国語Ⅲ	4	2				○				
		中級中国語Ⅳ	4	2				○			○	
		中級韓国語Ⅰ	4	2			○	○		○		
		中級韓国語Ⅱ	4	2				○				
		中級韓国語Ⅲ	4	2				○				
		中級韓国語Ⅳ	4	2				○			○	
		大学日本語中級Ⅰ	4	2	○			○				
		大学日本語中級Ⅱ	4	2	○			○				
		上級英語TOEIC	4	3・4				○				
		上級英語Global TopicsⅠ	2	3・4	○	○		○		○		○
		上級英語Global TopicsⅡ	2	3・4	○	○		○		○		○
		上級英語Life TopicsⅠ	2	3・4	○	○		○	○		○	○
		上級英語Life TopicsⅡ	2	3・4	○	○		○	○		○	○
		上級英語Career EnglishⅠ	2	3・4		○		○		○		○
		上級英語Career EnglishⅡ	2	3・4		○		○		○		○
		上級ドイツ語Ⅰ	4	3・4	○		○	○		○	○	○
		上級ドイツ語Ⅱ	4	3・4	○			○		○	○	○
		上級フランス語Ⅰ	4	3・4	○		○	○		○	○	○
		上級フランス語Ⅱ	4	3・4	○			○		○	○	○
		上級中国語Ⅰ	4	3・4	○		○	○		○	○	○
		上級中国語Ⅱ	4	3・4	○			○		○	○	○
		上級韓国語Ⅰ	4	3・4	○		○	○		○	○	○
		上級韓国語Ⅱ	4	3・4	○			○		○	○	○
		大学日本語上級Ⅰ	4	3・4	○			○				
		大学日本語上級Ⅱ	4	3・4	○			○				
	海外語学講座・ 留学支援科目	海外語学講座Ⅰ	4	1	○			○				
		海外語学講座Ⅱ	4	1	○			○				
		海外語学講座Ⅲ	2	1	○			○				
		English RegionsⅠ	2	1				○			○	
		English RegionsⅡ	2	1				○			○	
		English RegionsⅢ	2	2				○			○	
		English RegionsⅣ	2	2				○			○	

授 業 科 目 名			単 位 数	配 当 年 次	到 達 目 標							
					A	B	C	D	E	F	G	H
海外語学講座・留学支援科目		German Studies I	2	1	○	○		○		○	○	
		German Studies II	2	2	○	○		○		○	○	
		German Studies III	2	2	○			○				
		German Studies IV	2	2	○			○				
		French Studies I	2	1	○	○		○		○	○	
		French Studies II	2	2	○	○		○		○	○	
		French Studies III	2	2	○			○				
		French Studies IV	2	2	○			○				
		Chinese Studies I	2	1	○	○		○		○	○	
		Chinese Studies II	2	2	○	○		○		○	○	
		Chinese Studies III	2	2	○			○				
		Chinese Studies IV	2	2	○			○				
		Korean Studies I	2	1	○	○		○		○	○	
		Korean Studies II	2	2	○	○		○		○	○	
		Korean Studies III	2	2	○			○				
		Korean Studies IV	2	2	○			○				
保健体育科目	生涯スポーツ	基礎体育学演習	2	1		○			○			○
		生涯スポーツ・バドミントン I	1	2		○			○			○
		生涯スポーツ・バドミントン II	1	2		○			○			○
		生涯スポーツ・硬式テニス I	1	2		○			○			○
		生涯スポーツ・硬式テニス II	1	2		○			○			○
		生涯スポーツ・卓球 I	1	2		○			○			○
		生涯スポーツ・エアロビクス I	1	2		○			○			○
		生涯スポーツ・ゴルフ I	1	2		○			○			○
		生涯スポーツ・ゴルフ II	1	2		○			○			○
		生涯スポーツ・健康柔道 I	1	2		○			○			○
		生涯スポーツ・健康柔道 II	1	2		○			○			○
		生涯スポーツ・バスケットボール I	1	2		○			○			○
		生涯スポーツ・バスケットボール II	1	2		○			○			○
		生涯スポーツ・バレーボール I	1	2		○			○			○
		生涯スポーツ・バレーボール II	1	2		○			○			○
		生涯スポーツ・フットサル I	1	2		○			○			○
		生涯スポーツ・フットサル II	1	2		○			○			○
		生涯スポーツ・レクリエーションスポーツ I	1	2		○			○			○
		生涯スポーツ・レクリエーションスポーツ II	1	2		○			○			○
		生涯スポーツ・ジョギング I	1	2		○			○			○
		生涯スポーツ・トレーニング実習 I	1	2		○			○			○
		生涯スポーツ・トレーナー実習 I	1	2		○			○			○
		生涯スポーツ・フィットネス実習 I	1	2		○			○			○
		生涯スポーツ・スキー I	1	2		○			○			○
		生涯スポーツ・スキー II	1	2		○			○			○
キャリア創生共通科目	キャリアデザイン系	共通応用演習	2	3	○	○						○
		ベーシック・キャリアデザイン	2	1								○
		インターンシップ	2	1								○
		キャリアゼミ	2	2								○
		プラクティカル・キャリアデザイン	2	3								○
		アドバンスト・キャリアデザイン	2	4								○
	ビジネス系	入門マネジメント	2	2								○
		実践マネジメント	2	2								○
		入門パーソナルファイナンス	2	2								○
		応用パーソナルファイナンス	2	2								○
		入門ビジネス会計	2	2								○
		実践ビジネス会計	2	2								○
		入門商業簿記 I	2	2								○
		入門商業簿記 II	2	2								○
		中級簿記	4	2								○
		工業簿記	4	2								○
		上級簿記 I	2	2								○
		上級簿記 II	2	2								○
		上級財務諸表論 I	2	2								○
		上級財務諸表論 II	2	2								○
		上級工業簿記	2	2								○
		上級原価計算	2	2								○

授 業 科 目 名			単 位 数	配 当 年 次	到 達 目 標							
					A	B	C	D	E	F	G	H
キ ャ リ ア 創 生 共 通 科 目	政 策 ・ 法 務 系	ビジネスを支える法の世界	2	3								○
		入門ビジネス法務	2	2								○
		実践ビジネス法務	2	2								○
		入門民法 財産法編Ⅰ	2	2								○
		入門民法 財産法編Ⅱ	2	2								○
		実践民法Ⅰ	2	3								○
		実践民法Ⅱ	2	3								○
		実践民法Ⅲ	2	3								○
		実践民法Ⅳ	2	3								○
		実践民法Ⅴ	2	3								○
		実践民法Ⅵ	2	3								○
		入門商法 会社法編	2	2						○		○
		証券市場と法	2	3						○		○
		金融取引と法	2	3						○		○
		証券業と法	2	3						○		○
		公共政策論Ⅰ	2	2								○
		公共政策論Ⅱ	2	2								○
	情 報 系	IT応用	2	1						○		○
		情報通信テクノロジーⅠ	2	1						○		○
		情報通信テクノロジーⅡ	2	1						○		○
		ICTセキュリティ	2	2						○		○
		基本情報技術	2	3						○		○
		統計基礎Ⅰ	2	1						○		○
		統計基礎Ⅱ	2	2						○		○
		統計活用情報分析Ⅰ	2	2						○		○
		統計活用情報分析Ⅱ	2	2						○		○
	国 際 系	グローバル・コミュニケーションⅠ	4	2				○				○
		グローバル・コミュニケーションⅡ	4	2				○				○
		エリアスタディーズⅠ	2	1				○				○
		エリアスタディーズⅡ	2	1				○				○
		エリアスタディーズⅢ	2	1				○				○
		エリアスタディーズⅣ	2	1				○				○
		エリアスタディーズⅤ	2	1				○				○
		エリアスタディーズⅥ	2	1				○				○
		エリアスタディーズⅦ	2	1				○				○
		エリアスタディーズⅧ	2	1				○				○
		エリアスタディーズⅨ	2	1				○				○
		エリアスタディーズⅩ	2	1				○				○
		世界の中の日本Ⅰ	2	2				○				○
		世界の中の日本Ⅱ	2	2				○				○
		海外ボランティアⅠ	4	1		○		○				○
		海外ボランティアⅡ	2	1		○		○				○
		海外インターンシップ	4	2				○				○
	地 域 連 携 系 ・ ボ ラ ン テ ィ ア	実践ボランティアⅠ	1	1		○						○
		実践ボランティアⅡ	1	1		○						○
		地域ファシリテイト	2	2		○						○
		地域プロジェクトⅠ	2	1		○						○
		地域プロジェクトⅡ	2	1		○						○
		応用スポーツ健康科学	2	2					○		○	○
	福祉・スポーツ 健康科学系	障害者・障害児心理学	2	3・4		○			○			○
		福祉心理学	2	2		○			○			○

※塗りつぶしのある科目は、卒業必要単位に充ててはできません。

基礎共通科目 授業科目表

〔2020年度（令和2年度）の入学生に適用〕

	人文科学系		社会科学系		自然科学系	
	授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位
A 群	【リベラルアーツ】		【リベラルアーツ】		【リベラルアーツ】	
	哲 学	2	社 会 学	2	数 学	2
	倫 理 学	2	法 学	2	物 理 学	2
	心 理 学	2	経 済 学	2	化 学	2
	歴 史 学	2	経 営 学	2	生 物 学	2
	文 学	2	政 治 学	2	地 学	2
	哲 学 プ ラ ク テ ィ ス	2	地 理 学	2	生 命 化 学	2
	女 性 学	2	国 際 関 係 論	2		
	現 代 の 芸 術	2				
	宗 教 学	2				
B 群	【人間を学ぶ】		【経済を学ぶ】		【自然の歴史を学ぶ】	
	生 態 人 類 学	2	産 業 と 経 済	2	地 球 の 歴 史	2
	環 境 と 文 学	2	企 業 と 情 報	2	生 物 の 歴 史	2
	芸 術 と 社 会	2	歴 史 と 経 済	2	自 然 と 人 間	2
	生 命 と 倫 理	2	現 代 社 会 と 企 業	2	自 然 科 学 史	2
	人 権（同和）の 問 題	2	世 界 と 経 済	2	技 術 の 歴 史	2
	感 情 ・ 人 格 心 理 学	2	暮 ら し と 経 済	2	環 境 と 地 理	2
	ス ポー ツ と 身 体 知	2	福 祉 と 経 済	2		
			社 会 と フ ァ イ ナ ン ス	2		
			ス ポー ツ と 経 済	2		
C 群	【文化を学ぶ】		【社会を学ぶ】		【現代科学を学ぶ】	
	こ と ば と 社 会	2	現 代 社 会 論	2	現 代 生 活 と 物 理 学	2
	コ ミ ュ ニ ケー シ ョ ン 論	2	現 代 都 市 論	2	現 代 生 活 と 生 物 学	2
	イ メー ジ と 文 化	2	公 共 哲 学	2	現 代 生 活 と 数 理 科 学	2
	日 本 語 の 諸 相	2	環 境 人 間 学	2	現 代 生 活 と 最 先 端 科 学	2
	比 較 文 化	2	社 会 福 祉 論	2	核 と 環 境	2
	芸 術 学 基 礎 論	2	家 族 関 係 論	2	環 境 の 化 学	2
	現 代 思 想	2	歴 史 と 社 会	2	大 気 と 海 洋	2
	近 現 代 の 文 学	2	ボ ラ ン テ ィ ア 論	2	国 際 化 と 情 報 ネットワーク	2
	日 本 研 究	2	グ ロー バ リ ゼー シ ョ ン と 文 化	2	国 際 社 会 に お け る 最 先 端 科 学	2
	越 境 す る 文 化 と 文 学	2	地 域 連 携 入 門	2	現 代 生 活 と 生 命 化 学	2
			地 域 と メ デ ィ ア	2	健 康 と 生 命 科 学	2
D 群	【歴史を学ぶ】		【法と政治を学ぶ】		【情報を学ぶ】	
	社 会 思 想 史	2	日 本 国 憲 法	2	知 能 情 報	2
	歴 史 と 文 化	2	社 会 生 活 と 法	2	生 体 情 報	2
	文 学 と 歴 史	2	現 代 政 治 論	2	感 性 情 報	2
	地 域 と 文 化	2	法 と 情 報	2	生 命 情 報	2
	芸 術 史	2	環 境 法 学	2	認 知 科 学	2
	歴 史 と メ デ ィ ア	2	家 族 関 係 と 法	2		
	国 際 化 の 歴 史	2	少 子 高 齢 社 会 と 法	2		
	生 活 の 歴 史	2	財 産 と 法	2		
			消 費 者 問 題	2		
			市 場 と 法	2		
			組 織 と 法	2		
			ま ち づ く り と 行 政	2		
			地 域 創 生	2		

学際融合系	
授 業 科 目	単 位
情報社会のセキュリティ	2
食 品 科 学	2
身 体 の 健 康 科 学	2
ト レ ー ニ ン グ 論	2
スポーツにおける健康管理	2
保 健 衛 生	2
基礎スポーツ健康科学	2
癒 し の 諸 相	2
自 己 の 探 求	2
ス ポ ー ツ 文 化 論	2
心 の 健 康 科 学	2
生 涯 ス ポ ー ツ 論	2
環 境 教 育 の 実 践	2
ケ ア の 倫 理	2
人体の構造と機能及び疾病	2
フロンランナー講座	2
ラ イ フ プ ラ ン 教 育	2
社会を読み解く(クリティカルシンキング)	2
文 章 表 現 論	2

導入共通科目	
授 業 科 目	単 位
甲 南 大 学 と 平 生 鈇 三 郎	2
共 通 基 礎 演 習	2

履修方法

フロンティアサイエンス学部は、人文科学系、社会科学系、学際融合系（フロンランナー講座を除く）、導入共通科目「甲南大学と平生鈇三郎」「共通基礎演習」の授業科目の中から8単位を修得しなければならない。

【『基礎共通科目』履修上の注意事項】

1. 履修に際しては、ひとつの群に偏らず、A、B、C、Dの各群からバランスよく履修することが望ましい。
2. 下表の科目については、履修条件に従って履修すること。

授業科目	履修条件
「自己の探求」（学際融合系）	「心の健康科学」（学際融合系）の単位を修得していること。

国際言語文化科目授業科目表

〔2020年度（令和2年度）の入学生に適用〕

F フロンティアサイエンス学部の履修科目

	授 業 科 目	単 位
国際言語科目	English for Science	2
	Science Writing	2
国際文化科目	国際理解 A	2
	国際理解 B	2
	国際理解 C	2
	国際理解 D	2
	国際理解 English	2
	言語と文化 I ドイツ	2
	言語と文化 II ドイツ	2
	言語と文化 I フランス	2
	言語と文化 II フランス	2
	言語と文化 I 中国	2
	言語と文化 II 中国	2
	言語と文化 I 韓国	2
	言語と文化 II 韓国	2

履修方法

フロンティアサイエンス学部の学生は、F フロンティアサイエンス学部の履修科目の中から2単位を修得しなければならない。また、所定単位を超えて修得した単位を、卒業必要単位に充てることはできない。

外国語科目

〔2018年度（平成30年度）以降の入学生に適用〕

学年 名称		1 年 次		2 年次以上		3・4 年 次	
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
英 語	Skill-based	College English Reading and Writing	2	中級英語Speaking	4		
				中級英語Presentation	4		
		College English Listening	1	中級英語Listening	4		
		College English Speaking	1	中級英語Reading	4		
				中級英語Writing	4		
				中級英語Pronunciation	2		
	Test Preparation			中級英語TOEIC	4	上級英語TOEIC	4
				中級英語TOEFL	4		
	Content-based			中級英語Global Topics I	2	上級英語Global Topics I	2
				中級英語Global Topics II	2	上級英語Global Topics II	2
				中級英語Life Topics I	2	上級英語Life Topics I	2
				中級英語Life Topics II	2	上級英語Life Topics II	2
				中級英語Career English I	2	上級英語Career English I	2
				中級英語Career English II	2	上級英語Career English II	2
第 2 外 国 語	ドイツ語	基礎ドイツ語 I	2	中級ドイツ語 I	4	上級ドイツ語 I	4
		基礎ドイツ語 II	2	中級ドイツ語 II	4	上級ドイツ語 II	4
				中級ドイツ語 III	4		
				中級ドイツ語 IV	4		
	フランス語	基礎フランス語 I	2	中級フランス語 I	4	上級フランス語 I	4
		基礎フランス語 II	2	中級フランス語 II	4	上級フランス語 II	4
				中級フランス語 III	4		
				中級フランス語 IV	4		
	中国語	基礎中国語 I	2	中級中国語 I	4	上級中国語 I	4
		基礎中国語 II	2	中級中国語 II	4	上級中国語 II	4
				中級中国語 III	4		
				中級中国語 IV	4		
	韓国語	基礎韓国語 I	2	中級韓国語 I	4	上級韓国語 I	4
		基礎韓国語 II	2	中級韓国語 II	4	上級韓国語 II	4
				中級韓国語 III	4		
				中級韓国語 IV	4		
	日本語	大学日本語入門 I	2	大学日本語中級 I	4	大学日本語上級 I	4
		大学日本語入門 II	2	大学日本語中級 II	4	大学日本語上級 II	4

履修方法

フロンティアサイエンス学部の学生は、College English Reading and Writing、College English Listening、College English Speakingの計4単位を修得しなければならない。

基礎ドイツ語、基礎フランス語、基礎中国語、基礎韓国語、大学日本語入門については、いずれか1外国語4単位以内を専門教育科目として卒業必要単位に充てることができる。ただし、必修または選択必修科目の単位数に充てることができない。

キャリア創生共通科目授業科目表

〔2020年度（令和2年度）の入学生に適用〕

授 業 科 目		単位	配当 年次	備考	授 業 科 目		単位	配当 年次	備考
キャリアデザイン系	共 通 応 用 演 習	2	3		情 報 系	I T 応 用	2	1	
	ベーシック・キャリアデザイン	2	1	※		情報通信テクノロジーⅠ	2	1	
	イン タ ー ン シ ッ プ	2	1			情報通信テクノロジーⅡ	2	1	
	キ ャ リ ア ゼ ミ	2	2			I C T セキュリティ	2	2	
	プラクティカル・キャリアデザイン	2	3			基 本 情 報 技 術	2	3	
	アドバンスト・キャリアデザイン	2	4			統 計 基 礎 Ⅰ	2	1	
ビ ジ ネ ス 系	入 門 マ ネ ジ メ ン ト	2	2			統 計 基 礎 Ⅱ	2	2	
	実 践 マ ネ ジ メ ン ト	2	2	統 計 活 用 情 報 分 析 Ⅰ		2	2		
	入門パーソナルファイナンス	2	2	統 計 活 用 情 報 分 析 Ⅱ		2	2		
	応用パーソナルファイナンス	2	2	国 際 系		グローバル・コミュニケーションⅠ	4	2	
	入 門 ビ ジ ネ ス 会 計	2	2			グローバル・コミュニケーションⅡ	4	2	
	実 践 ビ ジ ネ ス 会 計	2	2			エリアスタディーズⅠ	2	1	
	入 門 商 業 簿 記 Ⅰ	2	2			エリアスタディーズⅡ	2	1	
	入 門 商 業 簿 記 Ⅱ	2	2			エリアスタディーズⅢ	2	1	
	中 級 簿 記	4	2			エリアスタディーズⅣ	2	1	
	工 業 簿 記	4	2			エリアスタディーズⅤ	2	1	
	上 級 簿 記 Ⅰ	2	2			エリアスタディーズⅥ	2	1	
	上 級 簿 記 Ⅱ	2	2			エリアスタディーズⅦ	2	1	
上 級 財 務 諸 表 論 Ⅰ	2	2	エリアスタディーズⅧ		2	1			
上 級 財 務 諸 表 論 Ⅱ	2	2	エリアスタディーズⅨ	2	1				
上 級 工 業 簿 記	2	2	エリアスタディーズⅩ	2	1				
政 策 ・ 法 務 系	上 級 原 価 計 算	2	2		世 界 の 中 の 日 本 Ⅰ	2	2		
	ビジネスを支える法の世界	2	3		世 界 の 中 の 日 本 Ⅱ	2	2		
	入 門 ビ ジ ネ ス 法 務	2	2		海 外 ボ ラ ン テ ィ ア Ⅰ	4	1		
	実 践 ビ ジ ネ ス 法 務	2	2		海 外 ボ ラ ン テ ィ ア Ⅱ	2	1		
	入門民法 財産法編Ⅰ	2	2		海 外 イ ン タ ー ン シ ッ プ	4	2		
	入門民法 財産法編Ⅱ	2	2		ボ ラ ン テ ィ ア ・ 地 域 連 携 系	実 践 ボ ラ ン テ ィ ア Ⅰ	1	1	
	実 践 民 法 Ⅰ	2	3			実 践 ボ ラ ン テ ィ ア Ⅱ	1	1	
	実 践 民 法 Ⅱ	2	3			地 域 フ ァ シ リ テ イ ト	2	2	
	実 践 民 法 Ⅲ	2	3			地 域 プ ロ ジ ェ ク ト Ⅰ	2	1	
	実 践 民 法 Ⅳ	2	3			地 域 プ ロ ジ ェ ク ト Ⅱ	2	1	
	実 践 民 法 Ⅴ	2	3			福 祉 ・ ス ポ ー ツ 健 康 科 学 系	応 用 ス ポ ー ツ 健 康 科 学	2	2
	実 践 民 法 Ⅵ	2	3		障 害 者 ・ 障 害 児 心 理 学		2	3・4	
	入門商法 会社法編	2	2		福 祉 心 理 学		2	2	
	証 券 市 場 と 法	2	3						
	金 融 取 引 と 法	2	3						
	証 券 業 と 法	2	3						
	公 共 政 策 論 Ⅰ	2	2						
	公 共 政 策 論 Ⅱ	2	2						

※配当年次は学部によって異なることがあるので、各学部の専門教育科目表で確認すること。

履修方法

フロンティアサイエンス学部は、キャリア創生共通科目（岡本開講科目）を専門教育科目として卒業単位に充てることができる。ただし、必修または選択必修科目の単位数に充てることができない。（「ベーシック・キャリアデザイン」、「インターンシップ」、「エリアスタディーズⅤ」は除く。）

科目履修上の諸注意

1. キャリア創生共通科目の修得単位の取扱いは、入学年度や学部・学科によって異なるので、必ず、所属する自学部・学科のページを参照すること。

2. 下表の科目については、各科目の履修条件に従って履修すること。

「日商簿記検定2級合格者と同等のレベル」を有する者は、ポートアイランドキャンパス事務室までお問い合わせください。

授 業 科 目	履 修 条 件
上 級 簿 記 I	「中級簿記」の単位を修得済みであること、または日商簿記検定2級合格者と同等のレベルを有していること。 経営学部ビジネス・リーダー養成プログラム AP コース所属学生については、原則として「AP アカウンティング・プラクティス基礎 a」および「AP アカウンティング・プラクティス基礎 b」の単位を修得済みであること。
上 級 簿 記 II	「中級簿記」の単位を修得済みであること、または日商簿記検定2級合格者と同等のレベルを有していること。 経営学部ビジネス・リーダー養成プログラム AP コース所属学生については、原則として「AP アカウンティング・プラクティス基礎 a」および「AP アカウンティング・プラクティス基礎 b」の単位を修得済みであること。
上 級 財 務 諸 表 論 I	「中級簿記」の単位を修得済みであること、または日商簿記検定2級合格者と同等のレベルを有していること。 経営学部ビジネス・リーダー養成プログラム AP コース所属学生については、原則として「AP アカウンティング・プラクティス基礎 a」および「AP アカウンティング・プラクティス基礎 b」の単位を修得済みであること。
上 級 財 務 諸 表 論 II	「中級簿記」の単位を修得済みであること、または日商簿記検定2級合格者と同等のレベルを有していること。 経営学部ビジネス・リーダー養成プログラム AP コース所属学生については、原則として「AP アカウンティング・プラクティス基礎 a」および「AP アカウンティング・プラクティス基礎 b」の単位を修得済みであること。
上 級 工 業 簿 記	「工業簿記」の単位を修得済みであること、または日商簿記検定2級合格者と同等のレベルを有していること。 経営学部ビジネス・リーダー養成プログラム AP コース所属学生については、原則として「AP アカウンティング・プラクティス基礎 c」および「AP アカウンティング・プラクティス基礎 d」の単位を修得済みであること。
上 級 原 価 計 算	「工業簿記」の単位を修得済みであること、または日商簿記検定2級合格者と同等のレベルを有していること。 経営学部ビジネス・リーダー養成プログラム AP コース所属学生については、原則として「AP アカウンティング・プラクティス基礎 c」および「AP アカウンティング・プラクティス基礎 d」の単位を修得済みであること。
情報通信テクノロジーII	「情報通信テクノロジーI」の単位を修得済みであること。
応用スポーツ健康科学	基礎共通科目「基礎スポーツ健康科学」の単位を修得していること。

2019年度入学生用

フロンティアサイエンス学部

教育基本方針

甲南大学フロンティアサイエンス学部の教育方針は、甲南学園創立者平生飢三郎の教育理念を基本としています。教育・研究対象の中心に「生命化学」を据え、徹底した少人数教育によりバイオテクノロジー、ナノテクノロジー、およびそれらの融合領域であるナノバイオに関する知識と技能を修得させることにより、先端科学技術を社会の発展・福祉の増進に生かすことのできる、専門性をもった職業人の養成をめざします。

卒業認定・学位授与の方針

甲南大学では、学生一人ひとりの天賦の特性を啓発し、人物教育率先の甲南学園建学の理念を実現することを目的としています。フロンティアサイエンス学部生命化学科では、「教育・研究対象の中心に「生命化学」を据え、徹底した少人数教育によりバイオテクノロジー、ナノテクノロジー、及びそれらの融合領域であるナノバイオに関する知識と技能を教授研究することにより、先端科学技術を社会の発展・福祉の増進に生かすことのできる、専門性をもった職業人の養成をめざす」という教育基本方針のもと、卒業必要単位数128単位以上（基礎科目21単位 基礎専門科目8単位 専門科目63単位以上 応用専門科目及び教養科目16単位以上 全学共通科目10単位以上）を修得し、次の能力・資質を身につけた学生に学士（理工学）の学位を授与します。

- (1) 強い知的探求心を持ち、幅広い教養についての基礎的な知識と常識をもとに、理科系の最先端知識を修得し応用できる、【基盤力】を有しています。
- (2) 責任感や倫理観を意識することができ、自らを律し他者と協調・協働することができる、【協働力】を有しています。
- (3) 生命化学分野に関して基本的な知識を修得し、専門分野の変化に対応し、フロンティア的発想・企画をするための、【専門力】を有しています。
- (4) 自分の意見等を的確に分かりやすく説明する意志とプレゼンテーション技能である、【発表力】を有しています。
- (5) 国際社会で活躍するために必須となる、科学英語を駆使したコミュニケーションができる、【国際力】を有しています。
- (6) 天賦の特性を自ら伸ばして活用する意志と能力、【自己実現力】を有しています。

教育課程編成・実施の方針

フロンティアサイエンス学部では、卒業認定・学位授与の方針に掲げる能力・資質などを修得させるために、教養科目、基礎科目、基礎専門科目、専門科目、応用専門科目、全学共通科目を体系的に編成し、講義、演習、実験、実習のいずれか又はこれらを適切に組み合わせた授業を開講します。また、卒業認定・学位授与の方針と各科目の関係性及び到達目標を示すカリキュラムマップ、カリキュラムの体系性・系統性を示すカリキュラムツリーを提示し、カリキュラムの構造をわかりやすく明示します。

カリキュラムは、各科目において学生が修得したGPA及び、到達目標に定める学生の知識・能力の修得状況を集計し、その集計値を検証することにより見直し・改善を行います。

教育内容、教育方法、学修成果の評価については以下のように定めます。

1) 教育内容

【教養科目・全学共通科目】

- (1) 理科系の最先端知識を習得し応用するためには、幅広いバックグラウンドが必要となります。そのため、幅広い教養知識の涵養を目的とした教養科目を2年次以降の配当科目として配置するとともに、全学共通科目群の履修を通して、人文科学・自然科学・社会科学等に関する知識欲の向上をめざします。
- (2) 最先端のサイエンスや経済の動きに直に触れ、広い視野を養うことを重視し、社会で活躍する方々を講師に招き、豊富な体験談・甲南スピリットなどを学生に伝えていただく、「フロントランナー講座」を1年次配当科目として配置します。

【基礎科目】

- (1) 初年次に英語及び演習、数学及び演習、基礎体育学演習科目を配置します。
- (2) 4年間通じて科学英語を中心としてコミュニケーション能力を養成する、「科学英語コミュニケーション」の演習を配置します。また、基礎となる日本語表現力の習得のため、初年次に「日本語表現及び演習」の科目を配置します。
- (3) 少人数教育のシステムを生かして、実験データの整理、プレゼンテーション資料の作成方法や効果的な表現方法等を実例を用いて習得するための科目として、プレゼンテーション演習を4年間通じて配置します。

【基礎専門科目】

本学部の教育・研究の中核である専門教育内容の概要を把握するとともに、基礎的事項に関する学力不足事項を認識できるよう、初年度教育として、ナノサイエンス、バイオサイエンス、ナノバイオサイエンス、ケミカルサイエンスの序論を配置します。

【専門科目】

- (1) 専門科目については、ナノサイエンス、バイオサイエンス、ナノバイオサイエンス、ケミカルサイエンスに関連する科目群をバックとすることで、一人ひとりの興味や志向の多様性に対応した履修が効率よくかつ系統立てて行えるカリキュラムを編成します。
- (2) 在学中の学修成果を集大成しそれを評価する卒業研究や卒業論文作成を実践し、問題提起能力及び問題解決能力を開花させるような教育を行います。

【応用専門科目】

- (1) 応用専門科目は、専門科目で身につけた知識や技能を、社会に活かすという視点から捉える科目群と、「科学英語コミュニケーション」や「プレゼンテーション演習」で身につけた能力を実際に海外で応用する「エアスタディーズV」から構成された選択必修科目群であり、一人ひとりの多様性に対応した学修が効率よくかつ系統立てて行えるカリキュラムを編成します。
- (2) 「医療産業都市構想」の中核地、ポートアイランドの立地の特性を生かし、企業や研究機関等との連携を進め、講義だけではなく、学生が社会に触れる機会を積極的に提供します。

【キャリア科目】

各自の天賦の特性と専攻分野に関する知識を社会でどのように生かしていくのかを考えるとともに、社会で活用できる力を身につけるため、キャリア教育並びにキャリア形成支援を1年次から4年次まで継続的に実施します。

2) 教育方法

- (1) 1) に掲げた教育内容を身につけるために、講義、演習、実験、実習のいずれかにより又はこれらの併用により授業を実施します。
- (2) 論理的思考力、伝えたい内容に表現し伝達する能力、問題解決力を養成するとともに、他者と協調・協働し、社会貢献への主体性を持ち、安全や倫理を重視した、社会人に求められる責任感や倫理観を身につけるために、学生一人ひとりの顔が見える少人数で学生参加型の実験・実習・演習等を重視したクラス編成を行います。
- (3) 実験系科目において、少人数教育の効果が最大限に発揮できるよう、一人の学生に対して複数の教員が指導に参加するポリバレンタシステムをとります。
- (4) 考える力や洞察力を涵養するために、発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習、グループ・ディスカッション、などを中心としたアクティブ・ラーニングを活用した授業を実施します。
- (5) 苦手克服、理解度向上のためのキャッチアップセミナー（時間外講義）を実施します。
- (6) 成績評価をGPAで表示するとともに、学位プログラムごとの到達目標と各科目の関係を明確にし、知識・能力の習得状況を学修ポートフォリオを通じて学生にフィードバックします。

3) 学修成果の評価

学生の学修成果についての評価方法を各項目のシラバスで示し、その方法に従って評価します。

カリキュラムマップ		
到達目標		対応する卒業認定・学位授与の方針の番号
A	生命現象の理解と応用に必要な知識を習得する。	(3)
B	化学現象の理解と応用に必要な知識を習得する。	(3)
C	種々のテクノロジーを社会に活かすために必要な知識を習得する。	(1) (6)
D	ナノやバイオの知識を「新素材・ファインケミカル・食品」に活かすために必要な知識を習得する。	(1) (3)
E	ナノやバイオの知識を「医療・創薬・診断」に活かすために必要な知識を習得する。	(1) (3)
F	ナノやバイオの知識を「エレクトロニクス、エネルギー、環境」に活かすために必要な知識を習得する。	(1) (3)
G	必要に応じて英語を使用しながら、資料作成、ポスター発表、口頭発表を行える技術を習得する。	(3) (4) (5) (6)
H	理科系の最先端知識を修得し応用するために必要な、情報収集、課題発見、課題解決の能力を習得する。	(1) (4) (5) (6)
I	幅広い教養についての基礎的な知識と常識を習得する。	(1) (4)
J	責任感や倫理観を意識することができ、自らを律し他者と協調・協同する能力を習得する。	(2) (6)
K	生命現象や化学現象の理解、種々のテクノロジーの創出及びそれらの社会への活用に必要な、実験技術を習得する。	(2) (4) (6)
L	ポートアイランドキャンパス外で開講される科目を受講することで、より広い視野を持つために必要な知識と教養を習得する。	(1) (2)

生命化学科 専門教育科目表

〔2019年度（平成31年度）の入学生に適用〕

授 業 科 目 名			単位 数	期 別	配 当 年 次	到 達 目 標												
						A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	
必修 科目	教養科目	フロントランナー講座	2	後	1			○						○	○		○	
	基礎 科目	科学英語コミュニケーション1	1	前	1							○	○	○	○			
		科学英語コミュニケーション2	1	前	2							○	○	○				
		科学英語コミュニケーション3	1	前	3							○	○		○			
		科学英語コミュニケーション4	1	前	4				○	○	○	○						
		プレゼンテーション演習1	1	後	1							○	○	○				
		プレゼンテーション演習2	1	後	2							○	○	○				
		プレゼンテーション演習3	1	後	3				○			○	○		○			
		プレゼンテーション演習4	1	後	4					○	○	○	○					
		数学及び演習	3	前	1	○	○	○					○					
		英語及び演習	3	通	1							○	○	○	○			
		日本語表現及び演習	3	後	1							○	○	○	○			
		安全倫理工学	2	後	3										○	○		
		基礎体育学演習	2	通	1										○	○		○
	基礎 専門 科目	バイオサイエンス序論	2	前	1	○				○			○					
		ナノサイエンス序論	2	前	1		○				○		○					
		ナノバイオサイエンス序論	2	前	1	○				○			○					
		ケミカルサイエンス序論	2	前	1		○		○				○					
	専門 科目	ナノバイオラボベーシックA	2	前	1	○	○	○									○	
		ナノバイオラボベーシックB	2	後	1	○	○	○									○	
		ナノバイオラボ1A	4	前	2				○	○	○						○	
		ナノバイオラボ1B	4	後	2				○	○	○						○	
		ナノバイオラボ2A	6	前	3	○	○	○	○	○	○	○	○				○	
		ナノバイオラボ2B	6	後	3	○	○	○	○	○	○	○	○				○	
		ナノバイオ卒業研究	15	通	4				○	○	○	○	○			○	○	
以上70単位必修																		

授 業 科 目 名					単 位 数	期 別	配 当 年 次	到 達 目 標												
								A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	
選 択 必 修 科 目 A 群	専 門 科 目	A 1 バイオサイエンス パック	ベーシック科目	分子生物学	2	C	1	○		○		○								
				遺伝子工学・バイオテクノロジー	2	D	1	○		○		○								
				生命機能科学	2	A	2	○				○				○				
				細胞工学	2	D	2	○		○		○								
				アドバンスト科目	薬理学	2	B	2	○		○		○				○			
					発生学	2	B	3	○				○							
		A 2 ナノサイエンス パック	ベーシック科目	無機化学	2	C	1		○		○		○							
				量子物理化学	2	D	1		○		○		○							
				固体光化学	2	A	2		○	○			○							
				電気化学	2	A	3		○	○			○							
				アドバンスト科目	ナノテクノロジー	2	B	2		○	○	○		○						
					生物無機化学	2	C	2	○	○				○						
		A 3 ナノバイオサイエ ンスパック	ベーシック科目	生化学	2	C	1	○	○		○					○				
				生命分析化学	2	D	1	○	○						○					
				生命物理化学	2	A	2	○	○							○				
				バイオ計測工学	2	B	2	○	○			○								
			アドバンスト科目	高分子化学	2	C	2		○	○	○									
				生体分子工学	2	A	3	○	○			○								
		A 4 ケミカルサイエ ンスパック	ベーシック科目	構造有機化学	2	C	1		○		○					○				
				有機電子論	2	D	1		○		○					○				
				有機反応各論	2	A	2		○		○	○								
				有機化学と分光法	2	B	2		○	○		○			○					
			アドバンスト科目	生物有機化学	2	D	2	○	○		○									
				有機合成化学	2	B	3		○		○	○			○					
以上選択必修科目A群のうち、24単位以上選択必修。ただし、いずれか1パックについてはすべて修得すること																				
キ ャ リ ア 科 目	ベーシック・キャリアデザイン				2	前	1							○		○	○			
	理系キャリアデザイン				2	集中	2			○					○	○	○		○	
	インターンシップ				2	集中	2								○		○	○		○
キャリア科目は選択必修科目の単位数に充てることができない																				

授 業 科 目 名			単 位 数	期 別	配 当 年 次	到 達 目 標												
						A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	
選 択 必 修 科 目 B 群	応用専門科目	メディカルサイエンス概論	2	A・集中	2			○		○			○					
		メディカルバイオテクノロジー	2	後	2	○	○			○			○					
		バイオ・食品関連研究開発論	2	後	2			○	○				○					
		知財マネジメント	2	後	2			○						○	○			
		バイオセンシングと環境	2	C	2			○		○	○		○					
		アドバンストマテリアル	2	D	2			○	○		○							
		国際産学コーディネーター	2	後	3			○						○	○			
		創薬テクノロジー	2	A・集中	3			○		○			○					
		ケミカルバイオロジー	2	B	3	○	○			○								
		医療テクノロジー	2	後	3			○		○			○					
		医療関連研究開発論	2	集中	3			○		○			○					
		エリアスタディーズV	2	集中	1							○	○		○		○	
	教養科目	科学と健康	2	後	2	○								○				
		科学と産業政策	2	集中	3			○						○	○		○	
以上選択必修科目B群のうち、14単位以上選択必修																		
全 学 共 通 科 目 群	外国語科目	基礎ドイツ語Ⅰ	2	通	2												○	
		基礎ドイツ語Ⅱ	2	通	2												○	
		基礎フランス語Ⅰ	2	通	2												○	
		基礎フランス語Ⅱ	2	通	2												○	
		基礎中国語Ⅰ	2	通	2												○	
		基礎中国語Ⅱ	2	通	2												○	
		基礎韓国語Ⅰ	2	通	2												○	
		基礎韓国語Ⅱ	2	通	2												○	
	異なる外国語の履修は2言語までに限る																	
	国際言語文化科目	English for Science	2		1													○
		Science Writing	2		1													○
		国際理解A	2		1													○
		国際理解B	2		1													○
		国際理解C	2		1													○
		国際理解D	2		1													○
		国際理解English	2		1													○
		言語と文化Ⅰ ドイツ	2		1													○
		言語と文化Ⅱ ドイツ	2		1													○
		言語と文化Ⅰ フランス	2		1													○
		言語と文化Ⅱ フランス	2		1													○
		言語と文化Ⅰ 中国	2		1													○
		言語と文化Ⅱ 中国	2		1													○
		言語と文化Ⅰ 韓国	2		1													○
		言語と文化Ⅱ 韓国	2		1													○
以上、全学共通科目群（外国語科目及び国際言語文化科目）のうち2単位以上選択必修																		

必修科目		選択必修科目		自由選択科目
教養科目	2単位	A群（専門科目）	24単位以上	
基礎科目	21単位	B群（応用専門・教養科目）	14単位以上	
基礎専門科目	8単位	全学共通科目群		
専門科目	39単位	外国語科目	2単位以上	
		国際言語文化科目		
		基礎共通科目		8単位以上
卒業必要単位数			128単位以上	

（※キャリア創生共通科目については自由選択科目として卒業必要単位に充てることができる。）

フロンティアサイエンス学部履修登録科目の単位制限に関する内規（抜粋）

【平成31年度以降入学生に適用】

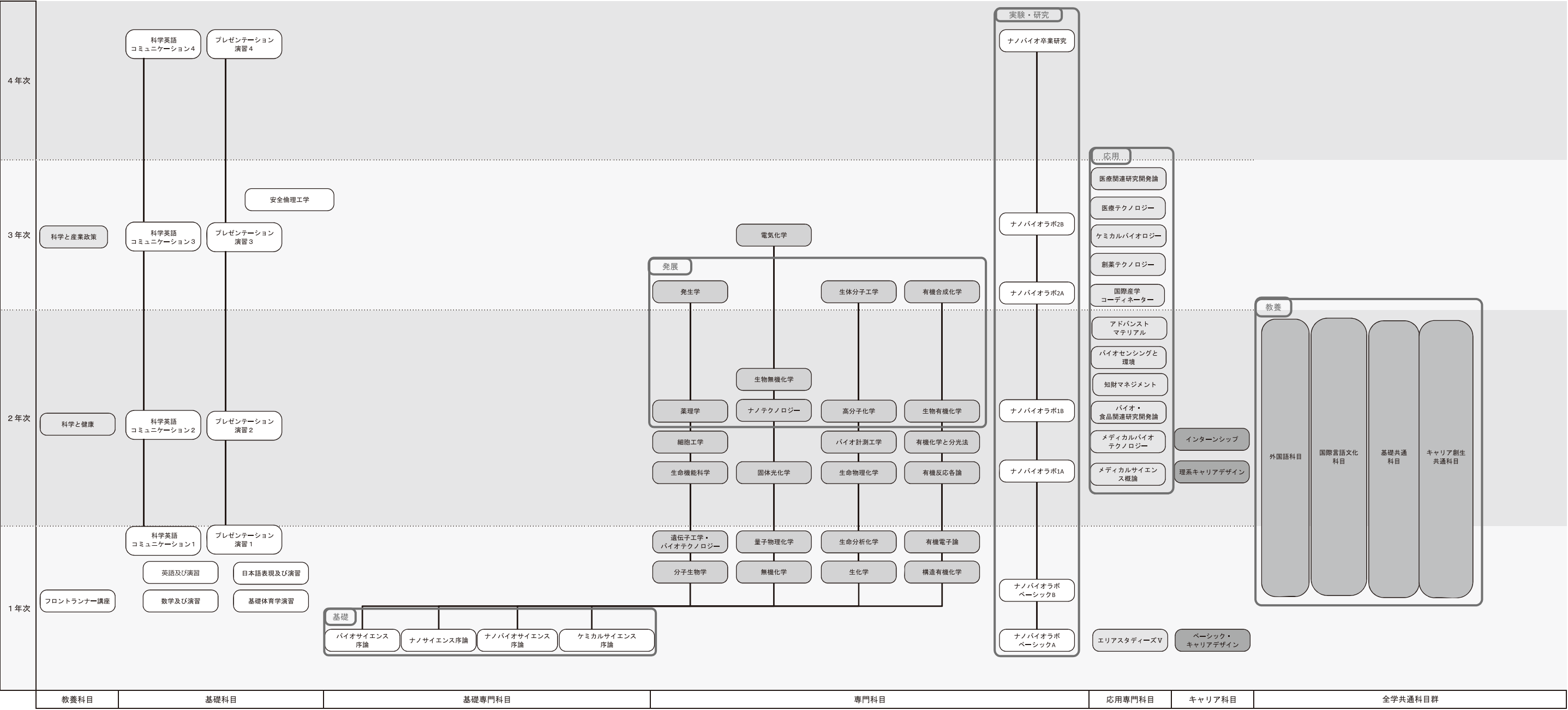
1 フロンティアサイエンス学部の学生が履修登録できる授業科目の単位数は次のとおりとする。なお、前期履修登録及び後期履修登録を合わせた単位数に対して登録単位制限を受けるものとする。

1年次	2年次	3年次	4年次
通年で合計45単位以内	通年で合計45単位以内	通年で合計40単位以内	通年で合計40単位以内

2 次に掲げる科目の単位については、前項の単位制限を受けない。

- (1) 専門教育科目のうち、「ベーシック・キャリアデザイン」、「理系キャリアデザイン」、「インターンシップ」、「エリアスタディーズV」
- (2) キャリア創生共通科目のうち、「海外ボランティアI」等、学生の単位認定申請または履修登録申請に基づき、履修登録期間外に別途履修登録を行う科目

卒業



タグの色分け

- 必修科目
- 選択必修科目A群
- 選択必修科目B群
- キャリア科目
- 全学共通科目群

2018年度入学生用

フロンティアサイエンス学部

教育基本方針
甲南大学フロンティアサイエンス学部の教育方針は、甲南学園創立者平生飢三郎の教育理念を基本としています。教育・研究対象の中心に「生命化学」を据え、徹底した少人数教育によりバイオテクノロジー、ナノテクノロジー、およびそれらの融合領域であるナノバイオに関する知識と技能を修得させることにより、先端科学技術を社会の発展・福祉の増進に生かすことのできる、専門性をもった職業人の養成をめざします。
卒業認定・学位授与の方針
甲南大学では、学生一人ひとりの天賦の特性を啓発し、人物教育率先の甲南学園建学の理念を実現することを目的としています。フロンティアサイエンス学部生命化学科では、「教育・研究対象の中心に「生命化学」を据え、徹底した少人数教育によりバイオテクノロジー、ナノテクノロジー、及びそれらの融合領域であるナノバイオに関する知識と技能を教授研究することにより、先端科学技術を社会の発展・福祉の増進に生かすことのできる、専門性をもった職業人の養成をめざす」という教育基本方針のもと、卒業必要単位数128単位以上（基礎科目21単位 基礎専門科目8単位 専門科目63単位以上 応用専門科目及び教養科目16単位以上 全学共通科目10単位以上）を修得し、次の能力・資質を身につけた学生に学士（理工学）の学位を授与します。
(1) 強い知的探求心を持ち、幅広い教養についての基礎的な知識と常識をもとに、理科系の最先端知識を修得し応用できる、【基盤力】を有しています。 (2) 責任感や倫理観を意識することができ、自らを律し他者と協調・協働することができる、【協働力】を有しています。 (3) 生命化学分野に関して基本的な知識を修得し、専門分野の変化に対応し、フロンティア的発想・企画をするための、【専門力】を有しています。 (4) 自分の意見等を的確に分かりやすく説明する意志とプレゼンテーション技能である、【発表力】を有しています。 (5) 国際社会で活躍するために必須となる、科学英語を駆使したコミュニケーションができる、【国際力】を有しています。 (6) 天賦の特性を自ら伸ばして活用する意志と能力、【自己実現力】を有しています。
教育課程編成・実施の方針
フロンティアサイエンス学部では、卒業認定・学位授与の方針に掲げる能力・資質などを修得させるために、教養科目、基礎科目、基礎専門科目、専門科目、応用専門科目、全学共通科目を体系的に編成し、講義、演習、実験、実習のいずれか又はこれらを適切に組み合わせた授業を開講します。また、卒業認定・学位授与の方針と各科目の関係性及び到達目標を示すカリキュラムマップ、カリキュラムの体系性・系統性を示すカリキュラムツリーを提示し、カリキュラムの構造をわかりやすく明示します。 カリキュラムは、各科目において学生が修得したGPA及び、到達目標に定める学生の知識・能力の修得状況を集計し、その集計値を検証することにより見直し・改善を行います。 教育内容、教育方法、学修成果の評価については以下のように定めます。
1) 教育内容 [教養科目・全学共通科目] (1) 理科系の最先端知識を習得し応用するためには、幅広いバックグラウンドが必要となります。そのため、幅広い教養知識の涵養を目的とした教養科目を2年次以降の配当科目として配置するとともに、全学共通科目群の履修を通して、人文科学・自然科学・社会科学等に関する知識欲の向上をめざします。 (2) 最先端のサイエンスや経済の動きに直に触れ、広い視野を養うことを重視し、社会で活躍する方々を講師に招き、豊富な体験談・甲南スピリットなどを学生に伝えていただく、「フロントランナー講座」を1年次配当科目として配置します。 [基礎科目] (1) 初年次に英語及び演習、数学及び演習、基礎体育学演習科目を配置します。 (2) 4年間通じて科学英語を中心としてコミュニケーション能力を養成する、「科学英語コミュニケーション」の演習を配置します。また、基礎となる日本語表現力の習得のため、初年次に「日本語表現及び演習」の科目を配置します。 (3) 少人数教育のシステムを生かして、実験データの整理、プレゼンテーション資料の作成方法や効果的な表現方法等を実例を用いて習得するための科目として、プレゼンテーション演習を4年間通じて配置します。 [基礎専門科目] 本学部の教育・研究の中核である専門教育内容の概要を把握するとともに、基礎的事項に関する学力不足事項を認識できるよう、初年度教育として、ナノサイエンス、バイオサイエンス、ナノバイオサイエンス、ケミカルサイエンスの序論を配置します。 [専門科目] (1) 専門科目については、ナノサイエンス、バイオサイエンス、ナノバイオサイエンス、ケミカルサイエンスに関連する科目群をバックとすることで、一人ひとりの興味や志向の多様性に対応した履修が効率よくかつ系統立てて行えるカリキュラムを編成します。 (2) 在学中の学修成果を集大成しそれを評価する卒業研究や卒業論文作成を实践し、問題提起能力及び問題解決能力を開花させるような教育を行います。 [応用専門科目] (1) 応用専門科目は、専門科目で身につけた知識や技能を、社会に活かすという視点から捉える科目群と、「科学英語コミュニケーション」や「プレゼンテーション演習」で身につけた能力を実際に海外で応用する「エアスタディーズV」から構成された選択必修科目群であり、一人ひとりの多様性に対応した学修が効率よくかつ系統立てて行えるカリキュラムを編成します。 (2) 「医療産業都市構想」の中核地、ポートアイランドの立地の特性を生かし、企業や研究機関等との連携を進め、講義だけではなく、学生が社会に触れる機会を積極的に提供します。 [キャリア科目] 各自の天賦の特性と専攻分野に関する知識を社会でどのように生かしていくのかを考えるとともに、社会で活用できる力を身につけるため、キャリア教育並びにキャリア形成支援を1年次から4年次まで継続的に実施します。
2) 教育方法 (1) 1)に掲げた教育内容を身につけるために、講義、演習、実験、実習のいずれかにより又はこれらの併用により授業を実施します。 (2) 論理的思考力、伝えたい内容を適切に表現し伝達する能力、問題解決力を養成するとともに、他者と協調・協働し、社会貢献への主体性を持ち、安全や倫理を重視した、社会人に求められる責任感や倫理観を身につけるために、学生一人ひとりの顔が見える少人数で学生参加型の実験・実習・演習等を重視したクラス編成を行います。 (3) 実験系科目において、少人数教育の効果が最大限に発揮できるよう、一人の学生に対して複数の教員が指導に参加するポリバレンタシステムをとります。 (4) 考える力や洞察力を涵養するために、発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習、グループ・ディスカッション、などを中心としたアクティブ・ラーニングを活用した授業を実施します。 (5) 苦手克服、理解度向上のためのキャッチアップセミナー（時間外講義）を実施します。 (6) 成績評価をGPAで表示するとともに、学位プログラムごとの到達目標と各科目の関係を明確にし、知識・能力の習得状況を学修ポートフォリオを通じて学生にフィードバックします。
3) 学修成果の評価 学生の学修成果についての評価方法を各項目のシラバスで示し、その方法に従って評価します。

カリキュラムマップ		
到達目標		対応する卒業認定・学位授与の方針の番号
A	生命現象の理解と応用に必要な知識を習得する。	(3)
B	化学現象の理解と応用に必要な知識を習得する。	(3)
C	種々のテクノロジーを社会に活かすために必要な知識を習得する。	(1) (6)
D	ナノやバイオの知識を「新素材・ファインケミカル・食品」に活かすために必要な知識を習得する。	(1) (3)
E	ナノやバイオの知識を「医療・創薬・診断」に活かすために必要な知識を習得する。	(1) (3)
F	ナノやバイオの知識を「エレクトロニクス、エネルギー、環境」に活かすために必要な知識を習得する。	(1) (3)
G	必要に応じて英語を使用しながら、資料作成、ポスター発表、口頭発表を行える技術を習得する。	(3) (4) (5) (6)
H	理科系の最先端知識を修得し応用するために必要な、情報収集、課題発見、課題解決の能力を習得する。	(1) (4) (5) (6)
I	幅広い教養についての基礎的な知識と常識を習得する。	(1) (4)
J	責任感や倫理観を意識することができ、自らを律し他者と協調・協同する能力を習得する。	(2) (6)
K	生命現象や化学現象の理解、種々のテクノロジーの創出及びそれらの社会への活用に必要な、実験技術を習得する。	(2) (4) (6)
L	ポートアイランドキャンパス外で開講される科目を受講することで、より広い視野を持つために必要な知識と教養を習得する。	(1) (2)

生命化学科 専門教育科目表

〔2018年度（平成30年度）の入学生に適用〕

授 業 科 目 名			単位 数	期 別	配 当 年 次	到 達 目 標												
						A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	
必修 科目	教養科目	フロントランナー講座	2	後	1			○						○	○		○	
	基礎 科目	科学英語コミュニケーション1	1	前	1							○	○	○	○			
		科学英語コミュニケーション2	1	前	2							○	○	○				
		科学英語コミュニケーション3	1	前	3							○	○		○			
		科学英語コミュニケーション4	1	前	4				○	○	○	○						
		プレゼンテーション演習1	1	後	1							○	○	○				
		プレゼンテーション演習2	1	後	2							○	○	○				
		プレゼンテーション演習3	1	後	3				○			○	○		○			
		プレゼンテーション演習4	1	後	4					○	○	○	○					
		数学及び演習	3	前	1	○	○	○					○					
		英語及び演習	3	通	1							○	○	○	○			
		日本語表現及び演習	3	後	1							○	○	○	○			
		安全倫理工学	2	後	3									○	○			
		基礎体育学演習	2	通	1									○	○		○	
		基礎 専門 科目	バイオサイエンス序論	2	前	1	○				○			○				
	ナノサイエンス序論		2	前	1		○				○		○					
	ナノバイオサイエンス序論		2	前	1	○				○			○					
	ケミカルサイエンス序論		2	前	1		○		○				○					
	専門 科目	ナノバイオラボベーシックA	2	前	1	○	○	○									○	
		ナノバイオラボベーシックB	2	後	1	○	○	○									○	
		ナノバイオラボ1A	4	前	2				○	○	○						○	
		ナノバイオラボ1B	4	後	2				○	○	○						○	
		ナノバイオラボ2A	6	前	3	○	○	○	○	○	○	○	○			○		
		ナノバイオラボ2B	6	後	3	○	○	○	○	○	○	○	○			○		
		ナノバイオ卒業研究	15	通	4				○	○	○	○	○		○	○		
以上70単位必修																		

授 業 科 目 名				単 位 数	期 別	配 当 年 次	到 達 目 標														
							A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L			
選 択 必 修 科 目 A 群	専 門 科 目	A 1 バイオサイエンス パック	ベーシック科目	分子生物学	2	C	1	○		○		○									
			遺伝子工学・バイオテクノロジー	2	D	1	○		○		○										
			アドバンスト科目	生命機能科学	2	A	2	○				○				○					
			細胞工学	2	D	2	○		○		○										
			薬理学	2	B	2	○		○		○					○					
			発生学	2	B	3	○				○										
		A 2 ナノサイエンス パック	ベーシック科目	無機化学	2	C	1			○		○		○							
			量子物理化学	2	D	1			○		○		○								
			固体光化学	2	A	2			○	○			○								
			電気化学	2	A	3			○	○			○								
			アドバンスト科目	ナノテクノロジー	2	B	2			○	○	○		○							
			生物無機化学	2	C	2	○	○					○								
		A 3 ナノバイオサイエ ンスパック	ベーシック科目	生化学	2	C	1	○	○			○						○			
			生命分析化学	2	D	1	○	○									○				
			生命物理化学	2	A	2	○	○										○			
			バイオ計測工学	2	B	2	○	○				○									
			アドバンスト科目	高分子化学	2	C	2			○	○	○									
			生体分子工学	2	A	3	○	○				○									
		A 4 ケミカルサイエ ンスパック	ベーシック科目	構造有機化学	2	C	1			○		○						○			
			有機電子論	2	D	1			○		○							○			
			有機反応各論	2	A	2			○		○	○									
			有機化学と分光法	2	B	2			○	○		○				○					
			アドバンスト科目	生物有機化学	2	D	2	○	○		○										
			有機合成化学	2	B	3			○		○	○				○					
以上選択必修科目A群のうち、24単位以上選択必修。ただし、いずれか1パックについてはすべて修得すること																					
キ ャ リ ア 科 目		キャリア科目	ベーシック・キャリアデザイン	2	前	1								○		○	○				
			理系キャリアデザイン	2	集中	2			○						○	○	○			○	
			インターンシップ	2	集中	2									○		○	○			○
キャリア科目は選択必修科目の単位数に充てることができない																					

授 業 科 目 名			単 位 数	期 別	配 当 年 次	到 達 目 標												
						A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	
選 択 必 修 科 目 B 群	応用専門科目	メディカルサイエンス概論	2	A・集中	2			○		○			○					
		メディカルバイオテクノロジー	2	後	2	○	○			○			○					
		バイオ・食品関連研究開発論	2	後	2			○	○				○					
		知財マネジメント	2	後	2			○						○	○			
		バイオセンシングと環境	2	C	2			○		○	○		○					
		アドバンストマテリアル	2	D	2			○	○		○							
		国際産学コーディネーター	2	後	3			○						○	○			
		創薬テクノロジー	2	A・集中	3			○		○			○					
		ケミカルバイオロジー	2	B	3	○	○			○								
		医療テクノロジー	2	後	3			○		○			○					
		医療関連研究開発論	2	集中	3			○		○			○					
		エリアスタディーズⅤ	2	集中	1							○	○		○		○	
	教養科目	科学と健康	2	後	2	○								○				
		科学と産業政策	2	集中	3			○						○	○		○	
以上選択必修科目B群のうち、14単位以上選択必修																		
全 学 共 通 科 目 群	外国語科目	基礎ドイツ語Ⅰ	2	通	2												○	
		基礎ドイツ語Ⅱ	2	通	2												○	
		基礎フランス語Ⅰ	2	通	2												○	
		基礎フランス語Ⅱ	2	通	2												○	
		基礎中国語Ⅰ	2	通	2												○	
		基礎中国語Ⅱ	2	通	2												○	
		基礎韓国語Ⅰ	2	通	2												○	
		基礎韓国語Ⅱ	2	通	2												○	
	異なる外国語の履修は2言語までに限る																	
	国際言語文化科目	English for Science	2		1													○
		Science Writing	2		1													○
		国際理解A	2		1													○
		国際理解B	2		1													○
		国際理解C	2		1													○
		国際理解D	2		1													○
		国際理解English	2		1													○
		言語と文化Ⅰ　ドイツ	2		1													○
		言語と文化Ⅱ　ドイツ	2		1													○
		言語と文化Ⅰ　フランス	2		1													○
		言語と文化Ⅱ　フランス	2		1													○
		言語と文化Ⅰ　中国	2		1													○
		言語と文化Ⅱ　中国	2		1													○
		言語と文化Ⅰ　韓国	2		1													○
		言語と文化Ⅱ　韓国	2		1													○

授 業 科 目 名			単 位 数	期 別	配 当 年 次	到 達 目 標											
						A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
全 学 共 通 科 目 群	基 礎 共 通 科 目	哲学	2		1												○
		倫理学	2		1												○
		心理学	2		1												○
		歴史学	2		1												○
		文学	2		1												○
		哲学プラクティス	2		1												○
		社会学	2		1												○
		法学	2		1												○
		経済学	2		1												○
		経営学	2		1												○
		政治学	2		1												○
		地理学	2		1												○
		人権（同和）の問題	2		1												○
		歴史と経済	2		1												○
		歴史と社会	2		1												○
		社会思想史	2		1												○
		歴史と文化	2		1												○
		文学と歴史	2		1												○
		地域と文化	2		1												○
		芸術史	2		1												○
		現代社会論	2		1												○
		日本国憲法	2		1												○
		社会生活と法	2		1												○
		現代政治論	2		1												○
		現代社会と企業	2		1												○
		現代思想	2		1												○
		近現代の文学	2		1												○
		女性学	2		1												○
		現代の芸術	2		1												○
		現代都市論	2		1												○
		日本研究	2		1												○
		歴史とメディア	2		1												○
		世界と経済	2		1												○
		国際関係論	2		1												○
		国際化の歴史	2		1												○
		産業と経済	2		1												○
		法と情報	2		1												○
		企業と情報	2		1												○
		ことばと社会	2		1												○
		コミュニケーション論	2		1												○

授 業 科 目 名			単 位 数	期 別	配 当 年 次	到 達 目 標											
						A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
全 学 共 通 科 目 群	基 礎 共 通 科 目	イメージと文化	2		1												○
		日本語の諸相	2		1												○
		比較文化	2		1												○
		芸術学基礎論	2		1												○
		公共哲学	2		1												○
		環境法学	2		1												○
		暮らしと経済	2		1												○
		生態人類学	2		1												○
		環境人間学	2		1												○
		環境と文学	2		1												○
		環境教育の実践	2		1												○
		芸術と社会	2		1												○
		生命と倫理	2		1												○
		癒しの諸相	2		1												○
		自己の探求	2		1												○
		スポーツ文化論	2		1												○
		心の健康科学	2		1												○
		社会福祉論	2		1												○
		家族関係論	2		1												○
		生活の歴史	2		1												○
		福祉と経済	2		1												○
		生涯スポーツ論	2		1												○
		ボランティア論	2		1												○
		情報セキュリティ	2		1												○
		社会とファイナンス	2		1												○
		宗教学	2		1												○
		感情・人格心理学	2		1												○
		越境する文化と文学	2		1												○
		地域連携入門	2		1												○
		地域とメディア	2		1												○
		グローバリゼーションと文化	2		1												○
		ケアの倫理	2		1												○
		人体の構造と機能及び疾病	2		1												○
		ライフプラン教育	2		1												○
以上全学共通科目群のうち、外国語科目・国際言語文化科目から2単位以上、基礎共通科目から8単位以上選択必修																	

必修科目

教養科目	2単位
基礎科目	21単位
基礎専門科目	8単位
専門科目	39単位

選択必修科目

A群（専門科目）	24単位以上
B群（応用専門・教養科目）	14単位以上
全学共通科目群	
外国語科目	} 2単位以上
国際言語文化科目	
基礎共通科目	
	8単位以上

自由選択科目

卒業必要単位数

128単位以上

次の科目については、自由選択科目として卒業単位に充てることができる。
ただし、必修または選択必修科目の単位数に充てることができない。

〔2018年度（平成30年度）の入学生に適用〕

授 業 科 目 名			単 位 数	期 別	配 当 年 次
キ ャ リ ア 創 生 共 通 科 目	イ ア キ ン デ ヤ リ 系	キャリアゼミ	2		2
		プラクティカル・キャリアデザイン	2		3
		アドバンスト・キャリアデザイン	2		4
	ビ ジ ネ ス 系	入門マネジメント	2		2
		実践マネジメント	2		2
		ビジネスを支える法の世界	2		3
		入門ビジネス法務	2		2
		実践ビジネス法務	2		2
		入門パーソナルファイナンス	2		2
		応用パーソナルファイナンス	2		2
		入門ビジネス会計	2		2
		実践ビジネス会計	2		2
		入門商業簿記Ⅰ	2		2
		入門商業簿記Ⅱ	2		2
		中級簿記	4		2
		工業簿記	4		2
		上級簿記Ⅰ	2		2
		上級簿記Ⅱ	2		2
		上級財務諸表論Ⅰ	2		2
		上級財務諸表論Ⅱ	2		2
		上級工業簿記	2		2
		上級原価計算	2		2
	情 報 系	IT応用	2		1
		情報通信テクノロジーⅠ	2		1
		情報通信テクノロジーⅡ	2		1
		ICTセキュリティ	2		2
		IT経営学	2		3
		ITシステム開発	2		3
		統計基礎Ⅰ	2		1
		統計基礎Ⅱ	2		2
		統計活用情報分析Ⅰ	2		2
		統計活用情報分析Ⅱ	2		2

2018

授 業 科 目 名			単 位 数	期 別	配 当 年 次
キャリア創生共通科目	国際系	グローバル・コミュニケーションⅠ	4		2
		グローバル・コミュニケーションⅡ	4		2
		世界の中の日本Ⅰ	2		2
		世界の中の日本Ⅱ	2		2
		海外ボランティアⅠ	4		1
		海外ボランティアⅡ	2		1
		海外インターンシップ	4		2
	ボランティア・地域連携系	実践ボランティアⅠ	1		1
		実践ボランティアⅡ	1		1
		地域ファシリテイト	2		2
		地域プロジェクトⅠ	2		2
		地域プロジェクトⅡ	2		3
導入共通科目		甲南大学と平生鈺三郎	2		1
		共通基礎演習	2		1
		IT基礎	2		1

フロンティアサイエンス学部履修登録科目の単位制限に関する内規（抜粋）

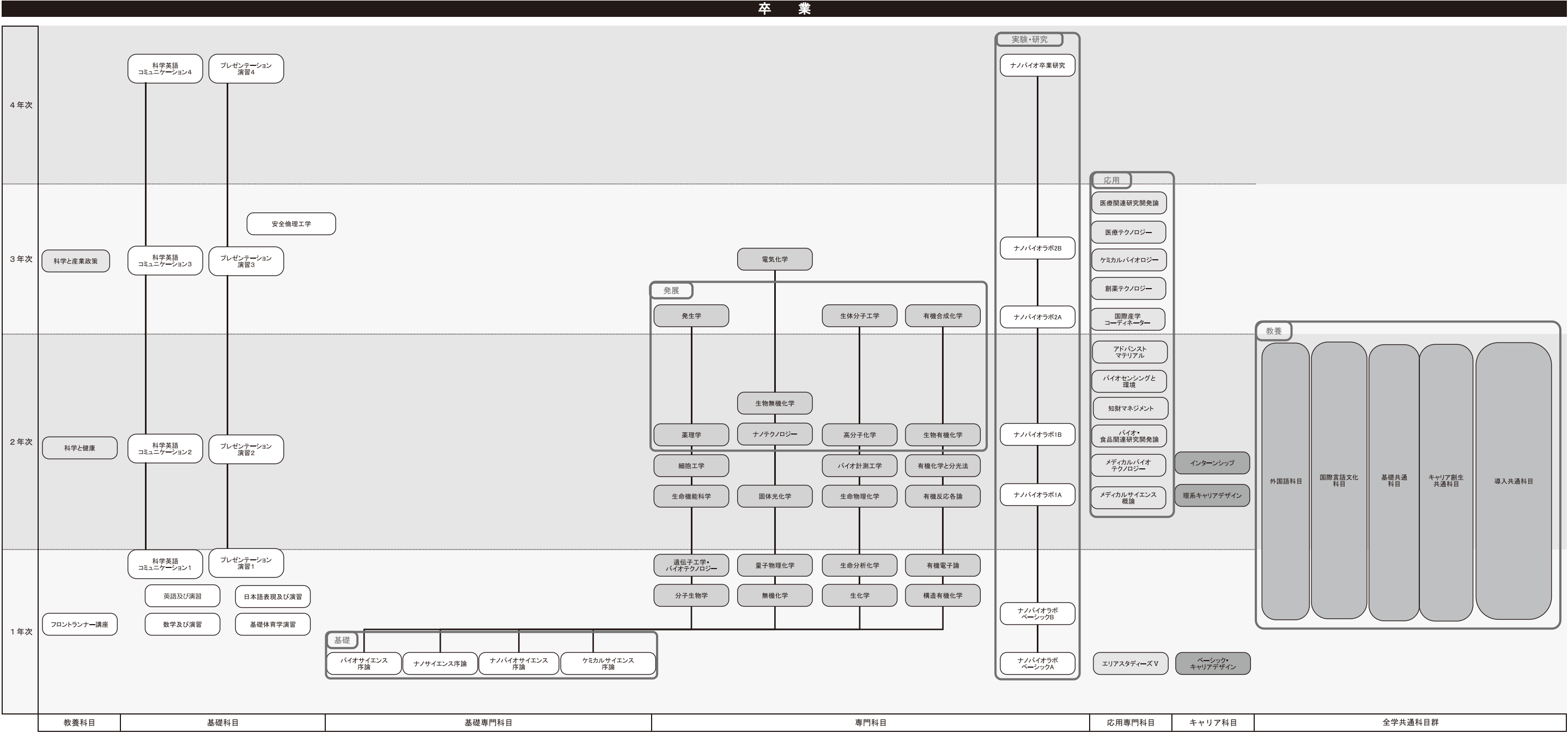
【平成30年度以前入学生に適用】

- 1 フロンティアサイエンス学部の学生が履修する授業科目において、登録単位制限を受ける科目及び単位数は次のとおりである。なお、下記表中の「授業科目表」とは、自己の入学年度に適用される授業科目表をいう。また、前期履修登録及び後期履修登録を合わせた単位数に対して登録単位制限を受けるものとする。

	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
フロンティアサイエンス学部 授業科目表に記載の科目	通年で合計 45単位以内	通年で合計 45単位以内	通年で合計 40単位以内	通年で合計 40単位以内

- 2 次に掲げる科目の単位については、前項の単位制限を受けない。

- (1) 「インターンシップ」
- (2) 「エリアスタディーズⅠ～Ⅴ」（平成25年度～平成27年度入学生に適用）
- (3) 「エリアスタディーズⅠ～Ⅹ」（平成28年度以降入学生に適用）
- (4) 「ベーシック・キャリアデザイン」
- (5) 「理系キャリアデザイン」（平成29年度以降入学生に適用）



タグの色分け

必修科目

選択必修科目A群

選択必修科目B群

キャリア科目

全学共通科目群

フロンティアサイエンス学部生命化学科専門教育科目表

※開講期別は変更される場合があります。

〔2017年度（平成29年度）入学生に適用〕

授業科目			単位	期別	配当年次	備考	
必修科目	教科養目	フロンランナー講座	2	後	1		
	基礎科目	科学英語コミュニケーション1	1	前	1		
		科学英語コミュニケーション2	1	前	2		
		科学英語コミュニケーション3	1	前	3		
		科学英語コミュニケーション4	1	前	4		
		プレゼンテーション演習1	1	後	1		
		プレゼンテーション演習2	1	後	2		
		プレゼンテーション演習3	1	後	3		
		プレゼンテーション演習4	1	後	4		
		数学及び演習	3	前	1		
		英語及び演習	3	通	1		
		日本語表現及び演習	3	後	1		
		安全倫理工学	2	後	3		
		基礎体育学演習	2	通	1		
	専門基礎科目	バイオサイエンス序論	2	前	1		
		ナノサイエンス序論	2	前	1		
		ナノバイオサイエンス序論	2	前	1		
		ケミカルサイエンス序論	2	前	1		
	専門科目	ナノバイオラボベーシックA	2	前	1		
		ナノバイオラボベーシックB	2	後	1		
		ナノバイオラボ1A	4	前	2		
		ナノバイオラボ1B	4	後	2		
		ナノバイオラボ2A	6	前	3		
		ナノバイオラボ2B	6	後	3		
		ナノバイオ卒業研究	15	通	4		
以上70単位必修							
選択必修科目A群	専門科目	A1：バイオサイエンスパック					
		ベーシック科目	分子生物学	2	C	1	
			遺伝子工学・バイオテクノロジー	2	D	1	
			生命機能科学	2	A	2	
			細胞工学	2	D	2	
		アドバンスト科目	薬理学	2	B	2	
			発生学	2	B	3	
		A2：ナノサイエンスパック					
		ベーシック科目	無機化学	2	C	1	
			量子物理化学	2	D	1	
			固体光化学	2	A	2	
			電気化学	2	A	3	
		アドバンスト科目	ナノテクノロジー	2	B	2	
			生物無機化学	2	C	2	
		A3：ナノバイオサイエンスパック					
		ベーシック科目	生化学	2	C	1	
			生命分析化学	2	D	1	
			生命物理化学	2	A	2	
			バイオ計測工学	2	B	2	
		アドバンスト科目	高分子化学	2	C	2	
			生体分子工学	2	A	3	
		A4：ケミカルサイエンスパック					
		ベーシック科目	構造有機化学	2	C	1	
			有機電子論	2	D	1	
有機反応各論	2		A	2			
有機化学と分光法	2		B	2			
アドバンスト科目	生物有機化学	2	D	2			
	有機合成化学	2	B	3			
以上選択必修科目A群のうち、24単位以上選択必修 ただし、いずれか1パックについてはすべて修得すること							
キャリア科目	ベーシック・キャリアデザイン		2	前集中集中	1	選択必修科目の単位数に 充てることができない	
	理系キャリアデザイン		2		2		
	インターンシップ		2		2		

授業科目			単位数	期別	配当 年次	備考
選択必修科目B群	応用専門科目	メディカルサイエンス概論	2	A・集中	2	
		メディカルバイオテクノロジー	2	後	2	
		バイオ・食品関連研究開発論	2	後	2	
		知財マネジメント	2	後	2	
		バイオセンシングと環境	2	C	2	
		アドバンストマテリアル	2	D	2	
		国際産学コーディネーター	2	後	3	
		創薬テクノロジー	2	A・集中	3	
		ケミカルバイオロジー	2	B	3	
		医療テクノロジー	2	後	3	
		医療関連研究開発論	2	集中	3	
	エリアスタディーズV	2	集中	1		
教科 養目	科学と健康	2	後	2		
科学と産業政策	2	集中	3			
以上選択必修科目B群のうち、14単位以上選択必修						
全学共通科目群	外国語科目	基礎ドイツ語Ⅰ	2	通	2	異なる外国語の履修は 2言語までに限る
		基礎ドイツ語Ⅱ	2	通	2	
		基礎フランス語Ⅰ	2	通	2	
		基礎フランス語Ⅱ	2	通	2	
		基礎中国語Ⅰ	2	通	2	
		基礎中国語Ⅱ	2	通	2	
		基礎韓国語Ⅰ	2	通	2	
		基礎韓国語Ⅱ	2	通	2	
	国際言語文化科目	English for Science	2		1	
		Science Writing	2		1	
		国際理解Ⅰ	2		1	
		国際理解Ⅱ	2		1	
		言語と文化Ⅰ ドイツ	2		1	
		言語と文化Ⅱ ドイツ	2		1	
		言語と文化Ⅰ フランス	2		1	
		言語と文化Ⅱ フランス	2		1	
		言語と文化Ⅰ 中国	2		1	
		言語と文化Ⅱ 中国	2		1	
		言語と文化Ⅰ 韓国	2		1	
		言語と文化Ⅱ 韓国	2		1	
	基礎共通科目	哲学	2		1	
		倫理学	2		1	
		心理学	2		1	
		歴史	2		1	
		文学	2		1	
		論理学	2		1	
		社会学	2		1	
		法学	2		1	
		経済学	2		1	
		経営学	2		1	
		政治学	2		1	
		地理学	2		1	
		人権（同和）の問題	2		1	
		歴史と経済	2		1	
		法史	2		1	
		政治史	2		1	
		歴史と民族	2		1	
		思想の歴史	2		1	
		東洋文化史	2		1	
		西洋文化史	2		1	
		歴史と文学	2		1	
		地域と文化	2		1	
		芸術史	2		1	
		現代社会論	2		1	
		日本国憲法	2		1	
		社会生活と法	2		1	
現代の経済		2		1		
現代政治論		2		1		
現代社会と企業		2		1		
現代思想		2		1		
歴史の中の現代		2		1		
現代の文学		2		1		
女性学		2		1		
現代の芸術		2		1		
現代都市論	2		1			
日本研究	2		1			
ヨーロッパ研究	2		1			

授業科目			単位数	期別	配当 年次	備考
全学 共通科目群	基礎 共通科目	アジア研究	2		1	
		アメリカ研究	2		1	
		オセアニア研究	2		1	
		アフリカ研究	2		1	
		国際経済	2		1	
		国際社会の法	2		1	
		国際政治	2		1	
		国際経営	2		1	
		国際関係論	2		1	
		歴史の中の国際化	2		1	
		情報と経済	2		1	
		法と情報	2		1	
		企業と情報	2		1	
		情報地理	2		1	
		情報と社会	2		1	
		ことばと社会	2		1	
		コミュニケーション論	2		1	
		イメージと文化	2		1	
		日本語の諸相	2		1	
		比較文化	2		1	
		文化記号論	2		1	
		環境社会学	2		1	
		環境倫理学	2		1	
		環境法学	2		1	
		環境行政	2		1	
		都市環境論	2		1	
		環境経済学	2		1	
		地理学と環境	2		1	
		生態人類学	2		1	
		環境人間学	2		1	
		環境と文学	2		1	
		環境教育の実践Ⅰ	2		1	
		環境教育の実践Ⅱ	2		1	
		心身論	2		1	
		生命と倫理	2		1	
		癒しの諸相	2		1	
		自己の探求	2		1	
		スポーツ文化論	2		1	
		心の健康科学	2		1	
		社会福祉論	2		1	
		家族関係論	2		1	
		生活の歴史	2		1	
		福祉と経済	2		1	
		生涯スポーツ論	2		1	
		甲南大学と平生飢三郎	2		1	
		ボランティア論	2		1	
現代ビジネス論	2		1			
情報セキュリティ	2		1			
社会と法	2		1			
社会とファイナンス	2		1			
共通基礎演習	2		1			
以上全学共通科目群のうち、外国語科目・国際言語文化科目から2単位以上、基礎共通科目から8単位以上選択必修						

必修科目		選択必修科目		自由選択科目
教養科目	2単位	A群（専門科目）	24単位以上	
基礎科目	21単位	B群（応用専門・教養科目）	14単位以上	
基礎専門科目	8単位	全学共通科目群		
専門科目	39単位	外国語科目	2単位以上	
		国際言語文化科目		
		基礎共通科目	8単位以上	
卒業必要単位数				128単位以上

次の科目については、専門教育科目（自由選択科目）として卒業単位に充てることができる。ただし、必修または選択必修科目の単位数に充てることができない。

(1) キャリア創生共通科目

授業科目		単位	期別	配当年次
キャリアデザイン系	キャリアゼミ	2		2
	プラクティカル・キャリアデザイン	2		3
	アドバンスト・キャリアデザイン	2		4
ビジネス系	入門マネジメント	2		2
	実践マネジメント	2		2
	ビジネスを支える法の世界	2		3
	入門ビジネス法務	2		2
	実践ビジネス法務	2		2
	入門パーソナルファイナンス	2		2
	応用パーソナルファイナンス	2		2
	入門ビジネス会計	2		2
	実践ビジネス会計	2		2
	入門商業簿記Ⅰ	2		2
	入門商業簿記Ⅱ	2		2
	中級簿記	4		2
	工業簿記	4		2
	上級簿記Ⅰ	2		2
	上級簿記Ⅱ	2		2
	上級財務諸表論Ⅰ	2		2
	上級財務諸表論Ⅱ	2		2
	上級工業簿記	2		2
	上級原価計算	2		2
情報系	IT応用	2		1
	情報通信テクノロジーⅠ	2		1
	情報通信テクノロジーⅡ	2		1
	ICTセキュリティ	2		2
	IT経営学	2		3
	ITシステム開発	2		3
	統計基礎Ⅰ	2		1
	統計基礎Ⅱ	2		2
	統計活用情報分析Ⅰ	2		2
	統計活用情報分析Ⅱ	2		2
国際系	グローバル・コミュニケーションⅠ	4		2
	グローバル・コミュニケーションⅡ	4		2
	世界の中の日本Ⅰ	2		2
	世界の中の日本Ⅱ	2		2
	海外ボランティアⅠ	4		1
	海外ボランティアⅡ	2		1
・ボランティア系 地域連携系	海外インターンシップ	4		2
	実践ボランティアⅠ	1		1
	実践ボランティアⅡ	1		1
	地域ファシリテーター論	2		2
	地域とメディア	2		2
	地域を知るⅠ	2		2
健康スポーツ系	地域を知るⅡ	2		3
	応用スポーツ健康科学	2		2
	スポーツ指導論演習	2		3

(2) 一般情報科目

授業科目	単位	期別	配当年次
IT基礎	2		1

フロンティアサイエンス学部履修登録科目の単位制限に関する内規（抜粋）

【平成30年度以前入学生に適用】

- 1 フロンティアサイエンス学部の学生が履修する授業科目において、登録単位制限を受ける科目及び単位数は次のとおりである。なお、下記表中の「授業科目表」とは、自己の入学年度に適用される授業科目表をいう。また、前期履修登録及び後期履修登録を合わせた単位数に対して登録単位制限を受けるものとする。

	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
フロンティアサイエンス学部 授業科目表に記載の科目	通年で合計 45単位以内	通年で合計 45単位以内	通年で合計 40単位以内	通年で合計 40単位以内

- 2 次に掲げる科目の単位については、前項の単位制限を受けない。

- (1) 「インターンシップ」
- (2) 「エリアスタディーズⅠ～Ⅴ」（平成25年度～平成27年度入学生に適用）
- (3) 「エリアスタディーズⅠ～Ⅹ」（平成28年度以降入学生に適用）
- (4) 「ベーシック・キャリアデザイン」
- (5) 「理系キャリアデザイン」（平成29年度以降入学生に適用）

卒業するために

はじめに

履修指導は、皆さんが本学部で学ぶために必要な事項を説明する重要なものですので、必ず出席するようにしてください。

甲南大学ディプロマ・ポリシー

1. ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）とは

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）とは、甲南大学の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、卒業要件や、修得を期待する能力などを示し、学生の学修成果の目標となるものです。甲南大学では、大学全体の学士課程のディプロマ・ポリシーに基づき、各学部のディプロマ・ポリシーを定めています。

2. 甲南大学（学士課程）のディプロマ・ポリシー

甲南大学では、学則第1条に定める、学術の府として広くかつ深く学芸を教授研究するとともに、学生一人ひとりの天賦の特性を啓発し、人物教育率先の甲南学園建学の理念を実現することを目的としています。

その実現のために、4年以上在学し本学の学位プログラムの課程を修め、各学部所定の必要単位数を修得することを通して、下記の能力・資質を身につけ、それらを社会生活において総合的に活用できる人材を養成することを教育目標としています。

- (1) 自ら率先して社会に貢献し、社会人に求められる責任感と倫理観を意識することができ、自らを律し、他者と協調・協働することができます。
- (2) 天賦の特性を自ら伸ばして活用する意志と能力を有しています。
- (3) 人文科学・自然科学・社会科学に関する基礎的教養、自己の能力・資質を社会生活で活用し得る基本的な技能及び自己の健康増進に関する技能を有しています。
- (4) 専攻分野に関して基本的な知識を修得しています。
- (5) 自己の意見を分かりやすく主体的に説明する能力を有しています。
- (6) 事象の中から問題を発見して論理的に考察し、収集した情報を整理・分析し、それらを総合して問題解決を図る意志と能力を有しています。

カリキュラムについて（2020年度入学生対象）

カリキュラムは、おもに本学部の学生に対して開講される、(1) 基礎科目、(2) 基礎専門科目、(3) 専門科目、(4) 応用専門科目、(5) 教養科目、(6) キャリア科目、および全学部向けに開講される、(7) 全学共通科目から成っています。

(1) 〔基礎科目〕

専門分野に関する知識や技能を身につける上で、その前提となる基礎学力や能力を養成します。「数学及び演習」、「日本語表現及び演習」では、高等学校で習得した数学、日本語に関する基礎力を再確認するとともに、専門教育を受けるのに必要なレベルまで引き上げることを目的としています。「安全倫理工学」では、科学者・技術者として身につけておくべき倫理観や、実験を安全に行うための知識を身につけます。

また、3種類の演習系科目「科学英語コミュニケーション」「プレゼンテーション演習」「科学英語プレゼンテーション演習」では、将来、専門知識や専門技能を活かして社会で活躍する際に必要となる、専門的内容に関する英語のリーディング・ライティング・スピーキング・リスニング、及び英語あるいは日本語による表現方法について学びます。

基礎科目は計15単位すべてが必修で、「数学及び演習」は通年科目、他は半期科目となっています。

(2) 〔基礎専門科目〕

4つの序論科目から成っており、無機化学（ナノ）、生物学（バイオ）、物理化学（ナノバイオ）、有機化学（ケミカル）等に関する基礎的な知識や考え方、さらに各分野の最新トピックス等を交え、各分野の魅力や全体像を把握できる科目構成になっています。基礎専門科目は計8単位すべてが必修で、いずれの科目も半期科目です。

(3) 〔専門科目〕

必修科目である実験科目と選択必修である講義科目から成っており、本学部での「学び」の根幹となる知識と技能を習得します。

実験科目「ナノバイオラボベーシック A」「ナノバイオラボベーシック B」「ナノバイオラボ 1 A」「ナノバイオラボ 1 B」「ナノバイオラボ 2 A」「ナノバイオラボ 2 B」は1年次から3年次まで、ナノ、バイオ、ナノバイオに関する実験技能及び関連知識を系統的に身につける構成となっています。3年次では、1つのテーマを選択して重点的に取り組むことにより、さらに高度な実験技術に加えて、結果の解釈や考察の記述に習熟する等、卒業研究への橋渡しとなる内容になっています。

4年次には「ナノバイオ卒業研究」を履修して研究室で卒業研究に取り組みます。「ナノバイオ卒業研究」は通年科目で、年度の終わりには研究内容に関する発表や質疑応答等を通じて成績評価がなされます。なお、配属先の研究室は学生の希望に応じて決定されますが、希望が集中した場合には成績をもとに調整が行われます。

講義科目は選択必修科目 A 群と位置付けられており、A 1 バイオサイエンスパック、A 2 ナノサイエンスパック、A 3 ナノバイオサイエンスパック、A 4 ケミカルサイエンスパックという 4

つのパック（科目群）に分類されています。卒業に際しては、このうち少なくとも1つのパックについては、すべての科目を修得することが求められます。これは、自らの興味や将来展望に沿って様々な科目選択を行いながらも、軸となる専門分野について深くじっくり学びたいという学生は、この選択必修科目A群を中心に履修し、複数のパックについて完全に修得すればよい、と言えます。逆に、応用分野も含めて広く学びたい学生は、1つのパックを完全に修得した上で残りの必要な単位は他のパックや応用専門科目（選択必修科目B群）から幅広く修得すればよい、と言えます。なお、選択必修科目A群の科目はすべてクォーター科目です。専門科目では、必修39単位、選択必修科目A群から24単位以上、計63単位以上を修得することが必要です。

(4)〔応用専門科目〕

専門科目で身につけたナノ、バイオ、ナノバイオ、ケミカルに関する知識や技能を、社会に活かすという視点から捉える科目群と、「科学英語コミュニケーション」や「プレゼンテーション演習」で身につけた技術を実際に海外で応用する「エアスタディーズV」から構成された選択必修科目B群です。この科目群には、環境から先端材料まで幅広い最先端科学技術を取り扱う科目、企業の研究開発等について取り扱う科目、知財関連法規や起業について取り扱う科目などが含まれ、本学部での学びが実社会で多彩に活用されていることを学びます。

12科目からなる(4)〔応用専門科目〕と、(5)〔教養科目〕のうち必修科目である「フロントランナー講座」を除く2科目（「科学と健康」「科学と産業政策」）を合わせた14科目のうちから7科目、合計14単位以上の修得が必要です。

(5)〔教養科目〕

必修科目である「フロントランナー講座」と、「科学と健康」「科学と産業政策」から構成されています。

「フロントランナー講座」は各界の最先端を切り拓いている“フロントランナー”をゲスト講師としてお招きして、先進的な考え方、困難を乗り越えた経験談、さらには甲南スピリットについて教授いただくという趣旨の科目です。1年次後期に開講され(後期科目)、早い時期に将来を考え始めるきっかけとするというキャリア教育の役割も担っています。

「科学と健康」「科学と産業政策」の2科目は、(7)〔全学共通科目〕とあわせて、幅広い教養知識の涵養を目的とした科目群です。幅広い教養を背景に科学に対して様々な視点からのアプローチが可能となるよう、新たな興味や関心を育ててください。

(5)〔教養科目〕のうち必修科目である「フロントランナー講座」を除く2科目（「科学と健康」「科学と産業政策」）と、12科目からなる(4)〔応用専門科目〕をあわせた14科目のうちから7科目、合計14単位以上の修得が必要です。

(6)〔キャリア科目〕

キャリア科目は、大学入学後の早い段階から自身のキャリアデザインに関心をもち、理想とするキャンパスを描いてその実現のために何を学ぶべきかを考えてもらうことを目的とした科目です。将来のビジョンを明確にするという意味で重要な科目ですが、本学部の学びの中心であるナノバイオ分野の

学びとは性質の異なる科目群であるため、選択必修科目の単位数にあてることができません。また、上記の科目の性質から、この科目群には3科目が含まれますが、履修する単位数は4単位までとすることを標準とします。

(7)〔全学共通科目〕

全学共通科目は、外国語科目、国際言語文化科目、基礎共通科目、保健体育科目、キャリア創生共通科目等からなります。本学部の学生は1年生では後期の金曜日の午後（「基礎体育学演習」終了後）、2年生では前期と後期の金曜日を「岡本デー」として、岡本キャンパス及び六甲アイランド体育施設でもこれらの科目を学びます。外国語科目は英語と第二外国語からなります。国際言語文化科目は、国際理解を深め、ますますグローバル化する社会で活躍する能力を身につけることを目的とした科目です。また、基礎共通科目は、本学部の開講科目に含めることの難しい人文科学系・社会科学系を中心とする科目です。キャリア創生共通科目は、社会で活躍するフィールドを広げる、すなわちキャリアの広がりを創り出していくことを目的とした、大学と社会をつなぐ科目です。これらの多くの科目の中から、自身の興味や関心に合った科目を選択し、履修することができます。また、この岡本デーは他学部の学生との交流を深めるチャンスでもありますので、積極的に活用してください。

全学共通科目のうち、外国語科目から4単位、保健体育科目から2単位、国際言語文化科目から2単位、基礎共通科目から8単位、合計16単位が選択必修となっています。なお、本学部で選択必修科目の基礎共通科目として認められるのは、人文科学系・社会科学系・学際融合系・導入共通科目（IT基礎を除く）の科目です。第二外国語については、1言語のみが認められます。岡本キャンパス及び六甲アイランド体育施設で開講される科目は、1、2年次の岡本デーの機会に卒業に必要な単位数を修得できなかった場合、卒業要件を満たすために3年次以上でキャンパス間移動を伴う履修をする必要がありますので、特に注意して、よく考えた上で、履修登録をしてください。

(7)で記載している「岡本デー」に伴うキャンパス間の移動で、岡本までの経路が定期券の区間外の皆さんには、1年生は帰りの片道分（行きは、基礎体育学演習で乗車するバスで移動します）、2年生は往復分の回数券を支給する形で交通費を補助します。回数券の区間と交通機関は、JR「三ノ宮から摂津本山」間となります（※阪急「神戸三宮から岡本」間は支給していません）。申請方法や期日については、適宜、事務室からアナウンスがありますので、該当者は期日までに申請してください。

カリキュラムについて（2019年度以前入学生用）

カリキュラムは、おもに本学部の学生に対して開講される、(1) 基礎科目、(2) 基礎専門科目、(3) 専門科目、(4) 応用専門科目、(5) 教養科目、(6) キャリア科目、および全学部向けに開講される、(7) 全学共通科目から成っています。

(1) 〔基礎科目〕

専門分野に関する知識や技能を身につける上で、その前提となる基礎学力や能力を養成します。「数学及び演習」、「英語及び演習」、「日本語表現及び演習」では、高等学校で習得した数学、英語、日本語に関する基礎力を再確認するとともに、専門教育を受けるのに必要なレベルまで引き上げることを目的としています。「安全倫理工学」では、科学者・技術者として身につけておくべき倫理観や、実験を安全に行うための知識を身につけます。また、大学生として必要な基礎体力の養成と体育知識の習得を図る「基礎体育学演習」も基礎科目に含まれます。

また、2種類の演習系科目「科学英語コミュニケーション1～4」「プレゼンテーション演習1～4」では、将来、専門知識や専門技能を活かして社会で活躍する際に必要となる、専門的内容に関する英語のリーディング・ライティング・スピーキング・リスニング、及び英語あるいは日本語による表現技法について学びます。

基礎科目は計21単位すべてが必修で、「英語及び演習」及び「基礎体育学演習」は通年科目、他は半期科目となっています。

(2) 〔基礎専門科目〕

4つの序論科目から成っており、無機化学（ナノ）、生物学（バイオ）、物理化学（ナノバイオ）、有機化学（ケミカル）等に関する基礎的な知識や考え方、さらに各分野の最新トピックス等を交え、各分野の魅力や全体像を把握できる科目構成になっています。基礎専門科目は計8単位すべてが必修で、いずれの科目も半期科目です。

(3) 〔専門科目〕

必修科目である実験科目と選択必修である講義科目から成っており、本学部での「学び」の根幹となる知識と技能を習得します。

実験科目「ナノバイオラボベーシック A」「ナノバイオラボベーシック B」「ナノバイオラボ1 A」「ナノバイオラボ1 B」「ナノバイオラボ2 A」「ナノバイオラボ2 B」は1年次から3年次まで、ナノ、バイオ、ナノバイオに関する実験技能及び関連知識を系統的に身につける構成となっています。3年次の「ナノバイオラボ2 B」では、1つのテーマを選択して重点的に取り組むことにより、さらに高度な実験技術に加えて、結果の解釈や考察の記述に習熟する等、卒業研究への橋渡しとなる内容になっています。

4年次には、「ナノバイオ卒業研究」を履修して研究室で卒業研究に取り組みます。「ナノバイオ卒業研究」は通年科目で、年度の終わりには研究内容に関する発表や質疑応答等を通じて成績評価がなされます。なお、配属先の研究室は学生の希望に応じて決定されますが、希望が集中した場合には成

績をもとに調整が行われます。

講義科目は選択必修科目 A 群と位置付けられており、A 1 バイオサイエンスパック、A 2 ナノサイエンスパック、A 3 ナノバイオサイエンスパック、A 4 ケミカルサイエンスパックという 4 つのパック（科目群）に分類されています。卒業に際しては、このうち少なくとも 1 つのパックについては、すべての科目を修得することが求められます。これは、各学生が自らの興味や将来展望に沿って様々な科目選択を行いながらも、軸となる専門分野についてじっくり学びたいという学生は、この選択必修科目 A 群を中心に履修し、複数のパックについて完全に修得すればよい、と言えます。逆に、応用分野も含めて広く学びたい学生は、1 つのパックを完全に修得した上で残りの必要な単位は他のパックや応用専門科目（選択必修科目 B 群）から幅広く修得すればよい、と言えます。なお、選択必修科目 A 群の科目はすべてクォーター科目です。専門科目では、必修 39 単位、選択必修科目 A 群から 24 単位以上、計 63 単位以上を修得することが必要です。

(4) 〔応用専門科目〕

専門科目で身につけたナノ、バイオ、ナノバイオ、ケミカルに関する知識や技能を、社会に活かすという視点から捉える科目群と、「科学英語コミュニケーション」や「プレゼンテーション演習」で身につけた技術を実際に海外で応用する「エアスタディーズ V」から構成された選択必修科目 B 群です。この科目群には、環境から先端材料まで幅広い最先端科学を取り扱う科目、医療・創薬系の科学技術を取り扱う科目、企業の研究開発等について取り扱う科目、知財関連法規や起業について取り扱う科目などが含まれ、本学部での学びが実社会で多彩に活用されていることを学びます。

12 科目からなる (4) 〔応用専門科目〕と、(5) 〔教養科目〕のうち必修科目である「フロントランナー講座」を除く 2 科目（「科学と健康」「科学と産業政策」）をあわせた 14 科目のうちから 7 科目、合計 14 単位以上の修得が必要です。

(5) 〔教養科目〕

必修科目である「フロントランナー講座」と、「科学と健康」「科学と産業政策」から構成されています。

「フロントランナー講座」は各界の最先端を切り拓いている“フロントランナー”をゲスト講師としてお招きして、先進的な考え方、困難を乗り越えた経験談、さらには甲南スピリットについて教授いただくという趣旨の科目です。1 年次後期に開講され（後期科目）、早い時期に将来を考え始めるきっかけとするというキャリア教育の役割も担っています。

「科学と健康」「科学と産業政策」の 2 科目は、(7) 〔全学共通科目〕とあわせて、幅広い教養知識の涵養を目的とした科目群です。幅広い教養を背景に科学に対して様々な視点からのアプローチが可能となるよう、新たな興味や関心を育ててください。

(5) 〔教養科目〕のうち必修科目である「フロントランナー講座」を除く 2 科目（「科学と健康」「科学と産業政策」）と、12 科目からなる (4) 〔応用専門科目〕をあわせた 14 科目のうちから 7 科目、合計 14 単位以上の修得が必要です。

(6) 【キャリア科目】

キャリア科目は、大学入学後の早い段階から自身のキャリアデザインに関心をもち、理想とするキャリアパスを描いてその実現のために何を学ぶべきかを考えてもらうことを目的とした科目です。将来のビジョンを明確にするという意味で重要な科目ですが、本学部の学びの中心であるナノバイオ分野の学びとは性質の異なる科目群であるため、選択必修科目の単位数にはあてることができません。また、上記の科目の性質から、この科目群には3科目が含まれますが、履修する単位数は4単位までとすることを標準とします。

(7) 【全学共通科目】

全学共通科目は外国語科目、国際言語文化科目、基礎共通科目、キャリア創生共通科目等からなり、すべて岡本キャンパスで開講されます。本学部の学生は1年生では後期の金曜日の午後（「基礎体育学演習」終了後）、2年生では前期と後期の金曜日を「岡本デー」として、岡本キャンパス及び六甲アイランド体育施設でこれらの科目を学びます。外国語科目は英語以外の第二外国語科目であり、国際言語文化科目は、国際理解を深め、ますますグローバル化する社会で活躍する能力を身につけることを目的とした科目です。また、基礎共通科目は、本学部の開講科目に含めることの難しい人文科学系・社会科学系を中心とする科目です。キャリア創生共通科目は、社会で活躍するフィールドを広げる、すなわちキャリアの広がりを作り出していくことを目的とした、大学と社会をつなぐ科目です。これらの多くの科目の中から、自身の興味や関心に合った科目を選択し、履修することができます。また、この岡本デーは他学部の学生との交流を深めるチャンスでもありますので、積極的に活用してください。

外国語科目については、異なる外国語の履修は2言語までに制限されています。また、全学共通科目群のうち、外国語科目・国際言語文化科目から2単位以上、基礎共通科目から8単位以上、合計10単位以上が選択必修となっています。なお、本学部で選択必修科目の基礎共通科目として認められるのは、人文科学系・社会科学系・学際融合系・導入共通科目（IT基礎を除く）の科目です。岡本キャンパスで開講される科目は、1、2年次の岡本デーの機会に卒業に必要な単位数を修得できなかった場合、卒業要件を満たすために3年次以上でキャンパス間移動を伴う履修をする必要がありますので、特に注意して、よく考えた上で履修登録をしてください。

(7)で記載している「岡本デー」に伴うキャンパス間の移動で、岡本までの経路が定期券の区間外の皆さんには、1年生は帰りの片道分（行きは、基礎体育学演習で乗車するバスで移動します）、2年生は往復分の回数券を支給する形で交通費を補助します。回数券の区間と交通機関は、JR「三ノ宮から摂津本山」間となります（※阪急「神戸三宮から岡本」間は支給していません）。申請方法や期日については、適宜、事務室からアナウンスがありますので、該当者は期日までに申請してください。

授業について

□ 授業科目の履修について

○ 配当年次

授業科目に「配当年次」があります。これは、履修モデルにもとづいて履修するのにふさわしい年次を表しています。つまり、配当年次が3年次の授業科目を履修するためには、1・2年次の学修による知識・経験が必要だということです。逆に言えば、1年次、2年次の授業科目はより専門的な学修をするうえで履修しておくべき科目だといえます。したがって、自分の年次より高い配当年次の授業科目を履修することはできません。自分の年次以下の科目の中から選択履修してください。

○ 授業科目の選択

授業科目には、必修科目や選択必修科目等の区別があります。必修科目は、卒業するために必ず修得しなければならない科目のため、上記の「配当年次」に記載しているとおり、必ず配当された年次で修得するように努めてください。また、選択必修科目は、区分された授業科目群の中から、決められた単位数以上を修得しなければならない科目です。単位修得の成否は、次年度以降の履修に影響を及ぼすことがありますので、本書を熟読し、履修条件、「ナノバイオ卒業研究」履修条件、卒業条件を理解したうえで、慎重に履修科目を選択してください。

○ 他学部科目の履修について

他学部の科目は、2年次から履修することができます。該当する入学年度にある専門教育科目表の配当年次に従って履修してください。該当する入学年度にない専門教育科目は、履修できません。

また、他学部の履修を認めていない科目や別途申込が必要な科目もあります。登録申請後、許可された科目のみ履修が可能です。登録方法は、通常とは異なりますので、履修を希望する場合は、ポートアイランドキャンパス事務室に問い合わせてください。

□ 学期について

本学部では、授業期間を4つに分け、2020年度は4月6日から5月30日までをA期、6月3日から7月22日までをB期、9月25日から11月17日までをC期、11月20日から1月21日までをD期として位置づけ、原則として選択必修科目（A群、B群）等については、各学期8週（週2回、計15回）の授業を実施します。なお、このような形態で実施する科目をクォーター科目と呼びます。同時に、A期、B期、休業期間等を合わせた4月1日から9月16日までを前期、C期、D期、休業期間等を合わせた9月17日から3月31日までを後期として位置付け、基礎科目や選択必修科目（C群）等については、前期あるいは後期各15週（週1回、計15回）の授業を実施します。このような形態で実施する科目をそれぞれ前期科目及び後期科目（総じて半期科目）と呼びます。ただし、クォーター科目及び半期科目は、期間を定めて集中講義として授業を実施することもあります。この他、前・後期を通じて年間30週（週1回、計30回）の授業を実施する科目もあり、これらは通年科目と呼びます。

期 別	学期	期 間
前 期	A 期	4 月 6 日～ 5 月 30 日
	B 期	6 月 3 日～ 7 月 22 日
後 期	C 期	9 月 25 日～ 11 月 17 日
	D 期	11 月 20 日～ 1 月 21 日

＊ 2 ページの「令和 2 年度（2020 年度）ポートアイランドキャンパス 学年暦」を参照してください。

□ 授業時間帯について

授業は、下記の時間帯に行い、主に FIRST 棟（F-1 号館）の教室を使用します。1 限 90 分です。

時限時間帯

1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限	6 時限
9 : 00～10 : 30	10 : 40～12 : 10	13 : 00～14 : 30	14 : 40～16 : 10	16 : 20～17 : 50	18 : 00～19 : 30

□ 休講・補講について

担当教員から休講・補講の連絡があれば、〈My KONAN〉及びポートアイランドキャンパス事務室の掲示板でお知らせします。授業開始前に必ず確認してください。なお〈My KONAN〉でメールアドレスを設定すると休講・補講情報をメールで受信することもできます。

□ 集中講義について

夏期及び冬期休業中または土曜日に集中して授業を行います。授業日程は〈My KONAN〉および事務室での掲示板で発表します。履修する場合は、前期の履修登録期間に登録しなければなりません。なお、集中講義は通年科目として扱い、成績は後期に発表されます。

※「科学と産業政策（集中）」「インターンシップ（集中）」「理系キャリアデザイン（集中）」は、ポートアイランドキャンパス事務室で事前に履修希望者を受け付けます。詳細は後日〈My KONAN〉および掲示板で連絡します。

□ 基礎体育学演習（必修科目）

「基礎体育学演習」は通年科目ですので、履修登録は前期のはじめに行ってください。授業の内容は、前期は共通の講義・実技（新体力測定、トレーニング講習会、テニス等実技）で、後期はいくつかのメニューから選択する方式になります。選択の方法等については、授業の中で説明します。

なお、身体に障害がある等、やむを得ない理由がある場合には、授業の内容について、個別相談の上で設定しますので、ポートアイランドキャンパス事務室に事前に申し出てください。

1. 講義の内容

生活の中に定期的に運動を取り入れながら、自分の身体について学び、体力やフィジカル・コンディショニングの知識を深めます。まず、体力測定を実施し、自分の体力の現状を把握します。また、実技を行いながら、身体組成を測定し、身体の変化をみていきます。前期は数種類のスポーツと講義を行い、後期は選択したコースでスポーツを行います。この授業を通して、フィジ

カル・マネージメントができる姿勢を身に付けるとともに、スポーツを通してコミュニケーション力を高めることを目指します。

2. 履修上の注意

- 1) 1年次配当の必修科目であり、3年次終了までに2単位を修得しなければならない。
- 2) この科目を履修するためには、学内の定期健康診断及び身体検査を受診しなければならない。
- 3) 出席日数が年間の授業実施回数（休講は回数から除く）の3/4以上出席した者を、評価対象者とする。
- 4) この科目は、1・2限の連続科目となる。ポートアイランド校地と六甲アイランド総合体育施設および岡本校地との移動時間などが含まれるため、実際の授業時間はオリエンテーションでの指示に従うこと。
- 5) 講義場所は、基本的に六甲アイランド総合体育施設で実施する。使用する施設は講義内容によって異なるので、オリエンテーションでの指示に従うこと。
- 6) 病気、不慮の事故、その他やむを得ない理由で授業を受講できない場合は、速やかに担当教員又はポートアイランドキャンパス事務室に相談すること。
- 7) 身体障害、疾病、けが等で通常の受講に支障があると考えられる学生は、事前に担当教員又はポートアイランドキャンパス事務室に相談すること。
- 8) 体育の授業にふさわしい格好（シューズを含む）で履修し、体育館種目は、必ず室内シューズを持参すること。

□ 授業の欠席について

本学では、公に認められた欠席制度（公欠制度）はありません。病気やケガ、忌引き等で授業を欠席するときは、可能な限り事前に担当教員に連絡してください。ただし、取り扱いは担当教員の判断によります。なお、ポートアイランドキャンパス事務室に欠席の連絡を入れても、担当教員にお伝えすることはできません。

□ 授業に必要な物品について

講義等で必要となる教科書や参考書、演習に必要なパーソナルコンピュータ（PC）やソフトウェア、実験に必要な白衣、保護めがね等は、F-1号館7階の生協にて購入することができます。販売期間等の詳細は、掲示等にて周知されますので注意してください。

□ 交通機関の不通、気象警報発表に伴う授業及び試験の取扱いについて

防災気象情報等による土砂災害警戒区域への避難勧告等発令に伴う授業及び試験の取扱いについて
(※164・165ページも合わせて確認すること。)

交通機関の不通、気象警報（特別警報・暴風警報）が発表された場合の授業及び試験の取扱いは、次のとおりです。なお、岡本キャンパスは、神戸市東灘区の土砂災害警戒区域に避難勧告または避難指示が発令された場合も該当します。

＜My KONAN＞やホームページでお知らせします。必ず確認の上、行動してください。

交通機関の不通、気象警報の解除時刻 避難勧告及び避難指示の解除時刻（P I キャンパス）	授業（試験）の取り扱い
午前7時までに解除されたとき	平常どおり授業（試験）を行う
午前11時までに解除されたとき	3時限目からの授業 又は3時限目からの試験を行う※
午前11時を過ぎても解除されないとき	授業（試験）は行わない

※岡本キャンパスでは試験は4限目から行う。

授業時間中および試験時間中の取扱いについては、次のとおりとします。

	特別警報の発表 避難指示の発令（P I キャンパス）	暴風警報の発表 避難勧告の発令（岡本キャンパス）
授業時間中	発表・発令以降授業は行わない	教務部長の判断により措置する
試験時間中	発表・発令以降試験は行わない	教務部長の判断により措置する

※特別警報及び暴風警報は、次のいずれかの場合とします。

- ①別表の区分Aの地域にあるいずれかの市町に発表された場合
- ②別表の区分Bの地域にあるいずれかの市町に発表され、複数の地域が対象となった場合

【別表】

区分	地域	市 町
A	阪 神	神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町
	播磨南東部	明石市、加古川市、三木市、高砂市、小野市、加西市、加東市、稲美町、播磨町
B	播磨南西部	姫路市、相生市、赤穂市、たつの市、太子町、上郡町
	大 阪 市	大阪市
	北 大 阪	豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町、豊能町、能勢町

※交通機関の不通に伴う授業及び試験の取扱いは、次のとおりとする。

- (1) 西日本旅客鉄道株式会社のJ R 京都線（京都・大阪間）、J R 神戸線（大阪・姫路間）山陽線（姫路・上郡間）又は阪急電鉄株式会社線において、電車の運行が全面的に停止、又はこれに準ずる状況が発生した場合は、教務部長の判断により措置する。
- (2) ポートアイランドキャンパスは、神戸新交通株式会社のポートライナーの運行状況により、授業及び試験の実施について判断を必要とする場合は、フロンティアサイエンス学部長が教務部長と協議の上、決定します。
- (3) 前2号の各交通機関において計画運休が発表された場合は、学生及び教員の通学、通勤への影響を検討の上、授業及び試験の中止等を教務部長の判断によりあらかじめ措置することができる。

□ 単位制及び単位の修得について

授業は1回90分授業とし、計15回（ただし、定期試験は含みません。）を原則2単位とします。つまり、授業科目2単位は、毎週1回90分授業を前期もしくは後期に15週を基本として実施する、あるいは、毎週2回90分授業を学期中（A、B、C、D期のいずれか）に8週（15回）を基本として実施することを意味しています。ただし、期間を定めて集中講義で授業を実施することもあります。

授業科目を履修し、試験等に合格した場合、単位を修得することができます。成績評価についての詳細は、123ページに記載しています。

□ 学位について

本学部において所定の単位を修得し卒業した者には、学士（理工学）の学位が授与されます。

□ 卒業条件と履修条件について（2020年度入学生対象）

1. 卒業条件

本学部を卒業するためには、原則として4年以上在学し、かつ【必修科目64単位】（教養科目2単位・基礎科目15単位・基礎専門科目8単位・専門科目39単位）、【選択必修科目A群（専門科目）24単位】、【選択必修科目B群（応用専門科目・教養科目）14単位以上】、【全学共通科目16単位以上】（外国語科目4単位・保健体育科目2単位・国際言語文化科目2単位・基礎共通科目8単位）を修得し、合計128単位以上を修得しなければなりません。キャリア科目は、必修科目や選択必修科目の単位数に充てることはできません。

なお、選択必修科目A群に関しては、A1：バイオサイエンスパック、A2：ナノサイエンスパック、A3：ナノバイオサイエンスパック、A4：ケミカルサイエンスパックのうち、1つ以上のパックについて、すべての科目の単位を修得しなくてはなりません。また、各パック内のアドバンスト科目（A1「薬理学」「発生学」A2「ナノテクノロジー」「生物無機化学」A3「高分子化学」「生体分子工学」A4「生物有機化学」「有機合成化学」）を履修するためには、当該パックに対応する基礎専門科目（序論）を修得していることが原則として必要です。

2. ナノバイオ卒業研究の履修条件

以下の条件(1)～(7)をすべて満たしていない場合は、4年次配当科目である「ナノバイオ卒業研究」を原則として履修することができません。「ナノバイオ卒業研究」は必修科目ですので、履修することができない場合、4年間では卒業できないことになります。1年次から計画的な履修を心がけてください。また、「ナノバイオ卒業研究」の履修にあたっては、ガイダンスの際に示される各研究室のルールを守ってください。

なお、3年次配当までのすべての実験科目を修得していながら「ナノバイオ卒業研究」の履修条件を満たしていない4年次学生は、いずれかの研究室に仮配属されます。仮配属中の研究室における活動については担当教員とよく相談してください。ただし、仮配属によって「ナノバイオ卒業研究」の単位を修得することはできませんので注意してください。

- (1) 基礎科目については15単位以上修得していること。
- (2) 基礎専門科目（必修8単位）をすべて修得していること。

- (3) 専門科目については、必修24単位、選択必修科目 A 群より24単位以上を修得していること。
 - (4) 応用専門科目12科目と教養科目のうち「科学と健康」「科学と産業政策」の計14科目からなる選択必修科目 B 群より14単位以上を修得していること。
 - (5) 教養科目については、必修科目となっている「フロンランナー講座」2単位を修得していること。
 - (6) 全学共通科目については、基礎共通科目より8単位、国際言語文化科目より2単位、外国語科目より4単位、保健体育科目より2単位を修得していること。
 - (7) 選択必修科目 A 群に関しては、A 1：バイオサイエンスパック、A 2：ナノサイエンスパック、A 3：ナノバイオサイエンスパック、A 4：ケミカルサイエンスパックのうち、1つ以上のパックについて、すべての科目の単位を修得していること。
- ※4年次配当科目（「科学英語プレゼンテーション演習」「ナノバイオ卒業研究」）は同時に履修すること

3. ナノバイオラボ2 Bの履修条件

3年次前期終了時までの単位修得状況から、3年次配当科目である「ナノバイオラボ2 B」を修得したとしても前述の「ナノバイオ卒業研究」の履修要件を満たさないことが明らかな場合、原則として「ナノバイオラボ2 B」を履修することができません。「ナノバイオラボ2 B」は必修科目ですので、履修することができない場合、4年間では卒業できないことになります。1年次から計画的な履修を心がけてください。また、「ナノバイオラボ2 B」の履修にあたっては、ガイダンスの際に示される各研究室のルールを守ってください。

※「プレゼンテーション演習3」は「ナノバイオラボ2 B」と同時に履修すること。

4. 「ナノバイオラボ2 A」「ナノバイオラボ2 B」の履修について

「ナノバイオラボベーシックA」「ナノバイオラボベーシックB」「ナノバイオラボ1 A」「ナノバイオラボ1 B」のいずれかの単位を修得しておらず、「ナノバイオラボ2 A」「ナノバイオラボ2 B」の履修を希望する場合、必ず、事前に指導主任と相談をし、了承を得ること。

5. 履修科目の登録の制限について

効果的な学習を行うために、1年間に履修科目として登録することのできる単位数を、1・2年次は45単位以内、3年次以降は40単位以内に制限しています。各年次とも、この単位数を超えて履修科目を登録することはできません。

□ 卒業条件と履修条件について（2019年度以前入学生対象）

1. 卒業条件

本学部を卒業するためには、原則として4年以上在学し、かつ、【必修科目70単位】（教養科目2単位・基礎科目21単位・基礎専門科目8単位・専門科目39単位）、【選択必修科目A群（専門科目）24単位以上】、【選択必修科目B群（応用専門科目・教養科目）14単位以上】、【全学共通科目10単位以上】（外国語科目・国際言語文化科目より2単位以上、基礎共通科目から8単位以上）を修得し、合計128単位以上を修得しなければなりません。キャリア科目は、必修科目や選択必修科目の単位数に充てることはできません。

なお、選択必修科目A群に関しては、A1：バイオサイエンスパック、A2：ナノサイエンスパック、A3：ナノバイオサイエンスパック、A4：ケミカルサイエンスパックのうち、1つ以上のパックについて、すべての科目の単位を修得しなくてはなりません。また、各パック内のアドバンスト科目（A1「薬理学」「発生学」A2「ナノテクノロジー」「生物無機化学」A3「高分子化学」「生体分子工学」A4「生物有機化学」「有機合成化学」）を履修するためには、当該パックに対応する基礎専門科目（序論）を修得していることが原則として必要です。

2. ナノバイオ卒業研究の履修条件

以下の条件(1)～(7)をすべて満たしていない場合は、4年次配当科目である「ナノバイオ卒業研究」を原則として履修することができません。「ナノバイオ卒業研究」は必修科目ですので、履修することができない場合、4年間では卒業できないことになります。1年次から計画的な履修を心がけてください。また、「ナノバイオ卒業研究」の履修にあたっては、ガイダンスの際に示される各研究室のルールを守ってください。

なお、3年次配当までのすべての実験科目を修得していながら「ナノバイオ卒業研究」の履修条件を満たしていない4年次学生は、いずれかの研究室に仮配属されます。仮配属中の研究室における活動については担当教員とよく相談してください。ただし、仮配属によって「ナノバイオ卒業研究」の単位を修得することはできませんので注意してください。

- (1) 基礎科目については「基礎体育学演習」を含めた17単位以上修得していること。
- (2) 基礎専門科目（必修8単位）をすべて修得していること。
- (3) 専門科目については、必修24単位、選択必修科目A群より24単位以上を修得していること。
- (4) 応用専門科目12科目と教養科目のうち「科学と健康」「科学と産業政策」の計14科目からなる選択必修科目B群より14単位以上を修得していること。
- (5) 教養科目については、必修となっている「フロンランナー講座」2単位を修得していること。
- (6) 全学共通科目群については、外国語科目・国際言語文化科目より2単位以上、基礎共通科目より8単位以上、合計10単位以上を修得していること。
- (7) 選択必修科目A群に関しては、A1：バイオサイエンスパック、A2：ナノサイエンスパック、A3：ナノバイオサイエンスパック、A4：ケミカルサイエンスパックのうち、1つ以上のパックについて、すべての科目の単位を修得していること。

※4年次配当科目は4年次に全て同時に履修すること。

3. ナノバイオラボ2 Bの履修条件

3年次前期終了時までの単位修得状況から、3年次配当科目である「ナノバイオラボ2 B」を修得したとしても前述の「ナノバイオ卒業研究」の履修要件を満たさないことが明らかな場合、原則として「ナノバイオラボ2 B」を履修することができません。「ナノバイオラボ2 B」は必修科目ですので、履修することができない場合、4年間では卒業できないことになります。1年次から計画的な履修を心がけてください。また、「ナノバイオラボ2 B」の履修にあたっては、ガイダンスの際に示される各研究室のルールを守ってください。

※「プレゼンテーション演習3」は「ナノバイオラボ2 B」と同時に履修すること。

4. 「ナノバイオラボ2 A」「ナノバイオラボ2 B」の履修について

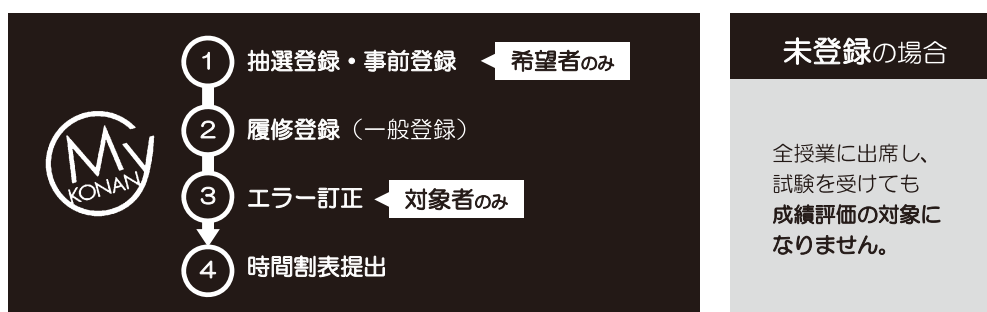
「ナノバイオラボベーシックA」「ナノバイオラボベーシックB」「ナノバイオラボ1 A」「ナノバイオラボ1 B」のいずれかの実験科目を修得しておらず、「ナノバイオラボ2 A」あるいは「ナノバイオラボ2 B」の履修を希望する場合は、必ず履修登録前に指導主任と面談し、その教育効果についてよく相談してください。

5. 履修科目の登録の制限について

効果的な学習を行うために、1年間に履修科目として登録することのできる単位数を、1・2年次は45単位以内、3年次以降は40単位以内に制限しています。各年次とも、この単位数を超えて履修科目を登録することはできません。

履修登録について

履修する科目が決定したら、〈My KONAN〉で履修登録を行います。



履修登録や履修確認は〈My KONAN〉で行うことができますので、履修登録や履修確認のために岡本キャンパスに行く必要はありません。履修登録及び登録確認の方法については、履修指導で詳細を説明しますので、必ず出席してください。

前期には、クォーター科目(A期・B期)、前期科目、集中講義を含む通年科目、クォーター科目(C期・D期)、後期科目のすべてが登録できます。1年間の履修計画を立てたうえで登録をしてください。クォーター科目(C期・D期)、後期科目については、前期および後期に登録可能です。前期に登録したものが後期に追加・変更ができますので、前期にまず登録をしてください。また、岡本キャンパスでの開講科目も履修登録ができます。期日までに登録を行わなければ、その年度は授業や試験を受けることができません。なお、抽選科目を希望する場合は、別途登録が必要となります。

また、〈My KONAN〉のクラスプロフィール機能や休講、補講、教室変更などの情報を確認するためには履修登録をすることが前提となっています。初回の授業から〈My KONAN〉を活用できるように、履修登録は早く行いましょう。

□ 履修登録期間

登録には、ユーザー ID とパスワードが必要です。操作方法については、104ページに記載している「履修登録方法」を参照してください。

なお、「ナノバイオ卒業研究」の履修要件を満たしている4年次学生は、「ナノバイオ卒業研究」（集中講義）があらかじめ登録されています。履修登録画面で確認の上、履修を希望しない場合は、履修登録画面より削除してください。

履修登録期間内は修正登録ができ、時間割はいつでも画面で確認できます。履修登録期間内に学生時間割表を印刷したものを指導主任に見せて相談の上、期日までに登録してください。

なお、前期に履修登録を完了した通年科目については、後期に登録の修正や削除をすることはできませんので注意してください。

《履修登録期間》

抽選登録期間（〈My KONAN〉で登録 深夜3：00～5：30を除く）		
前期	2年次以上配当科目	3月26日（木）9：00～3月29日（日）23：59 ※科目により、各登録期間や定員が異なりますので注意してください
	1年次配当科目	4月2日（木）9：00～4月4日（土）13：00
後期	全科目	9月15日（火）9：00～9月17日（木）23：59

履修登録期間（※深夜3：00～5：30を除く）		登録対象科目
前期	4月4日（土）15：00～4月7日（火）23：59 4月10日（金）9：00～4月14日（火）23：59	通年（集中を含む）・前期・後期科目 クォーター科目（A期～D期）
後期	9月15日（火）9：00～9月20日（日）23：59 9月23日（水）15：00～10月1日（木）23：59	後期科目 クォーター科目（C期・D期）

履修登録エラー訂正期間	
前期	4月20日（月）・21日（火）9：00～17：00
後期	10月7日（水）・8日（木）9：00～17：00

対象者のみ
〈My KONAN〉
で呼び出します

時間割表提出期間（ポートアイランドキャンパス事務室前設置ボックスに提出）	
前期	4月21日（火）～24日（金）9：00～18：00
後期	10月6日（火）～8日（木）9：00～18：00

この期間に印刷したものを提出してください

□ 抽選登録・事前登録

(1) 抽選登録・事前登録科目とは

① 抽選登録

履修者が多いと教育効果が損なわれるものや、実習や実験等の施設や設備が限定されている授業科目は、履修者を制限することがあります。これら授業科目の履修を希望する場合は、履修登録に先立って抽選登録が必要です。

抽選登録は< My KONAN >の『履修登録・抽選関連』メニューの『授業科目抽選希望登録』より申請を行います。いずれの科目もまず、抽選希望登録を行います。希望者が定員を上回る場合に、抽選で履修者を決定します。抽選の結果、定員に空きがある科目は、先着順登録を受付けます。先着順登録は、登録期間中に先着順で登録を受付け、定員に達すれば受付終了となります。

抽選登録に関する注意事項	先着順登録に関する注意事項
登録期間内は自由に変更できますが、確定後、抽選取消期間を除いては決定したクラスの変更・取消しは認めません(一部の科目のみ、履修取消期間において、取消のみを認める)。	登録した翌日に履修が確定し、履修登録画面に反映されるので、エラーがないかどうか確認してください。取消しは、登録を行った日の< My KONAN >運用終了時間(翌午前3時)までに限り可能です。先着順登録の申込画面より、希望した授業科目の「希望欄」を「しない」に切り替えてください。履修登録画面に反映された後の変更・取消しは、認めませんので、履修計画を立ててから注意して登録してください(一部の科目のみ、履修取消期間において、取消のみを認める)。

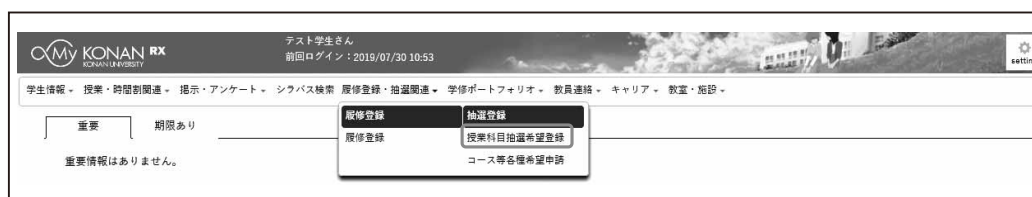
なお、操作ミス・勘違い等による登録間違いを解消する目的で、抽選登録で当選した科目の取消しを受け付けます。受付期間や取消方法は、本項の『(3) 抽選登録当選科目の取消方法』に記載していますので、確認してください。

② 事前登録

書類選考や面接など、特別な手続きを必要とする科目は、学部事務室で履修登録を受け付けるものや、初回の授業時に受け付ける場合があります。また、一部の必修科目や演習・ゼミなどの科目は、指定されたクラスがあらかじめ履修登録されています。該当科目や登録方法は、履修方法指定科目一覧をよく読んで手続きをしてください。

(2) 抽選・先着順登録方法 ※抽選・先着順登録科目は『4 履修方法指定科目一覧』を確認

- ① 上部に表示されたメインメニューから「履修登録・抽選関連」を選択し、「授業科目抽選希望登録」をクリックします。



- ② 「申込が可能な抽選・先着の一覧」に現在申請のできる科目が表示されます。「抽選グループ」から申請したい授業名をクリックします。

申込が可能な抽選・先着の一覧			
抽選グループ	抽選処理区分	申込期限	希望状況
E03 国語学	先着	2018/04/18(水) 11:59	
T03 英米文化論	先着 (定員で受付終了)	2018/04/18(水) 11:59	希望済
A01 民俗学	抽選	2018/04/19(木) 00:00	
C01 日本史学	先着 (定員で受付終了)	2018/04/19(木) 00:00	

- ③ 「抽選希望登録」画面が開きます。申請したい授業科目の「希望」欄を「しない」から「する」に切り替えて、「確定」ボタンをクリックします。

抽選希望登録対象一覧・抽選希望登録						抽選希望登録 [Kmd014]
抽選年度学期: 度後期 抽選グループ: TK02 文学部抽選グループ 抽選回数: 本抽選 抽選処理区分: 抽選 申込期限:						
希望	曜日時間	授業科目	開講区分	代表教員	キャンパス名称	開講学期
☐ しない	月4	14423 日本史学研究	週間授業	笹井 育子		2017年度後期
☐ しない	火6	22145 欧米文化	週間授業	永島 広一		2017年度後期
☐ しない	水1	31435 比較文化総合研究 1	週間授業	吉田 照雅		2017年度後期
☐ しない	金2	52639 英米文化論	週間授業	福岡 勝		2017年度後期
☐ しない	金3	53629 米文学演習 2	週間授業	渡 功		2017年度後期
確定						

(3) 抽選登録当選科目の取消方法

履修登録画面より、取消しを希望する科目の「削除アイコン」をクリックすることで、抽選登録で当選した科目を取消することができます。(下図を参照) ただし、この方法で取り消すことができる期間は、抽選登録取消期間のみです。また、一度取消しをすると、元には戻すことはできませんので、注意してください。

IT応用 (875) 2-62実習室 U120108 2単位 抽選・先着		抽選登録取消期間<My KONAN>にて受付	
削除アイコンをクリック		前期	4月4日(土)15:00~7日(火)23:59 (ただし、深夜3:00~5:30を除く)
		後期	9月18日(金)15:00~20日(日)23:59 (ただし、深夜3:00~5:30を除く)

(4) 注意事項

- ❖ 一度申請した科目を取り消すためには、対象の授業科目の「希望」欄を「する」から「しない」に切り替えて、「確定」ボタンをクリックしてください。この方法で取り消すことができる期間は、抽選登録は抽選登録期間終了時まで、先着順登録は申請をした日の< My KONAN >運用終了時間(翌午前3時)となります。
- ❖ 抽選登録期間終了後、当選した授業は、履修登録画面に反映されます。
- ❖ 先着順登録については、定員に達している授業は申請画面に表示されません。
- ❖ 先着順登録で当選した授業は、翌日に履修登録画面に反映されます。
- ❖ 必修科目・選択必修科目等との重複がないかどうか、しっかりと履修計画を立ててから、慎重に申請してください。

□ 履修登録

履修登録は、前期と後期の年2回実施します。各学期の始めに、履修を希望する授業科目を< My KONAN >で登録しなければなりません。期日までに登録を行わなければ、その学期の授業や試験を受けることはできません。履修登録の方法は、『(1) 履修登録方法』を確認してください。

前期は、集中講義を含む通年科目、前期科目、後期科目（後期に実施する抽選登録科目を除く）が登録できます。1年間の履修計画を立てたうえで登録してください。後期科目については、前期及び後期に登録可能です。前期に登録したのも後期に追加・変更ができます（前期に決定した抽選登録科目等を除く）ので、前期にまず登録をしてください。

注意事項

- ① クォーター科目（C期・D期）、後期開講科目についても、前期に登録をしてください。クォーター科目（C期・D期）、後期科目については、後期の履修登録期間に追加・変更・取消などの修正が可能です。
- ② 4年次生は、履修登録の結果、卒業見込証明書発行基準を満たしている場合にのみ卒業見込証明書の発行が可能となりますので、必ず後期開講科目も前期に履修登録を行ってください。
- ③ < My KONAN >のクラスプロファイルを利用するためには、履修登録が必要です。初回授業から使用できるよう、4月6日（月）までに履修登録をしてください。一旦登録した科目も、履修登録期間内は修正が可能です。
- ④ 年間の履修登録単位制限に注意しながら登録してください。単位制限の内容は、「履修要項」で確認してください。単位制限は、履修登録ができる単位の上限を定めたものです。成績の結果は単位制限には関係ありません。
- ⑤ 一つの科目で複数のクラスが設定されているものは、自由に選択してよいものや、クラス毎に履修対象が指定されているものがあります。クラス指定がされている科目については、『4 履修方法指定科目一覧』で確認してください。
- ⑥ 登録期間後の修正は一切できません。履修登録期間中に、必ず< My KONAN >で学生時間割表を確認し、間違いがないようにしてください。
- ⑦ 履修登録期間後に授業内容や難易度等との不適合等の事由で、授業の履修を取り止めたい場合は、前期・後期それぞれ定められた期間に「履修取消制度」により履修登録を取り消すことができます。詳細はP.108の履修登録の取消を確認してください。
- ⑧ 教育職員免許状や司書資格など各種の免許・資格の取得を希望する学生のために、「教育職員養成課程」「図書館学課程（図書館司書・学校図書館司書教諭）」及び「日本語教員養成課程」が設けられています。各課程を履修するにあたっては、「履修要項」及び「教職ガイドブック」を参照し、1年次から計画的に所定の単位を修得することが重要です。
各課程の所定の単位には、所属する学部・学科の卒業必要単位数に加えられるものと、そうでないものがあり、また、それぞれの学部・学科で定められている履修登録科目の単位制限にも注意してください。
- ⑨ 2020年度から「ナノバイオラボ2 A」「ナノバイオラボ2 B」は集中科目になります。
「ナノバイオラボ2 B」は「ナノバイオラボ2 A」の単位を修得していなければ、履修することができません。
前期の履修登録期間に両科目を履修登録することができますが、「ナノバイオラボ2 A」の単位を修得できなかった場合、「ナノバイオラボ2 B」が履修登録に残っていると後期の履修登録期間にエラーが表示されますので、必ず「ナノバイオラボ2 B」を履修登録から削除してください。

(1) 履修登録方法

- ① < My KONAN >にログインし、上部に表示されたメインメニューから「履修登録・抽選関連」をクリックします。
- ② 履修登録の流れが表示されます。説明をよく読んで、画面右側上部の矢印ボタンをクリックします。

学生情報 ▾ 授業・時間割関連 ▾ 掲示・アンケート ▾ シラバス検索 ▾ 履修登録・抽選関連 ▾ 学修ポートフォリオ ▾ 教員連絡 ▾ キャリア ▾ 教室・施設 ▾

1 説明画面 2 学修ポートフォリオ 3 アンケート回答 4 履修登録

説明画面 [Pkx005]

1.説明画面 履修登録は9月13日（金）9時～9月30日（月）23時59分です。
「学修ポートフォリオ」「アンケート（対象者のみ）」を確認し、必ず期限内に登録してください。

2.学修ポートフォリオ 必ず学修ポートフォリオの内容を確認し、最下段【学修目標】の「これまでの振り返り」を記入。

- ③ （ア）履修登録する曜日・時限の「+追加」ボタンをクリックします。選択した曜日・時限に履修できる授業リストが表示されます。（イ）授業リストから、履修する授業コード、名称を確認した上でチェックボックスをクリックし、（ウ）「確定」ボタンをクリックします。

(エ)クリック

授業を追加 授業コードを直接入力

履修合計単位 0

2019年度 後期

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
+追加	+追加	+追加	+追加	+追加	+追加
+追加	+追加	+追加	+追加	+追加	+追加

授業の追加

2019年度 前期 月1

授業科目	教員氏名	教室
☒ A202300 ガンタイプ編 (8)	高橋真矢	10-11講義室
☐ K110101 基礎デザインI (CX) 1910-	山口 勝	3-65講義室
☐ K110102 基礎デザインII (CX) 1910-	野村幸宏	3-31講義室
☐ K120103 基礎デザインIII (CX) 1910-	ベネッセ	3-65講義室
☐ N100100 田舎科概論I (8)	山本康彦	4-34講義室
☐ N102201 伝説的専攻 (武蔵野大学)	完全決一	10-15講義室
☐ N104501 社会科・光澤科概論I (1-)	藤原康樹	3-65講義室
☐ R101100 資料情報総論演習-	長谷川結奈	2-22講義室
☐ U111200 中絶論 (8)	中井重典	11-201講義室

(ウ)クリック

確定

- ④ 履修する授業を全て選択し終わったら、(エ)「チェック／保存」をクリックします。
※「チェック／保存」ボタンをクリックした時点で、登録内容が保存されます。授業を選択しただけでは、登録されないので注意してください。

登録内容にエラーがある場合は、エラーメッセージが表示されます。

エラーメッセージが表示された場合は、(オ)「授業の選択へ戻る」ボタンをクリックし、エラー内容に沿って、履修登録内容を訂正します。なお、エラーとなっている授業科目は履修登録が無効となります。

◆主なエラー内容

表示されているメッセージ	エラーの内容・対応方法
授業コードが間違っています。削除してください。	正しい授業コードを入力してください。
この科目はすでに修得済みです。削除してください。	既に修得した科目は再度履修できませんので削除してください。
履修科目が配当されていません。	所属する学部・学科の専門教育科目表にない科目です。他学部・他学科科目として履修したい場合は、『3(1)履修登録方法』内の『他学部・他学科科目及び他コース科目の登録について』を確認してください。
指定学部・学科にあいません。修正してください。	履修要項及び『4 履修方法指定科目一覧』で正しい履修クラス等を確認してください。他学部・他学科科目として履修したい場合は、『3(1)履修登録方法』内の『他学部・他学科科目及び他コース科目の登録について』を確認してください。
指定クラス／指定学年にあいません。修正してください。	
重複して履修しています。いずれかを削除してください。	同一科目の授業を2つ以上履修登録しています。いずれかを削除してください。
曜日・時限が重複しています。いずれかを削除してください。	同じ曜日・時限に2つ以上履修登録しています。いずれかを削除してください。
(科目名)を修得していないため履修できません。	履修要項で履修条件を確認し、履修条件を満たしていない場合は削除してください。
履修条件を充足していません。	
履修登録単位制限を超過しています。削除してください。	履修登録の単位制限を超えているので、対象の科目を削除してください。 <u>エラーを放置した場合は、登録した科目の一部もしくは全科目が無効となります。</u>
(科目名)必修科目を未登録です。確認してください。	必修科目を登録してください。履修登録をしない場合は、そのままにしておいてください。

- ⑤ 『エラーはありません』と表示されたら、もう一度登録内容に間違いがないか確認し、「完了」ボタンをクリックします。

※「完了」ボタンをクリックした後も、履修登録期間中は何度でも修正できます。

他学部・他学科科目及び他コース科目の登録

他学部・他学科科目及び他コース科目の登録は、特別な手続きが必要となります。ただし、人数に制限のあるものや、実験・実習科目、必修科目などは履修できないものもあります。他学部・他学科科目及び他コース科目の履修を希望する場合は、以下の方法で申請してください。

◆履修できる科目

自身の入学年度の科目表に記載されている配当年次に従って履修してください。1年次は、他学部・他学科の科目は履修できません。また、自身の入学年度の科目表に記載のない科目は、履修できません。なお、クラス指定がされている科目は、自身の対象クラス以外のクラスを履修することはできません。

◆登録方法

① < My KONAN >での登録

他学部・他学科科目及び他コース科目は履修登録画面の授業リストから選択できません。< My KONAN >の「シラバス検索」もしくは「授業時間割表」で授業コードを確認し、履修登録画面より、[授業コードを直接入力] タブをクリックし、授業コードを直接入力してください。

授業コード	授業科目	開講学期	開講曜日	教員氏名
☐ 1102100	日本語史I (前)	2019年度前期	月3	
☐ 1106000	社会言語学I (前)	2019年度前期	水1	
☐ 1106200	現代日本語研究I (前)	2019年度前期	木5	
☐ 1109601	演習IIa (I1)(前)	2019年度前期	月2	
☐ 1109701	演習IIb (I1)(後)	2019年度後期	月2	

※授業コードを入力後、「チェック/保存」ボタンをクリックすると、「指定クラスにありません」「履修科目が配当されていません」等のエラーが表示されますが、エラーが表示された状態で履修登録を終えてください。

② 「他学部・他学科科目及び他コース科目履修許可願」の提出

履修登録を行いエラーが表示されている状態となったら、教務部にて「他学部・他学科科目及び他コース科目履修許可願」を記入・提出してください。

< My KONAN >で履修登録を行ったとしても、許可願の提出がない場合は、該当科目の履修登録が取消されますので注意してください。

◆履修可否の確認方法

エラーが表示された科目は、提出された許可願をもとに教務部で履修が可能な科目かどうかのチェックを行います。履修が可能であれば、履修登録期間の当日14:00までに許可願を提出したものは、翌日に履修登録画面で再度「チェック/保存」ボタンをクリックするとエラーが消えますので確認してください。

当日14:00以降に提出した場合は翌々日に反映されます。翌日または翌々日になってもエラーが消えない場合は、履修できない科目ですので削除してください。

◆理工学部及び知能情報学部の実験・実習科目の登録

履修を希望する場合は、ポートアイランドキャンパス事務室または、教務部へお越しください。

(2) エラー訂正

履修登録期間終了後、登録内容にエラーがある場合は、＜ My KONAN ＞でお知らせします。エラー訂正の対象者は、必ず教務部に申し出て指示を受けてください。

注意事項

この期間に授業科目を追加・削除することはできません。
履修登録期間内に間違いのないよう登録してください。

◆エラー訂正期間の対応

表示されているメッセージ	エラー訂正期間の対応
授業コードが間違っています。削除してください。	対象授業を削除します。修正はできません。
この科目はすでに修得済です。削除してください。	対象授業を削除します。修正はできません。
履修科目が配当されていません。	対象授業を削除します。修正はできません。 ※他学部・他学科科目として履修を希望する場合は、 <u>履修登録期間中</u> に手続きが必要です。
指定学部・学科にありません。修正してください。	
指定クラス／指定学年にありません。修正してください。	
重複して履修しています。いずれかを削除してください。	いずれかを削除します。抽選登録・事前登録科目等削除できない科目がある場合は、教務部で削除する科目を指定します。
曜日・時限が重複しています。いずれかを削除してください。	
(科目名)を修得していないため履修できません。	対象授業を削除します。修正はできません。
履修条件を充足していません。	
履修登録単位制限を超過しています。削除してください。	エラーが消えるまで削除します。抽選登録・事前登録科目など削除できない科目もあります。
必修科目を未登録です。確認してください。	履修を希望する場合は、エラー訂正期間中に教務部に申し出てください。

(3) 時間割表提出

履修登録完了後、指定された期間(『1 履修登録スケジュール』のページで確認。)に学生時間割表を印刷し、登録内容を指導主任に確認の上、署名(サイン)をしてもらい、自身も署名をして、ポートアイランドキャンパス事務室に提出してください。提出がない場合、後日登録内容について疑義があっても一切受け付けません。また、この期間に登録内容を変更することはできませんので、注意してください。

■時間割表印刷方法

- ① ＜ My KONAN ＞上部に表示されたメインメニューのうち「授業・時間割関連」から「学生時間割表」をクリックします。
- ② 画面右側上部の「PDF」ボタンをクリックすると、印刷用の学生時間割表がそれぞれ表示されるので、印刷します。

□クラス指定科目

一つの科目で複数のクラスが設定されているものは、自由に選択してよいものや、クラス毎に履修対象が指定されているものがあります。クラス指定がされている科目については、別紙の「履修方法指定科目一覧」で確認してください。

□履修登録の取消

2019年度より、全学年を対象に「欠席」評価が廃止されました。廃止に伴って、授業内容や難易度との不適合等の事由により、授業の履修を取り止めたい場合は、以下の履修取消期間に登録を取り消すことができます。

1. 履修取消期間

ポートアイランドキャンパス開講科目

A期科目	4月27日（月）～29日（水）	平日 9：00～18：00 土曜日 9：00～13：00
B期・前期・通年科目	6月24日（水）～26日（金）	
C期科目	10月16日（金）～20日（火）	
D期・後期科目	12月11日（金）～15日（火）	

岡本キャンパス開講科目

前期・通年科目	5月11日（月）～15日（金）	平日 9：00～18：00 土曜日 9：00～13：00
後期科目	10月23日（金）～29日（木）	

2. 取消方法

岡本キャンパス・ポートアイランドキャンパスで受け付けます。岡本キャンパスでは教務部（3号館1階教務係オフィス）、ポートアイランドキャンパスは事務室までお越しください。

3. 取消できない授業科目

取消できない授業科目は＜My KONAN＞で確認できます。学部・センターの指定する一部の授業科目は、授業実施上の理由により取り消すことができません。

4. 取消した科目の単位の取り扱い

取消した科目（単位）は、単位制限に含みませんが、各学年で取消しができる単位数は12単位以内です。

□シラバスについて

シラバスには、科目の到達目標や授業内容、試験の有無、成績評価の方法など、履修をするにあたって確認しなければならない事項が記載されていますので、必ず内容を確認してください。担当教員に質問がある場合は、シラバスに記載されている「オフィスアワー」を活用しましょう。

なお、シラバスの内容は、授業の進行などによって変更されることがあります。履修登録時だけでなく、授業が始まってからも定期的に確認してください。

履修しなければならない科目、履修するかどうか迷っている科目については、シラバスで授業内容と開講している期別・曜日・時限を確認します。	シラバスは、＜My KONAN＞で確認できます。上部に表示されたメインメニューのうち「シラバス検索」をクリックします。
--	---

検索方法は、「検索条件を指定」と「カリキュラム検索」の二種類があります。「検索条件を指定」は、教員氏名から担当する科目を検索したい場合や、キーワードで検索したい場合に適しています。「カリキュラム検索」は、入学年度と学科組織を指定し、履修したい科目分類（専門教育科目や教職科目など）から授業科目を検索したい場合に適しています。

【検索条件を指定】

■ 入学年度学期

あなたの入学年度・学期を指定します。分からない場合は、「学生情報」メニューから「学籍・クラス・判定情報」をクリックし、「みなし入学年度」を確認してください。

※編入生は、実際に入学した年度から2を引いた年度が入学年度となります。

■ 開講年度学期

検索したい開講年度・学期を指定します。通年科目は、前期でも後期でも検索できます。

■ 学科組織

学部・学科・コース（日本語日本文学科及び理工学部物理学科のみ）・基礎共通科目/国際言語文化科目の選択によって異なります。基礎共通科目/国際言語文化科目は、決定するまでは全員「基礎共通」と表示されています。自分の学科組織がわからない場合は、「学生情報」メニューから「学籍・クラス・判定情報」をクリックし、「カリキュラム学科組織」を確認してください。

■ 成績用科目分類

基礎共通科目や国際言語文化科目、外国語科目、保健体育科目、専門教育科目などの授業科目区分を選択します。「すべて対象」を選択すると、すべての科目分類区分が表示されます。

■ 授業管理部署

検索したいキャンパスを選択します。

■ 科目授業種別

検索したい科目の種別を選択します。各学部・学科・全学共通科目の種別ごとにシラバスを検索できます。

検索したい科目の種別	「科目授業種別」の選択	検索したい科目の種別	「科目授業種別」の選択	検索したい科目の種別	「科目授業種別」の選択
文学部 日本語日本文学科	日本語日本文学科	経営学部	経営学部	外国語科目	学部共通（外国語）
文学部 英語英米文学科	英語英米文学科	理工学部 物理学科	物理学科	保健体育科目	学部共通（保健体育）
文学部 社会学科	社会学科	理工学部 生物学科	生物学科	キャリア創生共通科目	学部共通（キャリア創生共通）
文学部 人間科学科	人間科学科	理工学部 機能分子化学科	機能分子化学科	教職科目	学部共通（教職）
文学部 歴史文化学科	歴史文化学科	理工学部 共通	理工学部共通	図書館司書科目	学部共通（図書館司書）
文学部 共通・関連	文学部共通	知能情報学部	知能情報学科	公認心理師科目	学部共通（公認心理師）
経済学部	経済学科	基礎共通科目	学部共通（基礎共通）	国際交流・日本語特設科目	外国人留学生（YIJ）
法学部	法学科	国際言語文化科目	学部共通（国際言語文化）	日本語特設科目	一般交換留学生

■ キーワード

複数のキーワードで検索する場合は、スペースで区切ります。

【カリキュラム検索】

☐ 検索条件を指定
 ☒ カリキュラム検索

入学年度学期 ☒ 2020 選択してください ▼

学科組織 ☒ 選択してください ▼

開講年度学期 ☐ 2020 ☐ すべて対象 ▼

対象授業 ☐ ふせんを貼った授業を対象

■ 学科組織

検索したいカリキュラム学科組織を選択します。

以下に「シラバス」の記載項目を掲載していますので、参考にしてください。

授業コード (科目ナンバリング)	授業科目の個別の番号です。次ページに授業コードの概要を記載しています。
授業科目名	
担当者名	
単位数	
開講期別	前期、後期、通期などが表示されます。
曜日・時限	集中講義の日程は＜ My KONAN ＞で発表します。
教室	授業教室が表示されます。
特記事項	クラス指定などの条件等が表示されます。
オフィスアワー	担当教員に当該科目の相談ができる場所・曜日・時限です。

授業概要	授業で扱う主なテーマやトピックのキーワードなど、授業の全体像がわかる概略が書かれています。
到達目標	次の二つの到達目標が書かれています。 (1) 科目における到達目標 授業を履修した結果、「こんなことができるようになる」、「こんなことを知ることができるようになる」といった、身につく知識やスキルなどです。 (2) 科目表における到達目標 専門教育科目表または全学部共通科目授業科目表に記載された当該科目の到達目標です。
授業方法	授業がどのように進められるのかが書かれています。 学生が授業にどう関わるのか、課題（試験やレポートなど）や、授業中に教科書や補助教材などをどのように活用するか、といった情報も書かれています。
アクティブ・ラーニングの内容	アクティブ・ラーニングの要素を含む授業の場合、その内容が書かれています。
準備学習	準備学習（予習・復習等）の具体的な内容と必要な時間が書かれています。 背景知識を身につける、理解度を深める、発展的な学修を行うなど、副教材や取り組み方に関する情報が書かれています。
必要となる知識	この授業を履修するにあたって、必要となる知識や、学修しておくことが望ましい科目が書かれています。 なお、履修登録にあたり制限がかかっている場合（履修条件）は、『履修要項』に記載されています。
授業構成	授業の流れや各回の概要やテーマが書かれています。 授業は原則としてシラバスに沿って進められますが、授業の進度や休講や補講などにより計画が変更となる場合がありますので、授業での説明や＜ My KONAN ＞のお知らせを常に確認することが大切です。
実務経験のある教員等による授業科目の配置	担当する授業科目に関連した実務経験を有している教員等による授業科目に該当するかどうか書かれています。
定期試験	定期試験の有無が書かれています。
成績評価	定期試験と小テストの割合など、成績評価の基準が書かれています。
教科書	履修する上で必ず購入しなくてはならない書籍が書かれています。 生協書籍部で販売しています。
参考書・資料	授業で必ずしも使用しないが、購入が望ましい書籍などが書かれています。
授業関連事項	その他の授業に関連する情報が書かれています。
担当者からの一言	担当教員からのメッセージです。
その他	私語の禁止や携帯電話の電源オフなど、授業を受けるうえでの注意事項などが書かれています。

■ 授業コード（科目ナンバリング）

本学では、授業科目の種類、水準等を授業コード（科目ナンバリング）によって示しています。
カリキュラムマップおよびカリキュラムツリーと併せて、学修計画や履修登録に役立ててください。

各授業科目の「授業コード」は、以下のとおり8桁で構成されています。

	<u>A 5</u>	<u>0 0 1</u>	<u>1</u>	<u>0 4</u>
	1・2桁目	3～5桁目	6桁目	7・8桁目
	授業科目の種類	授業科目番号	授業科目の水準	クラス番号
例 1	【下表 1】	授業科目固有の番号	【下表 2】	クラス番号・名称
	A5 基礎共通科目 導入共通科目	001 甲南大学と平生飢三郎	1 初級レベル（1 年次）	04 4 クラス
例 2	31 経済学部 専門教育科目	003 入門ミクロ経済学	1 初級レベル（1 年次）	08 8 クラス

【表 1】授業科目の種類〔1・2 桁目〕

全学共通科目

コード	授業科目の種類	
A 1	基礎共通科目	人文科学系
A 2	基礎共通科目	社会科学系
A 3	基礎共通科目	自然科学系
A 4	基礎共通科目	学際融合系
A 5	基礎共通科目	導入共通科目
T 1	国際言語文化科目	言語と文化
T 2	国際言語文化科目	国際理解
T 3	国際言語文化科目	外国語総論
T 4	国際言語文化科目	コミュニケーション入門
T 5	外国語科目	海外語学講座
T 6	国際言語文化科目	理系国際言語文化コース
T 7	国際言語文化科目	外国人留学生国際文化コース
F 1	保健体育科目	基礎体育学演習
F 5	保健体育科目	生涯スポーツ
U 1	キャリア創生共通科目	

コード	授業科目の種類	
J 1	外国語科目	基礎英語
K 1	外国語科目	基礎ドイツ語
K 2	外国語科目	基礎フランス語
K 3	外国語科目	基礎中国語
K 4	外国語科目	基礎韓国語
K 5	外国語科目	大学日本語入門
L 1	外国語科目	中級英語
L 2	外国語科目	中級ドイツ語
L 3	外国語科目	中級フランス語
L 4	外国語科目	中級中国語
L 5	外国語科目	中級韓国語
L 6	外国語科目	大学日本語中級
M 1	外国語科目	上級英語
M 2	外国語科目	上級ドイツ語
M 3	外国語科目	上級フランス語
M 4	外国語科目	上級中国語
M 5	外国語科目	上級韓国語
M 6	外国語科目	大学日本語上級

学部・学科固有の科目（専門教育科目）

コード	授業科目の種類	
1 1	文学部	日本語日本文学科
1 2	文学部	英語英米文学科
1 3	文学部	社会学科
1 4	文学部	人間科学科
1 5	文学部	歴史文化学科
1 9	文学部	共通・関連科目
2 1	理工学部	物理学科
2 2	理工学部	生物学科
2 3	理工学部	機能分子化学科
2 9	理工学部	共通・関連科目

コード	授業科目の種類	
3 1	経済学部	経済学科
4 1	法学部	法学科
5 1	経営学部	経営学科
5 2	経営学部	経営学科(BL)
7 1	知能情報学部	知能情報学科
8 1	マシナリ創造学部	マシナリ創造学科
9 1	バイオサイエンス学部	生命化学科

※「経営学部 経営学科(BL)」は、「経営学部経営学科ビジネス・リーダー養成プログラム」。

資格取得のための科目・外国人留学生対象科目

コード	授業科目の種類	
B 1	公認心理師に関する科目	心理学基礎科目
B 2	公認心理師に関する科目	心理学発展科目
B 3	公認心理師に関する科目	実習演習科目
B 4	公認心理師に関する科目	演習科目

コード	授業科目の種類	
Q 1	日本語特設科目	
Q 2	国際交流科目	
N 1	教職に関する科目	
R 1	図書館学に関する科目	

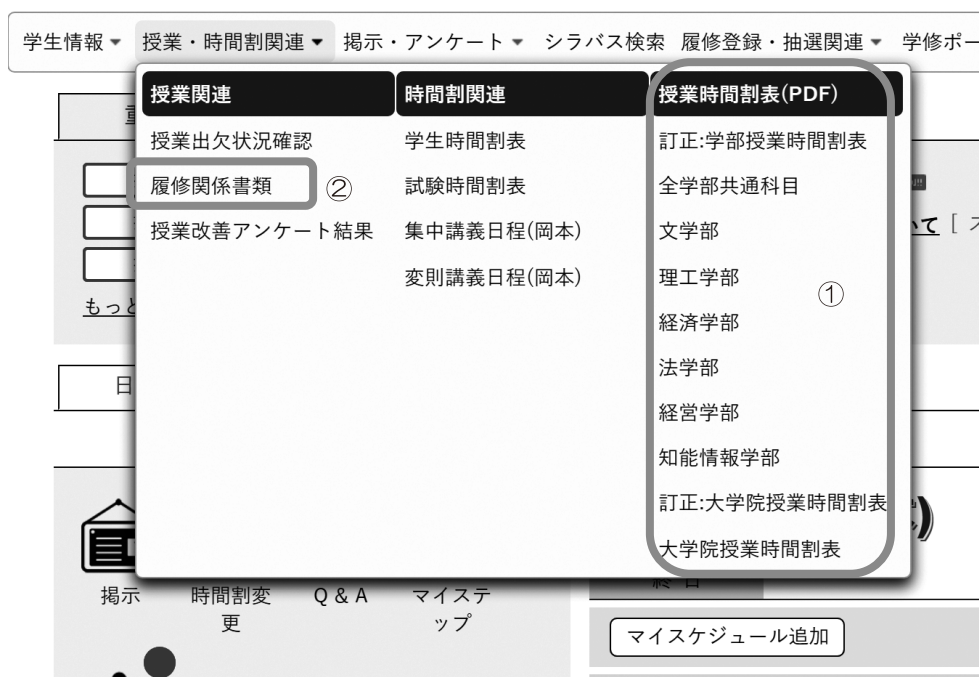
【表 2】授業科目の水準〔6 桁目〕

コード	授業科目の水準
1	初級レベル（1 年次）
2	中級レベル（2 年次）
3	上級レベル（3 年次）
4	上級レベル（4 年次）

□授業時間表について

授業時間割表は、＜ My KONAN ＞及び教務部ホームページより、PDF ファイルで確認することができます。

- ① ＜ My KONAN ＞にログインし、メニューバーの「授業・時間割関連」の「授業時間割表(PDF)」の該当する学部・学科等をクリックすると、PDF ファイルが開きます。



- ② もしくは「授業・時間割関連」の「履修関係書類」をクリックすると、教務部のホームページが開き、履修関係書類を掲載したページへ遷移します。「授業時間割表」をクリックすると、PDF ファイルが開きます。



履修方法指定科目一覧

履修登録にあたり、通常の履修登録方法とは異なり、事前の手続きや、抽選登録が必要な場合があります。また、学部や学籍番号などにより履修するクラスが指定されているものや、必修科目等で予め履修登録されているものもあります。以下の【履修方法指定科目一覧】の記載内容を確認し、各自、必要な手続きや決められたクラスの履修登録をおこなってください。

なお、抽選・先着順登録については、科目によって登録期間が異なります。【履修方法指定科目一覧】の履修方法欄に記載されている抽選・先着順の期別・区分に一致する「区分」を【抽選・先着順登録日程一覧】で確認し、それぞれ定められた期間に必要な手続きをおこなってください。

【抽選・先着順登録日程一覧】

開講期別	対象科目	抽選区分	抽選登録期間	抽選結果発表日	抽選登録取消期間	空きクラス発表日	先着順登録期間
前期 通年 集中	2年次以上 配当科目	前A	3月26日(木)9:00～ 3月29日(日)23:59	3月30日(月)	4月4日(土)15:00～ 4月7日(火)23:59	4月9日(木)	(中級英語のみ) 4月10日(金)12:30～4月14日(火)23:59 (中級英語以外) 4月11日(土)9:00～4月14日(火)23:59
	1年次 配当科目	前B	4月2日(木)9:00～ 4月4日(土)13:00	4月4日(土)	4月4日(土)15:00～ 4月7日(火)23:59	4月9日(木)	4月11日(土)9:00～4月14日(火)23:59
	法学部 基礎演習	前C	4月7日(火)9:00～ 4月8日(水)23:59	4月9日(木)		4月9日(木)	4月11日(土)9:00～4月14日(火)23:59
後期	後期科目	後	9月15日(火)9:00～ 9月17日(木)23:59	9月18日(金)	9月18日(金)15:00～ 9月20日(日)23:59	9月23日(水)	9月24日(木)9:00～10月1日(木)23:59

※国際言語文化科目の各コースに所属している学生は、所属コースの国際言語文化科目の抽選において優先されます。

【履修方法指定科目一覧】

学部・学科	授業コード	科目名称	クラス名等	クラス指定	履修方法	[1クラス定員]・クラス分け詳細・申請方法等	
基礎共通	A1010100	生態人類学		○		3・4年次(1・2年次は履修不可)	
	A2015101	社会とファイナンス	(1クラス)		抽選・先着順(前日)	[76名]	
	A2015102	(特設科目Ⅶ)	(2クラス)		抽選・先着順(後)	[76名]	
	A3009100	自然と人間		○		3・4年次(1・2年次は履修不可)	
	A4001101	情報社会のセキュリティ (情報セキュリティ) (特設科目Ⅴ)	(1クラス)		抽選・先着順(前日)	[50名]	
	A4001102		(2クラス)	○	抽選・先着順(後)	[各50名] 1・2年次(3・4年次は履修不可)	
	A4001103		(3クラス)	○	抽選・先着順(後)		
	A4009101	自己の探求	(1クラス)		抽選・先着順(後)	1～3クラス合計定員[45名]	
	A4009102		(2クラス)		抽選・先着順(後)		
	A4009103		(3クラス)		抽選・先着順(後)		
	A4009104		(4クラス)			講義クラスを希望する場合は4クラスを履修すること。	
	A4016101	フロンタランナー講座	(全学部対象)		抽選・先着順(後)	[50名]	
	A4016191		(FIRST)	○		フロンティアサイエンス学部	
	A4018101	社会を読み解く(クリティカルシンキング)	(1クラス)		抽選・先着順(前日)	[30名]	
	A4018102		(2クラス)		抽選・先着順(後)	[30名]	
	A4019101	文章表現論	(1クラス)		抽選・先着順(前日)	[30名]	
	A4019102		(2クラス)		抽選・先着順(後)	[30名]	
	A5001101	甲南大学と平生飢三郎 (特設科目Ⅰ)	(1クラス)	○		経済学部、法学部、知能情報学部	フロンティアサイエンス学部はいずれのクラスを履修してもよい
	A5001102		(2クラス)	○		文学部、理工学部、経営学部	
	A5001103		(3クラス)	○		文学部、理工学部、経営学部	
	A5001104		(4クラス)	○		経済学部、法学部、知能情報学部	
	A5002101～09	共通基礎演習	(月1～月9クラス)		抽選・先着順(前日)	合計定員180名 1年次のみを対象とするため、2年次以上は登録できません。 先着順登録をする学生は、登録予定クラスの初回授業に必ず出席すること。 初回授業が先着順登録より先に実施されるのでシラバスで日程を確認すること。	
	A5002111～16		(火1～火6クラス)		抽選・先着順(前日)	合計定員120名 1年次のみを対象とするため、2年次以上は登録できません。 先着順登録をする学生は、登録予定クラスの初回授業に必ず出席すること。 初回授業が先着順登録より先に実施されるのでシラバスで日程を確認すること。	
	A5002121～28		(水1～水8クラス)		抽選・先着順(前日)	合計定員180名 1年次のみを対象とするため、2年次以上は登録できません。 先着順登録をする学生は、登録予定クラスの初回授業に必ず出席すること。 初回授業が先着順登録より先に実施されるのでシラバスで日程を確認すること。	
	A5002131～37		(金1～金6クラス)		抽選・先着順(前日)	合計定員120名 1年次のみを対象とするため、2年次以上は登録できません。 先着順登録をする学生は、登録予定クラスの初回授業に必ず出席すること。 初回授業が先着順登録より先に実施されるのでシラバスで日程を確認すること。	
	A5002141～47		(月10～月16クラス)		抽選・先着順(後)	合計定員140名 1年次のみを対象とするため、2年次以上は登録できません。 先着順登録をする学生は、登録予定クラスの初回授業に必ず出席すること。 初回授業が先着順登録より先に実施されるのでシラバスで日程を確認すること。	
	A5002151～55		(金7～金11クラス)		抽選・先着順(後)	合計定員100名 1年次のみを対象とするため、2年次以上は登録できません。 先着順登録をする学生は、登録予定クラスの初回授業に必ず出席すること。 初回授業が先着順登録より先に実施されるのでシラバスで日程を確認すること。	

学部・学科	授業コード	科目名称	クラス名等	クラス指定	履修方法	[1/2決定員]・クラス分け詳細・申請方法等
国際言語文化	A5003101～19	IT基礎	(1～19クラス)		抽選・先着順(前B)	[各76名] 1年次優先のため、2年次以上は先着順で申し込むこと。
	A5003120～27		(20～27クラス)		抽選・先着順(後)	[各76名] 1年次優先のため、2年次以上は先着順で申し込むこと。
	T2005100	国際理解English			抽選・先着順(後)	[100名]
	T4001100	ドイツ語圏でのコミュニケーション入門			抽選・先着順(後)	[25名] 選択した第2外国語に対応する科目以外を登録可能。
	T4002100	フランス語圏でのコミュニケーション入門			抽選・先着順(後)	[25名] 選択した第2外国語に対応する科目以外を登録可能。
	T4003100	中国語圏でのコミュニケーション入門			抽選・先着順(後)	[25名] 選択した第2外国語に対応する科目以外を登録可能。
	T4004100	韓国語圏でのコミュニケーション入門			抽選・先着順(後)	[25名] 選択した第2外国語に対応する科目以外を登録可能。
	T7002100	日本の文化事情Ⅱ		○		正規留学生
	T7004100	日本理解Ⅱ		○		正規留学生
	-	College English Reading and Writing (基礎英語Ⅰ)	-		事前登録	指定されたクラスが登録されます。 4月10日(金)以降に履修登録画面で確認してください。
	-	College English Listening (基礎英語Ⅱ(A))	-		事前登録	※英語集中クラス、再履修特別クラス、SPORTSクラスの履修を希望する場合は、別途申請が必要です。 ※4月9日(木)までは「基礎外国語(未定)」と学生時間割表に表示されます。
	-	College English Speaking (基礎英語Ⅱ(B))	-		事前登録	
	-	基礎ドイツ語Ⅰ	-		事前登録	指定されたクラスが登録されます。 4月10日(金)以降に履修登録画面で確認してください。 ※4月9日(木)までは「基礎外国語(未定)」と学生時間割表に表示されます。
	-	基礎ドイツ語Ⅱ	-		事前登録	
	-	基礎フランス語Ⅰ	-		事前登録	
	-	基礎フランス語Ⅱ	-		事前登録	
	-	基礎中国語Ⅰ	-		事前登録	
	-	基礎中国語Ⅱ	-		事前登録	
	-	基礎韓国語Ⅰ	-		事前登録	
	-	基礎韓国語Ⅱ	-		事前登録	
	-	大学日本語入門Ⅰ	-		事前登録	
	-	大学日本語入門Ⅱ	-		事前登録	
	L1001201～27	中級英語Speaking (中級英語オーラル・コミュ)	(1～27クラス)		抽選・先着順(前A)	[各22名] 「クラス分けレベルチェックテスト」を受験した学生が優先されます。
	L1001291～96	中級英語Speaking	(前P) (1～6クラス)	○	抽選・先着順(前A)	[各22名] 留学のための英語集中コース対象者。「クラス分けレベルチェックテスト」を受験した学生が優先されます。
	L1002201～09	中級英語Presentation (中級英語スピーチ・コミュ)	(1～9クラス)		抽選・先着順(前A)	[各20名] 「クラス分けレベルチェックテスト」を受験した学生が優先されます。
	L1002251～54	中級英語Presentation	(前P 文) (1～4クラス)	○		留学のための英語集中コース対象者(文学部)。「クラス分けレベルチェックテスト」を受験した学生が優先されます。 ※前期と同じクラスを履修すること
	L1002261～62		(前P 経) (1～2クラス)	○		留学のための英語集中コース対象者(経済学部)。「クラス分けレベルチェックテスト」を受験した学生が優先されます。 ※前期と同じクラスを履修すること
	L1002271～72		(前P 法) (1～2クラス)	○		留学のための英語集中コース対象者(法学部)。「クラス分けレベルチェックテスト」を受験した学生が優先されます。 ※前期と同じクラスを履修すること
	L1002281～84		(前P 営) (1～4クラス)	○		留学のための英語集中コース対象者(経営学部)。「クラス分けレベルチェックテスト」を受験した学生が優先されます。 ※前期と同じクラスを履修すること
	L1003201～20	中級英語Listening (中級英語リスニング)	(1～20クラス)		抽選・先着順(前A)	[各25名] 「クラス分けレベルチェックテスト」を受験した学生が優先されます。
	L1004201～03	中級英語TOEFL	(1～3クラス)		抽選・先着順(前A)	[各25名] 「クラス分けレベルチェックテスト」を受験した学生が優先されます。
	L1004291～94		(前P) (1～4クラス)	○	抽選・先着順(前A)	[各26名] 留学のための英語集中コース対象者。「クラス分けレベルチェックテスト」を受験した学生が優先されます。
	L1005201～07	中級英語Reading (中級英語リーディング)	(1～7クラス)		抽選・先着順(前A)	[各25名] 「クラス分けレベルチェックテスト」を受験した学生が優先されます。
	L1006201～14	中級英語TOEIC	(1～14クラス)		抽選・先着順(前A)	[各25名] 「クラス分けレベルチェックテスト」を受験した学生が優先されます。
	L1007201～19	中級英語Writing (中級英語ライティング)	(1～19クラス)		抽選・先着順(前A)	[各20名] 「クラス分けレベルチェックテスト」を受験した学生が優先されます。
	L1007251	中級英語Writing	(前P 文) (1～4クラス)	○		留学のための英語集中コース対象者(文学部)。「クラス分けレベルチェックテスト」を受験した学生が優先されます。 ※前期と同じクラスを履修すること
	L1007261		(前P 経) (1～2クラス)	○		留学のための英語集中コース対象者(経済学部)。「クラス分けレベルチェックテスト」を受験した学生が優先されます。 ※前期と同じクラスを履修すること
	L1007271		(前P 法) (1～2クラス)	○		留学のための英語集中コース対象者(法学部)。「クラス分けレベルチェックテスト」を受験した学生が優先されます。 ※前期と同じクラスを履修すること
	L1007281		(前P 営) (1～4クラス)	○		留学のための英語集中コース対象者(経営学部)。「クラス分けレベルチェックテスト」を受験した学生が優先されます。 ※前期と同じクラスを履修すること

学部・学科	授業コード	科目名称	クラス名等	クラス指定	履修方法	[1771定員]・クラス分け詳細・申請方法等
外国語	L1008201	中級英語Global Topics I	(1クラス)		抽選・先着順(前A)	[各20名] 「クラス分けレベルチェックテスト」を受験した学生が優先されます。
	L1008202		(2クラス)		抽選・先着順(後)	
	L1008203		(3クラス)		抽選・先着順(後)	
	L1008204		(4クラス)		抽選・先着順(前A)	
	L1008291		(審判(1～4クラス))	○	抽選・先着順(前A)	[各20名] 留学のための英語集中コース対象者。「クラス分けレベルチェックテスト」を受験した学生が優先されます。
	L1009201	中級英語Global Topics II	(1クラス)		抽選・先着順(後)	[各20名] 「クラス分けレベルチェックテスト」を受験した学生が優先されます。
	L1009202		(2クラス)		抽選・先着順(前A)	
	L1009203		(3クラス)		抽選・先着順(後)	
	L1009291		(審判(1～3クラス))	○	抽選・先着順(前A)	
	L1010201	中級英語Life Topics I	(1クラス)		抽選・先着順(後)	[各20名] 「クラス分けレベルチェックテスト」を受験した学生が優先されます。
	L1010202		(2クラス)		抽選・先着順(後)	
	L1010203		(3クラス)		抽選・先着順(前A)	
	L1010204		(4クラス)		抽選・先着順(前A)	
	L1010205		(5クラス)		抽選・先着順(後)	
	L1010206		(6クラス)		抽選・先着順(後)	
	L1011201	中級英語Life Topics II	(1クラス)		抽選・先着順(前A)	[各20名] 「クラス分けレベルチェックテスト」を受験した学生が優先されます。
	L1011202		(2クラス)		抽選・先着順(後)	
	L1011203		(3クラス)		抽選・先着順(前A)	
	L1012201	中級英語Career English I	(1クラス)		抽選・先着順(後)	[各20名] 「クラス分けレベルチェックテスト」を受験した学生が優先されます。
	L1012202		(2クラス)		抽選・先着順(前A)	
	L1012203		(3クラス)		抽選・先着順(後)	
	L1012204		(4クラス)		抽選・先着順(前A)	
	L1013201	中級英語Career English II	(1クラス)		抽選・先着順(後)	[各20名] 「クラス分けレベルチェックテスト」を受験した学生が優先されます。
	L1013202		(2クラス)		抽選・先着順(前A)	
	L1013203		(3クラス)		抽選・先着順(後)	
	L1016201	中級英語Pronunciation	(1クラス)		抽選・先着順(前A)	[各20名]
	L1016202		(2クラス)		抽選・先着順(後)	
	L1016203		(3クラス)		抽選・先着順(前A)	
	L1016204		(4クラス)		抽選・先着順(後)	
	L2001201～05	中級ドイツ語 I	(1～5クラス)		抽選・先着順(前A)	[各20名]
	L2001206		(6クラス)		抽選・先着順(後)	[20名]
	L2002201～05	中級ドイツ語 II	(1～5クラス)		抽選・先着順(前A)	[各20名]
	L2003201～05	中級ドイツ語 III	(1～5クラス)		抽選・先着順(前A)	[各20名]
	L2004201～02	中級ドイツ語 IV	(1～2クラス)		抽選・先着順(前A)	[各20名]
	L3001201～07	中級フランス語 I	(1～7クラス)		抽選・先着順(前A)	[各20名]
	L3002201～08	中級フランス語 II	(1～8クラス)		抽選・先着順(前A)	[各20名]
	L3003201～03	中級フランス語 III	(1～3クラス)		抽選・先着順(前A)	[各20名]
	L3004201～03	中級フランス語 IV	(1～3クラス)		抽選・先着順(前A)	[各20名]
	L4001201～13	中級中国語 I	(1～13クラス)		抽選・先着順(前A)	[各20名]
	L4001214		(14クラス)		抽選・先着順(後)	[20名]
	L4002201～13	中級中国語 II	(1～13クラス)		抽選・先着順(前A)	[各20名]
	L4003201～08	中級中国語 III	(1～8クラス)		抽選・先着順(前A)	[各20名]
	L4004201～03	中級中国語 IV	(1～3クラス)		抽選・先着順(前A)	[各20名]
	L5001201～12	中級韓国語 I	(1～12クラス)		抽選・先着順(前A)	[各20名]
	L5001213		(13クラス)		抽選・先着順(後)	[20名]
	L5002201～13	中級韓国語 II	(1～13クラス)		抽選・先着順(前A)	[各20名]
	L5003201～10	中級韓国語 III	(1～10クラス)		抽選・先着順(前A)	[各20名]
	L5004201～07	中級韓国語 IV	(1～7クラス)		抽選・先着順(前A)	[各20名]
	M1006301～08	上級英語TOEIC	(1～8クラス)		抽選・先着順(前A)	[各20名]
	M1010301～02	上級英語Global Topics I (上級英語グローバルトピックス I)	(1～2クラス)		抽選・先着順(前A)	[各20名]
	M1011301～02	上級英語Global Topics II (上級英語グローバルトピックス II)	(1～2クラス)		抽選・先着順(後)	[各20名]
	M1012300	上級英語Life Topics I			抽選・先着順(前A)	[20名]
	M1013300	上級英語Life Topics II			抽選・先着順(後)	[20名]
	M1014300	上級英語Career English I			抽選・先着順(前A)	[20名]
	M1015300	上級英語Career English II			抽選・先着順(後)	[20名]
全学共通	M2001301～02	上級ドイツ語 I	(1～2クラス)		抽選・先着順(前A)	[各15名]
	M2002301～02	上級ドイツ語 II	(1～2クラス)		抽選・先着順(前A)	[各15名]
	M3001301～02	上級フランス語 I	(1～2クラス)		抽選・先着順(前A)	[各15名]
	M3002301～02	上級フランス語 II	(1～2クラス)		抽選・先着順(前A)	[各15名]
	M4001301～04	上級中国語 I	(1～4クラス)		抽選・先着順(前A)	[各15名]

学部・学科		授業コード	科目名称	クラス名等	クラス指定	履修方法	〔1772定員〕・クラス分け詳細・申請方法等	
海外語学講座		M4002301~04	上級中国語Ⅰ	(1～ 4クラス)		抽選・先着順(前A)	[各15名]	
		M5001301~03	上級韓国語Ⅰ	(1～ 3クラス)		抽選・先着順(前A)	[各15名]	
		M5002301~04	上級韓国語Ⅱ	(1～ 4クラス)		抽選・先着順(前A)	[各15名]	
		M6001300	大学日本語上級Ⅰ		○		正規留学生	
		-	海外語学講座Ⅰ	-		事前登録	国際言語文化センターが主催する「海外語学講座説明会」に出席すること。	
		-	海外語学講座Ⅱ	-		事前登録		
		-	海外語学講座Ⅲ	-		事前登録		
	留学支援	L1014101~06	English RegionsⅠ	(1～ 6クラス)		抽選・先着順(後)	[各25名]	
		L1015101~07	English RegionsⅡ	(1～ 7クラス)		抽選・先着順(後)	[各25名]	
		L2005100	German StudiesⅠ			抽選・先着順(後)	[25名]	
		L2006200	German StudiesⅡ			抽選・先着順(前A)	[25名]	
		L3005100	French StudiesⅠ			抽選・先着順(後)	[25名]	
		L3006200	French StudiesⅡ			抽選・先着順(前A)	[25名]	
		L4005100	Chinese StudiesⅠ			抽選・先着順(後)	[25名]	
		L4006200	Chinese StudiesⅡ			抽選・先着順(前A)	[25名]	
		L5005100	Korean StudiesⅠ			抽選・先着順(後)	[25名]	
	L5006200	Korean StudiesⅡ			抽選・先着順(前A)	[25名]		
	保健体育	-	基礎体育学演習			事前登録	指定されたクラスが登録されます。 ※再履修者は別途申請が必要です。	
		-	生涯スポーツ	(前期・集中種目)		抽選・先着順(前A)	種目によって定員が異なるため、詳細は<My KONAN>を確認すること。	
-		(後期種目)			抽選・先着順(後)			
教職	N1032301~04	教育の方法・技術	(1～ 4クラス)		抽選・先着順(前A)	[各35名] 後期開講クラスも前期の抽選登録期間に申し込むこと。		
	N1034401~07	教育実習Ⅰ	-		事前登録	教職課程履修者のうち、履修を許可された学生のみ登録されます。		
	N1035401~07	教育実習Ⅱ	-		事前登録			
	N1036401~06	教職実践演習(中・高)	(1～ 6クラス)		事前登録			
	N1046201	社会科・公民科教育法Ⅰ	(1クラス)	○		文学部		
	N1046202	社会科・公民科教育法Ⅰ	(2クラス)	○		文学部以外		
キャリア創生共通	U1101111	ベーシック・キャリアデザイン	(文)	○		文学部		
	U1101161		(理工)	○		理工学部		
	U1101131		(経済)(1クラス)	○		経済学部1年次 学籍番号下3桁 001～130	経済学部2年次以上はいずれのクラスを履修してもよい	
	U1101132		(経済)(2クラス)	○		経済学部1年次 学籍番号下3桁 131～260		
	U1101133		(経済)(3クラス)	○		経済学部1年次 学籍番号下3桁 260～終わり	法学部2年次以上はいずれのクラスを履修してもよい	
	U1101141		(法)(1クラス)	○		法学部1年次 学籍番号下3桁 001～130		
	U1101142		(法)(2クラス)	○		法学部1年次 学籍番号下3桁 131～260		
	U1101143		(法)(3クラス)	○		法学部1年次 学籍番号下3桁 260～終わり		
	U1101151		(経営)(1クラス)	○		経営学部1年次 学籍番号下3桁 001～135	法学部2年次以上はいずれのクラスを履修してもよい	
	U1101152		(経営)(2クラス)	○		経営学部1年次 学籍番号下3桁 136～270		
	U1101153		(経営)(3クラス)	○		経営学部1年次 学籍番号下3桁 270～終わり		
	U1101191	インターンシップ	(FIRST)	○		フロンティアサイエンス学部		
	U1102111		(文)		事後登録	キャリアセンターが主催する「インターンシップガイダンス」(日程は行事予定参照)に出席すること。		
	U1102131		(経)		事後登録			
	U1102141		(法)		事後登録			
	U1102151		(経営)		事後登録			
	U1102191		(FIRST)		事後登録			
	U1103211	キャリアゼミ	(文・法)(1クラス)		抽選・先着順(前A)	[24名]		
	U1103212		(文・法)(2クラス)		抽選・先着順(後)	[24名]		
	U1103231~34		(経済)(1～ 4クラス)		事前登録	3月24日(火)2年次履修指導時に詳細を告知します。		
	U1401101~12	IT応用	(1～12クラス)		抽選・先着順(後)	[各40名]		
	U1402100	情報通信テクノロジーⅠ			抽選・先着順(前B)	[76名]		
	U1403100	情報通信テクノロジーⅡ			抽選・先着順(後)	[36名]		
	U1404200	ICTセキュリティ			抽選・先着順(前A)	[34名]		
	U1405300	IT経営学			抽選・先着順(後)	[34名]		
	U1407100	統計基礎Ⅰ			抽選・先着順(後)	[36名]		
	U1408200	統計基礎Ⅱ			抽選・先着順(前A)	[34名]		
	U1409200	統計活用情報分析Ⅰ			抽選・先着順(前A)	[34名]		
	U1410200	統計活用情報分析Ⅱ			抽選・先着順(後)	[34名]		
	U1501201~10	グローバル・コミュニケーションⅠ	(経営)(1～10クラス)	○	事前登録	経営学部2年次 <My KONAN>で別途通知を行う。		
	U1501211~12		(全学部対象)(1～ 2クラス)		抽選・先着順(前A)	全学部2年次 合計定員32名		
	U1501213~15		(全学部対象)(3～ 5クラス)		抽選・先着順(前A)	全学部3・4年次 合計定員48名		
	U1502201~07	グローバル・コミュニケーションⅡ	(経営)(1～ 7クラス)	○	事前登録	経営学部2年次 <My KONAN>で別途通知を行う。		
	U1502208~09		(全学部対象)(1～ 2クラス)		抽選・先着順(後)	全学部2年次 合計定員40名		
	U1502210~12		(全学部対象)(3～ 5クラス)		抽選・先着順(後)	全学部3・4年次 合計定員60名		

学部・学科	授業コード	科目名称	クラス名等	クラス 指定	履修方法	[1ｸﾗｽ1定員]・ｸﾗｽ分け詳細・申請方法等
	U1503101	エリアスタディーズⅠ	1ｸﾗｽ(2020年8・9月実施)		事前登録	<My KONAN>及び国際交流センターホームページで別途通知する。
	U1503102		2ｸﾗｽ(2020年8・9月実施)		事前登録	
	U1503103		3ｸﾗｽ(2020年8・9月実施)		事前登録	
	U1505100	エリアスタディーズⅢ	(2020年8・9月実施)		事前登録	
	U1507100	エリアスタディーズⅤ	(2020年8・9月実施)		事前登録	
	U1508100	エリアスタディーズⅥ	(2021年2・3月実施)		事前登録	
	U1509101	エリアスタディーズⅦ	1ｸﾗｽ(2021年2・3月実施)		事前登録	
	U1509102		2ｸﾗｽ(2021年2・3月実施)		事前登録	
	U1509103		3ｸﾗｽ(2021年2・3月実施)		事前登録	
	U1515101	海外ボランティアⅠ	(2020年8・9月実施)		事後登録	国際言語文化センターが主催する「海外ボランティア説明会」(日程は行事予定参照)への参加及びOCIEE「海外短期ボランティア」プログラムへの申請が必要となる。
	U1515102		(2021年2・3月実施)		事後登録	
	U1516101	海外ボランティアⅡ	(2020年8・9月実施)		事後登録	
	U1516102		(2021年2・3月実施)		事後登録	
	U1601100	実践ボランティア			事後登録	地域連携センターが主催する「ボランティアガイダンス」(日程は行事予定参照)に出席してエントリーしてください。また、地域連携センターが主催する説明会(4月下旬を予定)への参加が必要となります。
	U1602100	実践ボランティアⅠ			事後登録	
	U1603100	実践ボランティアⅡ			事後登録	
	U1604200	地域ファシリテイト (地域ファシリテーター論)			抽選・先着順(後)	[30名]
	U1605100	地域プロジェクトⅠ (地域を知るⅠ)			事後登録	地域連携センターがプロジェクト毎に実施する説明会に出席し、該当するプロジェクトに参加申請する必要があります。説明会の実施日程は<My KONAN>で通知する。
	U1607100	地域プロジェクトⅡ (地域を知るⅡ)			事後登録	
国際 交流	B3002300	心理実習			事前登録	3月26日(木)13:00までに所定の様式(<My KONAN>に掲示します)で公認心理師養成センターに申請してください。
	Q2015200	ジャパスタディーズ1～12	-		事前登録	申込書等を申請期間内に国際交流センターへ提出してください。 詳細は「【第3部】3(7)国際交流科目」を確認してください。
	Q2013100	ジャパスタディーズ13 (ジャパスタディーズⅩⅢ)	(2020年9～12月実施)		事前登録	
	Q1007501～02	中級日本語Ⅱ	(1～2ｸﾗｽ)	○		交換留学生対象
	Q1009501～02	日本の文化Ⅰ	(1～2ｸﾗｽ)	○		交換留学生対象

※「エリアスタディーズⅤ」「海外ボランティア」「実践ボランティア」の説明会は、ポートアイランドキャンパスでも行います。
日程については、<My KONAN>でお知らせします。

2020年度休講科目一覧

学部	学科	科目名称	適用
全学共通	基礎共通	特設科目Ⅱ（社会生活と倫理）	16以前
		コミュニケーション論	17～18
		法史	17以前
		政治史	17以前
		東洋文化史	17以前
		財産と法	20以降
		消費者問題	20以降
		市場と法	20以降
		組織と法	20以降
		現代の経済	17以前
		現代生活と化学	17以前
		アメリカ研究	17以前
		オセアニア研究	17以前
		アフリカ研究	17以前
		国際社会における現代生物学	17以前
		情報と社会	17以前
		生物と環境	17以前
		環境の医学	17以前
		環境社会学	17以前
		環境教育の実践Ⅱ	17以前
		スポーツアスリート論	15以前
		特設科目Ⅳ（現代ビジネス論）	15～16
		現代ビジネス論	17のみ
		特設科目Ⅵ（社会と法）	15～16
		社会と法	17のみ
	国際言語文化	日本の文化事情Ⅰ	17以降
	外国語	日本理解Ⅰ	17以降
		上級英語オーラル・コミュニケーション	15以前
		上級英語スピーチ・コミュニケーション	15以前
		上級英語リスニング	15以前
		上級英語TOEFL	15以前
		上級英語リーディング	15以前
		上級英語翻訳	15以前
		上級英語ライティング	15以前
		上級英語通訳	15以前
		大学日本語中級Ⅰ	17以降
		大学日本語中級Ⅱ	17以降
		大学日本語上級Ⅱ	17以降
	保健体育	生涯スポーツ・バドミントンⅠ	
		生涯スポーツ・レクリエーションスポーツⅠ	
		生涯スポーツ・レクリエーションスポーツⅡ	
		生涯スポーツ・トレーニング実習Ⅰ	
		生涯スポーツ・トレーナー実習Ⅰ	
		生涯スポーツ・卓球Ⅰ	
		生涯スポーツ・ゴルフⅠ	
		生涯スポーツ・ジョギングⅠ	
		生涯スポーツ・健康柔道Ⅱ	
		生涯スポーツ・バレーボールⅡ	
		生涯スポーツ・スキーⅠ	
	教職	教育行政学	16以前
		社会・地理歴史・公民科教育法Ⅰ	10～16
		グローバル教育セミナー	13～18
		社会・地理歴史・公民科教育研究	10～16
		教育哲学	18以前
	キャリア創生共通	教育社会学	16以前
		ITシステム開発	16～19
		エリアスタディーズⅡ	11以降
		エリアスタディーズⅣ	11以降
		エリアスタディーズⅧ	16以降
		エリアスタディーズⅨ	16以降
	国際交流	エリアスタディーズⅩ	16以降
		ジャパスタディーズⅠ～ⅩⅡ	15～16
		ジャパスタディーズⅩⅣ	16以前
	留学生	ジャパスタディーズ3、7、10、14	17以降
		中級日本語Ⅰ	11以降
		上級日本語	11以降
		日本の文化Ⅱ	11以降

試験について

試験には、定期試験・臨時試験・追試験があります。受験に際しては学生証が必要です。

なお、ポートアイランドキャンパスで開講している科目の試験はポートアイランドキャンパスで実施、岡本キャンパスで開講している科目の試験は岡本キャンパスで実施します。

【定期試験】

定期試験とは、各期末に行われる試験をいいます。今年度は、下記の日程で行う予定です。また、定期試験等の試験開始時刻は、授業開始時刻と異なる場合があるので、試験時には試験時間表で確認してください。

※ポートアイランドキャンパスで開講の科目

クォーター科目	A 期	6 月 1 日・6 月 2 日
	B 期	7 月 27 日～8 月 1 日
	C 期	11 月 18 日・11 月 19 日
	D 期	1 月 22 日～1 月 28 日
前期科目		7 月 27 日～8 月 1 日
後期科目		1 月 22 日～1 月 28 日

※岡本キャンパスで開講の科目は、必ず〈My KONAN〉で確認してください。

【臨時試験】

定期試験以外の時期に行われる試験をいいます。

【追試験】

追試験とは、定期試験を受けることができなかった者を対象に行う試験をいいます。ただし、下表に定めるやむを得ない理由で定期試験及び臨時試験を受けられなかった者に追試験を認めます。

追試験希望者は、受験できなかった授業科目の試験日を含めて3日以内（(4)の大幅な延着に該当する場合は、当日内）に岡本キャンパス教務部または、ポートアイランドキャンパス事務室に願い出てください。「試験・成績・判定のよくある質問（FAQ）」も合わせて確認してください。

- (1) 病気の場合
- (2) 配偶者及び2親等以内の親族死亡の場合（3日間とするが、遠隔地で死亡の場合は認められた期間）
- (3) 就職試験の場合
- (4) 悪天候やストライキ等により、通学証明書に記載された経路の公共交通機関が不通あるいは大幅な延着の場合
- (5) 大学院受験の場合
- (6) 不慮の事故により被害にあった場合
- (7) 自宅等が災害により被災した場合
- (8) 教育実習等の正課における学外実習の場合
- (9) オリンピック、パラリンピック及びこれに準ずると認められる国際競技に、選手として出場した場合
- (10) その他正当な事由によって受験できなかったと所属学部長が判断し、教務部長が認めた場合

※就職試験（筆記試験、面接試験等。会社説明会や企業セミナー、内定者懇親会等は除外）と学内試験が重なり、やむを得ず学内試験を受けることができなかった場合は、追試験を申請することができます。その場合は必ず事前にポートアイランドキャンパス事務室に相談してください。

□ 学内試験における不正行為に対する処置について

次の事項に該当する場合は、直ちに退場を命ずるとともに、当該学期の試験時間割にある履修登録科目を全科目無効として、成績評価を行いません。場合によっては、甲南大学学則による処分をすることがあります。

- (1) 代人として受験すること、又は代人に受験させること。
- (2) 許可されていないノート、テキスト、参考書、六法全書、辞書等を参照すること。
- (3) あらかじめ机等へ書き込んだり、カンニングペーパー等を用意すること（六法全書、辞書等に書き込む場合も含む。）
- (4) 他人の答案をのぞき見て写しとったり、故意に写させたりすること。
- (5) 試験内容に関して私語をすること。
- (6) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末などの許可されていない電子機器類を使用すること。
- (7) その他、不公正な手段を用いて受験すること。

□ 試験の持込みについて

試験によっては参考資料、ノート等の持込みが認められています。試験場への持込みについては、「全て可」か「一切不可」のいずれかです。ただし「六法全書」、「外国語の辞書」、「電卓」は、指示がある場合に限り、持込みを認めることがあります。パーソナルコンピュータ・電子辞書及び通信機能のあるもの等の電子機械類は特に指定のない限り、これらの持込みを認めません。

また、試験時間中のテキストの貸し借りなどは、不正行為として扱いますので、特に注意してください。

□ レポートの提出について

論文またはレポートの提出は、所定の日時を厳守しなければなりません。所定の日時に遅れた場合、理由の如何を問わず受理しません。提出方法については、各担当教員からの指示に従ってください。

他人のレポートを写したり、写させたり、書籍やインターネット上の文章を流用したりすることは不正とみなし、当該科目の成績を「不可」とします。また、出席カードの代筆等も同様に取り扱います。

成績について

□ GPA について

(1) GPA とは

2009年度より、成績評価の方法として、GPA〈Grade Point Average〉制度を実施しています。学生みなさんが履修した科目の成績評価に対して定められた GP〈Grade Point〉を与え、下記計算式により算出した数値（小数点第3位を四捨五入）を GPA とし、その GPA を学修に対する一つの指標として提示するものです。みなさんは、自らの単位取得状況と同時に比較可能な「平均的な点数」（GPA）により、自己の勉学の現状を把握することができます。さらにみなさん自身が、定められた「履修制限」のもとで、「シラバス」に基づき、履修登録を自ら管理し、自己の学修を確立し、学修成果がどのレベルに位置するかを把握することにより、さらなる勉学意欲を高めることが期待できます。GPA については、各自の学修簿に記載します。

(2) GP および GPA の算出

成績等の表示及び成績評価基準（全学部共通）※2019年度から欠席の評価はなくなりました。

区分	評価	評点(成績評価基準)	GP	評価内容
合格	AA 秀	100～90点	4	特に優れた成績
	A 優	89～80点	3	優れた成績
	B 良	79～70点	2	妥当と認められる成績
	C 可	69～60点	1	合格と認められる最低限の成績
不合格	D 不可	59～0点	0	合格と認められる最低限の成績に達していない
GP 対象外	E	—	—	編入学により「単位認定」された科目

GPA 算出方式

$$\frac{4 \times \text{AA の修得単位数} + 3 \times \text{A の修得単位数} + 2 \times \text{B の修得単位数} + 1 \times \text{C の修得単位数}}{\text{総履修登録単位数（「E」の単位数を除く、「D」の単位数を含む。）}}$$

（注1）「E（単位認定科目）」は、計算式に含みません。

（注2）2019年度から欠席の評価はなくなりました。「総履修登録単位数」には、「K（欠席）」の単位数は含みません。（～2018年度）

不合格科目（D評価）を再履修し、合格の評価を得た場合及び再履修の結果再びD評価であった場合もすべてにおいて、学期ごとの GPA にも、通算の GPA にも算入されます。

（注3）学修簿には学期ごとの GPA、年度ごとの GPA、通算の GPA が記載されます。（小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位までを表記）

□ 成績発表について

成績の評価は以下のとおりです。成績の発表は前期科目を9月に、通年科目（集中講義を含む）および後期科目を3月に〈My KONAN〉と学修簿によって行います。

合格 秀 (AA)、優 (A)、良 (B)、可 (C)

不合格 不可 (D)

□ 成績の確認方法について

成績発表は、〈My KONAN〉と学修簿によって行います。

(1) 〈My KONAN〉による確認方法

- ① 上部に表示されたメインメニューのうち「学籍・判定・成績」から「成績照会」をクリックします。
- ② 年度学期ごとの成績・GPA・科目分類ごとの修得済単位数計・不足単位数が表示されます。

〔年度学期ごとの成績表示〕

科目名	単位	評価
基礎英語 II (A)	1	秀
英米文化・文学入門	4	良
基礎演習 Ia	1	秀
英米文化探訪 I	2	良
文学探訪a	2	秀
講読演習 Ia	1	秀
英作文 Ia	1	秀
イングリッシュ・フォーラム Ia	1	優
ポキャブラリー・ビルディング I	2	良
時事英語 I	2	秀
Japan In English I	2	優
IT基礎	2	優

〔GPAおよび科目分類ごとの集計数表示〕

GPA					
14 前期	14 後期	15 前期	15 後期	16 前期	
2.56	2.04	2.67	2.24	3.33	
単位修得状況					
科目分類	専門教育	必修科目	教養科目	基礎科目	基礎専門
					専門科目
卒業要件単位	128	70	2	21	8
修得済単位	88	44	2	16	8
不足単位	-40	-26		-5	-21

(2) 学修簿による確認方法

「学修簿」は、単位履修表と履修科目欄の2つに分かれます。

① 履修科目欄

- (a) *は現在履修中の授業科目をあらわしています。
- (b) 履修年度は、西暦で示しています。

② 単位履修表

- (a) 授業科目区分：区分階層にしたがってインデントが設定されています。
- (b) 卒業必要数：学則に定められた卒業に必要な科目・単位数をプリントしています。
- (c) 修得数：すでに修得した科目・単位数を授業科目区分ごとに集計しています。
- (d) 不足数：卒業するために取らなければならない残り単位数
卒業必要単位となるのは、いずれの場合も「専門科目」の下位層までです。留意してください。

学部・学科・学年により、授業科目区分や卒業必要数は異なります。

単位履修表				
授業科目区分	卒業必要数	修得数		不足数
	単位	科目	単位	単位
└専門教育	128	55	118	-10
├┐必修科目	70	23	54	-16
├┐┐教養科目	2	1	2	
├┐┐基礎科目	21	12	20	-1
├┐┐基礎専門	8	4	8	
├┐┐専門科目	39	6	24	-15
├┐┐┐選必 A		18	36	
├┐┐┐専門科目	24	18	36	
├┐┐┐┐A 1	12			-12
├┐┐┐┐A 2	12	6	12	
├┐┐┐┐A 3	12	6	12	
├┐┐┐┐A 4	12	6	12	
├┐┐┐┐キャリア		1	2	
├┐┐┐┐選必 B	14	10	20	
├┐┐┐┐全学共通科目群				
├┐┐┐┐┐外国語科目・国際言語文化科目	2	1	2	
├┐┐┐┐┐基礎共通科目	8	4	2	
├┐┐┐┐┐他科目				

【注意】
※参照

〔卒業するのに不足している科目と単位数〕

いちばん右の列には、卒業までに必要な単位の不足数を表示してあります。卒業するためには各授業科目区分の不足数がなくならなければなりません。

【注意】不足単位数の見方

不足単位数の合計は下位の授業科目区分のマイナスを集計した数と必ずしも一致する訳ではありません。特に専門科目の不足数の計は、下位のマイナスの合計よりも少ないことがあります。

※卒業するためには、それぞれの授業科目区分のマイナス表示が全てなくなることが必要です。
※ただし、選択必修科目A群のうち、いずれかの1パックについてはすべて修得する必要がありますが、いずれかのパックがコンプリートできており、かつ、選択必修科目A群のうちの単位数が24単位あれば、単位履修表の不足数にマイナスが表記されていても、問題はありません。

□ 卒業見込判定について

4年次の前期および後期に卒業見込判定を行います。いずれの時期も、『卒業見込証明書の発行基準』（176ページ）に基づいて判定を行い、履修登録後、履修登録単位数を含めて卒業必要単位を充足しているかどうか、判定を行います。判定結果は前期は5月中旬頃、後期は10月中旬頃に〈My KONAN〉の『学籍情報照会』画面から確認できます。

【卒業見込判定結果確認画面】

■ 卒業見込判定状況	
卒業見込日	2021年03月31日
卒業見込判定結果	卒業見込
卒業見込判定日	2020年10月03日

□ 卒業見込証明書について

卒業見込判定の結果、「卒業見込」の4年次生には、卒業見込証明書の発行が可能です。

発行時期が決められており、それ以外の期間には発行できませんので、注意してください。

前期	後期
5月中旬～10月中旬	10月中旬～3月下旬

□ 卒業判定について

卒業判定結果は、4年次の3月初旬に「My KONAN」の『学籍情報照会』画面から確認することができます。

3月初旬に、「未判定」から「卒業」または「卒業不可」と表示されます。

■ 卒業判定結果	
卒業予定年月	2021年03月
卒業判定結果	卒業
卒業判定日	2021年02月25日

試験・成績・判定のよくある質問（FAQ）

定期試験の時間割や追試験の日程についての案内は、〈My KONAN〉の「試験・成績に関するお知らせ」に掲載します。掲載内容に注意して間違いのないようにしてください。

● 試験前に関すること

区分	Q. 学生証を紛失してしまったのですが、仮学生証で試験を受けることはできますか？
試験前	A. 仮学生証の発行は試験期間中3回までです。学生証を紛失した場合は、ポートアイランドキャンパス事務室で再発行の手続きを行ってください。（再発行手数料がかかります。）
	Q. 携帯電話で試験時間割を確認することはできますか？
	A. 「My KONAN MOBILE」では試験時間割を参照することはできません。パソコン版の〈My KONAN〉を利用してください。

● 試験当日に関すること

区分	Q. 交通機関が遅れて試験に間に合いそうにないのですが、どうしたらいいですか？														
	A. 降車駅で日付・時間の明示された<u>延着証明書（遅延証明書）</u>を取得し、そのまま大学へ向かってください。大学到着後、直ちに教務部（各キャンパス事務室）で大学到着時間と延着証明書（遅延証明書）の照合を受けてください。追試験の対象となることが認められた場合は、追試験を申し込むことができます。申し込みの際、<u>学生証</u>が必要です。また、通学証明書を確認する場合がありますので、必ず携帯してください。 なお、追試験を希望しない場合は、試験開始後15分以内であれば遅刻者として定期試験を受験することが可能です。教務部で確認を受けると試験開始後15分を経過してしまうような時間的に切迫している場合は、直接試験場に向かい、試験監督者から指示を受けてください。ただし、試験開始後15分以上経過していた場合は、試験場に入場することはできません。														
	Q. 特別警報又は暴風警報が出ているのですが、試験はどうなりますか？														
試験当日	A. 特別警報又は暴風警報が発令された場合は、授業と同じ時刻の扱いで以下のとおり取扱います。														
	<table> <tr> <th>特別警報及び暴風警報の解除時刻</th><th>試験の取扱い</th></tr> <tr> <td>午前7時までに解除されたとき</td><td>平常どおり試験を行う</td></tr> <tr> <td>午前11時までに解除されたとき</td><td>3時限目からの試験を行う（※）</td></tr> <tr> <td>午前11時を過ぎても解除されないとき</td><td>試験は行わない</td></tr> </table>	特別警報及び暴風警報の解除時刻	試験の取扱い	午前7時までに解除されたとき	平常どおり試験を行う	午前11時までに解除されたとき	3時限目からの試験を行う（※）	午前11時を過ぎても解除されないとき	試験は行わない						
	特別警報及び暴風警報の解除時刻	試験の取扱い													
	午前7時までに解除されたとき	平常どおり試験を行う													
	午前11時までに解除されたとき	3時限目からの試験を行う（※）													
	午前11時を過ぎても解除されないとき	試験は行わない													
	※岡本では、4時限（14：10～）の試験を行う。														
	※特別警報又は暴風警報が発表されることが見込まれる場合は、試験の中止等をあらかじめ措置することがあるので、〈My KONAN〉で必ず確認してください。														
	※特別警報及び暴風警報は、次のいずれかの場合とします。														
	①別表の区分Aの地域にあるいずれかの市町に発表された場合														
②別表の区分Bの地域にあるいずれかの市町に発表され、複数の地域が対象となった場合 別表															
<table> <tr> <th>区分</th><th>地域</th><th>市町村</th></tr> <tr> <td rowspan="2">A</td><td>阪神</td><td>神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町</td></tr> <tr> <td>播磨南東部</td><td>明石市、加古川市、三木市、高砂市、小野市、加西市、加東市、稲美町、播磨町</td></tr> <tr> <td rowspan="3">B</td><td>播磨南西部</td><td>姫路市、相生市、赤穂市、たつの市、太子町、上郡町</td></tr> <tr> <td>大阪市</td><td>大阪市</td></tr> <tr> <td>北大阪</td><td>豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町、豊能町、能勢町</td></tr> </table>	区分	地域	市町村	A	阪神	神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町	播磨南東部	明石市、加古川市、三木市、高砂市、小野市、加西市、加東市、稲美町、播磨町	B	播磨南西部	姫路市、相生市、赤穂市、たつの市、太子町、上郡町	大阪市	大阪市	北大阪	豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町、豊能町、能勢町
区分	地域	市町村													
A	阪神	神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町													
	播磨南東部	明石市、加古川市、三木市、高砂市、小野市、加西市、加東市、稲美町、播磨町													
B	播磨南西部	姫路市、相生市、赤穂市、たつの市、太子町、上郡町													
	大阪市	大阪市													
	北大阪	豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町、豊能町、能勢町													
※交通機関の不通に伴う授業及び試験の取扱いは、次のとおりとする。															
(1) 西日本旅客鉄道株式会社のJ R京都線（京都・大阪間）、J R神戸線（大阪・姫路間）山陽線（姫路・上郡間）又は阪急電鉄株式会社線において、電車の運行が全面的に停止、又はこれに準ずる状況が発生した場合は、教務部長の判断により措置する。 (2) ポートアイランドキャンパスは、神戸新交通株式会社のポートライナーの運行状況により、授業及び試験の実施について判断を必要とする場合は、フロンティアサイエンス学部長が教務部長と協議の上、決定します。 (3) 前2号の各交通機関において計画運休が発表された場合は、学生及び教員の通学、通勤への影響を検討の上、授業及び試験の中止等を教務部長の判断によりあらかじめ措置することができる。															

区分	Q. 学生証を忘れたことに気がきました。試験を受けることはできますか？
試験当日	A. 試験開始前であれば、ポートアイランドキャンパス事務室または岡本キャンパス学生部で仮学生証の発行手続きを行ってください。 試験開始後は、監督者に学生証を忘れたことを伝え、監督者の指示に従ってください。

● 追試験に関すること

区分	Q. 交通機関が大幅に遅れていたため、大学には行かず自宅に引き返しました。駅で延着証明書（遅延証明書）を発行してもらいましたが、翌日でも追試験を申し込みますか？
追試験	A. いいえ、追試験を申し込むことはできません。交通機関による延着の場合は、交通機関が遅れなければ試験に間に合っていたことを証明できなければなりません。翌日以降に延着証明書（遅延証明書）を持参しても受け付けることができませんので、交通機関が大幅に遅れた場合でも一旦大学へ来てポートアイランドキャンパス事務室で手続きを行ってください。ただし、交通機関が運転を見合わせており、移動できる見込みがない場合は、ポートアイランドキャンパス事務室へ電話で相談してください。（※岡本キャンパスの科目は教務部へ行くこと。）
	Q. 交通機関の Web 版延着証明書（遅延証明書）で追試験は申し込みますか？
	A. はい、申し込みます。交通機関による延着の場合は、交通機関が遅れなければ試験に間に合っていたことを証明できなければなりませんので、直ぐにポートアイランドキャンパス事務室に来てください。大学への到着時間を確認後、Web 版延着証明書（遅延証明書）を印刷し、当日中（窓口開室時間内）にポートアイランドキャンパス事務室へ提出してください。（※岡本キャンパスの科目は教務部へ行くこと。）
	Q. 試験当日に風邪をひいてしまい、受験することができませんでした。追試験を申し込みますか？
	A. 病気により受験できない場合は、 <u>診断書またはそれに相当する証明書等（いずれも試験日に受験できなかったことがわかる内容であること）と学生証を持参の上、受験できなかった科目の試験日以降（試験日を含む）3 日以内に</u> ポートアイランドキャンパス事務室で手続きを行ってください。3 日以内に手続きが見込めない場合は、予めポートアイランドキャンパス事務室へ電話で相談してください。
	Q. インフルエンザなど（学校において予防すべき感染症）にかかってしまい、試験を受けることができません。追試験を申し込みたいのですが、家族に頼んでもいいですか？
	A. 追試験の申し込みは代理の方でも可能です。家族や親しい友人など信頼のできる方に <u>学生証と診断書またはそれに相当する証明書等（いずれも試験日に受験できなかったことがわかる内容であること）、を預け、受験できなかった科目の試験日以降（試験日を含む）3 日以内に</u> ポートアイランドキャンパス事務室で手続きを行ってください。3 日以内に手続きが見込めない場合は、予めポートアイランドキャンパス事務室へ電話で相談してください。
	Q. インフルエンザなど（学校において予防すべき感染症）にかかってしまい、試験を受けることができません。追試験を申し込みたいのですが、3 日以内に完治せず手続きに行くことができません。代わりに頼める人もいないときは、どうしたらよいですか？
	A. 代理人による手続きもできない場合は、 <u>受験できなかった科目の試験日以降（試験日を含む）3 日以内に</u> ポートアイランドキャンパス事務室へ電話で相談してください。
	Q. 親戚が亡くなったため、お葬式に出なければならず、試験を受けることができません。追試験を受けることはできますか？
	A. 配偶者及び 2 親等以内（祖父母、両親、兄弟姉妹）の親族が亡くなり受験できない場合は、お葬式の際の会葬御礼や案内状など <u>試験日に受験できないことが証明できるものと学生証を持参の上、受験できなかった科目の試験日以降（試験日を含む）3 日以内に</u> ポートアイランドキャンパス事務室で手続きを行ってください。ただし、遠隔地で亡くなり、3 日以内に手続きができない場合は、予めポートアイランドキャンパス事務室へ電話で相談してください。なお、3 親等以上（伯叔父母、従兄弟姉妹など）の親族が亡くなり受験できない場合は、追試験の対象とはなりません。

区分	Q. 試験日と就職説明会の日が重なってしまいました。追試験を受けることはできますか？
追 試 験	A. いいえ、追試験を受けることはできません。追試験の対象となる就職試験とは採用に関する筆記試験や面接試験に限ります。説明会やセミナー等は対象外ですので、追試験を申し込むことはできません。
	Q. 試験日にクラブの全国大会があります。大会に出場したいので試験を欠席しようと思うのですが、追試験を受けることはできますか？
	A. いいえ、追試験を受けることはできません。追試験の対象となるのは、オリンピック及びこれに準ずると認められる国際競技に選手として出場した場合です。国内の大会は追試験の対象とはなりません。
	Q. クラブ活動中に利き腕を骨折してしまい、文字を書くことができません。怪我が治ってから追試験を受けることはできますか？
	A. いいえ、追試験を受けることはできません。追試験の対象となるのは病気の場合で、怪我の場合は対象となりません。怪我などで受験に支障がある場合は、予めポートアイランドキャンパス事務室へ相談してください。
	Q. 試験当日、交通事故に遭ってしまい、試験を受けられませんでした。追試験を受けることはできますか？
	A. 不慮の事故により受験できない場合は、追試験の対象となります。警察に事故の届け出をすることで <u>事故証明書</u> の発行を受け、 <u>学生証</u> を持参の上、 <u>受験できなかった科目の試験日以降（試験日を含む）3日以内</u> にポートアイランドキャンパス事務室で手続きを行ってください。3日以内に手続きが見込めない場合は、予めポートアイランドキャンパス事務室へ電話で相談してください。
	Q. 試験当日、交通事故を起こしてしまい、試験を受けられませんでした。追試験を受けることはできますか？
	A. いいえ、追試験を受けることはできません。自身が加害者である事故または自損事故の場合は、追試験の対象とはなりません。
	Q. 追試験を事前に申し込むことはできますか？
	A. 追試験の申し込みは、 <u>受験できなかった科目の試験日以降（試験日を含む）3日以内</u> に行ってください。事前に申し込むことはできません。なお、特別な事情がある場合は予めポートアイランドキャンパス事務室へ相談してください。
	Q. 追試験の日に体調が悪くなり、追試験を受験することができませんでした。別の日に受験することはできますか？
	A. いいえ、できません。追試験に対する追試験はありません。

● 持込みに関すること

区分	Q. 試験に電卓が必要なので貸してほしいのですが、貸してもらえますか？
持 込 み	A. 電卓の貸し出しは行っていません。各自で用意してください。
	Q. 試験に辞書が持込可となっているのですが、電子辞書を使用してもよいですか？
	A. 原則として電子辞書の持ち込みは認めていません。ただし、担当教員が特に認めた場合はその限りではありません。電子辞書を持ち込んでよい場合は、『電子辞書持込可』と明示していますので確認してください。
	Q. 持込可（何でも）という試験に、ノートパソコンや iPad などを持ち込んでもよいですか？
	A. いいえ、持ち込むことはできません。パーソナルコンピュータ、及び通信機能のある電子機器類は持ち込みを認めていません。
	Q. クリアケース（中身が透けて見えるカバン類）を使用しているのですが、試験室内に持ち込んでもよいですか？
	A. 持ち込みは可能ですが、試験中は、中身が見えないようにしてください。不正行為の疑いがかからないようにして各自の足元に置いてください。

IV. 重要なメッセージ

～ポートアイランドキャンパスでの学びについて～

FIRSTでの学び ～ Hidden Curriculum（第2のカリキュラム）～

1. はじめに

みなさんが数ある大学・学部のなかで FIRST を選ばれた理由は何でしょうか。生命を学びたい、化学が好き、などの学問分野を理由としてあげる人もいれば、実験設備が整っている、マイラボがある、などの学修環境をあげる人もいるでしょう。いずれにしても、FIRST を選んだ理由の多くは、突き詰めれば、「なにがしかの分野の専門家としての素養を身につけたい。それには、この学部は合っていそうだ。」ということになるでしょう。

では、どうして「専門家としての素養」を身につけたいのでしょうか。もちろん、学ぶこと自体が楽しい、ということもあるでしょうが、やはり、大きな理由は、大学卒業後あるいは大学院修了後に就職するため、さらには、就職先でその力を発揮して就業し続けるためだといえるでしょう。

一方、企業が大学生に求める力は「専門家としての素養」だけではありません。下のグラフは、甲南大学が企業約110社を対象に実施した「最も重要と考える力を3つ選ぶ」という形式のアンケート集計結果です。特に、「行動力・実行力」「バイタリティ・熱意」「協調性」「論理的思考力」「物事に対する理解力」「常識・マナー」「プレゼン能力・表現力」「幅広い一般教養」などが必要とされていることがわかったと思います。

（「高度な専門知識」や「即戦力の技術・技能」の回答数が少ないのは、このアンケートが理系に限定したものではないためだと思います。理系に特化した職種、特に研究職では、「高度な専門知識」や「即戦力の技術・技能」などが強く求められるのは間違いないでしょう。）

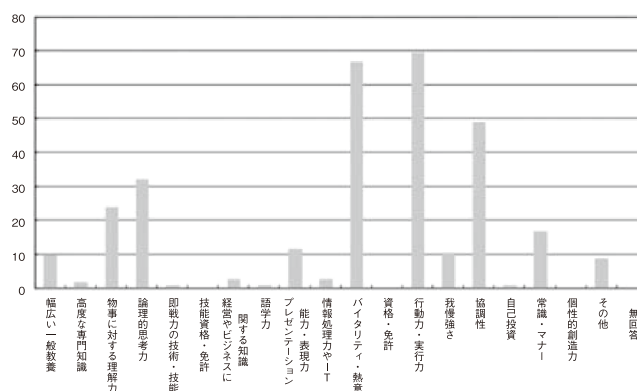


図 企業で必要とされる資質や能力（各社3つまで回答）

つまり、いつかは就職するであろう皆さんの大学での学びは、「専門的な学び及びそれに付随する学び」と「それ以外の学び」の両輪が揃って、はじめて、完成したものになるのです。両者の間に完全に線を引くことはできませんが、前者は主に「論理的思考力」や「物事に対する理解力」を養います。後者では主に「協調性」や「常識・マナー」などが養われるといえるでしょう。また、「バイタリティ・熱意」や「行動力・実行力」はどちらとも関係があるといえるでしょう。

さて、「専門的な学び及びそれに付随する学び」は、講義・演習・実験などの授業と、マイラボや図書室での自主的な学修によって成り立ちます。一方の「それ以外の学び」は、授業とは直接には無関係です。では、どのような機会学び、企業が必要とする力を身につけていけば良いのでしょうか？

実は FIRST は、このような力をカリキュラム以外の部分で身につけていけるようデザインされています。これを Hidden Curriculum（表には出ない第2のカリキュラム）と呼びます。科目表にもシラバスにも表れない Hidden Curriculum。どこに隠されているのかといえば、「オールインワン・キャンパス」であるこのポートアイランドキャンパスでの、みなさんの日常生活です。日常の大学生活を通じて、企業が求める力が身に付けられるようデザインされているのです。

ここには、みなさんが日常の大学生活の中で、いつ、何を意識すれば、Hidden Curriculum を通じて社会で活躍できる力が身につけられるのか、また、そのために、教職員がどのようにサポートする心づもりをしているのか、をまとめてあります。ぜひ、日々の意識を高くもって、FIRST での学びをより有意義なものにしていきたいと思います。

2. FIRST 生らしさ＝企業が求める能力や資質

さきほどのグラフからわかるように、企業が大学生に求める力のうち「それ以外の学び」によって身に付けなければならないものは、「協調性」も「常識・マナー」も「バイタリティ・熱意」も、結局は社会人としての基礎力だといえるでしょう。そして、その社会人としての基礎力をもつということは、“みなさんが、教職員とともに生活し学問にチャレンジする、このポートアイランドキャンパスで、互いに気持ちよく過ごせ、互いに刺激し合って向上していく”という姿勢に他なりません。

一言で言えば、FIRST 生らしくあれ、ということになります。

もう少し具体的に書きましょう。FIRST 生らしいというのは、FIRST の教育基本方針や学位授与方針に照らせば、「研究者としての素養がある」ということになります。研究者になりたいかどうか、実際に研究者になるかどうか、は関係ありません。研究者に求められる力を総合的にみると、社会で活躍するために必要な力をすべて含んでいる、だから、研究者としての力は、職種を問わず社会に出てから役立つものなので、研究者の卵として学生を育てる、というのが FIRST の考え方です。したがって、FIRST 生らしさ、というのは、研究者らしさなのです。

日常生活を通じて研究者らしさを身につけることは、将来の就職活動に向けてとても大切なことです。逆に言えば、普段は研究者らしくないふるまいや言動をしていて、就職活動の時期だけ研究者らしくなる、ということはできません。人事担当者には、付け焼き刃のふるまいや言動は、すぐに見抜かれることでしょう。

研究者らしさを身につけるのは、何も就職や就業に必要なだからという理由だけではありません。大学を卒業する者であれば、いや、大学生であれば身に付けて当然のものです。「～のために必要だから」という外的因子だけではなく、自律的に FIRST 生らしさを追求し実践するのが「誇り（プライド）」

というもので、その積み重ねが伝統だといえます。

次に、マイラボと事務室の2箇所を例にとって、FIRST 生らしさをより具体的に考えていきましょう。

3. マイラボでの過ごし方

マイラボは研究ゾーン内にあります。だから「ラボ（研究室）」という名前がついているのです。したがって、マイラボは、実際の研究室と同様に、研究者らしく成長するための場だと考えてください。

マイラボでの過ごし方に関して、ルールを細かく決めたり、細かく指導したりするつもりはありません。マイラボは、みなさんの自主的な活動の場であり、その自主的な雰囲気を尊重したいからです。行動の規範は、FIRST 生らしい（＝研究者らしい）かどうか、この1点です。

自分の行動が FIRST の学生らしいかどうか、うまく判断ができないという人は、このように想像力を働かせてみましょう。

ある企業の方が、あるいは他の大学や研究機関の方が、マイラボを訪れたとします。実際に、訪れる方は大勢いらっしゃると思います。マイラボのような施設は世界的にも珍しいからです。世界初かどうかは確かめようがありませんが、少なくとも、他大学に以前からマイラボのような施設があったというような話は、誰も聞いたことがありません。また、単に珍しいだけでなく、最近はラーニングコモンズと呼ばれる自主的な学修スペースが脚光を浴びていて、いろいろな大学が設置し始めています。マイラボはその先取であり、しかも各学生の専用席があるという点では、未だに独創的で進んだ設備といえます。

話がそれましたが、このような背景もあり、ポートアイランドキャンパスを訪れる研究・教育関係者は大勢いらっしゃるわけです。その方々に、見ていただいた時に、研究者として誇らしいか、恥ずかしいか、これがみなさん自身で考えなくてはならない、最も大事な行動規範ではないかと思います。

誇らしいマイラボをつくりあげているみなさんであれば、就職活動などはただの通過点にしか過ぎないでしょう。逆に、恥ずかしいマイラボにしまっている人は、企業の方々のお目に叶うようになるためには、就職活動に際して自らをよく見直す必要があります。ただし、それは日々、誇らしいふるまいを積み重ねて来た人たちに敵うものではありません。

勘違いしないで欲しいのは、就職活動の話はわかりやすく例に挙げているだけで、それは最低限の次元の話だということです。みなさんの FIRST 生らしさ（＝研究者らしさ、社会人らしさ）をはかる尺度の一つと考えてください。

次に、波及効果の話をしましょう。学外の方々に見ていただいた時に、誇らしいマイラボであれば、間違いなく高い評価を受けます。みなさんが、FIRST が、そして甲南大学が、です。そのような一人

一人からの小さな評価の積み重ねが、みなさんの、FIRST の、そして、甲南大学の社会的評価を決めていくのです。FIRST の新しい伝統を築き、甲南大学の未来の評価を決めるのは、みなさんの誇り（プライド）なのです。

特に、FIRST は歴史の浅い学部ですので、「FIRST の学生っていいらしいよ」、というようなたった一言の、うわさ話程度の評判が、FIRST とみなさんに与える影響が、とても大きいのです。在学中も、そして、社会人になってからも、FIRST の評価が高ければ、みなさんにとって有形無形のメリットがあることは容易に想像できることと思います。繰り返しになりますが、みなさん一人一人が、FIRST の伝統を積み上げていってくれることを願っています。

万一、このような話を読んでも、自分にはどうでもよいことだ、自分の就職活動が苦勞の多いものになってもそれはその時のことだ、大学や学部の評価は自分とは無関係だ、と考えている人がいるといけないので、少し補足します。

みなさんは、例えば、就職活動に際して、甲南大学の卒業生たちが築いてきた評価（ブランド力）を、素点としてもっていて社会から一定の評価を受けることができます。これは入試をクリアした見返りといえるかもしれません。でも、これからの甲南大学の評価（ブランド力）はみなさんの誇り（プライド）にかかっているのです。未来の甲南大学生、未来の FIRST 生の素点は、みなさんの誇り（プライド）にかかっているわけです。自分が受けた以上の恩恵を未来に引き継いでいきませんか。

もう一点。社会人らしさを身につけるということは、ある意味では、集団の中で生きる・活きるということです。一部の極めて尖った才能をもつ人たちは、他人と関わらずとも科学、芸術、文化などに貢献することができます。しかし、それは例外で、普通は、他人とかかわり合い、集団の中で仕事を進めていくのが一般的です。とすれば、社会人としての評価基準のひとつは、その人のふるまいや言動が集団に対してどのように作用するか、ということになります。ある人のふるまいや言動は、必ず、その集団に対してポジティブかネガティブのどちらかの方向に作用します。些細なことであっても、影響がまったくないというものは一つもないんです。もちろん、些細なふるまいや言動は、直ちにその作用について判断できるとは限りません。しかし、そのふるまいや言動を誇大化してみると、そして、そのなりゆきや結末を想像してみると、もたらされる作用がポジティブかネガティブか、すぐに判断がつきます。自らの無責任なふるまいや言動が、マイラボの雰囲気にも悪影響を与えているとしたら、さらには、それがいずれは目に見える大きな結果をもたらし、学外の方々の目に触れるようなことがあるとすれば、各自の言動やふるまいが、「他人には関係ない」とはいえないということがわかんと思います。

これを書くと、FIRST の高い理念とはかけ離れた話になってしまいますが、念のために書きます。言うまでもなく、「明らかにネガティブな言動やふるまい」、は論外です。一例を挙げると、「マイラボのデスクの上にマンガが置いてある」、また、「見学者がいても、マンガを読み続けている」などは論外でしょう。この見学者に、いくら、マイラボは自主的な学修スペースだと言っても、「うまく機能

しておらず遊び場になっている」と思われることは必至です。たとえ、マンガを読んでいるのがその一時の行動であったとしてもです。そして、この見学者から噂が社会に広まれば、それを打ち消して良い評価を獲得しなおすために、どれだけの時間と努力が必要か、想像できるでしょうか。

ここでは、FIRST の特徴的なスペースであるマイラボを例に書きましたが、もちろん、マイラボ以外の場所も同じです。

図書室、カフェテリア、講義室、実験室。人目に触れる可能性がある場所では、みなさんのプライドが試されていると考えてください。

例えばカフェテリア。みなさんが企業の就職担当者だとしたら、昼食のピーク過ぎに訪れた食堂で、学生たちがトランプをしている大学と、パズドラをしている大学と、ノートや参考書を広げて話をしている大学とがあれば、どの大学から採用したいと思いますか？ 昼休みの雰囲気って、大学によってまったく違うんですよ。学生たちが成長していく大学か、あるいは、その逆か、一目瞭然なんです。皆さんでも、すぐにわかると思います。機会があれば他大学を見学してみるといいでしょう。上智大学なんかは、ぴんと張った澄み切った雰囲気ですよ。FIRST の雰囲気は悪くはありません。生まれ始めている伝統を、より良く引き継いでいていただきたいと思います。

必ず人目に触れる場所、例えば通学路は、学外であっても、さらに大切な場所といえるかもしれません。みなさんは問題ないと思いますが、ポートライナーの中で騒ぐ、大声でお馬鹿な会話をする、スパコン前の歩道にゴミを捨てる、などの行為は、すぐに FIRST の学生だと周辺の方々に知れるものです。ここでも「恥ずかしい」か「誇らしい」かです。みなさんの自覚に期待します。

そうはいつでも、プライドは横に置いておいてリラックスしたいときもある。その通りだと思います。ポートアイランドキャンパスでは、講義等のないときは202講義室を自由利用教室として開放しています。

4. 学びの場としての事務室

事務室は、みなさんの学修や大学生活をサポートする部署です。教員のサポートと比較すると、事務室からのそれは、学修については少し間接的で、大学生活に関してはより直接的といえるでしょうか。ただ、みなさんが理解しなくてはいけないことは、事務室のサポートがなくては、学修も大学生活も成り立たないということです。

ところが、みなさんの中には、教員に対する態度とまったく異なる問題ある態度でのぞむ者もいるようです。

なぜでしょうか。サポートするのが仕事で、感謝する必要はないということでしょうか。それなら、教員も授業や学修のサポートをするのが仕事なので同じです。まさか、教員は成績をつけるけど

も、職員は評価をつけないからということなののでしょうか？ もし、職員も評価簿を付けることになれば、きちんとふるまえるのでしょうか？

上記の問題ある態度というのは、具体的には、締め切りを守らない、約束の日時を守らない、迷惑をかけても謝罪の意を示さない、ため口で依頼する、オフィス時間が終了しているのに押し掛ける（ポートアイランドキャンパス事務室はお役所的に時間を区切っているではありません、Close以降にはその時間の仕事があるのです）、などです。

このようにいくつかの例を見るだけで、前述の社会人らしさ（＝FIRST 生らしさ）に真っ向反対する行動であることが分かります。と同時に、事務室できちんとふるまうことができれば、社会に通用する人間に近づいているということがわかると思います。

つまり、事務室でのふるまいや言動は、社会人らしくなるためのキャリア活動の一環といえるでしょう。就職活動の時期になって、あわてて言葉遣いなどを直そうとしたり、採用担当者とのやり取りのマナーを身に付けようとしても、難しいですよ。それよりも、普段からきちんと FIRST 生らしくふるまえるよう心がけましょう。

職員さんには、学生対応の際には、キャリア教育の一環ということを踏まえて、みなさんのふるまいや言動について指導をしていただけるよう、「学生部委員会」からお願いしています。したがって、未だ FIRST 生らしくなっていない学生は、その都度、繰り返し何度も、細やかに指導を受けることになると思います。ぜひ、自分の将来のためにわざわざ時間を割いて心を砕いて指導していただいていることに感謝の意を示して、次回以降に活かしてください。感謝の気持ちを示せない学生には、学生部委員から追って指導があることと思います。

5. 岡本デーについて

大学生のうちに様々な価値観をもった人たちと交流することは、将来社会に出たときに、幅広い視野で物事を眺めるために重要なだけでなく、そうしてできた大勢の仲間は、一生にわたる貴重な財産ともなります。甲南大学のような中規模の総合大学は、そのような交流を深めるには絶好の舞台ですが、みなさんが主として学ぶポートアイランドキャンパスは FIRST 専用のキャンパスであるため、他学部の学生はいません。そこで、文系理系を問わず様々な学部の学生と同じ講義を履修することを通して交流し、また岡本キャンパスの歴史と伝統のある雰囲気にも親しんでもらえるよう、1 年次後期と 2 年次には週に 1 日、岡本キャンパスで過ごし、全学年共通科目を履修する「岡本デー」を実施します。

全学共通科目は卒業の為に必要な単位ですので、きちんと単位を修得する必要があります。しかし、3 年次以上になるとポートアイランドキャンパスで開講される専門教育科目の履修に多くの時間を充てる必要があるため、「岡本デー」は 2 年次までしか設定されておらず、岡本キャンパスに赴いて全学共通科目を履修することが難しくなります。したがって、2 年次修了時点で卒業に必要となる全学共通科目は修得済であることが強く望まれます。そのためには、1 年次、2 年次に設定されている「岡

本デー」の機会に、ある程度余裕をもって全学共通科目を履修することをお勧めします。

もちろん「岡本デー」は全学共通科目の履修のためだけに設けられたものではありません。岡本キャンパスにはポートアイランドキャンパスにはない施設や、ポートアイランドではできない活動ができるチャンスが数多くあります。

6. さいごに

以上、ポートアイランドキャンパスでの大学生活そのものが、みなさんがよき大学生ひいては社会人として通用する力を身につける、キャリア教育につながっている、という話を書きました。また、その力を身につけるためには、「こうしなさい」「こうしてはいけない」というようなマニュアルベースの考え方ではなく、FIRST 生として他人の目に触れたときに誇らしいと感じられるようなプライドベースの考え方で、自律的にふるまうことが大切だということを書きました。そして、そのようなふるまいや言動は、最も直接的には自分の成長というかたちで、少し間接的には FIRST 生に対する評価を通じて自分たちの就職活動が左右されるというかたちで、さらに間接的には将来の甲南大学および FIRST の評価というかたちで自分たちに跳ね返ってくるということを書きました。

FIRST を巣立った10年後のことを想像してみましょう。

「後輩たちのおかげで FIRST 卒であることを誇りに感じられる。」

「いまの後輩たちのことは、同じ FIRST 卒だとは思いたくない。」

どちらの未来になるのか？ それを決めるのは、みなさん一人一人のほんの少しのプライドの持ち様です。今日より明日、明日よりもあさって。ほんの僅かでも構いません、ミクロスパーテル一杯のプライドを心に盛っていきましょう！

=== 学生の皆さんへ「授業を受けるにあたって」 ===

甲南大学FD委員会資料より（一部改訂）

授業は知識を深めるだけでなく、自分でも気づかない新しい自分の興味に出会える貴重な時間です。折角の機会を逃さないよう、充実した90分の授業になるようみんなで協力しましょう。

そのための約束事が「マナー」です。自律的に学ぶ姿勢があればマナーは自然に守られるものです。ですから、マナーの内容を一つひとつ細かに記すことはここでは控えますが、参考のため、皆さんが陥りやすい「マナー違反」についてまとめておきます。甲南生のほとんどはマナーを意識できる紳士・淑女ではありますが、ときどきこの文章を読み返し、自分自身の受講態度を振り返ることによって、さらに充実した90分を過ごせるよう心がけてください。

私語について

1. 私語は周りの学生達の迷惑になります。

私語は当人たちが思っている以上に大きな音として周りに聞こえています。周囲の人たちには、講義内容が聞き取りにくい、講義に集中しにくいなどのかたちで、迷惑が掛かっているのです。また、授業内容の分からないところ、聞き取れなかったところ、出された課題の内容などを周囲に質問する人がいますが、そのあいだ、話しかけられている人は授業を聴いたり集中して物事を考えたりすることができません。私語の内容が授業に関することであってもなくても、周りの迷惑になるということを肝に銘じてください。

2. 私語は教員の迷惑になります。

教員は皆さんの反応を見ながら授業を進めています。話題が皆さんの興味を引いているか、内容が理解されているか、などを感じ取ろうとしながら話をしているのです。私語は、教員がそういった反応を読み取る上で大変な“雑音”となります。ひどい場合には、授業の進行に支障をきたしかねません。私語を止めるように注意することもあります。それによってさらに授業の流れが中断されてしまいます。つまり、私語は授業の質を下げることにともつながりかねないのです。そうなっては、真剣に授業を受けている周りの人にとっても大変な損失です。

3. 私語は自分にとってもマイナスです。

前述のように、私語はまわりの迷惑になりますが、一番損をしているのは学ぶ機会を放棄してしまっている自分自身だと言えるでしょう。では、どうして私語をしてしまうのでしょうか。「授業がおもしろくないから」という人がいます。しかし、大学での学問には、話を少し聞いただけでは、すぐにはおもしろさは分からない、というものたくさんあります。おもしろく感じられないからといって、私語をしていては、ますます学問のおもしろさを発見する機会を遠ざけるだけで、何の解決にもならないことは皆さんもお分かりのことと思います。内容を本当に理解し、考え、おもしろさを感じるためには、はじめから終わりまで授業をじっくり聴くことは大前提です。

4. 正しい学ぶ姿勢からは私語は生まれない。

授業を一生懸命に聴こうと思っているのだけれど、気がつくと隣の友人と話をしてしまっている…。なかにはそんな人もいるのではないのでしょうか。そういう人は、一生懸命に聴こうという「きもち」だけでなく、自然と聴けてしまう「かたち」も身につけてみてはいかがでしょう。「常に話し手の方を見て」「聴き取ったことをメモに取る」姿勢で授業に望めば、ぐんと授業に集中することができ、うっかり私語をしてしまうこともなくなるのではないのでしょうか。

遅刻について

授業が始まる時間になって（ひどいときには過ぎてから）パラパラと学生達が教室に入ってくる…。そのような光景が珍しくありません。しかし、授業開始時刻は、文字通り授業を開始する時刻ですから、その時刻を目指して教室に入ってくるというのではいけません。授業開始時刻には、席について授業を受ける準備を整えておきましょう。

5分や10分くらい遅刻したところで90分授業のうちのほんの1割程度にしか過ぎない。大きな問題ではない…と考えている人もいるかもしれません。しかし、そうではありません。授業の冒頭では、その日の講義内容の概要、要点、意義、背景（前回の授業とのつながりなど）などが話される場合が多く、それらを聞き逃すと、授業内容を理解するのが本当に困難になります。教員は、「遅刻して冒頭の話を聞いてなかった学生に、この話は理解できないだろうな…」と残念に思いながら授業を進めることも少なくありません。授業は最初が肝心なのです。遅刻しないようにしましょう。

ときには、やむを得ない理由で遅刻することもあるかもしれません。そのような場合には、できるだけみんなの迷惑にならないように静かに教室に入りましょう。教卓の前を堂々と横切っていくなどは論外です。

欠席について

通常の授業では欠席の連絡をする必要はありませんが、ゼミなどの少人数科目や、演習などで自分の発表がある場合などは、事前に欠席する旨を連絡するのが礼儀です。欠席の連絡は、担当教員に直接とってください。

教室の出入りについて

授業中、何人かの学生が教室から出たり、教室に戻ったりする姿を見かけることがあります。「気分が悪い」「トイレに行きたい」「何となく外の空気が吸いたい」……理由は人それぞれでしょうが、教室内を人が立ち歩いているというのは、教員にとっては大変気になります。また、教室の雰囲気乱します。それに何より本質的なことは、外に出ている間、その人は授業を聞き逃してしまい、すぐにはその内容を取り戻すことはできないということです。ですから、どんな理由であれ（たとえみなさんが正当だと思ふような理由であっても）授業中は外に出るべきではないのです。

もちろん外に出るのを止めることは誰にもできません。病気やトイレなどやむを得ない場合もあるでしょう。しかし、問題は「外に出てもよい」とか「外に出てはだめ」とかいうことではなくて、外に出れば「自分が損をする」ということなのです。ですから、「損をしないよう」「席を外さなくてもよいよう」に、授業に望む準備をできるだけ万全にしてください。

飲食について

ものを食べたり、ガムをかんでいたり、というのが授業を受けるのにふさわしい姿勢だと考える人はほとんどいないでしょう。もしいるのであれば、考えを改め、今後そういう行動は慎んでください。

飲み物については、いろいろな考え方がありそうです。机の上に飲み物を置いているのは失礼にあたる、必要であれば授業前に飲んでおけばよいのであって授業中に飲む必要はない、という考えもあるでしょう。一方、のどの渇きをいやすことで集中して講義が聴けるようになるのであれば飲んでも差し支えない、という考えもあるでしょう。担当教員の考え方の違いだけでなく、授業形態によっても事情が異なってくるでしょう。飲み物については、それぞれの授業の方針を確かめてください。

ただし、言うまでもありませんが、たとえ飲み物が許されている授業であっても、空き容器などは各自で責任をもって廃棄してください。机の上に、ペットボトルやビニール袋が放置されているのは、マナー以前の問題です。

帽子

教室内では帽子は取るというのが一般的にマナーとされています。できるだけ取るようにしましょう。事情により取りたくないという人は、（差し支えない範囲で結構ですから）担当教員に相談すれば理解が得られることと思います。授業毎に教員に説明するのは避けたいという人は、学生相談室でも対応の相談に乗ってもらえます。

V. 時間割

2020年度入学生用

2020年度入学生

【時間割表についての注意事項】

授業コードは、授業個別のコードです。履修登録に必要な場合があります。
授業科目名の後ろに付いている(前)は、前期、(後)は、後期、何もついていないのは、通年科目を表しています。(別紙授業科目一覧表に曜日・時間を表記)
配当年次は、履修できる学年を表し、自分の年次以下の科目を履修できます。
表中の◆は、受講するクラスが指定されており、あらかじめ自動的に履修登録されている科目を、★は、週に2回以上講義がある科目を表しています。
クォーター科目は、A期(4月～5月)・B期(6月～7月)・C期(9月～11月)・D期(11月～1月)に分かれており、授業科目名には、(A期)・(B期)・(C期)・(D期)と記載されています。
集中講義の日程は、別途(Mv_KONANI)や掲示版でお知らせします。

【授業時間帯】

1時間目: 9:00～10:30
2時間目: 10:40～12:10
3時間目: 13:00～14:30
4時間目: 14:40～16:10
5時間目: 16:20～17:50
6時間目: 18:00～19:30

	1 限 (9:00～10:30)					2 限 (10:40～12:10)					3 限 (13:00～14:30)					4 限 (14:40～16:10)					5 限 (16:20～17:50)					6 限 (18:00～19:30)						
	授業 コード	授業科目名	配当 年次	担当者	教室	授業 コード	授業科目名	配当 年次	担当者	教室	授業 コード	授業科目名	配当 年次	担当者	教室	授業 コード	授業科目名	配当 年次	担当者	教室	授業 コード	授業科目名	配当 年次	担当者	教室	授業 コード	授業科目名	配当 年次	担当者	教室		
月	9104300	★ 構造有機化学(C期)(後)	1	甲元一也	210	9100200	科学英語コミュニケーション1(前)	1	藤井敏司	レクチャー・ム	9100191	ベーシック・キャリアデザイン(FIRST)(前)	1	野口由輝子、中野修一	レクチャー・ム	College English Reading & Writing(Class 2)	1	桑田英智	202	College English Reading & Writing(Class 1)	1	桑田英智	201									
	9104400	★ 有機電子論(D期)(後)	1	村嶋貴之	210	9100700	プレゼンテーション演習2(後)	2	甲元一也	601	9103700	★ 生化学(C期)(後)	1	臼井健二	210	College English Speaking(Class 1)(前)	1	Danyk Amyot	201	College English Speaking(Class 2)(前)	1	Danyk Amyot	202									
	9104500	★ 有機反応各論(A期)(前)	2	松井 淳	201	9103900	★ 生命物理化学(A期)(前)	2	中野修一	201	9103800	★ 生命分析化学(D期)(後)	1	臼井健二、三好大輔	210	College English Listening(Class 1)(後)	1	Danyk Amyot	201	College English Listening(Class 2)(後)	1	Danyk Amyot	202									
	9104600	★ 有機化学と分光法(B期)(前)	2	藤井敏司	201	9104000	★ バイオ計測工学(B期)(前)	2	中野修一	201	9105000	★ バイオセンシングと環境(C期)(後)	2	松井 淳、川嶋文人	201	9100400	科学英語コミュニケーション3(前)	3	赤松謙祐	210												
	9103600	★ 生物無機化学(C期)(後)	2	藤井敏司	201	9106300	国際産学コーディネーター(後)	3	Manoj L. SHRESTHA	202	9105100	★ アドバンスドマテリアル(D期)(後)	2	鶴岡孝章、林 高史	201																	
	9102800	★ 細胞工学(D期)(後)	2	西方敬人	201						9105500	創薬テクノロジー(A期)(前)(集中)	3	川上純司、二本史朗	202																	
	9103400	★ 電気化学(A期)(前)	3	赤松謙祐	202						9104900	★ ケミカルバイオロジー(B期)(前)	3	三好大輔	202																	
	9103000	★ 発生物学(B期)(前)	3	西方敬人	202																											
火	9103100	★ 無機化学(C期)(後)	1	高嶋洋平	210	9102500	★ 分子生物学(C期)(後)	1	川内敬子	210	9101000	数学及び演習(通)	1	中野修一、臼井健二	210	9101800	ナノバイオラボベーシックA(前)	1	甲元一也、赤松謙祐												204	
	9102200	★ 量子物理化学(D期)(後)	1	鶴岡孝章	210	9102600	★ 遺伝子工学・バイオテクノロジー(D期)(後)	1	川上純司	210	9105300	メディカルサイエンス概論(A期)(前)(集中)	2	藤井敏司、三宅正人	201																205	
	9103300	★ 固体光化学(A期)(前)	2	鶴岡孝章	201	9102700	★ 生命機能科学(A期)(前)	2	長濱宏治	201	9105600	メディカルバイオテクノロジー(後)	2	長濱宏治、水谷健一	201																206	
	9103500	★ ナノテクノロジー(B期)(前)	2	高嶋洋平	201	9105900	バイオ・食品関連研究開発論(後)	2	岡 茂樹	201																						
	9104100	★ 高分子化学(C期)(後)	2	長濱宏治	201	9102800	★ 薬理学(B期)(前)	2	川上純司	201																						
	9104700	★ 生物有機化学(D期)(後)	2	甲元一也	201																											
	9104200	★ 生体分子工学(A期)(前)	3	三好大輔	202																											
	9104800	★ 有機合成化学(B期)(前)	3	村嶋貴之	202																											
水	9101600	ナノバイオサイエンス序論(前)	1	三好大輔	210	9101700	ケミカルサイエンス序論(前)	1	村嶋貴之	210	9100600	プレゼンテーション演習1(後)	1	松井 淳	210	9102000	★ ナノバイオラボ1A(前)	2	川上純司、赤松謙祐													204
	9103700	★ 生化学(C期)(後)	1	臼井健二	210	9104300	★ 構造有機化学(C期)(後)	1	甲元一也	210	9100300	科学英語コミュニケーション2(前)	2	川内敬子	201																	205
	9103900	★ 生命分析化学(D期)(後)	1	臼井健二、三好大輔	210	9104400	★ 有機電子論(D期)(後)	1	村嶋貴之	210	9106500	科学と健康(後)	2	曾巻部晋哉	201																	206
	9103900	★ 生命物理化学(A期)(前)	2	中野修一	201	9104500	★ 有機反応各論(A期)(前)	2	松井 淳	201	9104900	★ ケミカルバイオロジー(B期)(前)	3	三好大輔	202																	
	9104000	★ バイオ計測工学(D期)(前)	2	中野修一	201	9104800	★ 有機化学と分光法(B期)(前)	2	藤井敏司	201	9100800	プレゼンテーション演習3(後)	3	甲元一也、赤松謙祐	各研究室																	
	9105000	★ バイオセンシングと環境(C期)(後)	2	松井 淳、川嶋 文人	201	9103600	★ 生物無機化学(C期)(後)	2	藤井敏司	201																						
	9105100	★ アドバンスドマテリアル(D期)(後)	2	鶴岡孝章、林 高史	201	9102800	★ 細胞工学(D期)(後)	2	西方敬人	201																						
						9103400	★ 電気化学(A期)(前)	3	赤松謙祐	202																						
						9103000	★ 発生物学(B期)(前)	3	西方敬人	202																						
木	9101400	バイオサイエンス序論(前)	1	西方敬人	レクチャー・ム	9101500	ナノサイエンス序論(前)	1	赤松謙祐	210						9102000	★ ナノバイオラボ1A(前)	2	川上純司、赤松謙祐												204	
	9102500	★ 分子生物学(C期)(後)	1	川内敬子	210	9103100	★ 無機化学(C期)(後)	1	高嶋洋平	210																						205
	9102600	★ 遺伝子工学・バイオテクノロジー(D期)(後)	1	川上純司	210	9103200	★ 量子物理化学(D期)(後)	1	鶴岡孝章	210																						206
	9102700	★ 生命機能科学(A期)(前)	2	長濱宏治	201	9103300	★ 固体光化学(A期)(前)	2	鶴岡孝章	201																						
	9102900	★ 薬理学(B期)(前)	2	川上純司	201	9103500	★ ナノテクノロジー(B期)(前)	2	高嶋洋平	201																						
	9106100	知財マネジメント(後)	2	西方敬人、草間 清	202	9104100	★ 高分子化学(C期)(後)	2	長濱宏治	201																						
						9104700	★ 生物有機化学(D期)(後)	2	甲元一也	201																						
						9104200	★ 生体分子工学(A期)(前)	3	三好大輔	202																						
金	F100901	基礎体育学演習(FIRST)(通)	1				科学英語プレゼンテーション演習(前)	4	甲元一也、赤松謙祐 臼井健二、川内敬子 川上純司、高嶋洋平 鶴岡孝章、中野修一 長濱宏治、西方敬人 藤井敏司、松井 淳 三好大輔、村嶋貴之	各研究室	9101300	安全倫理工学(後)	3	大和真樹、山中敬夫	202		日本語表現及び演習(前)	渡邊 順子														

集中講義

授業 コード	授業科目名	配当 年次	担当者
9105300	メディカルサイエンス概論(A期(前)・集中)	2	藤井敏司、三宅正人
9105500	創薬テクノロジー(A期(前)・集中)	3	川上純司、二本史朗
9105800	医療関連研究開発論	3	三好大輔、藤二郁夫
9107000	科学と産業政策	3	松井 淳、川上純司
F920370	理系キャリアデザイン	2	中野修一
U160291	インターンシップ	2	中野修一
9102200	★ ナノバイオラボ2A(後期集中)	3	甲元一也、赤松謙祐 臼井健二、川内敬子 川上純司、高嶋洋平 鶴岡孝章、中野修一 長濱宏治、西方敬人 藤井敏司、松井 淳 三好大輔、村嶋貴之
9102300	★ ナノバイオラボ2B(後期集中)	3	甲元一也、赤松謙祐 臼井健二、川内敬子 川上純司、高嶋洋平 鶴岡孝章、中野修一 長濱宏治、西方敬人 藤井敏司、松井 淳 三好大輔、村嶋貴之
9102400	★ ナノバイオラボ卒業研究	4	甲元一也、赤松謙祐 臼井健二、川内敬子 川上純司、高嶋洋平 鶴岡孝章、中野修一 長濱宏治、西方敬人 藤井敏司、松井 淳 三好大輔、村嶋貴之

【※国際交流科目】

授業 コード	授業科目名	配当 年次	担当者
U13700	エアスタディーズⅤ(集中)	1	三好大輔、川内敬子 川上純司

※「エアスタディーズ」については、国際交流センターへお問い合わせください。

2017～2019年度入学生用

2017～2019年度入学生用

【時間割表についての注意事項】

授業コードは、授業単元のコードです。履修登録に必要な場合があります。

授業科目名の後ろについている(前)は、前期、(後)は、後期、何もついていないのは、通年科目を表しています。(別紙授業科目一覧表に曜日・時間を表記)

配当年次は、履修できる学年を表し、自分の年次以下の科目を履修できます。

表中の◆は、受講するクラスが指定されており、あらかじめ自動的に履修登録されている科目を、★は、週に2回以上講義がある科目を表しています。

クォーター科目は、A期(4月～5月)・B期(6月～7月)・C期(9月～11月)・D期(11月～1月)に分かれており、授業科目名には、(A期)・(B期)・(C期)・(D期)と記載されています。

集中講義の日程は、別添「My_KONAN」や掲示版でお知らせします。

【授業時間帯】

1時間目： 9:00～10:30

2時間目： 10:40～12:10

3時間目： 13:00～14:30

4時間目： 14:40～16:10

5時間目： 16:20～17:50

6時間目： 18:00～19:30

集中講義

授業コード	授業科目名	配当年次	担当者
9105300	メディカルサイエンス概論(A期)(前)・集中	2	藤井敏司、三宅正人
9105500	創薬テクノロジー(A期)(前)・集中	3	川上純司、二本史朗
9105800	医療関連研究開発論	3	三好大輔、樺二都夫
9107000	科学と産業政策	3	松井 淳、川上純司
			竜島 靖
F923070	理系キャリアデザイン	2	中野修一
U160291	インターンシップ	2	中野修一
9102200	★ ナノバイオラボ2A(前期集中)	3	甲元一也、赤松謙祐
			臼井健二、川内敬子
			川上純司、高嶋洋平
			鶴岡孝章、中野修一
			長濱宏治、西方敬人
			藤井敏司、松井 淳
			三好大輔、村嶋貴之
9102300	★ ナノバイオラボ2B(後期集中)	3	甲元一也、赤松謙祐
			臼井健二、川内敬子
			川上純司、高嶋洋平
			鶴岡孝章、中野修一
			長濱宏治、西方敬人
			藤井敏司、松井 淳
			三好大輔、村嶋貴之
9102400	★ ナノバイオ卒業研究	4	甲元一也、赤松謙祐
			臼井健二、川内敬子
			川上純司、高嶋洋平
			鶴岡孝章、中野修一
			長濱宏治、西方敬人
			藤井敏司、松井 淳
			三好大輔、村嶋貴之

【※国際交流科目】

授業コード	授業科目名	配当年次	担当者
U13700	エアスタディーズⅤ(集中)	1	三好大輔、川内敬子 川上純司

※「エアスタディーズ」については、国際交流センターへお問い合わせください。

	1限 (9:00～10:30)				2限 (10:40～12:10)				3限 (13:00～14:30)				4限 (14:40～16:10)				5限 (16:20～17:50)				6限 (18:00～19:30)				
	授業 コード	授業科目名	配当 年次	担当者	教室	授業 コード	授業科目名	配当 年次	担当者	教室	授業 コード	授業科目名	配当 年次	担当者	教室	授業 コード	授業科目名	配当 年次	担当者	教室	授業 コード	授業科目名	配当 年次	担当者	教室
月	9104300	★構造有機化学(C期)(後)	1	甲元一也	210	9102200	科学英語コミュニケーション1(前)	1	藤井敏司	レファールム	9100191	ベーシックキャリアデザイン(FIRST)(前)	1	野口由輝子、中野修一	レファールム	9101100	英語及び演習	1	柴田英智、Danyk Anyst	→	202				
	9104400	★有機電子論(D期)(後)	1	村嶋貴之	210	9100700	プレゼンテーション演習2(後)	2	甲元一也	601	9103700	★生化学(C期)(後)	1	臼井健二	210	9100400	科学英語コミュニケーション3(前)	3	赤松謙祐						
	9104500	★有機反応各論(A期)(前)	2	松井 淳	201	9103900	★生命物理化学(A期)(前)	2	中野修一	201	9103800	★生命分析化学(D期)(後)	1	臼井健二、三好大輔	210										
	9104600	★有機化学と分光法(B期)(前)	2	藤井敏司	201	9104000	★バイオ計測工学(B期)(前)	2	中野修一	201	9105000	★バイオセンシングと環境(C期)(後)	2	松井 淳、川嶋文人	201										
	9103900	★生物無機化学(C期)(後)	2	藤井敏司	201	9106300	国際産学コーディネーター(後)	3	Manoj L. SHRESTHA	202	9105100	★アドバンストマテリアル(D期)(後)	2	鶴岡孝章、林 高史	201										
	9102800	★細胞工学(D期)(後)	2	西方敬人	201						9105500	創薬テクノロジー(A期)(前)(集中)	3	川上純司、二木史朗	202										
	9103400	★電気化学(A期)(前)	3	赤松謙祐	202						9104900	★ケミカルバイオロジー(B期)(前)	3	三好大輔	202										
	9103000	★発生物学(B期)(前)	3	西方敬人	202																				
火	9103100	★無機化学(C期)(後)	1	高嶋洋平	210	9102500	★分子生物学(C期)(後)	1	川内敬子	210	9101000	数学及び演習(通)	1	中野修一、臼井健二	210	9101800	ナノバイオラボベーシックA(前)	1	甲元一也、赤松謙祐 臼井健二、川内敬子 川上純司、高嶋洋平 鶴岡孝章、中野修一 長濱宏治、西方敬人 藤井敏司、松井 淳 三好大輔、村嶋貴之	→	204				
	9103200	★量子物理化学(D期)(後)	1	鶴岡孝章	210	9102600	★遠隔分子工学・バイオテクノロジー(D期)(後)	1	川上純司	210	9105300	メディカルサイエンス概論(A期)(前)(集中)	2	藤井敏司、三宅正人	201										
	9103300	★固体光化学(A期)(前)	2	鶴岡孝章	201	9102700	★生命機能科学(A期)(前)	2	長濱宏治	201	9105600	メディカルバイオテクノロジー(後)	2	長濱宏治、水谷健一	201										
	9103500	★ナノテクノロジー(B期)(前)	2	高嶋洋平	201	9105900	バイオ・食品関連研究開発論(後)	2	岡 茂範	201															
	9104100	★高分子化学(C期)(後)	2	長濱宏治	201	9102900	★薬理学(B期)(前)	2	川上純司	201															
	9104700	★生物有機化学(D期)(後)	2	甲元一也	201																				
	9104200	★生体分子工学(A期)(前)	3	三好大輔	202																				
	9104800	★有機合成化学(B期)(前)	3	村嶋貴之	202																				
水	9101600	ナノバイオサイエンス序論(前)	1	三好大輔	210	9101700	ケミカルサイエンス序論(前)	1	村嶋貴之	210	9100600	プレゼンテーション演習1(後)	1	松井 淳	210	9102000	★ナノバイオラボ1A(前)	2	川上純司、赤松謙祐 臼井健二、川内敬子 甲元一也、高嶋洋平 鶴岡孝章、中野修一 長濱宏治、西方敬人 藤井敏司、松井 淳 三好大輔、村嶋貴之	→	204				
	9103700	★生化学(C期)(後)	1	臼井健二	210	9104300	★構造有機化学(C期)(後)	1	甲元一也	210	9100300	科学英語コミュニケーション2(前)	2	川内敬子	201										
	9103800	★生命分析化学(D期)(後)	1	臼井健二、三好大輔	210	9104400	★有機電子論(D期)(後)	1	村嶋貴之	210	9106000	科学と健康論(後)	2	曾我部晋哉	201										
	9103900	★生命物理化学(A期)(前)	2	中野修一	201	9104500	★有機反応各論(A期)(前)	2	松井 淳	201	9104600	★ケミカルバイオロジー(B期)(前)	3	三好大輔	202										
	9104000	★バイオ計測工学(B期)(前)	2	中野修一	201	9104600	★有機化学と分光法(B期)(前)	2	藤井敏司	201	9100800	プレゼンテーション演習3(後)	3	甲元一也、赤松謙祐 臼井健二、川内敬子 川上純司、高嶋洋平 鶴岡孝章、中野修一 長濱宏治、西方敬人 藤井敏司、三好大輔 村嶋貴之	各研究室										
	9105000	★バイオセンシングと環境(C期)(後)	2	松井 淳、川嶋 文人	201	9103600	★生物無機化学(C期)(後)	2	藤井敏司	201															
	9105100	★アドバンストマテリアル(D期)(後)	2	鶴岡孝章、林 高史	201	9102800	★細胞工学(D期)(後)	2	西方敬人	201															
						9103400	★電気化学(A期)(前)	3	赤松謙祐	202															
						9103000	★発生物学(B期)(前)	3	西方敬人	202															
木	9101400	バイオサイエンス序論(前)	1	西方敬人	レファールム	9101500	ナノサイエンス序論(前)	1	赤松謙祐	210															
	9102500	★分子生物学(C期)(後)	1	川内敬子	210	9103100	★無機化学(C期)(後)	1	高嶋洋平	210															
	9102600	★遠隔分子工学・バイオテクノロジー(D期)(後)	1	川上純司	210	9103200	★量子物理化学(D期)(後)	1	鶴岡孝章	210															
	9102700	★生命機能科学(A期)(前)	2	長濱宏治	201	9103300	★固体光化学(A期)(前)	2	鶴岡孝章	201															
	9102900	★薬理学(B期)(前)	2	川上純司	201	9103500	★ナノテクノロジー(B期)(前)	2	高嶋洋平	201															
	9106100	知財マネジメント(後)	2	西方敬人、草間 清	202	9104100	★高分子化学(C期)(後)	2	長濱宏治	201															
						9104700	★生物有機化学(D期)(後)	2	甲元一也	201															
						9104200	★生体分子工学(A期)(前)	3	三好大輔	202															
						9104800	★有機合成化学(B期)(前)	3	村嶋貴之	202															
						9105400	医療テクノロジー(後)	3	甲元一也、深瀬浩一	202															
金	F100901	基礎体育学演習(FIRST)(通)	1								9101300	安全倫理工学(後)	3	大和真樹、山中敏夫	202		日本語表現及び演習(前)	渡邊 順子							
						9100500	科学英語コミュニケーション4(前)	4	甲元一也、赤松謙祐 臼井健二、川内敬子 川上純司、高嶋洋平 鶴岡孝章、中野修一 長濱宏治、西方敬人 藤井敏司、松井 淳 三好大輔、村嶋貴之	各研究室															
						9100900	プレゼンテーション演習4(後)	4	甲元一也、赤松謙祐 臼井健二、川内敬子 川上純司、高嶋洋平 鶴岡孝章、中野修一 長濱宏治、西方敬人 藤井敏司、松井 淳 三好大輔、村嶋貴之	各研究室															

授業科目一覧表【(★) 週に2回以上講義がある科目】

授業コード	授業科目名	曜日一時限	
9102000	ナノバイオラボ1A (前)	水-4・5・6	木-4・5・6
9102100	ナノバイオラボ1B (後)	水-4・5・6	木-4・5・6
9102500	分子生物学 (C 期) (後)	火-2	木-1
9102600	遺伝子工学・バイオテクノロジー (D 期) (後)	火-2	木-1
9103700	生化学 (C 期) (後)	月-3	水-1
9102800	細胞工学 (D 期) (後)	月-1	水-2
9102900	薬理学 (B 期) (前)	火-2	木-1
9103000	発生学 (B 期) (前)	月-1	水-2
9103400	電気化学 (A 期) (前)	月-1	水-2
9103300	固体光化学 (A 期) (前)	火-1	木-2
9103100	無機化学 (C 期) (後)	火-1	木-2
9103200	量子物理化学 (D 期) (後)	火-1	木-2
9103500	ナノテクノロジー (B 期) (前)	火-1	木-2
9103600	生物無機化学 (C 期) (後)	月-1	水-2
9103900	生命物理化学 (A 期) (前)	月-2	水-1
9104100	高分子化学 (C 期) (後)	火-1	木-2
9104000	バイオ計測工学 (B 期) (前)	月-2	水-1
9103800	生命分析化学 (D 期) (後)	月-3	水-1
9104200	生体分子工学 (A 期) (前)	火-1	木-2
9102700	生命機能科学 (A 期) (前)	火-2	木-1
9104400	有機電子論 (D 期) (後)	月-1	水-2
9104500	有機反応各論 (A 期) (前)	月-1	水-2
9104300	構造有機化学 (C 期) (後)	月-1	水-2
9104600	有機化学と分光法 (B 期) (前)	月-1	水-2
9104700	生物有機化学 (D 期) (後)	火-1	木-2
9104800	有機合成化学 (B 期) (前)	火-1	木-2
9104900	ケミカルバイオロジー (B 期) (前)	月-3	水-3
9105000	バイオセンシングと環境 (C 期) (後)	月-3	水-1
9105100	アドバンスドマテリアル (D 期) (後)	月-3	水-1

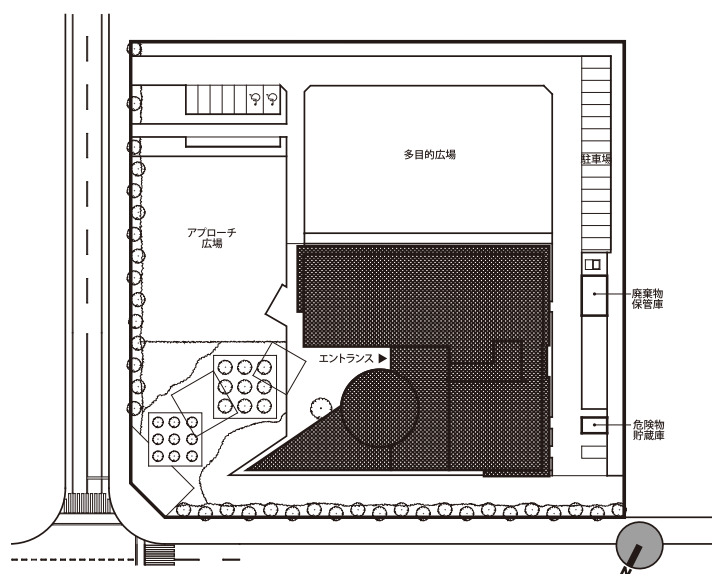
※週に1回の講義＋集中講義の科目

9105300	メディカルサイエンス概論 (A 期) (前)・集中	火-3	集中
9105500	創薬テクノロジー (A 期) (前)・集中	月-3	集中

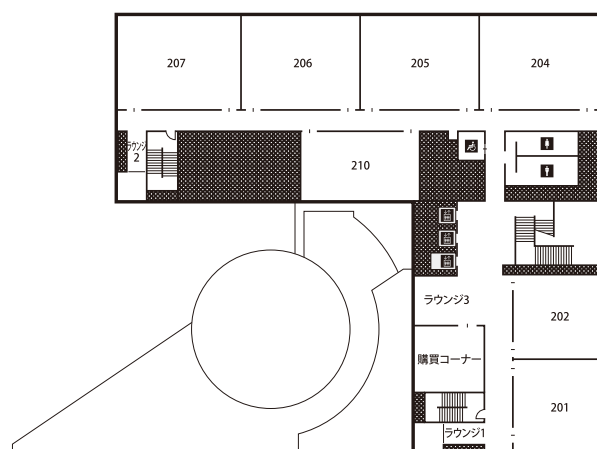
※配当年次また科目名称は入学年度によって異なりますので、39ページの授業科目表を確認してください。

VI. ポートアイランドキャンパス
F-1号館フロアマップ
岡本キャンパスマップ

ポートアイランドキャンパス



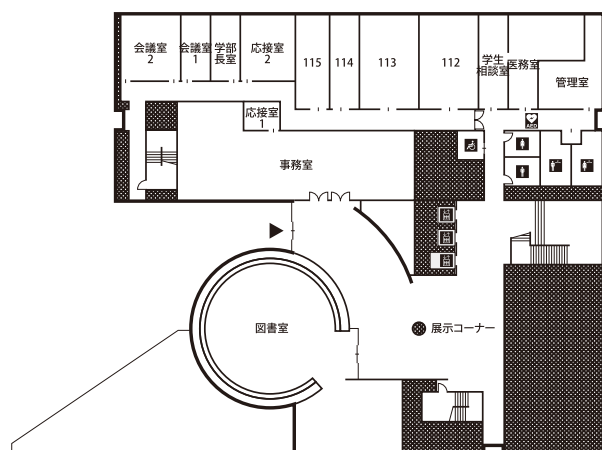
SITE



201・202 講義室
204-206 高大連携実験室
207 共通測定室
210 講義室

購買コーナー
ラウンジ 1・2・3

2F



図書室
学部長室
事務室
会議室 1・2
応接室 1・2

医務室
学生相談室
管理室
112-115 共通測定室

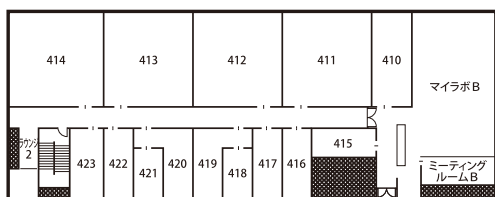
1F



311 グループ測定室
312 生命高分子科学実験室
313 腫瘍分子生物学実験室
314 分子細胞発生学実験室
315 遺伝子薬学実験室
316 試薬倉庫
317-318 長濱研究室・大学院生室
319-320 川内研究室・大学院生室
321-322 西方研究室・大学院生室
323-324 川上研究室・大学院生室
マイラボ A
ミーティングルーム A
ラウンジ 2

301-303 FIBER 実験室
304-305 動物実験室
306 P2 実験室
307 遠藤研究室
308 恒温実験室
ラウンジ 1

3F



先端生命工学研究所

- 410 グループ測定室
- 411 学部共通実験室
- 412 バイオ計測化学実験室
- 413 分子設計化学実験室
- 414 バイオ分子機能実験室
- 415 試薬倉庫
- 416・417 杉本研究室・大学院生室
- 418・419 臼井研究室・大学院生室
- 420・421 三好研究室・大学院生室
- 422・423 中野研究室・大学院生室
- マイラボB
- ミーティングルームB
- ラウンジ2

- 401-403 FIBER 実験室
- FIBER 所長室
- 応接室
- 406 高橋研究室
- 407 低温実験室
- ラウンジ1

4F

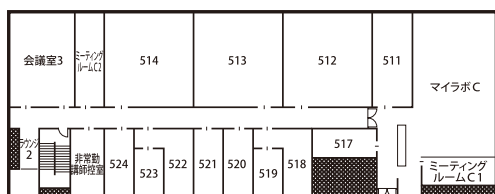


先端生命工学研究所

- 609 グループ測定室
- 610 生物有機化学実験室
- 611 生物無機化学実験室
- 612 有機合成化学実験室
- 613 機能性高分子実験室
- 614 試薬倉庫
- 615・616 甲元研究室・大学院生室
- 617・618 藤井研究室・大学院生室
- 619・620 村嶋研究室・大学院生室
- 621・622 松井研究室・大学院生室
- マイラボD
- ミーティングルームD
- ラウンジ2

- 601-602 講義室
- 603 松本研究室
- 604 特別研究員室
- 605 博士研究員室
- 606 特別研究員室
- ラウンジ1

6F

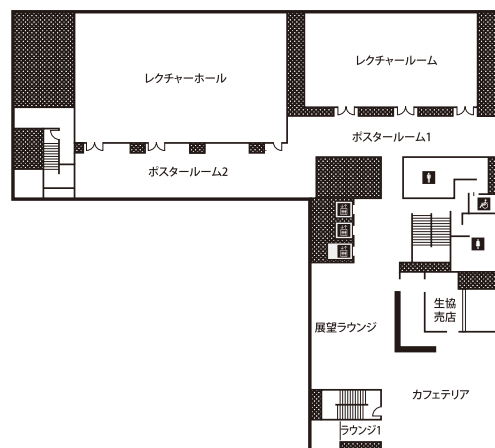


先端生命工学研究所

- 511 グループ測定室
- 512 ナノ材料化学実験室
- 513 機能システム化学実験室
- 514 無機光化学実験室
- 517 試薬倉庫
- 518・519 高嶋研究室・大学院生室
- 520・521 赤松研究室・大学院生室
- 522・523 鶴岡研究室・大学院生室
- 524 研究室
- 非常勤講師控室
- マイラボC
- ミーティングルームC1・C2
- 会議室3
- ラウンジ2

- 501-502 FIBER 実験室
- 503・504 特別研究員実験室
- 505 特別研究室
- 506 建石研究室
- 507 博士研究員室
- 508 FIBER 試薬倉庫
- ラウンジ1

5F

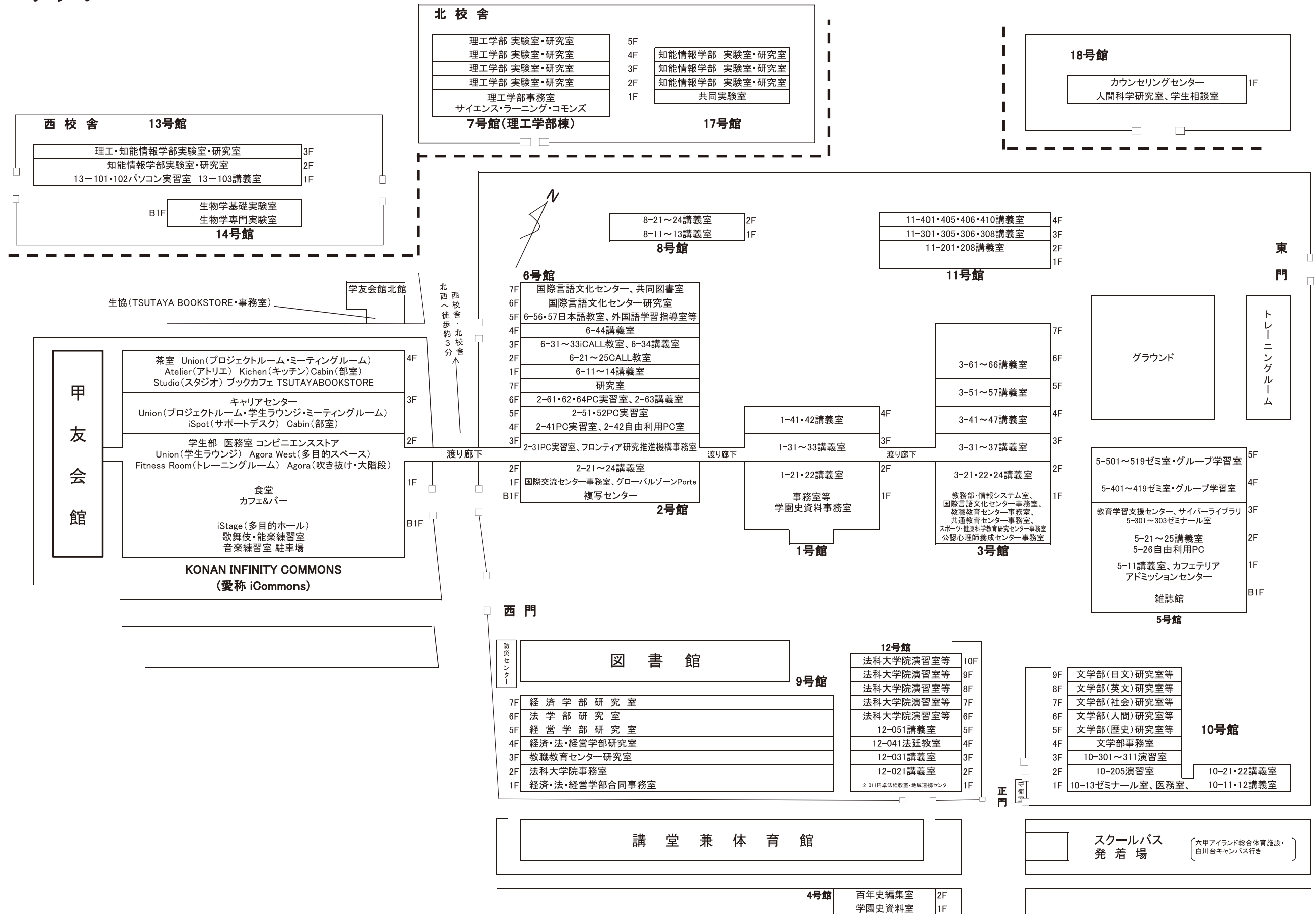


- レクチャーホール
- レクチャールーム
- ポスタールーム1・2

- カフェテリア
- 展望ラウンジ
- 生協売店

7F

岡本キャンパス



VII. 関連諸規程

学修に関する取扱い

平成30年12月6日 学長決定

(授業科目の履修)

- 1 学生は、毎学期初めの指定された期日までに、履修する授業科目を登録し承認を得なければならない。指定日以後の登録は、原則としてこれを認めない。
- 1の2 前項で承認された授業科目は、毎学期の指定された期間において取り消すことができる。ただし、開講学部・学科等が指定する授業科目及び大学院の授業科目は取り消すことができない。
- 1の3 前項で取り消すことのできる授業科目の単位数は、各年次で12単位以内とする。
- 1の4 前2項の規定にかかわらず第1項で承認された授業科目のうち、履修の継続が困難であると所属学部長が判断し、教務部長が認める場合は、授業科目を取り消すことができる。
- 2 履修登録をしていない授業科目については、試験を受けることができない。試験を受けた場合でも単位を与えない。
- 3 同一授業科目を再履修することはできない。ただし、不合格となった授業科目は、履修登録すれば再履修することができる。

(学内試験)

- 4 学内試験を定期試験、臨時試験及び追試験に分ける。
- 5 定期試験とは、学期末又は学年末に行う試験をいう。
- 6 臨時試験とは、集中講義等による授業科目で、定期試験以外の時期に行う試験をいう。
- 7 追試験とは、定期及び臨時試験を受けることができなかった者で、次の各号のいずれかに該当する場合に願い出た者について行う試験をいう。なお、追試験は、各科目の試験終了後、定められた期間内に実施するものとする。
 - (1) 病気の場合
 - (2) 配偶者及び2親等以内の親族死亡の場合（3日間とするが、遠隔地で死亡の場合は認められた期間）
 - (3) 就職試験の場合
 - (4) 悪天候やストライキ等により、通学証明書に記載された経路の公共交通機関が不通あるいは大幅な延着の場合（延着証明書等添付）
 - (5) 大学院受験の場合
 - (6) 不慮の事故により被害にあった場合
 - (7) 自宅等が災害により被災した場合
 - (8) 教育実習等の正課における学外実習の場合
 - (9) オリンピック・パラリンピック及びこれに準ずると認められる国際競技大会に、選手として出場した場合
 - (10) その他正当な事由によって受験できなかったと所属学部長が判断し、教務部長が認めた場合
- 7の2 前項の追試験の希望者は、受験できなかった授業科目の試験日を含めて3日以内（第7項第4号の大幅な延着に該当する場合は、当日内）に教務部（西宮・ポートアイランドキャンパスは各事務室）に、前項各号の事由により試験日に受験ができなかったことを証明する書類等を添付して、

所定の様式で願い出なければならない。なお、受験できなかった授業科目の試験日を含めて3日以内に願い出ができない場合は、当該期間内に教務部（西宮・ポートアイランドキャンパスは各事務室）に申し出ること。

- 8 学費未納者は、学内試験を受けることができない。
- 9 学内試験において、不正行為のあった者は、別に定める「学内試験（定期試験、臨時試験及び追試験）における不正行為に対する処置」を適用する。
- 10 学内試験に際しては「学内試験（定期試験、臨時試験及び追試験）の受験に関する注意事項」を守らなければならない。

（成績評価及び Grade Point）

- 11 履修を承認された授業科目の成績の評価及び Grade Point（GP）は、次のとおりとする。

区分	評価	評点	GP
合格	秀（AA）	90点以上	4
	優（A）	80点以上90点未満	3
	良（B）	70点以上80点未満	2
	可（C）	60点以上70点未満	1
不合格	不可（D）	60点未満	0

- 11の2 前項に定められた各評価の修得単位数に GP の値を乗じた値の合計値を、総履修登録単位数で除した数値（小数点第3位を四捨五入）を Grade Point Average（GPA）とする。

- 12 各授業科目につき一度修得した単位（成績）を取り消すことはできない。
- 13 成績の発表は、前期分を9月に（通年の授業科目を除く）、後期又は学年末分を3月に学修簿及び学生ポータルサイトによって行う。
- 14 成績についての問い合わせは、成績発表日を含めて5日以内とし、必ず学修簿等を提示して教務部（西宮・ポートアイランドキャンパスは各事務室）に申し出ること。

（卒業資格及び在学年数）

- 15 本大学に4年以上在学して所定の単位を修得した者には、卒業の資格が与えられる。ただし、学士入学又は転学部した者については、以後2年以上、再入学した者については、4年から再入学前の在学年数を控除した年数以上、編入学した者については、4年から本大学で在学したとみなした年数を控除した年数以上在学することを要する。
- 16 本大学に在学できる年数は、8年を超えることはできない。ただし、学士入学した者については8年から2年を控除した年数とし、転学部又は再入学した者については、転学部又は再入学前の在学年数を、編入学した者については、本大学で在学したとみなした年数を8年から控除した年数とする。

（補則）

- 17 「授業科目の履修」第1項の履修登録の承認は、教務部長が与えるものとする。
- 18 「卒業資格及び在学年数」の再入学前の在学年数及び編入学した者の本大学で在学したとみなした年数とは、学部教授会で在学したものと認めた年数とする。
- 19 「学内試験及び成績」第7項の2の「3日以内」及び第14項の「5日以内」には、教務部（西宮・ポートアイランドキャンパスは各事務室）休室日を除く。

(改廃)

20 この取扱いの改廃は、合同教授会の審議を経て、学長が決定する。

学内試験（定期試験、臨時試験及び追試験）の受験に関する注意事項

平成27年4月1日 学長決定

1 受験資格

履修登録を提出していない科目は受験できない。

2 学生証

- (1) 学生証は、試験中、机上に呈示しておくこと。
- (2) 学生証のない者は、受験できない。（注を参照のこと。）

3 入退場

- (1) 試験場では、監督者の提示に従うこと。
- (2) 15分以上遅刻した者は、入場できない。
- (3) 場内では、一机に2人宛、机の両端に座ること。特に指示があれば、その指示に従うこと。
- (4) 所定の座席調査票の自分の座席欄に学部、学年、学籍番号及び氏名を記入しなければならない。
- (5) 退場は、試験開始後30分経ち、かつ、監督者の指示があった後でなければならない。
- (6) 試験終了時刻の10分前からは、退場できない。
- (7) 入退場には、指定の出入口を使うこと。
- (8) 一旦退場した者は、再入場できない。
- (9) 試験終了後も、答案の回収が完了するまで入場してはならない。

4 所持品

- (1) 机の上に置ける所持品は、特に持込みを認められた教科書等を除いては、学生証、仮学生証のほかは鉛筆、ペン、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能だけのもの）及び眼鏡である。それ以外の所持品は、内容が見えないようにして各自の足下に置くこと。
- (2) 持込みを認められたものには、あらかじめ自分の氏名を記入しておくこと。
- (3) 下敷及び筆箱の使用は、認めない。
- (4) 携帯電話等は試験開始前に電源を切って鞆等にしまいこみ、机上に置かないこと。

5 持込み

持込みについては別に定め、掲示等により周知する。

6 答案

- (1) 試験開始後直ちに答案用紙に学部、学年、学籍番号、氏名等を必ずペンで記入すること。
- (2) 答案の提出方法及び別刷の問題用紙の取扱いについては、監督者の指示に従うこと。
- (3) 答案は、試験場外へ持ち出してはならない。

〔注〕

- 1 学生証を忘れた者には、学生部（西宮・ポートアイランドキャンパスは各事務室）で仮学生証を交付する。
- 2 仮学生証の交付は、本人の試験の開始15分前から行い、交付日のみ有効とする。
- 3 仮学生証には、写真登録カードが添付されているから、これは試験終了後直ちに学生部（西宮・ポートアイランドキャンパスは各事務室）へ返却しなければならない。
- 4 写真登録カードを返却していない者又はその提出を怠っている者には、いかなる理由があっても仮学生証を発行しない。
- 5 この注意事項の改廃は、合同教授会の審議を経て、学長が決定する。

附 則

この注意事項の改廃は、平成27年4月1日から学長決定により行う。

**学内試験（定期試験、臨時試験及び追試験）
における不正行為に対する処置**

平成29年10月12日 改正

- 1 次の事項に該当する場合は、監督者において受験停止（当該試験無効）のうえ退場を命ずる。
 - (1) 監督者の指示に従わないこと。
 - (2) ノート、テキスト、参考書、六法全書、辞書等を試験時間中に貸借すること。
- 2 次の事項に該当する場合は、直ちに退場を命ずるとともに、当該学期の試験時間割にある履修登録授業科目を全科目無効とし、その成績評価は行わない。場合によっては、甲南大学学則による処分をすることがある。
 - (1) 代人として受験すること、又は代人に受験させること。
 - (2) 許可されていないノート、テキスト、参考書、六法全書、辞書等を参照すること。
 - (3) あらかじめ机等に書き込んだり、カンニングペーパー等を用意すること（六法全書、辞書等に書き込む場合も含む。）。
 - (4) 他人の答案をのぞき見て写しとったり、故意に写させたりすること。
 - (5) 試験内容に関して私語をすること。
 - (6) 試験時間中に携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の許可されていない電子機器類を使用すること。
 - (7) その他、不正な手段を用いて受験すること。
- 3 前項の不正行為に関する処置は、学生部長と教務部長が学生部及び教務部両委員会の構成員と協議のうえ決定し、学生部長及び教務部長の連名で公示する。なお、特に必要な場合には、学生の属する学部の長及び指導主任の参加を求めて意見を聴くことができる。
- 4 この処置の改廃は、合同教授会の審議を経て、学長が決定する。

附 則

この処置は、平成29年10月12日から施行する。

交通機関の不通、気象警報発表に伴う授業及び試験の取扱い

平成30年10月11日 学長決定

令和元年12月19日 学長決定

- 1 気象警報発表に伴う授業及び試験の取扱いは、次のとおりとする。
 - (1) 午前7時までには、特別警報及び暴風警報が解除されたときは、平常どおり授業及び試験を行う。
 - (2) 午前11時までには、特別警報及び暴風警報が解除されたときは、授業にあつては3時限目（西宮キャンパスは4時限目）から、試験にあつては4時限目（ポートアイランドキャンパスは3時限目）から行い、午前11時を過ぎても、解除されないときは、授業及び試験を行わない。
 - (3) 特別警報が授業及び試験時間中に発表されたときは、授業及び試験を中止し、発表以降授業及び試験を行わない。
 - (4) 暴風警報が授業及び試験時間中に発表されたときは、緊急性及び交通機関の運行状況等を考慮の上、授業及び試験の中止等を教務部長の判断により措置する。
 - (5) 特別警報又は暴風警報が発表されることが見込まれる場合は、授業及び試験の中止等を教務部長の判断によりあらかじめ措置することができる。
- 2 交通機関の不通に伴う授業及び試験の取扱いは、次のとおりとする。
 - (1) 西日本旅客鉄道株式会社のＪＲ京都線（京都・大阪間）、ＪＲ神戸線（大阪・姫路間）、山陽線（姫路・上郡間）又は阪急電鉄株式会社線において、電車の運行が全面的に停止、又はこれに準ずる状況が発生した場合は、教務部長の判断により措置する。
 - (2) ポートアイランドキャンパスにあつては、神戸新交通株式会社のポートライナーの運行状況により、授業及び試験の実施について判断を必要とする場合は、フロンティアサイエンス学部長が教務部長と協議の上、措置する。
 - (3) 前2号の各交通機関において計画運休が発表された場合は、学生及び教員の通学、通勤への影響を検討の上、授業及び試験の中止等を教務部長の判断によりあらかじめ措置することができる。
- 3 学外施設等での授業の実施について判断を必要とする場合は、現地の気象状況、交通機関の運行状況等を踏まえ、担当教員と協議の上、授業の中止等を教務部長の判断により措置する。
- 4 不測の事態の発生により授業及び試験の実施について判断を必要とする場合は、授業及び試験の中止等を教務部長の判断により措置する。
- 5 この取扱いの改廃は、合同教授会の審議を経て、学長が決定する。

〔注〕

特別警報及び暴風警報は、次のいずれかの場合とする。

- ① 別表の区分Ａの地域にあるいずれかの市町に発表された場合
- ② 別表の区分Ｂの地域にあるいずれかの市町に発表され、複数の地域が対象となつた場合

附 則

この取扱いは、平成30年10月11日から学長決定により行う。

【別表】

区 分	地 域	市 町
Ａ	阪 神	神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町
	播磨南東部	明石市、加古川市、三木市、高砂市、小野市、加西市、加東市、稲美町、播磨町
Ｂ	播磨南西部	姫路市、相生市、赤穂市、たつの市、太子町、上郡町
	大 阪 市	大阪市
	北 大 阪	豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町、豊能町、能勢町

防災気象情報等による土砂災害警戒区域への避難勧告等発令に伴う

授業及び試験の取扱い

平成30年10月11日 学長決定

- 1 神戸市東灘区の土砂災害警戒区域に避難勧告及び避難指示が発令されたことに伴う岡本キャンパス（西宮キャンパス、ポートアイランドキャンパスは除く）の授業及び試験の取扱いは、次のとおりとする。
 - (1) 午前7時までに、避難勧告及び避難指示が解除されたときは、平常どおり授業及び試験を行う。
 - (2) 午前11時までに、避難勧告及び避難指示が解除されたときは、授業にあつては3時限目から、試験にあつては4時限目から行い、午前11時を過ぎても、解除されないときは、授業及び試験を行わない。
 - (3) 避難指示が授業及び試験時間中に発令されたときは、授業及び試験を中止し、発令以降授業及び試験を行わない。
 - (4) 避難勧告が授業及び試験時間中に発令されたときは、緊急性及び交通機関の運行状況等を考慮の上、授業及び試験の中止等を教務部長の判断により措置する。
 - (5) 避難勧告又は避難指示が発令されることが見込まれる場合は、授業及び試験の中止等を教務部長の判断によりあらかじめ措置することができる。
- 2 神戸市東灘区以外の土砂災害警戒区域に避難勧告及び避難指示が発令されたことに伴い授業及び試験の実施について判断を必要とする場合は、教務部長の判断により措置する。
- 3 この取扱いの改廃は、合同教授会の審議を経て、学長が決定する。

附 則

この取扱いは、平成30年10月11日から施行する。

学 籍 関 係 の 取 扱 方

平成31年 2月13日 学長決定

(除籍)

- 1 授業料その他の学費を学費納付規程に定められた期限内に納入しないときは、除籍の処分を受け、本大学学生的身分を失う。
- 2 在学期間が8年を超える者は、除籍する。
- 3 死亡又は行方不明となつた者は、除籍する。

(復籍)

- 4 授業料その他の学費の納付を怠り、除籍された者が除籍の日付から1年以内に復籍を願い出たときは、学長は、審議の上許可する。

(休学)

- 5 疾病その他やむを得ない理由で6箇月以上就学できない者は、所定の様式により休学願を提出し、学長の許可を得て休学することができる。休学の期間は、引き続き2年以内、通算して4年以内とし、休学の期間は、これを在学期間に算入しない。

(復学)

- 6 休学の理由が消滅し、休学期間中に復学を希望する者は、所定の様式により復学願を提出し、学長の許可を得て復学することができる。

(退学)

- 7 疾病その他やむを得ない理由で退学しようとする者は、所定の様式により退学願（保証人連署）を提出し、学長の許可を得なければならない。

(再入学)

- 8 疾病その他やむを得ない理由で退学した者又は授業料その他の学費の未納による除籍後1年以上経過した者が再入学を願い出た場合は、学長は、審議の上許可することがある。ただし、再入学の時期は、学年又は学期の初めに限る。

(停学)

- 9 甲南大学学則第37条に規定する停学期間が3箇月以上にわたるときは、甲南大学学則第16条及び第29条に規定する在学期間に算入しない。

(留学)

- 10 外国留学規程により外国の大学への留学又は留学の延長を希望する者は、所定の期間内に所定の様式により留学願又は留学延長願を提出し、学長の許可を得て留学し、又は留学を延長することができる。留学期間は、甲南大学学則第16条及び第29条に規定する在学期間に算入する。
- 11 外国留学規程第8条により留学又は留学の延長を辞退した者及び同規程第13条により留学又は留学の延長を取り消された者は、別段の事情がない限り、当初から留学又は留学の延長がなかったものとして取り扱う。
- 12 4年次において外国留学規程に基づいて留学した者の卒業期日は、帰国年度の学期末又は学年末のいずれか早い時期とする。ただし、上記の者のうち、外国語留学規程第3条第3項に該当する場合は、この限りでない。

(改廃)

- 13 この取扱方の改廃は、合同教授会の審議を経て、学長が決定する。

附 則

この取扱方の改廃は、平成31年4月1日から学長決定により行う。

様式 略

外国留学規程

平成27年10月29日 改正

第1条 甲南大学学則、甲南大学大学院学則又は甲南大学法科大学院規則（以下「学則等」という。）に基づく外国の大学への留学（以下「留学」という。）に関しては、学則等に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

2 この規程にいう外国の大学とは、外国において学位授与権を有する大学その他正規の高等教育機関又はこれに相当する教育研究機関であり、かつ次の各号のいずれかに該当するものをいう。

- (1) 本大学と留学に関する協定を締結した大学等（以下「協定校」という。）
- (2) 本大学と留学に関する協定を締結している機関が窓口となって留学機会を提供する大学等（以下「認定校」という。）
- (3) 学部、学科、研究科又は専攻が留学に関する協定を締結した外国の大学等（以下「学部等協定校」という。）
- (4) 留学を希望する学生の申請に基づき当該学生が所属する学部の学部長、法科大学院の院長又は研究科の科長（以下「所属学部長等」という。）が認定した大学等（以下「学部等認定校」という。）

3 この規程による留学は、前項に定める外国の大学において授業科目を履修することをいう。

第2条 留学期間は、1年以内とする。

2 前項にかかわらず特別の事情がある場合は、1回かつ1年以内に限り留学の延長を許可することができる。

第3条 留学は、次の学生に許可する。

- (1) 2年次以上の学部学生
- (2) 大学院学生

2 前項第1号の規程にかかわらず、1年次の学部学生であっても、留学先の学期の開始時期により、本大学の後期試験の終了日以降に留学する場合であれば、留学を許可することができる。

3 本大学院に入学を許可されている本大学学部学生については、大学院の入学に支障がないときは、学部と大学院にまたがる留学の許可をすることができる。

4 留学は、所定の留学願により指定の期間内に願い出なければならない。

5 第1条第2項第4号に規程する大学等への留学を希望する学生は、前項に規定する手続以前に学部等認定校認定願を提出し、所属学部長等の認定を得なければならない。

6 留学延長の場合は、留学期間終了の2箇月前までに留学延長願を提出しなければならない。

第4条 留学は、学部教授会、法科大学院教授会又は研究科委員会（以下「教授会等」という。）の審議を経て、学長がこれを許可する。

2 前条第3項に定める場合においては、留学の出願者が所属する学部及び大学院入学後に所属する研究科の教授会等の審議を経て、学長がこれを許可する。

3 所属学部長等は、留学を許可するか否かの審議に際しては、出願者の指導主任又は研究指導教員に諮り、その意見及び協力を求めることができる。

4 前3項の規定は、留学延長の場合に準用する。

5 学部等認定校は、教授会等の審議を経て、所属学部長等が認定する。

第5条 学生がこの規程により外国の大学において履修することができる授業科目は、原則として学則等に定める外国語科目、当該学部の特設教育科目、法科大学院の授業科目又は当該研究科の授業科目に相当する科目とする。

第6条 留学期間（留学延長の場合は全留学期間。以下同じ。）が終了したときは、1箇月以内に帰学して留学報告書を提出しなければならない。

2 単位の換算を受けようとする学生は、留学報告書に添えて、換算に必要な証明書その他書類を提出しなければならない。留学期間終了後1箇月以内にこれらの提出がないときは、単位の換算は行わない。

3 病気その他やむを得ない理由があるときは、その旨を証明する書類を添えて、前項の留学報告書及び単位の換算に必要な書類を郵送、代人による持参等により提出することができる。

4 単位の換算は、学生が外国の大学において修得した授業科目の単位数及び成績を、学則等に基づき、学部学生については60単位を限度とし各学部が定める当該年次に受講できる授業科目の単位数の範囲内において行う。また大学院学生については10単位を限度とする。ただし、法科大学院学生については、30単位限度とする。

第7条 単位の換算は、所属学部長が行う。

2 所属学部長等は、単位の換算に際しては留学報告書及び換算に必要な書類を審査するほか、必要と認めるときは外国の大学に照会してこれを行う。

3 所属学部長等が単位の換算を行ったときは、その結果を学長に報告するとともに教務部及び国際交流センターに通知する。

第8条 学生が外国の大学において、留学又は留学の延長を受け入れられないとき、その受入れを取り消されたとき、又は病気その他の理由により留学の辞退を認められたときは、1箇月以内に帰学して留学辞退届を提出しなければならない。ただし、留学辞退届は、病気その他やむを得ない理由があるときは、郵送、代人による持参等により提出することができる。

第9条 留学開始の学年に学則等の規定に従い履修登録し承認を得た授業科目で、留学により履修できなくなるものについては、履修登録を無効とする。ただし、留学開始年度において、所属学部長等の承認を得た授業科目については、帰学後、継続履修することができる。

2 帰学後、その年度において履修（継続履修を含む。）を希望する授業科目については、指定の期日までに、本人が教務部に届け出て承認を得なければならない。

第10条 この規程に定めるもののほか、外国の大学において履修することができる授業科目の種類、単位数及び履修方法の細目等については、教授会等の定めるところによる。

第11条 留学願、学部等認定校認定願、留学延長願、留学辞退届、留学報告書その他留学に関して学生が提出する書類は、国際交流センターに提出し、国際交流センターからこれを所属学部長等に送付する。

2 所属学部長等は、留学又は留学の延長を許可したとき及び留学辞退届その他の書類を受理したときは、必要な事項を関係部局に通知する。

第12条 留学する場合の学費については、別に定める。

第13条 留学又は留学延長の許可を受けた学生が次の各号のいずれかに該当するときは、外国の大学との協議及び当該教授会等の審議を経て、学長は、その許可を取り消すことがある。

- (1) 留学の成果をあげる見込みがなくなったとき。
- (2) 本大学学生の本分に反する行為があったと認められるとき。
- (3) 前条の学費の納付を怠ったとき。

第14条 この規程の改廃は、大学会議の審議を経て、学長が決定する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

様式 略

※本規定は、2020年3月26日付で改正される予定です。

改正後の内容は、＜My KONAN＞でお知らせします。

継続履修に関する取扱い

平成16年 7 月13日 教務部委員会承認

I. 継続履修をする場合は、次の各号のすべての要件を備えておかなければならない。

- (1) 甲南大学学則第12条の2又は甲南大学大学院学則第9条の2に基づき、留学する者であること。
- (2) 前期履修後、留学し、次年度前期まで留学期間が連続すること。
- (3) 通年科目であり、留学開始年度に受講届を提出し、認められていること。
- (4) 同一授業科目であること。
- (5) 留学前に、所属学部長又は所属研究科長に継続履修願を提出し、承認を得ていること。
- (6) 帰学後、指定の期日までに、あらためて所属学部長又は所属研究科長の承認を経て、受講届を提出すること。

II. 留学前に継続履修が認められた科目であっても、開講科目、カリキュラム、講義内容等の変更により、継続履修できない場合がある。

III. 2年間連続の科目の継続履修については、上記 I -(2)の要件に関わらず、所属学部長又は所属研究科長と教務部長が協議の上、認めることができる。

附 則

この取扱いは、平成17年 4 月 1 日から施行する。

外国留学に伴う履修登録の取扱い

平成30年1月18日 教務部委員会改正

甲南大学学則第12条の2に基づき、外国の大学へ留学した者の帰学後の履修登録について次のとおり取り扱う。

- 1 履修登録の期限は次の各号のとおりとする。登録期限が休日にあたる場合は当該日の翌日を登録期限とする。ただし、授業担当者の都合等により履修登録ができない場合がある。
 - (1) 前期科目の登録期限は4月30日とする。
 - (2) 通年科目の登録期限は6月15日とする。
 - (3) 後期科目の登録期限は10月15日とする。
- 2 継続履修を認められている授業科目については、「継続履修に関する取り扱い」による。
- 3 別表に定める授業科目について、留学期間が6月15日を超える場合は次のとおり取扱い、履修登録を許可する。
 - (1) 留学前に、授業科目担当者の指導を受け、所属学部長の承認を得ていること
 - (2) 帰学後にあらためて所属学部長の承認を得ること
- 4 別表に定めない科目で留学期間と授業期間が重複しない科目について、留学期間が登録期限を超える場合は、所属学部長が許可する科目に限り履修登録を許可する。

別 表

学部	学 科	授業科目
文 学 部	日 本 語 日 本 文 学 科	卒業研究
	英 語 英 米 文 学 科	卒業研究
	社 会 学 科	卒業研究
	人 間 科 学 科	卒業研究・演習Ⅱ
	歴 史 文 化 学 科	卒業研究
理 工 学 部	物 理 学 科	物理学卒業研究
	生 物 学 科	生物学卒業実験
	機 能 分 子 化 学 科	機能分子化学卒業研究
経 済 学 部		該当科目なし
法 学 部		該当科目なし
経 営 学 部		専門演習Ⅱ
知 能 情 報 学 部		卒業研究及び演習
マ ネ ジ メ ン ト 創 造 学 部		卒業研究プロジェクト
フロンティアサイエンス学部		ナノバイオ卒業研究

附 則

この取扱いは、平成30年4月1日から施行する。

転 学 部 規 程

平成27年4月1日 学長決定

第1条 この規程は、甲南大学学則に基づき、転学部について必要な事項を定める。

第2条 転学部の願い出は、1学部1学科に限る。

第3条 転学部を願い出ることができる者は、当該年度を含めて2年以上在学し、所属する学部の卒業に要する単位数のうち、次の各号に定める単位数を修得又は修得する見込みの者とする。

- (1) 基礎共通科目又は国際言語文化科目8単位、外国語科目の基礎外国語8単位、保健体育科目の基礎体育学演習2単位、計18単位以上
- (2) 専門教育科目32単位以上

2 転学部を願い出た者が、前項に定める単位数を修得できなかった場合は、その願い出は無効とする。

第4条 転学部を許可する時期は、学年の初めとする。

第5条 転学部を願い出る者は、所定の出願書類に学業成績証明書を添え、所属する学部の学部長を経て願い出なければならない。

第6条 転学部の許可は、所属する学部の教授会、転学部を願い出た学部の教授会及び合同教授会の審議を経て、学長がこれを決定する。

第7条 転学部を許可された者が、卒業資格を得るには、転学部以後2年以上在学しなければならない。

第8条 この規程に関する事務は、教務部において行う。

第9条 この規程の改廃は、大学会議の審議を経て、学長が決定する。

附 則

- 1 この規程は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 広域副専攻科目が開講されている間は、「基礎共通科目」を「基礎共通科目及び広域副専攻科目」と読み替える。

附 則

この規程の改廃は、平成27年4月1日から学長決定により行う。

平成29年度、平成30年度及び平成31年度のフロンティアサイエンス学部入学生の転学部に関する取扱い

令和元年11月28日 学長決定

平成29年度、平成30年度及び平成31年度のフロンティアサイエンス学部入学生における転学部規程第3条に定める転学部を願い出ることができる者については、次のとおり取り扱うものとする。

- 1 転学部を願い出ることができる者は、当該年度を含めて2年以上在学し、所属する学部の卒業に要する単位数のうち、次の各号に定める単位数を修得又は修得する見込みの者とする。
 - (1) 必修科目の「英語及び演習」、「科学英語コミュニケーション1」、「科学英語コミュニケーション2」及び「基礎体育学演習」、計7単位。
 - (2) 前号の科目を除く必修科目、選択必修科目A群、選択必修科目B群から32単位以上。
 - (3) 全学共通科目群の外国語科目から4単位以上。
 - (4) 基礎共通科目から8単位以上。
- 2 この取扱いの改廃は、部局長会議の審議を経て、学長が決定する。

附 則

- 1 この取扱いは、学長決定日から施行し、平成31年4月1日から適用する。
- 2 平成29年度及び平成30年度入学生にあつては第1項第4号の「基礎共通科目」は、「全学共通科目群の基礎共通科目」と読み替える。

学 士 入 学 規 程

令和元年 9 月 26 日 学長決定

第 1 条 この規程は、甲南大学学則に基づき、学士入学について必要な事項を定める。

第 2 条 学士入学の願い出は、1 学部 1 学科に限る。

第 3 条 学士入学を願い出ることができる者は、本大学を卒業又は卒業見込みの者とする。

第 4 条 学士入学を許可する時期は、学年の初めとする。

第 5 条 学士入学を願い出る者は、所定の出願書類に卒業（見込）証明書及び学業成績証明書を添え、教務部に提出しなければならない。

第 6 条 学士入学の許可は、願い出た学部の教授会及び合同教授会の審議を経て、学長がこれを決定する。

第 7 条 学士入学年次は原則として 3 年次とし、学士入学した年度の 3 年次学生に適用される学則及び関連諸規定に従い履修する。ただし、単位認定の内容や成績によっては、入学年次が 2 年次又は 1 年次となる場合がある。

第 8 条 本人の申請により、学士入学前に本大学で修得した授業科目に基づき、次のとおり認定する。

- (1) 基礎共通科目は、文学部、経済学部、法学部、経営学部にあつては 18 単位を、理工学部、知能情報学部にあつては 16 単位を一括で認定する。
- (2) 外国語科目（基礎外国語）は、文学部、理工学部、経済学部、法学部、経営学部、知能情報学部にあつては 8 単位を一括で認定する。
- (3) 保健体育科目（基礎体育学演習）は、文学部、理工学部、経済学部、法学部、経営学部、知能情報学部にあつては 2 単位を一括で認定する。

2 学士入学前に本大学で修得した授業科目のうち、学士入学生が所属する学部の卒業必要単位数に充てることができる科目については、本人の申請により学士入学生が所属する学部の教授会が認定する。ただし、当該学部の審査により認定する単位については、16 単位を上限とする。

3 教職に関する専門教育科目については、学士入学生が所属する学部長が教職教育センター所長と協議の上、学士入学前に本大学で修得した単位を認定することができる。

第 9 条 この規程の改廃は、大学会議の審議を経て、学長が決定する。

再 入 学 規 程

令和元年9月26日 学長決定

第1条 この規程は、甲南大学学則及び甲南大学院学則に基づき、再入学について必要な事項を定める。

第2条 再入学を願い出ることができる者は、疾病その他やむを得ない理由で退学した者又は授業料その他の学費の未納による除籍後1年以上経過した者とする。また、大学院博士後期課程において、所定の単位を修得し退学した者は再入学を願い出ることができる。

第3条 再入学を許可する時期は、学年又は学期の初めとする。

第4条 再入学を願い出る者は、再入学願を教務部に提出しなければならない。

第5条 再入学の許可は、願い出た学部の教授会及び合同教授会の審議を経て、学長がこれを決定する。また、大学院生の再入学の許可は、願い出た研究科の研究科委員会及び大学院委員会の審議を経て、学長がこれを決定する。

第6条 再入学年次は教授会又は研究科委員会で決定し、決定した年次に適用される学則及び関連諸規程に従い履修する。

第7条 本人の申請により、再入学前に本大学で修得した授業科目の単位に基づき、本大学の学則に設置している授業科目の単位を、教授会又は研究科委員会が認定する。

2 教職に関する専門教育科目については、再入学生が所属する学部長が教職教育センター所長と協議の上、再入学前に本大学で修得した単位を認定することができる。

第8条 この規程の改廃は、大学会議の審議を経て、学長が決定する。

甲南大学卒業見込証明書の発行基準

平成28年2月20日 改正

- 1 卒業見込証明書は、次の各号の条件をすべて充足している者について、発行することができる。
 - (1) 当該年度を含めて、在学期間が4年以上の者
 - (2) 当該年度の履修登録単位数を含めて、卒業に必要な単位数を充足している者
- 2 前項各号の条件を充足していない者及び前項第1号の条件をすべて充足しているが前期履修登録終了時において卒業に支障があると認められる者については、所属学部長に連絡の上、卒業見込証明書の発行を停止する。ただし、前期に前項第2号の条件を充足していない者について、所属学部長が発行を認めた場合は、この限りでない。

附 則

この基準は、平成28年4月1日から施行する。

甲南大学学費納付規程

平成28年11月25日 理事会改正

(趣旨)

第1条 甲南大学（以下「本大学」という。）の学費の納付に関しては、甲南大学学則によるほか、この規程の定めるところによる。

2 前項の学費とは、入学金、授業料、施設設備費、設備充実費、教育充実費、研究資料費、実験費、実習費、復籍料、在籍料、科目等履修料、聴講料、登録料、研修料をいう。

(新入学生)

第2条 新入学生の入学時における学費の納付については、別に定める。

(納付期日)

第3条 学費は、所定の金額を前期分及び後期分に分け、毎年前期分は、5月16日から同月31日までの間に、後期分は、10月16日から同月31日までの間に納付するものとする。

(延納)

第4条 特別の事情がある者は、本大学の承認を受けて、前条に規定する各期の納付額を次の期日まで延納することができる。

前期分 7月31日まで

後期分 1月20日まで

2 前項の承認を受けようとする者は、毎学期の初めの本大学が指定する期限までに、所定の様式により本大学（学生部経由）に願い出なければならない。

(納付期日告示及び学費納付告知書再交付)

第5条 本大学は、前2条に規定する各納付期日開始の1週間前までに掲示をもって学費の納付を告示する。

2 学費納付告知書は、前項の掲示と同時に本大学から各学生の保証人へ郵送する。

3 前項の規定にかかわらず、第1項の掲示後1週間が過ぎても学費納付告知書が保証人に到着しなかった場合は、各自財務部において学費納付告知書の再交付を受けなければならない。これを怠ったことによって学費納付遅滞の責めを免れることはできない。

(除籍)

第6条 第3条及び第4条並びに第8条第2項に規定する期間内に学費を完納しない者は、除籍する。

(復籍)

第7条 前条の規定により除籍された者が除籍の日から1年以内に復籍を願い出て（教務部経由）許可された場合は、7日以内に当該年度の入学金相当額を復籍料として納付しなければならない。ただし、除籍日と同日付の復籍を許可された者（第3条及び第4条並びに第8条第2項の学費最終納付期日から1箇月以内に所定の復籍手続をした者）については、復籍料を免除する。

2 復籍を許可された者は、復籍日の属する月から期間計算した学費（100円未満の端数は、切上げ）を納付しなければならない。ただし、施設設備費、設備充実費及び教育充実費については、この限りでない。

3 復籍を許可された者の施設設備費、設備充実費及び教育充実費については、その者の入学年度の学生が納付すべき額とそれぞれの既納額との差額とし、その納付時期については手続時一括とする。

(休学)

第8条 休学を許可された者は、休学期間中の在籍料を納付しなければならない。ただし、その他の学費については、免除する。

2 前項の在籍料の納付は、第3条の納付期日に係わらず、前期分は7月31日まで、後期分は1月20日までとする。

(停学)

第9条 停学中の者は、学費を全額納付しなければならない。

(復学)

第10条 復学を許可された者は、その者の入学年度の学生と同額の学費を納付しなければならない。

(再入学)

第11条 再入学を許可された者は、7日以内に当該年度の入学金及び当該年次の学生と同額の学費を納付しなければならない。

2 次年度以降の学費については、当該年次の学生と同額とする。

(編入学)

第12条 編入学を許可された者は、所定の期日に当該年度の入学金及び当該年次の学生と同額の学費を納付しなければならない。

2 次年度以降の学費については、当該年次の学生と同額とする。

(学士入学)

第13条 学士入学を許可された者は、7日以内に当該年度の入学金及び当該年次の学生と同額の学費を納付しなければならない。ただし、卒業と同時に学士入学する者の入学金は、半額免除する。

2 次年度以降の学費については、当該年次の学生と同額とする。

(転学部)

第14条 転学部を許可された者は、転学部先の学費を納付しなければならない。

(学期途中の卒業)

第15条 学期の途中に卒業する者は、学期の初めの月から卒業日の属する月までの期間計算した授業料(100円未満の端数は、切上げ)を納付しなければならない。

(卒業延期)

第15条の2 卒業の延期を許可された者は、所定の学修在籍料を納付しなければならない。なお、当該年度の前期末で卒業延期の期間変更を許可された場合は、徴収した額の半額を返付する。

(科目等履修料)

第16条 科目等履修生として許可された者は、所定の期日までに科目等履修料を納付しなければならない。

(聴講料)

第17条 聴講生として許可された者は、所定の期日までに聴講料を納付しなければならない。

(登録料)

第18条 研究生として許可された者は、所定の期日までに登録料を納付しなければならない。

(規程の改廃)

第19条 この規程の改廃は、大学会議の議を経て、学長が提案し、理事会が行う。

附 則

この規程は、平成28年11月25日から施行する。

甲南大学卒業延期に関する規程

平成28年11月25日 理事会制定

(目的)

第1条 この規程は、甲南大学学則（以下「学則」という。）第16条の2に基づき、卒業の要件を充たす学生が目標とする進路、資格等を獲得するため卒業を保留し、引き続き在学を希望する場合に、卒業を延期して在学することを認める制度（以下「卒業延期制度」という。）について必要な事項を定めることを目的とする。

(手続)

第2条 卒業延期を希望する学生は、所定の期限までに卒業延期願（様式第1号）を提出しなければならない。ただし、願出の提出は1回限りとする。

(延長の許可)

第3条 卒業延期願が提出されたときは、申請者が次の各号に定める要件をすべて満たすことを申請者が所属する学部で審査のうえ、学部教授会及び合同教授会の審議を経て、学長が許可する。

- (1) 4年以上在学し所定の卒業必要単位数を修得していること
- (2) 引き続き在学する期間を含めて在学期間8年を超えないこと
- (3) 授業料等の学費を滞納していないこと
- (4) 目標とする進路、資格等を獲得するため、本制度を必要とすること

2 前項により卒業の延期を許可された者（以下「卒業延期者」という。）に対して、卒業延期の許可を公示する。

(延長期間)

第4条 卒業延期制度による在学の延長期間は、1年限りとする。

(授業科目の履修)

第5条 卒業延期者は、卒業延期期間中、授業科目を履修することができる。ただし、当該学部において履修することができる授業科目等を制限することができる。

(学費)

第6条 卒業延期者は、別に定める学修在籍料を納付しなければならない。

(卒業の時期)

第7条 卒業延期者の卒業の時期は、原則として学年度末とする。

(卒業の繰上)

第8条 卒業延期者が、卒業延期制度の適用を受けている期間を繰り上げて、前期末卒業を希望する場合は、所定の期限までに卒業延期の期間変更願（様式第2号）を提出しなければならない。この場合、学長は、学部教授会及び合同教授会の審議を経て、卒業延期の期間変更を許可し、前期末卒業を認めるものとする。

(卒業延期の取消)

第9条 卒業延期者が、延期期間に係る学修在籍料を所定の期限までに納入しなかつた場合は、卒業延期の許可を取り消す。この場合、学長は、学部教授会及び合同教授会の審議を経て、本来卒業すべき年度末における卒業を認めるものとする。

第10条 卒業延期者が、本来卒業すべき年度の終了日の卒業を希望する場合は、所定の期限までに卒業延期許可取消願（様式第3号）を提出しなければならない。この場合、学長は、学部教授会及び合同教授会の審議を経て、卒業延期を取り消し、本来卒業すべき年度末における卒業を認めるものとする。

（休学）

第11条 卒業延期者が、卒業延期期間中に休学することはできない。

（留学）

第12条 卒業延期者が、卒業延期期間中に留学を願い出た場合は、学部教授会の審議を経て、学長がこれを許可する。

（所管）

第13条 卒業延期制度に関する事務は、教務部の所管とする。

（改廃）

第14条 この規程の改廃は、大学会議の審議を経て、学長が提案し、理事会が行う。

附 則

- 1 この規程は、平成28年11月25日から施行する。
- 2 平成28年度以降の4年次に適用する。

科目等履修生規程

平成28年3月17日 改正

第1条 この規程は、甲南大学学則に基づき、科目等履修生について必要な事項を定める。

第2条 科目等履修生を願い出ることのできる者は、高等学校卒業者又はこれと同等以上の学力があると認められる者とする。

第3条 科目等履修生を願い出る者は、次の出願書類に科目等履修生検定料を添えて願い出なければならない。

- (1) 科目等履修生出願票（写真添付）
- (2) 最終学校における卒業証明書（ただし、教育職員免許等の資格取得を希望する者は、成績証明書添付）
- (3) 健康診断書

2 本大学院学生が、科目等履修生を願い出の場合は、出願書類に指導教員の承諾書を添えなければならない。

第4条 科目等履修生を許可する時期は、学年又は学期の初めとする。

第5条 科目等履修生の許可は、当該科目を開設する教授会（共通教育センターにあつては教員会議、教育学習支援センター、国際交流センター及び教職教育センターにあつては運営委員会）の審議に基づき、学長がこれを決定する。

第6条 科目等履修生を許可された者は、所定の期間以内に科目等履修料を納付しなければならない。

- 2 本大学院学生の科目等履修料は、1学年度16単位を限度とし免除することができる。
- 3 科目等履修料及び科目等履修生検定料は別に定める。
- 4 既納の科目等履修料及び科目等履修生検定料は、いかなる事情があつても返付しない。

第7条 科目等履修生が1学年度に履修することができる単位数は、32単位以内とする。

- 2 実験、実習、演習及び基礎外国語科目の履修は、原則として許可しない。その他の科目についても、許可しないことがある。

第8条 科目等履修生を許可された者には、科目等履修生証を交付する。

- 2 科目等履修生は、科目等履修生証を携帯しなければならない。

第9条 単位の認定は、試験その他適当な方法による。

- 2 願い出により単位修得証明書を交付する。

第10条 科目等履修生として、不適当な行為があつたときは、科目等履修生の許可を取り消すことがある。

第11条 他大学との単位互換協定に基づく科目等履修生については、この規程に定める必要事項のほか、当該協定に基づくものとする。

第12条 この規程の改廃は、大学会議の審議を経て、学長が決定する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

研 究 生 規 程

平成27年4月1日 学長決定

第1条 甲南大学学則に規定する研究生については、この規程の定めるところによる。

第2条 研究生は、本大学専任教員の指導（以下「指導教員」という。）のもとに研究を行うものとする。

第3条 研究生は、指導教員及び担当教員の許可を得て研究に関連のある開講科目の授業に出席することができる。ただし、単位は、与えないものとする。

2 在留資格の取得又は更新を要する研究生は、科目等履修生又は聴講生として、研究に関連のある開講科目の授業を、研究期間を通して週に7科目以上受講しなければならない。

第4条 研究生の研究期間は、1年以内（学年度の途中で研究生となった者は、その学年度末まで）とし、引き続き研究を行うことを希望する者は、1年以内に限り更新を出願することができる。ただし、修士の学位を有する者については、1年以内に限らない。

2 更新の出願手続については、第5条第2項第1号、第2号及び第6号の規定を準用する。

3 更新の出願の許可については、第6条第1項の規定を準用する。

第5条 研究生となることを出願する者は、大学の卒業者又はこれと同等以上の学力があると認められる者とする。

2 出願者は、指導教員の所属する学部等の学部長、国際言語文化センター所長又はスポーツ・健康科学教育研究センター所長（以下「学部長等」という。）に、次の書類を提出しなければならない。

- (1) 願書（本大学所定のもの）
- (2) 研究計画書（本大学所定のもの）
- (3) 履歴書（写真添付）
- (4) 最終学校における成績証明書及び卒業証明書
- (5) 健康診断書
- (6) 勤務先を有する者は、その所属長の承諾書

第5条の2 研究生の選考は、指導教員との面接、提出された研究計画書及び最終学校における成績証明書等に基づいて、指導教員の所属する当該教授会の審議により行うものとする。

第6条 研究生の許可は、学年又は学期の初めとし、当該教授会の審議に基づき、学長がこれを決定する。

2 研究生を辞退しようとするときは、辞退願を学部長等を経て、学長に提出しなければならない。

3 辞退願の提出を受けた場合は、学長は当該教授会の審議に基づき、辞退を許可する。

第6条の2 在留資格の取得又は更新を要する研究生は、受講届を提出しなければならない。

第7条 研究生は、許可を受けた日から7日以内に、別に定める登録料を納付しなければならない。ただし、研究期間が半年の者は、半額とする。

2 在留資格の取得又は更新を要する研究生は、前項に定める登録料及び受講する科目の単位数に相当する科目等履修料又は聴講料を納付しなければならない。

3 既納の登録料・科目等履修料及び聴講料については、いかなる事情があっても返付しない。

第8条 研究生には、研究生証を交付する。

2 研究生は、研究生証を携帯しなければならない。

第9条 指導教員は、毎年学年度末（年度途中で研究期間が終了する者においてはその終了時まで）に研究生に研究報告書を作成させ、学部長等に提出するものとする。

第10条 研究生の身分は、別段の定めがない限り、本大学科目等履修生に準ずるものとし、懲戒処分についても同様とする。

第11条 この規程の改廃は、大学会議の審議を経て、学長が決定する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から学長決定により行う。

甲南大学聴講生規程

平成28年3月17日 改正

第1条 この規程は、甲南大学学則に基づき、聴講生について必要な事項を定める。

第2条 聴講生を願い出ることができる者は、満18才以上の者とする。

第3条 聴講生を願い出る者は、次の書類に聴講生検定料を添えて願い出なければならない。

- (1) 聴講生出願票（写真添付）
- (2) 健康診断書

第4条 聴講生を許可する時期は、学年又は学期の初めとする。

第5条 聴講生の許可は、当該科目を開設する学部教授会（共通教育センターにあっては教員会議、教育学習支援センター、国際交流センター及び教職教育センターにあっては運営委員会）の審議に基づき、学長がこれを決定する。

第6条 聴講生を許可された者は、所定の期間内に聴講料を納付しなければならない。

- 2 聴講料及び聴講生検定料は別に定める。ただし、本大学の卒業生（旧制甲南高等学校卒業生を含む。）については、聴講生検定料は免除することができる。
- 3 既納の聴講料及び聴講生検定料は、いかなる事情があっても返還しない。

第7条 聴講生が1学年度に聴講することができる単位数は、20単位以内とする。ただし、在留資格の取得又は更新を要する場合は、この限りではない。

- 2 実験、実習、演習及び基礎外国語科目の聴講は、原則として許可しない。その他の科目についても、許可しないことがある。

第8条 聴講生を許可された者には、聴講生証を交付する。

- 2 聴講生は、聴講生証を携帯しなければならない。

第9条 聴講生は、聴講した授業科目の試験を受けることができる。ただし、単位は付与しない。

第10条 聴講生として、不適当な行為があったときは、聴講生の許可を取り消すことがある。

第11条 この規程の改廃は、大学会議の審議を経て、学長が決定する。

附 則

この規程の改廃は、平成28年4月1日から施行する。

甲南大学大学院科目等履修生規程

平成28年3月17日 改正

(趣旨)

第1条 この規程は、甲南大学大学院学則に基づき、甲南大学大学院における大学院科目等履修生（以下「科目等履修生」という。）について必要な事項を定める。

(資格)

第2条 科目等履修生を願い出ることができる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認められる者
- (2) 履修しようとする授業科目について、各研究科の定めるところにより、当該授業科目を履修するに十分な学力を有すると認められる者

(入学時期)

第3条 科目等履修生を許可する時期は、学年又は学期の初めとする。

(履修許可科目及び単位数)

第4条 科目等履修生として履修を許可する授業科目は、修士課程開講科目のうち、教育研究に支障のない範囲で各研究科が定めるものとし、1学年度に履修することができる単位数は、12単位以内とする。

2 実験、実習及び演習科目の履修は、原則として許可しない。その他の授業科目についても、許可しないことがある。

3 正規の大学院生の履修登録がなかった授業科目については、履修を一旦許可された授業科目でも、許可を取り消すことがある。

(出願手続)

第5条 科目等履修生を願い出る者は、次の出願書類に科目等履修生検定料を添えて、学長に願い出なければならない。

- (1) 科目等履修生出願票（本大学所定用紙）
- (2) 最終学校における成績証明書及び卒業（卒業見込み）証明書
- (3) 健康診断書

2 本大学学部学生が、科目等履修生を願い出る場合は、前項第2号及び第3号に掲げる出願書類の提出を要しない。

(選考)

第6条 科目等履修生の許可は、当該授業科目を開設する研究科委員会の審議に基づき、学長がこれを決定する。

(納付金)

第7条 科目等履修生を許可された者は、所定の期間内に科目等履修料を納付しなければならない。

- 2 本大学学部学生の科目等履修料は、1学年度10単位を限度とし免除することができる。
- 3 科目等履修生検定料及び科目等履修料は別に定める。
- 4 既納の科目等履修生検定料及び科目等履修料は、いかなる事情があつても返付しない。

(科目等履修生証)

第8条 科目等履修生を許可された者には、科目等履修生証を交付する。

2 科目等履修生は、科目等履修生証を携帯しなければならない。

(単位認定)

第9条 単位の認定は、試験その他適当な方法による。

2 願い出により単位修得証明書を交付する。

(科目等履修生の取り消し)

第10条 科目等履修生として、不適当な行為があつたときは、科目等履修生の許可を取り消すことがある。

(改廃)

第11条 この規程の改廃は、大学会議の審議を経て、学長が決定する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

甲南学園情報セキュリティポリシー

平成26年11月28日 理事会制定

(基本方針)

第1条 本学園のすべての情報資産の保全のため、情報セキュリティ対策の包括的な指針を定める。

本学園の役員、教職員、学生、生徒等（以下「構成員」という。）及び本学園が提供する情報サービスを使用するすべての関係者は、本ポリシーを理解し、遵守するとともに、本学園における教育・研究活動及び運営において情報資産の活用と保全に努めなければならない。

(目的)

第2条 本ポリシーは、次の各号の目的のための遵守事項をまとめたものである。

- (1) 本学園の情報セキュリティに対するすべての侵害からの防御
- (2) 本学園内外の情報セキュリティを損ねる加害行為の阻止
- (3) 本学園の情報資産に関する重要度に応じた管理の徹底
- (4) 本学園内における情報セキュリティ侵害等の早期検出と迅速な対応

(定義)

第3条 本ポリシーにおける用語の定義は、次の各号のとおりとする。

- (1) 「情報資産」とは、電磁的に記録された情報及び情報システムの総称をいう。
- (2) 「情報セキュリティ」とは、情報資産の機密性、完全性及び可用性を維持することをいう。
- (3) 「インシデント」とは、意図的又は偶発的に生じる、情報セキュリティを脅かす事象をいう。

(対象)

第4条 本ポリシーの対象範囲は、本学園の保有するすべての情報資産及び本学園のネットワークに接続される情報機器等とする。

2 本ポリシーの対象者は、構成員並びに本学園の情報資産を使用する委託業者及び来訪者等とする。

(組織)

第5条 情報セキュリティ対策に関して次の組織を置く。

- (1) 情報セキュリティ最高責任者

情報セキュリティ最高責任者（以下「最高責任者」という。）は、本学園のすべての情報セキュリティに関する総括的な権限と責任を有し、理事長がこれにあたる。

- (2) 情報セキュリティ管理者

情報セキュリティ管理者（以下「管理者」という。）は、本学園の情報セキュリティを管理し、情報システム室長がこれにあたる。

- (3) 情報セキュリティ代表責任者

情報セキュリティ代表責任者（以下「代表責任者」という。）は、大学又は高等学校・中学校における情報セキュリティに関する統括的な権限と管理責任を有し、大学にあつては学長、高等学校・中学校にあつては校長がこれにあたる。

- (4) 情報セキュリティ部局責任者

情報セキュリティ部局責任者（以下「部局責任者」という。）は、大学の各学部・大学院・センター等、高等学校・中学校及び各事務部課室（以下「各部局等」という。）における情報セキュリティに

関する統括的な権限と管理責任を有し、各所属長等がこれにあたる。

- 2 各部局等で管理する情報機器等のアクセス権限、ネットワーク接続等に関する諸設定等、情報資産のセキュリティ上の管理に携わる者として、情報セキュリティ担当者を置くことができる。

(責務)

第6条 最高責任者は、代表責任者及び部局責任者を通じて、各部局等に本ポリシーを遵守させなければならない。

- 2 管理者の責務は、次の各号のとおりとする。

- (1) 最高責任者を補佐し、最高責任者に対し全学の情報セキュリティ管理に関し、技術的に必要な措置をとるよう意見を具申するとともに、情報セキュリティの保持のため、必要な措置を講じなければならない。

- (2) 情報セキュリティに関するインシデントが発生した場合には、次のとおり対処しなければならない。

(ア) 不正アクセス若しくはこれに類する情報システムの異常事態を発見し、又はその報告を受けた場合は、原則として、最高責任者の指示により、関連する通信の遮断又は関連する情報機器等の切り離し、電源切断など、技術的に必要な措置を講ずる。

(イ) 緊急の場合においては、管理者の責務として(ア)の措置を講ずる。

(ウ) 発生したインシデントについて、最高責任者並びに関連する部局等の代表責任者及び部局責任者に報告するとともに、再発防止のため必要な措置を講ずる。

- (3) 構成員に対し、本ポリシー及び情報セキュリティに関する意識の啓発その他の必要な施策を講じなければならない。

- 3 代表責任者は、大学又は高等学校・中学校において、インシデントが発生し、又は予見された場合は直ちに管理者に報告し、必要な措置を講じなければならない。

- 4 部局責任者の責務は、次の各号のとおりとする。

- (1) 各部局等に所属する構成員に本ポリシーを周知し、その遵守を徹底しなければならない。
- (2) 各部局等において、インシデントが発生し、又は予見された場合は、直ちに管理者に報告し、必要な措置を講じなければならない。
- (3) 各部局等において担当者を設置しない場合は、次項に定める担当者の責務についても負うものとする。

- 5 担当者の責務は、次の各号のとおりとする。

- (1) 各部局等で管理する情報機器等を維持管理し、運用に即した設定や情報セキュリティ維持の責任を負う。
- (2) 不正アクセス等を発見した場合、直ちに部局責任者に報告するとともに、適切な措置を講じなければならない。
- (3) 利用が認められた者以外の者に情報機器等の利用を許可してはならない。
- (4) 委託業務等により学外者に本学園の情報機器等を利用させる場合は、本ポリシーを示し、これを遵守させるとともに、アクセス違反、情報の漏えい、改ざん等の防止を図るために必要な措置を講じなければならない。
- (5) 来訪者等の構成員以外の者に本学園の情報機器等を一時的に利用させる場合は、本ポリシーを示

し、これを遵守させなければならない。

- (6) 情報セキュリティに関する情報に注意を払い、最新の安全状況を維持するように努めなければならない。

6 本学園の構成員の責務等は、次の各号とする。

- (1) 本ポリシーを理解し、これを遵守しなければならない。また、ガイダンスや研修等を通じて情報セキュリティに関する理解を深めなければならない。
- (2) ウイルス、ワーム等に感染している情報機器等及びセキュリティの重大な欠陥が周知となっている情報機器等を本学園のネットワークに接続してはならない。
- (3) アカウント名及びパスワードが漏えいしないよう管理しなければならない。また、他の構成員等のアカウントを用いてはならない。
- (4) 情報機器等を廃棄する場合は、情報の漏えいを防止するために必要な措置を講じなければならない。

(情報の管理)

第7条 本学園における電磁的に記録された情報については、その重要度に応じて、管理方法及び責任の所在を明確にしておかなければならない。また、本ポリシーのほか、個人情報保護法及び本学園の定める関連規程に基づいて、次の各号のとおり情報を取り扱わなければならない。

- (1) 構成員は、原則として自ら作成した電磁的に記録された情報について管理責任を負うとともに、情報の内容や重要度に応じたアクセス権の設定、バックアップの作成、改ざん防止、盗難及び紛失防止等の必要な措置を講じなければならない。また、アクセス権を設定する場合には、個人情報の有無、著作権に係る問題の有無など情報の内容を十分踏まえなければならない。
- (2) 本学園の情報資産及び本学園のネットワークに接続される情報機器等を利用する者（以下「利用者」という。）は、情報を入手又は利用する際には、アクセス権のない情報にアクセスを試み、又は改変する権限のない情報を改変してはならない。また、アクセス権を不正な手段で入手してはならない。
- (3) 利用者は、アクセス権が不適切に設定されていることを発見した場合は、その情報の作成者、各部局等の部局責任者又は担当者、その旨を通報しなければならない。
- (4) 利用者は、インシデントと思われる事態を発見した場合には、各部局等の部局責任者又は担当者に直ちにその旨を通報しなければならない。

(技術的セキュリティ)

第8条 技術的セキュリティの基本単位は個々の情報機器等とし、利用者は最新の安全状況を維持するように努めなければならない。

- 2 最高責任者は、管理者からの申出に基づき、本学園のネットワークの利用を全学的見地から制限することができるものとし、利用に関する制限の内容の周知を図るものとする。なお、利用者は、利用に関する制限について異議があるときは、最高責任者に対して、理由を付した文書により異議を申し立てることができる。
- 3 管理者は、利用者に対して、情報機器等の適切な管理及び関連する技術情報等を提供するものとする。

(履歴の管理)

第9条 管理者は、情報セキュリティの維持及び強化のために必要と認めた場合は、本学園のネットワークにおける履歴を採取することができる。なお、利用者は、履歴の採取について異議があるときは、最高責任者に対して、理由を付した文書をもって異議を申し立てることができる。

(監査)

第10条 監査部は、本ポリシーに定める各項目について、監査を行うものとする。

- 2 監査部は、監査の結果を理事長に報告しなければならない。
- 3 監査の公正性及び中立性を確保するため、外部の監査組織の利用を妨げない。

(改廃)

第11条 本ポリシーの改廃は、理事会が行う。また、本ポリシーの実施規程等は情報システム運営委員会が別に定める。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

甲南学園情報システム利用内規

平成27年2月16日 情報システム運営委員会承認

(目的)

第1条 本内規は、学校法人甲南学園（以下「本学園」という。）における情報システムの利用に関する事項を定め、情報セキュリティの確保及び円滑な情報システムの利用に資することを目的とする。

(定義)

第2条 本内規における用語の定義は、次の各号のとおりとする。

- (1) 「アカウント」とは、情報システムの利用にあたって用いる利用者識別番号をいう。
- (2) 「情報機器等」とは、パーソナルコンピュータ及びこれに類する情報処理機器をいう。
- (3) その他の用語の定義は、甲南学園情報システム基本規程、甲南学園情報セキュリティポリシー（以下「セキュリティポリシー」という。）及び情報システム管理運用内規で定めるところによる。

(対象)

第3条 本内規の対象者は、本学園の情報システム及びこれに関わる情報資産を利用するすべての者（以下「利用者」という。）とする。

2 本内規の対象範囲は、本学園のネットワーク及び本学園内のすべての情報システムとする。

(遵守事項)

第4条 利用者は、本内規、本学園の情報システムの利用に関する手順及びガイドライン並びに個人情報保護に関する規程等を遵守しなければならない。

(利用手続)

第5条 利用者は、利用する情報システムの情報システム管理責任者（以下「管理責任者」という。）が定める手続に従って、アカウントの交付を受けなければならない。また、申請内容に変更が生じたときは、遅滞なく当該情報システムの管理責任者に届け出なければならない。ただし、個別の申請又は届出が必要ないことをあらかじめ別に定めている場合は、この限りでない。

(接続の許可)

第6条 本学園のネットワークに情報機器等を接続するときは、情報セキュリティ管理者（以下「管理者」という。）の定める手続に従って、情報機器等をネットワークに接続するために必要なグローバルインターネットプロトコルアドレス（以下「IP アドレス」という。）を取得しなければならない。また、申請内容に変更が生じたときは、遅滞なく管理者に届け出なければならない。ただし、個別の申請又は届出が必要ないことをあらかじめ別に定めている場合は、この限りでない。

2 IP アドレスの交付基準及び規則は、管理者が別に定める。

(アカウント及びパスワードによる認証)

第7条 利用者は、アカウントの管理に際して、次の各号を遵守しなければならない。

- (1) アカウント名及びパスワードを漏えいしないよう管理しなければならない。
- (2) 自分のアカウントを第三者に使用させてはならない。
- (3) 第三者のアカウントを使用してはならない。
- (4) 使用中の情報機器等から長時間離席する場合には、第三者が操作できないようにしなければならない。

- (5) アカウントを他の者に使用され又はその危険が発生した場合には、セキュリティポリシーに基づき、直ちに通報しなければならない。
- (6) 本学園の情報システムを利用する必要がなくなった場合は、遅滞なく管理責任者に届け出なければならない。ただし、個別の届出が必要ないことをあらかじめ別に定めている場合は、この限りでない。

(禁止事項)

第8条 利用者は、本学園の情報システムにおいて、次の各号に定める行為を行ってはならない。

- (1) 教育・研究活動及び運営目的を逸脱した行為
- (2) 公序良俗に反する行為
- (3) 特定の個人・団体への誹謗中傷、差別的な内容、猥褻な内容の情報を利用する行為
- (4) 人権及びプライバシーを侵害する情報を利用する行為
- (5) 守秘義務に違反する行為
- (6) 著作権等の財産権を侵害する行為
- (7) 虚偽情報の提供、詐欺、他人を詐称する行為
- (8) 通信の秘密を侵害する行為
- (9) 正当な理由なくネットワーク上の通信を監視し、又は情報機器等の利用情報を取得する行為
- (10) 不正アクセス行為の禁止等に関する法律に定められたアクセス制御を免れる行為又はこれに類する行為
- (11) 情報セキュリティ最高責任者（以下「最高責任者」という。）の許可を得ず、情報システムのセキュリティ上の脆弱性を検知する行為
- (12) 過度の通信負荷等によりネットワーク又は情報システムの円滑な運用を妨げる行為
- (13) その他法令に基づく処罰の対象となり、又は損害賠償等の民事責任を発生させる行為
- (14) 前各号に定める行為を助長する行為

2 利用者は、ネットワーク上の情報機器等の間を相互に直接接続し、データを送受信する通信方式を用いて通信するソフトウェア（以下「P 2 P ソフトウェア」という。）について、本学園の教育・研究活動及び運営目的以外にこれを利用してはならない。また、P 2 P ソフトウェアを利用する場合は、あらかじめ管理者に届け出なければならない。

(違反行為への対処)

第9条 利用者の行為が前条に掲げる事項に違反する行為（以下「違反行為」という。）と合理的な疑いをもったときは、情報セキュリティを脅かすインシデントとして、セキュリティポリシーに基づく対処を行う。

2 調査によって違反行為が判明したときは、セキュリティポリシーに定める措置のほか、当該行為者の所属する部局等の情報セキュリティ部局責任者（以下「部局責任者」という。）、管理責任者及び管理者は、次の各号に掲げる措置を講ずることができる。

- (1) 当該行為者に対する当該行為の停止
 - (2) 当該行為者のアカウント停止、又は削除
 - (3) 当該行為に関連する情報機器等の接続許可の取り消し
- 3 部局責任者及び管理責任者は、これらの違反行為について遅滞なく最高責任者に報告しなければ

ならない。

(情報機器等の利用)

第10条 利用者は、情報機器等の利用にあたっては、これらの情報及び情報機器等の適切な保護に配慮しなければならない。

(電子メールの利用)

第11条 利用者は、電子メールでの情報の送受信等を行う際には、不正プログラムの感染、情報の漏えい、誤った相手への情報の送信等により本学園が受ける脅威に注意するとともに、本学園の社会的信用を失わせることのないよう注意しなければならない。

2 利用者は、電子メールの利用にあたっては、別に定めるガイドライン等を遵守しなければならない。

(ウェブの利用及び公開)

第12条 利用者は、ウェブブラウザを利用したウェブサイトの閲覧、情報の送受信、ファイルのダウンロード等を行う際には、不正プログラムの感染、情報の漏えい、誤った相手への情報の送信等により本学園が受ける脅威に注意するとともに、本学園の社会的信用を失わせることのないよう注意しなければならない。

2 本学園の構成員が、ウェブサイトを公開する場合は、別に定めるガイドライン等に従い公開しなければならない。

3 研究室等で学外に向けて公開されるウェブサーバを運用しようとする場合は、事前に各部局等の部局責任者を通じて管理者に申請し、許可を得なければならない。

4 ウェブサイトの公開又はウェブサーバの運用に関して、内規及び実施手順等に違反する行為が認められた場合には、管理者は当該サイト又はサーバの運用停止を行うことがある。

(情報機器等の学外での利用)

第13条 利用者は、情報機器等を学外で利用する場合には、以下の各号を遵守しなければならない。

(1) 機密を要する情報を記録した情報機器等の学外への持ち出しには、暗号化、パスワード保護、作業中の覗き見防止等の保護措置を講じなければならない。

(2) 学外で利用する情報機器等は、可能な限り強固な認証システムを有し、ウイルス対策ソフトウェア等は、最新の状態で情報機器等を保護できるものでなければならない。

(3) 情報機器等の画面を第三者から容易に見える状態で利用してはならない。また、当該システムを第三者が支配又は操作可能な状態にしてはならない。

(学外の情報システムとの接続)

第14条 利用者は、学外の情報システムと本学園のネットワーク又は情報システムとの接続において、以下の各号を遵守しなければならない。

(1) 学外の情報システムを用いて本学園のネットワーク又は情報システムに接続するにあたって、事前に管理者の許可を得なければならない。

(2) 利用する学外の情報システムは可能な限り強固な認証システムを備え、履歴管理機能を有するものでなければならない。ウイルス対策ソフトウェア等は、最新の状態で当該システムを保護できるものでなければならない。

(3) 許可された者以外に学外の情報システムを利用させてはならない。また、当該システムを第三者

が支配又は操作可能な状態にしてはならない。

(安全管理義務)

第15条 利用者は、自己の管理する情報機器等について、本学園の情報システムとの接続状況に関わらず、安全性を維持する一次的な責任を有することに留意し、悪意あるプログラム等を導入することがないように適切な措置を講じなければならない。

- (1) セキュリティ情報に留意し、セキュリティパッチ等の適用やウイルス対策ソフトウェアの利用によって、不正プログラム感染の予防に努めること。
- (2) 外部からのデータやソフトウェアを情報機器等に取り込む場合又は外部にデータやソフトウェアを提供する場合には、不正プログラム感染の有無を確認すること。
- (3) 情報機器等の破壊、盗難及び紛失を防止するために必要な措置を講じなければならない。また、情報機器等の紛失及び盗難は、情報セキュリティを脅かすインシデントとして、セキュリティポリシーに基づき、直ちに報告しなければならない。
- (4) 情報機器等を廃棄する場合は、情報の漏えいを防止するために必要な措置を講じなければならない。

(改廃)

第16条 本内規の改廃は、情報システム運営委員会が行う。また、本内規に基づく手順及びガイドライン等は管理者又は管理責任者が別に定める。

附 則

本内規は、平成27年4月1日から施行する。

VIII. 諸願、届、証明書の事務取扱一覧

諸願、届、証明書の事務取扱一覧

諸願等は、すべてポートアイランドキャンパス事務室に提出してください。なお、岡本キャンパスでの取扱部局は下記のとおりです。

種 別	取扱部局	交付または提出期	備 考
学籍に関するもの			
休学願	教務部		保証人連署
退学願	〃		〃 学生証添付
復籍願	〃		
復学願	〃		
再入学願	〃		
学士入学志願票	〃		1月上旬に掲示
転学部願	〃		12月上旬に掲示
在学証明書	〃	和文 当日 英文 当日	証明書自動発行機にて発行（和文のみ） （邦文・英文とも無料）
外国留学願	国際交流センター		窓口で配付
学業に関するもの			
学修簿	教務部	当日	証明書自動発行機にて発行（無料）
各種資格取得見込証明書	〃	（後期から）当日	証明書自動発行機にて発行（司書教諭は除く） （無料）
各種資格単位修得証明書	〃	3 日後	手数料 100円
学業成績証明書 （卒業・修了見込）	〃	和文 当日 英文 当日	証明書自動発行機にて発行（和文のみ） （和文・英文とも無料）
調査書	〃		手数料 100円
卒業・修了証明書	〃	和文 当日 英文 当日	手数料 和文100円 英文200円
学籍・学業に関する 上記以外の証明書	〃	和文 3 日後 英文 約 5 日後	手数料 和文100円 英文200円
身上異動に関するもの			
改姓名届	学生部	その都度	証明書類の添付
住所変更届	〃	〃	証明書類の呈示
保証人に関する変更届	〃	〃	
学生証等に関するもの			
学生証再発行	学生部	当日	手数料 1,000円
通学証明書	〃	〃	1 月中旬から学生部窓口にて配布（前年度通学証明書と交換）
仮学生証	〃	〃	無料（定期試験期間中のみ）
学校学生生徒旅客運賃割引証	〃	〃	証明書自動発行機または学生部窓口にて発行
学生団体旅行証明書	〃	〃	合宿・旅行届を先に提出、学生 8 名以上が教職員の引率で旅行する場合に所定用紙に証明印を押印
健康診断証明書	医務室	当日	定期健康診断を受けた最終学年の者に限り、証明書自動発行機にて発行（無料）
学費に関するもの			
学費延納願	学生部	前期 5 月 後期10月	
その他			
学生教育研究災害障害保険申請書	医務室	その都度	事故発生後すみやかに学生部医務室に報告 正課中・学校行事中（通院 1 日以上） 通学中・施設間移動中（通院 4 日以上） 課外活動中（通院14日以上） 課外活動中（通院14日未満）
父母の会課外活動障害見舞金申請書	父母の会	〃	
盗難被害届	学生部		

（注）・上記諸願・届は取扱部局の所定用紙を使用すること。
・各種証明書の交付には日時を要するので必ず余裕をもって申し込むこと。

窓 口 案 内

※ポートアイランドキャンパス

窓 口 等	場 所	事 務 取 扱 ・ 開 室 時 間
ポ ー ト ア イ ラ ン ド キ ャ ン パ ス 事 務 室	F-1号館 1 階	〈平 日〉 9 : 00～18 : 00 (講義および定期試験以外の期間は17 : 00まで) 〈土曜日〉 9 : 00～13 : 00 〈夏期授業休止期間〉 10 : 00～16 : 00

※岡本キャンパス

取 扱 内 容	窓 口 等	場 所	事 務 取 扱 ・ 開 館 ・ 開 室 時 間
学修、授業、定期試験、成績、司書資格、証明書発行に関すること	教 務 部	3号館 1 階 教務係 オフィス (北側)	〈平 日〉 9 : 00～18 : 00 (授業・試験のない期間は17 : 00まで) 〈土曜日〉 9 : 00～13 : 00 〈夏期授業休止期間〉 10 : 00 ～ 16 : 00
外国語科目、海外語学講座に関すること	国 際 言 語 文 化 セ ン タ ー		
基礎共通、キャリア創生共通科目に関すること	共通教育センター		
教職課程・教員免許に関すること	教職教育センター		
保健体育科目に関すること	スポーツ・健康科学教育研究センター		
公認心理師資格に関すること	公 認 心 理 師 養 成 セ ン タ ー		
ゼミ、演習等に関すること	各 学 部 事 務 室	10号館 9号館 7号館	〈平 日〉 9 : 00～17 : 00 〈土曜日〉 9 : 00～13 : 00 〈夏期授業休止期間〉 10 : 00～16 : 00
各種証明書、申込み用紙の発行	証明書自動発行機	1号館 1 階	
学割証の発行	学割証自動発行機	iCommons 2 階	7 : 00～20 : 00 ※教務部窓口閉室日は利用不可
学生生活、課外活動、奨学金等に関すること	学 生 部	iCommons 2 階	〈平 日〉 9 : 00～18 : 00 (授業・試験のない期間は17 : 00まで) 〈土曜日〉 9 : 00～13 : 00 〈夏期授業休止期間〉 10 : 00～16 : 00
レポート添削、学習支援に関すること	教 育 学 習 支 援 セ ン タ ー	5号館 3 階	
留学に関すること	国際交流センター	2号館 1 階	
キャリア(就職・進学等)に関すること	キャリアセンター	iCommons 3 階	
システム・ネットワークに関すること	情報システム室	3号館 1 階	
図書の閲覧・貸出	図 書 館	図書館	〈平 日〉 9 : 00～21 : 00 (授業・試験のない期間は17 : 00まで) 〈土曜日〉 9 : 00～18 : 00 (授業・試験のない期間は13 : 00まで) 〈夏期授業休止期間〉 10 : 00～16 : 00
図書の閲覧・貸出 ラーニング・コモンズ	サイバーライブラリ	5号館 3 階	〈平日・土曜日〉 9 : 00～21 : 00 〈日曜日・祝日〉 9 : 00～17 : 00
学生生活に関する悩み事など	学 生 相 談 室	18号館 1 階	〈平日〉 10 : 00～17 : 00

※閉室日については、別途ホームページ等で案内します。

※昼食休憩等のため閉室時間が設けられている場合がありますので、それぞれの窓口で確認してください。